

**防府市子ども・子育て支援に関する  
ニーズ調査報告書**

平成31年3月



# 目 次

I	調査概要	1
II	就学前児童調査結果	
1	対象者及び保護者の特性	4
2	子の育ちをめぐる環境について	9
3	保護者の就労状況について	11
4	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	20
5	平日の定期的な教育・保育事業の利用希望	28
6	子育て支援サービスの認知状況、利用状況	31
7	休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	35
8	病児保育について	39
9	一時預かりについて	47
10	留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブについて	53
11	育児休業制度等の利用状況	61
12	「ファミリーサポートセンター」の利用状況	69
13	子ども家庭支援センター「海北」の利用状況	73
14	「子育て応援室まんまるほうふ」の利用状況	76
15	児童虐待について	78
16	子育て全般について	80
17	本市の子育て支援策についての満足度と重要度	87
III	小学生調査結果	
1	対象者及び保護者の特性	94
2	子の育ちをめぐる環境について	98
3	保護者の就労状況について	100
4	留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブについて	107
5	病児保育について	128
6	一時預かりについて	135
7	「ファミリーサポートセンター」の利用状況	141
8	子ども家庭支援センター「海北」の利用状況	144
9	「子育て応援室まんまるほうふ」の利用状況	146
10	児童虐待について	148
11	子育て支援サービスの認知状況、利用状況	150
12	子育て全般について	152
13	本市の子育て支援策についての満足度と重要度	159



# **/ 調查概要**

## 1 調査の目的

国において平成 24 年 8 月に「子ども・子育て関連 3 法」が制定され、基礎自治体である市町村に「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務づけられました。

これを受けて、平成 27 年度を初年度とする『防府市子ども・子育て支援事業計画』を策定しましたが、平成 31 年度に 5 か年計画の終期を迎えることから、第二期計画の策定に向けて、市民の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するために、「防府市子ども・子育て支援に関するアンケート調査」を実施しました。

## 2 調査実施方法

調査は、以下の方法により実施しました。

区 分	就学前児童調査	小学生調査
1.調査対象者と抽出方法	防府市に居住する就学前児童の保護者	防府市に居住する小学生の保護者
2.調査方法	郵送による配布・回収	郵送による配布・回収
3.調査期間	平成 30 年 12 月 18 日～ 平成 31 年 1 月 18 日	平成 30 年 12 月 18 日～ 平成 31 年 1 月 18 日
4.回収状況	対象児童数 6,353 人 配布数 2,000 人 回収数 1,032 人 回収率 51.60%	対象児童数 6,144 人 配布数 2,000 人 回収数 978 人 回収率 48.90%

【参考：前回調査の概要】※ 1 と 2 は今回調査と同様のため省略

区 分	就学前児童調査	小学生調査
3.調査期間	平成 25 年 10 月 8 日～31 日	平成 25 年 10 月 8 日～31 日
4.回収状況	対象児童数 6,346 人 配布数 2,000 人 回収数 1,213 人 回収率 60.65%	対象児童数 6,304 人 配布数 2,000 人 回収数 1,200 人 回収率 60.00%

## 3 集計にあたっての注意点

グラフは、パーセントで示しています。

グラフ中に表示している「n=」は、パーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。

算出されたパーセントは、小数第 2 位を四捨五入して、小数第 1 位までの表示としているため、その合計が必ずしも 100.0%にならない場合があります。

また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は 100.0%を超えます。

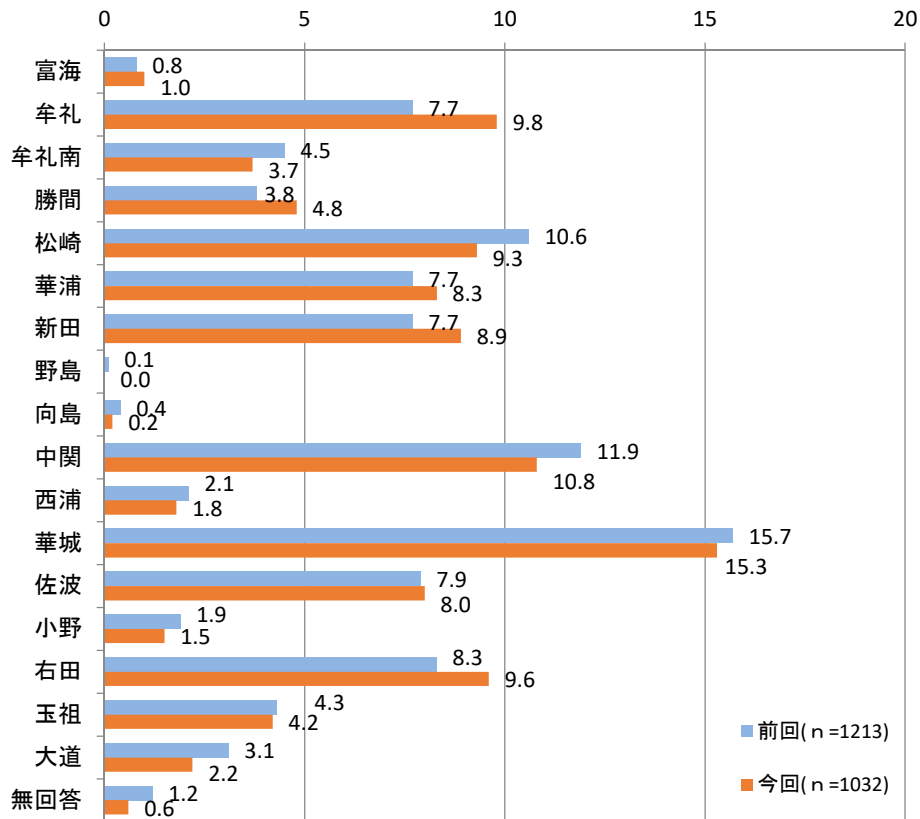
サンプル数が少ない項目においては、グラフ・表の掲載を省略している場合があります。

## **II 就学前児童調査結果**

# 1. 対象者及び保護者の特性

## 問1. 小学校区

(%)



### <年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	富海	牟礼	牟礼南	勝間	松崎	華浦	新田	野島	向島
全体	1032	1.0	9.8	3.7	4.8	9.3	8.3	8.9	0.0	0.2
0歳	89	1.1	6.7	2.2	7.9	9.0	11.2	10.1	0.0	0.0
1-2歳	312	0.6	11.5	2.2	4.8	11.2	8.7	6.1	0.0	0.3
3-6歳	625	1.1	9.3	4.6	4.2	8.5	7.8	9.8	0.0	0.2
シングルマザー	53	1.9	15.1	1.9	3.8	3.8	13.2	13.2	0.0	0.0
シングルファザー	4	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	サンプル数	中関	西浦	華城	佐波	小野	右田	玉祖	大道	無回答
全体	1032	10.8	1.8	15.3	8.0	1.5	9.6	4.2	2.2	0.6
0歳	89	5.6	0.0	22.5	7.9	1.1	7.9	4.5	0.0	2.2
1-2歳	312	12.5	1.9	14.7	7.4	1.3	10.6	4.2	1.9	0.0
3-6歳	625	10.7	2.1	14.7	8.5	1.6	9.4	4.2	2.7	0.6
シングルマザー	53	7.5	1.9	7.5	7.5	1.9	5.7	7.5	5.7	1.9
シングルファザー	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

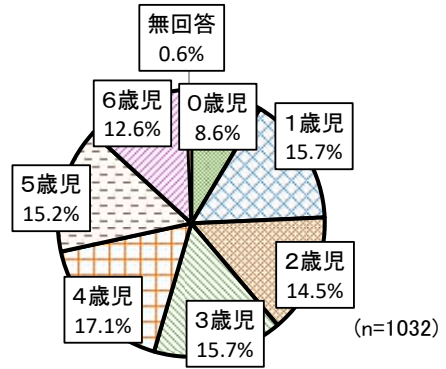
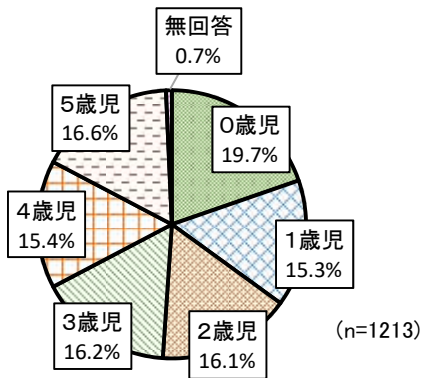
サンプル数：人 単位：%



問2. 子どもの年齢

<前回>

<今回>



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	無回答
全体	1032	8.6	15.7	14.5	15.7	17.1	15.2	12.6	0.6
0歳	89	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1-2歳	312	0.0	51.9	48.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3-6歳	625	0.0	0.0	0.0	25.9	28.2	25.1	20.8	0.0
シングルマザー	53	1.9	11.3	11.3	15.1	20.8	20.8	17.0	1.9
シングルファザー	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0

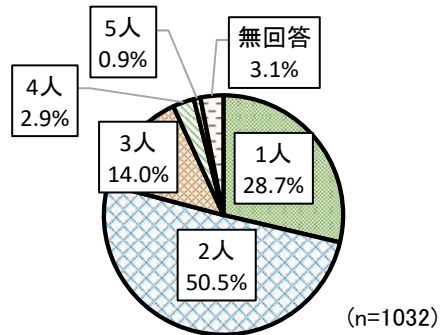
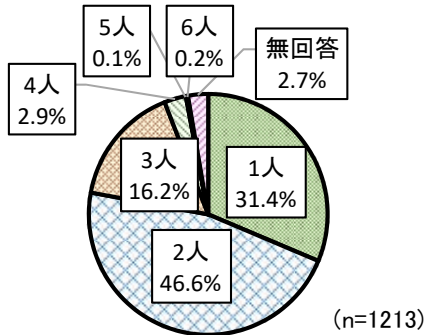
サンプル数：人 単位：%

問3. 子どもの数と末子の年齢

【子どもの数】

<前回>

<今回>



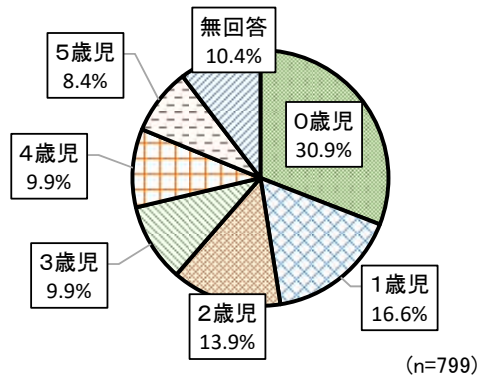
<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	1人	2人	3人	4人	5人	無回答
全体	1032	28.7	50.5	14.0	2.9	0.9	3.1
0歳	89	52.8	33.7	9.0	1.1	1.1	2.2
1-2歳	312	38.5	47.8	8.7	2.2	0.6	2.2
3-6歳	625	20.3	54.4	17.3	3.5	1.0	3.5
シングルマザー	53	37.7	39.6	5.7	1.9	3.8	11.3
シングルファザー	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

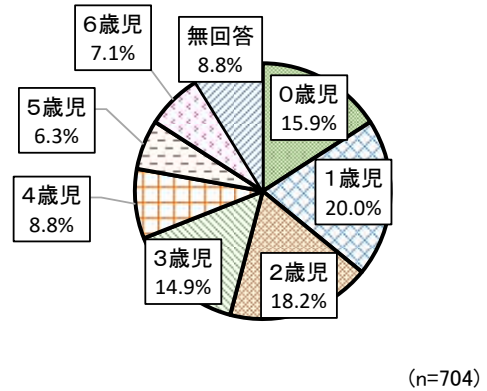
サンプル数：人 単位：%

【末子の年齢】

<前回>



<今回>



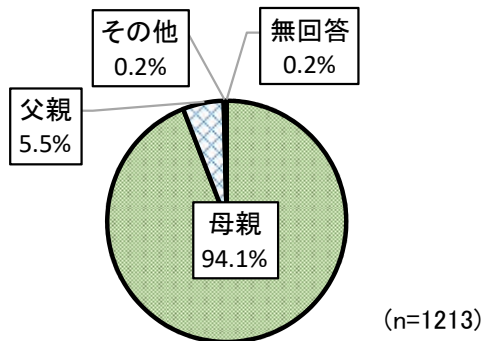
<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児	無回答
全体	704	15.9	20.0	18.2	14.9	8.8	6.3	7.1	8.8
0歳	40	92.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5
1-2歳	185	12.4	38.4	36.8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.4
3-6歳	476	10.7	14.7	12.6	22.1	12.8	9.2	10.5	7.4
シングルマザー	27	0.0	11.1	18.5	25.9	14.8	3.7	0.0	25.9
シングルファザー	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

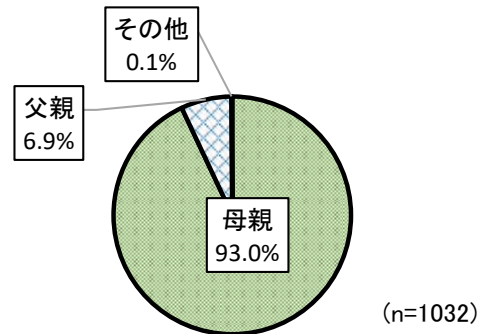
サンプル数：人 単位：%

問4. 子どもとの続柄

<前回>



<今回>



<年齢別・ひとり親家庭別>

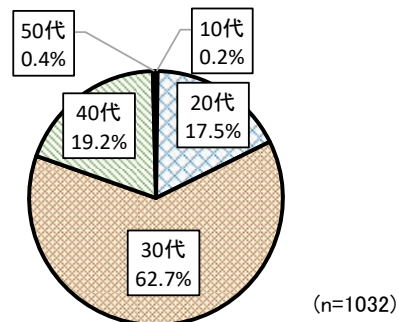
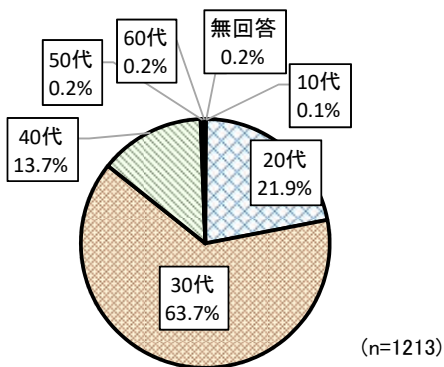
	サンプル数	母親	父親	その他	無回答
全体	1032	93.0	6.9	0.1	0.0
0歳	89	96.6	3.4	0.0	0.0
1-2歳	312	94.2	5.8	0.0	0.0
3-6歳	625	91.8	8.0	0.2	0.0
シングルマザー	53	100.0	0.0	0.0	0.0
シングルファザー	4	0.0	100.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

問5. 回答者の年齢

<前回>

<今回>



<年齢別・ひとり親家庭別>

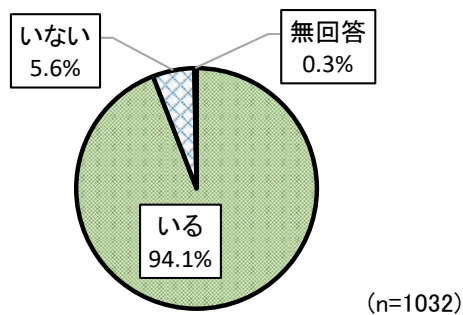
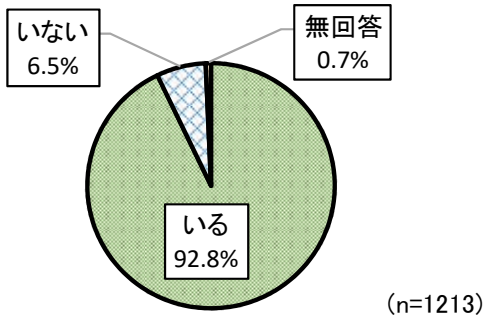
	サンプル数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
全体	1032	0.2	17.5	62.7	19.2	0.4	0.0	0.0	0.0
0歳	89	0.0	32.6	62.9	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0
1-2歳	312	0.6	21.5	66.3	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0
3-6歳	625	0.0	13.4	60.8	25.1	0.6	0.0	0.0	0.0
シングルマザー	53	1.9	28.3	58.5	11.3	0.0	0.0	0.0	0.0
シングルファザー	4	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

問6. 配偶者の有無

<前回>

<今回>

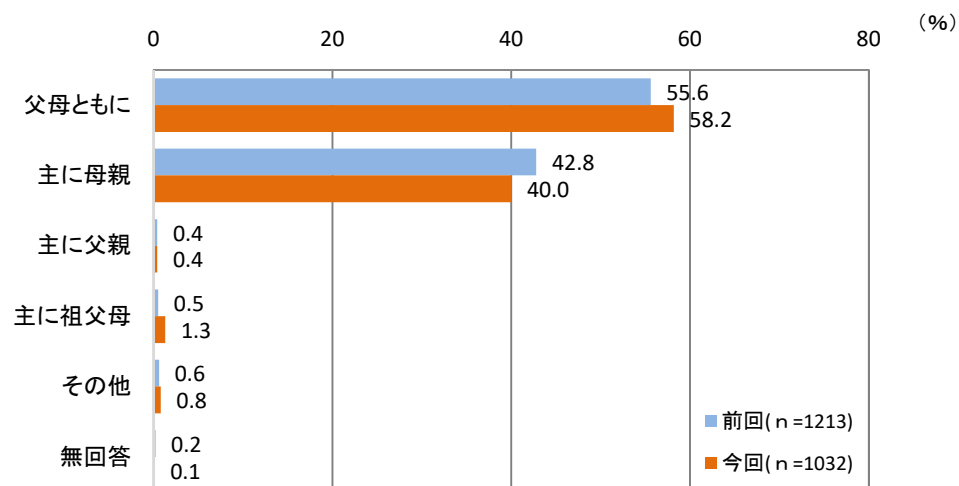


<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	いる	いない	無回答
全体	1032	94.1	5.6	0.3
0歳	89	97.8	1.1	1.1
1-2歳	312	95.8	3.8	0.3
3-6歳	625	92.8	7.0	0.2

サンプル数：人 単位：%

問7. 子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全体	1032	58.2	40.0	0.4	1.3	0.8	0.1
0歳	89	55.1	43.8	0.0	0.0	1.1	0.0
1-2歳	312	58.7	40.7	0.0	1.0	1.0	0.0
3-6歳	625	58.6	39.0	0.6	1.6	0.6	0.2
シングルマザー	53	0.0	92.5	0.0	1.9	0.0	5.7
シングルファザー	4	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

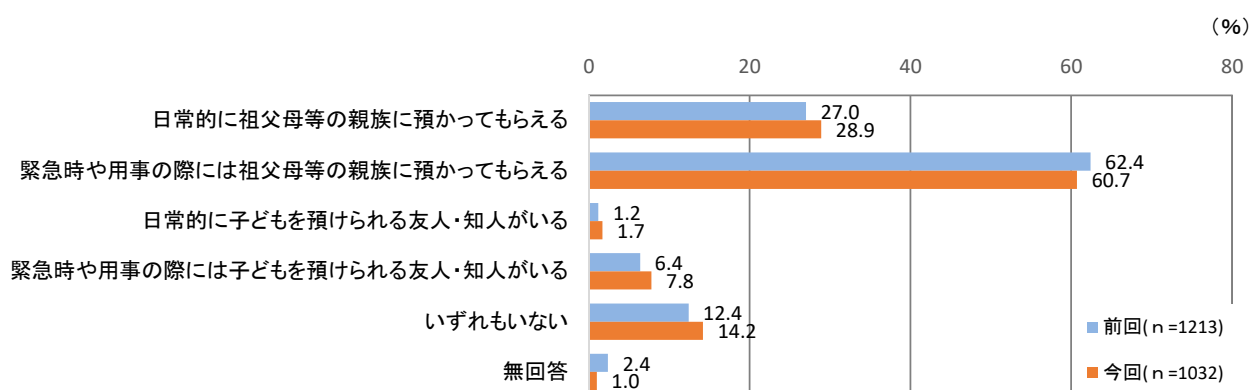
サンプル数：人 単位：%

## 2. 子の育ちをめぐる環境について

子どもを預かる人の有無について、その状況をみると、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が 28.9%、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が 60.7%となっています。一方、「いずれもない」が 14.2%となっています。

また、祖父母等の親族または友人・知人に預かってもらっている状況では「特に問題はない」が 65.0%と6割を超えていますが、「保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」も3割近くとなっています。

問 8. 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



### <年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	緊急時や用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	緊急時や用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
全体	1032	28.9	60.7	1.7	7.8	14.2	1.0
0歳	89	30.3	64.0	2.2	7.9	13.5	1.1
1-2歳	312	28.5	63.8	0.3	4.5	14.7	1.6
3-6歳	625	29.0	58.6	2.4	9.6	14.1	0.6
シングルマザー	53	43.4	54.7	3.8	5.7	5.7	1.9
シングルファザー	4	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0

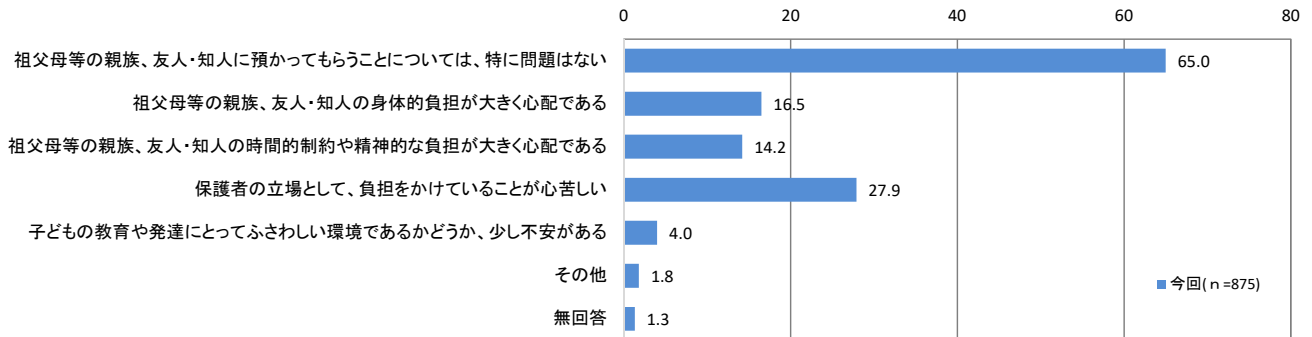
サンプル数：人 単位：%

**問 8 で「1.日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」、「2.緊急時や用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」、「3.日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」、「4.緊急時や用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」のいずれかに○をした方にお伺いします。**

問 8-1. 祖父母等の親族または友人・知人に預かってもらっている状況をお答えください。

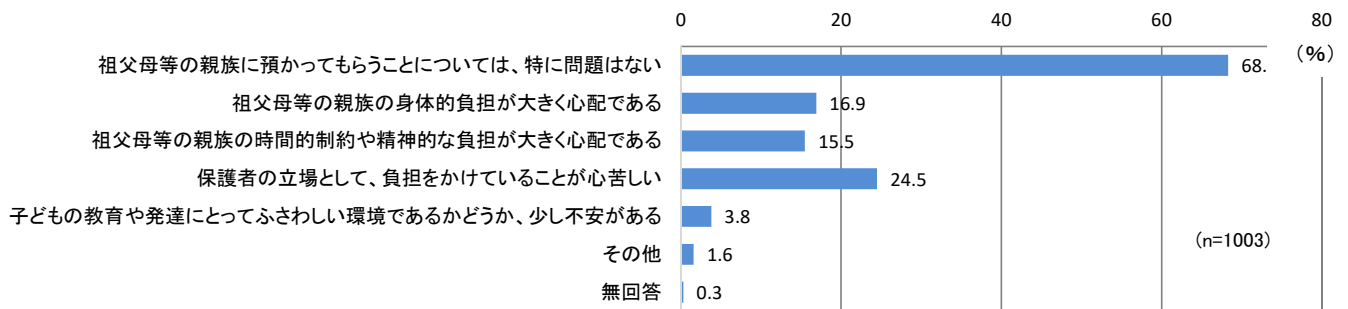
(あてはまるものすべてに○)

(%)

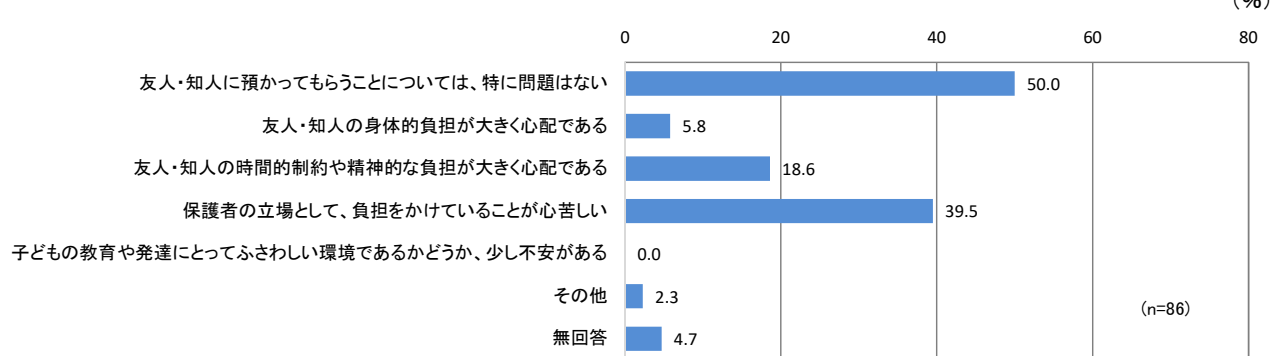


※前回調査は「祖父母等の親族」と「友人・知人」を別回答

**<前回> 祖父母等の親族に預かってもらっている状況**



**<前回> 友人・知人に預かってもらっている状況**



**<年齢別・ひとり親家庭別>**

	サンプル数	祖父母等の親族、友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない	祖父母等の親族、友人・知人の身体的負担が大きく心配である	祖父母等の親族、友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である	保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある	その他	無回答
全体	875	65.0	16.5	14.2	27.9	4.0	1.8	1.3
0歳	76	67.1	14.5	13.2	25.0	2.6	3.9	0.0
1-2歳	261	64.8	19.5	16.9	29.5	5.0	1.9	0.4
3-6歳	533	65.3	15.2	12.9	27.4	3.8	1.3	1.9
シングルマザー	49	63.3	16.3	18.4	32.7	6.1	2.0	2.0
シングルファザー	4	50.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

### 3. 保護者の就労状況について

#### 3-1. 保護者の就労形態

母親の就労状況をみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 30.5%で最も多く、次いで、「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中を除く）」が 27.8%、「フルタイム以外で就労している（産休・育休・介護休業中を除く）」が 25.1%となっています。前回調査と比較すると、「フルタイムで就労している」が 7.0 ポイント増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 8.4 ポイント減少しています。父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中を除く）」が 91.7%となっています。

母親の 1 週あたりの就労日数は、「5 日」が 68.0%で最も多く、平均 4.7 日、1 日あたりの就労時間数は、「8～9 時間未満」が最も多く、平均は 6.9 時間となっています。

父親の 1 週あたりの就労日数は、「5 日」と「6 日」が多く、平均は 5.3 日、1 日あたりの就労時間数は、「8～9 時間未満」が最も多く、平均は 9.3 時間となっています。

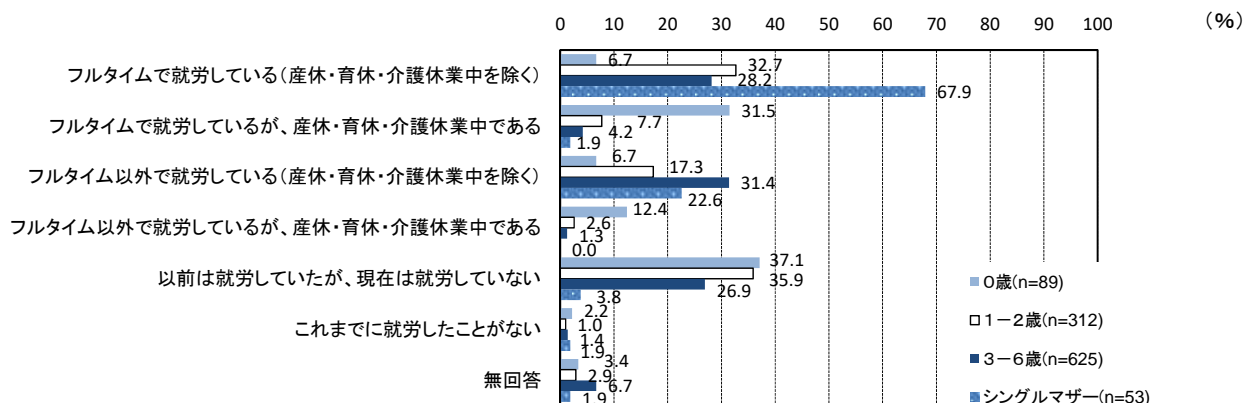
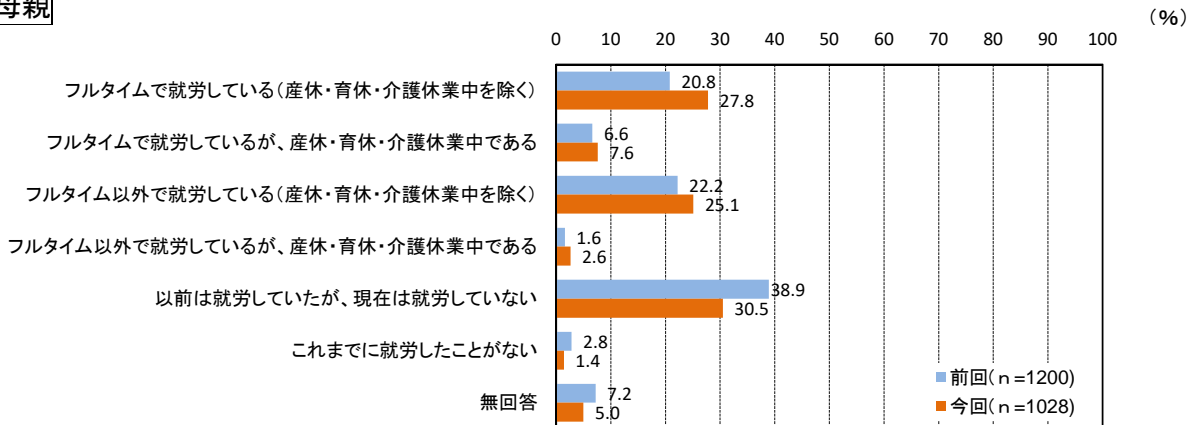
母親の出勤時間は「7 時台」が 40.1%で最も多く、帰宅時間は「18 時台」が 33.9%で最も多くなっています。父親の出勤時間は「7 時台」が 53.7%で最も多く、帰宅時間は「19 時台」を中心に「18 時台」から「20 時台」に分散しています。

※以下は、回答者数が1人の「その他」を除きます。

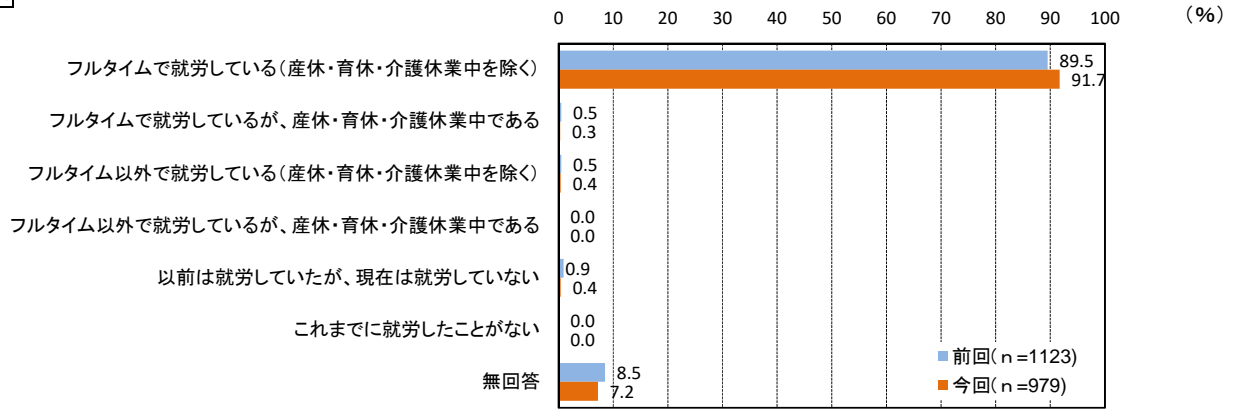
#### すべての方にお伺いします。

問9. 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

#### 母親



**父親**

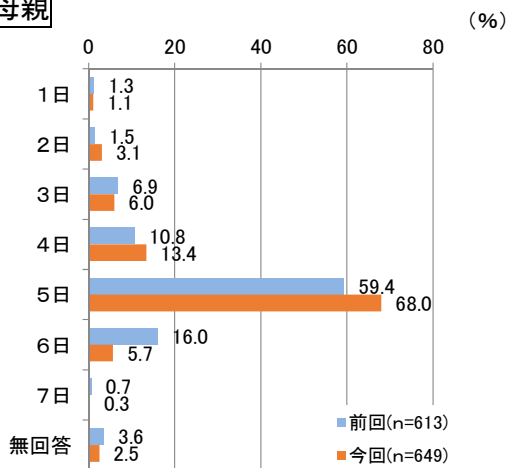


**問 9 で「1.フルタイムで就労している(産休・育休・介護休業中を除く)」、「2.フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「3.フルタイム以外で就労している(産休・育休・介護休業中を除く)」、「4.フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを選択した方にお伺いします。**

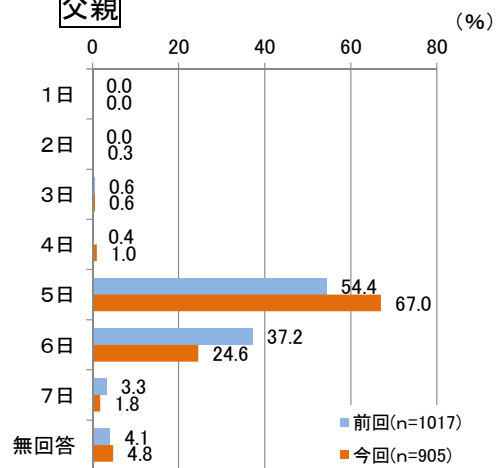
問 9-1. 現在の就労日数、就労時間などの就労条件をお答えください。

**【1 週あたり就労日数】**

**母親**

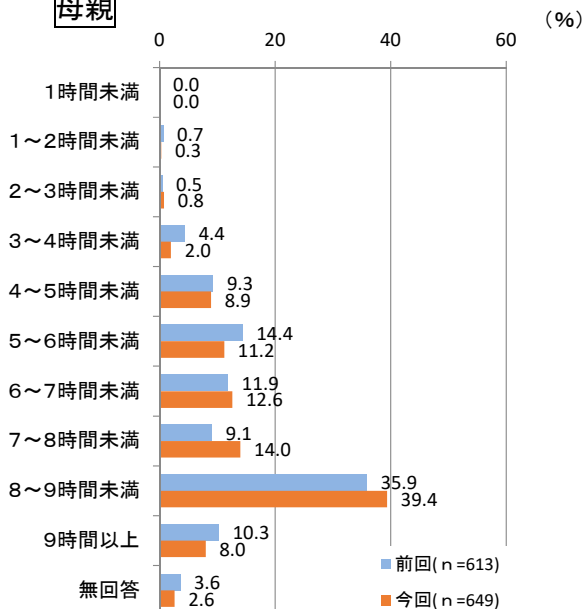


**父親**

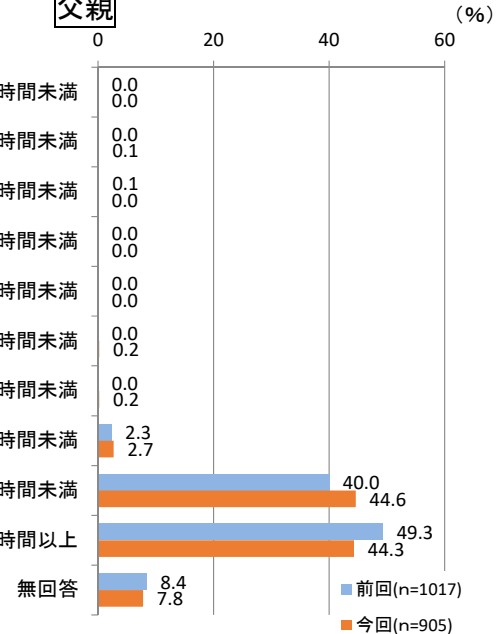


**【1 日あたり就労時間数】**

**母親**



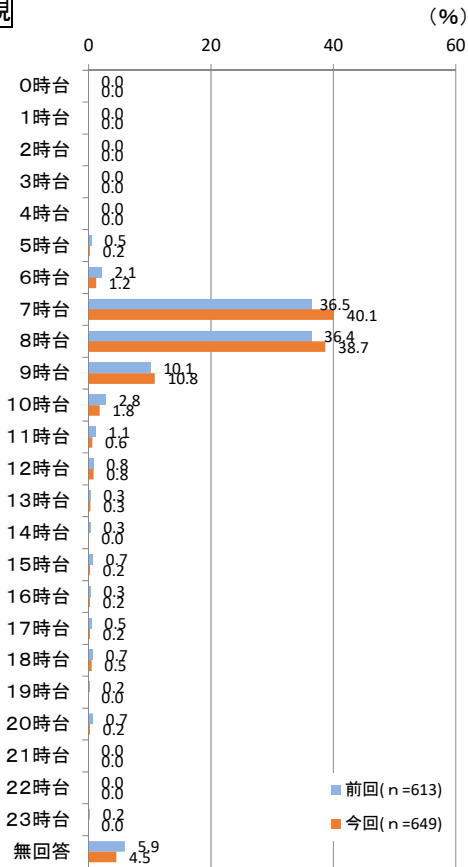
**父親**



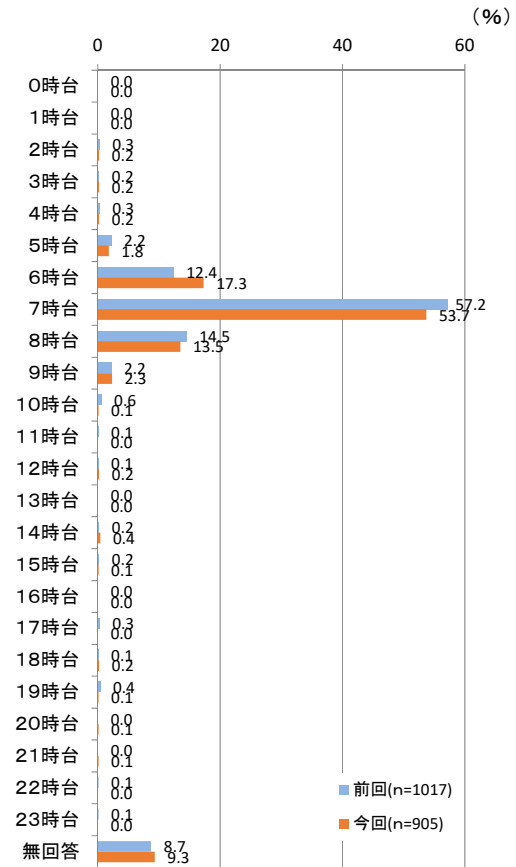


### 【出勤時間】

母親

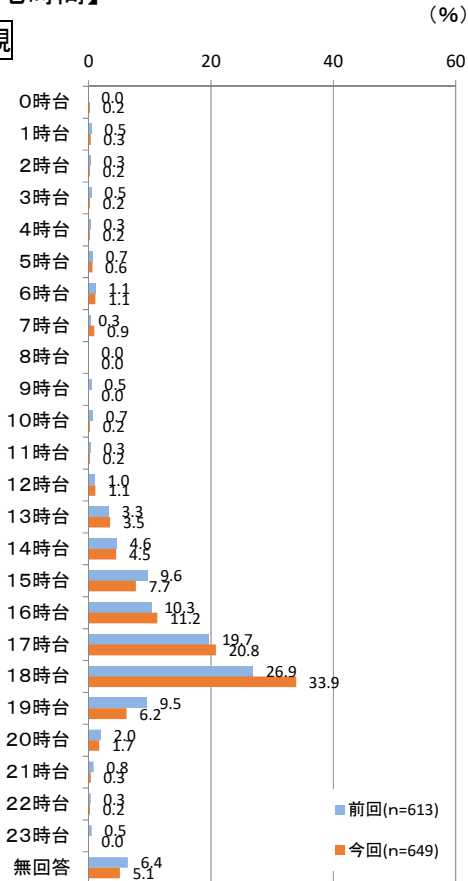


父親

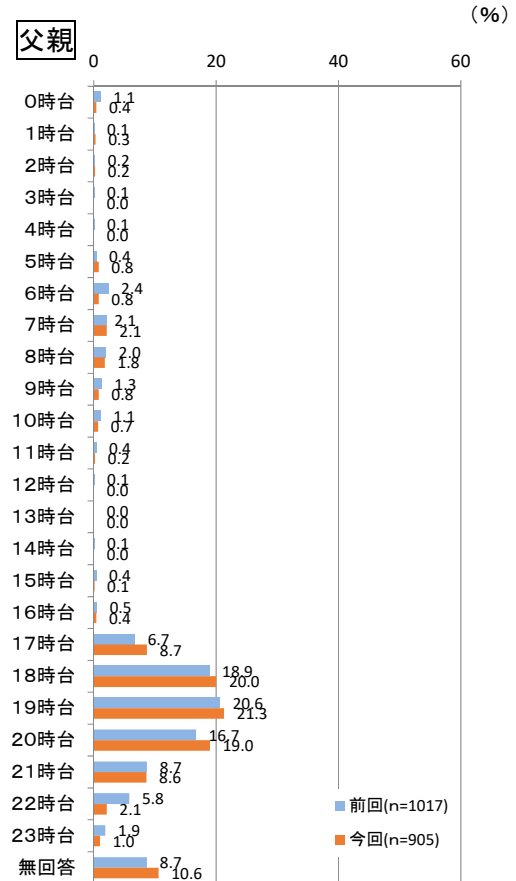


### 【帰宅時間】

母親



父親



### 3-2. フルタイムへの転換希望（母親）

母親のフルタイムへの転換希望についてみると、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が 54.4%で最も多く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 28.4%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 10.2%となっています。

全体でみるとフルタイムへの転換希望は 38.6%で、前回調査と比較すると 8.0 ポイント増加しています。フルタイム転換希望者のなかで実現できる見込みがある人は 10.2%となっています。

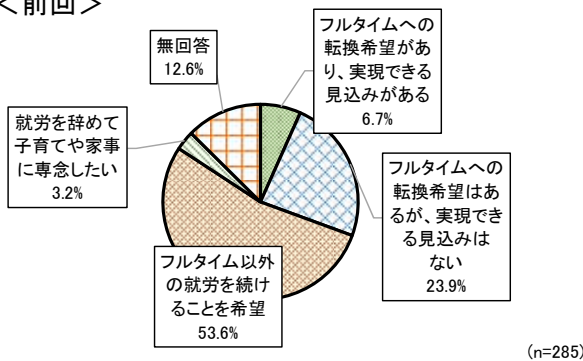
※以下は、対象者数が5人以下の「父親」「その他」を除きます。

**問 9 で「3.フルタイム以外で就労している（産休・育休・介護休業中を除く）」または「4.フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選択した方にお伺いします。**

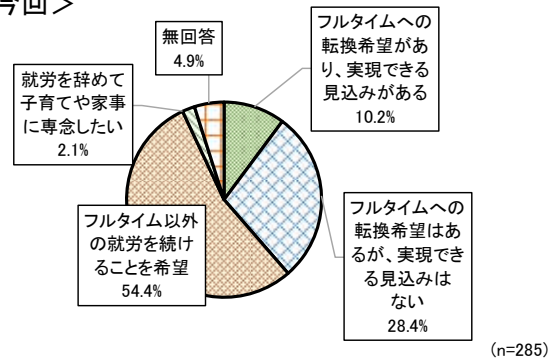
問 9-2. 現在、フルタイムへの転換希望はありますか。

**母親**

＜前回＞



＜今回＞



＜年齢別・ひとり親家庭別＞

	サンプル数	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	フルタイム以外の就労を続けることを希望	就労を辞めて子育てや家事に専念したい	無回答
全体	285	10.2	28.4	54.4	2.1	4.9
0歳	17	11.8	47.1	29.4	5.9	5.9
1-2歳	62	17.7	21.0	54.8	1.6	4.8
3-6歳	204	7.8	29.4	55.9	2.0	4.9
シングルマザー	12	25.0	58.3	16.7	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

### 3-3. 現在就労していない母親の就労意向

#### (1) 就労意向

現在就労していない母親の就労意向をみると、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が24.1%、「1年より先に就労したい」が46.3%と、全体の就労意向は7割近くになっています。

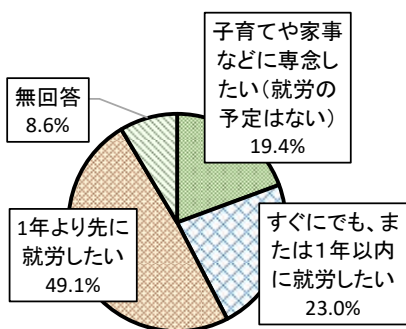
また、「1年より先に就労したい」と答えた人において、子どもが何歳になったら就労したいかをみると、3歳が36.8%と最も多く、平均4.3歳となっています。

**問9で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまでに就労したことがない」を選択した方にお伺いします。**

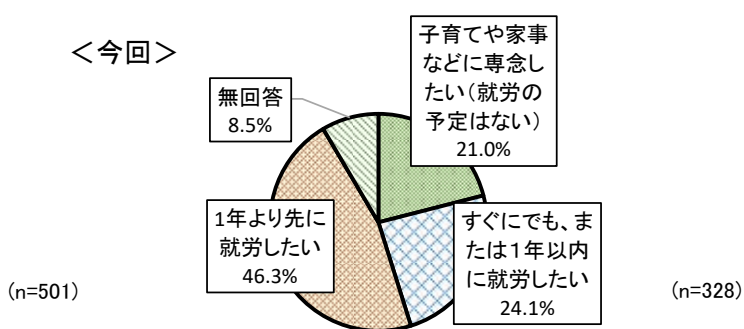
問9-3. 今後の就労希望はありますか。

**母親**

<前回>



<今回>

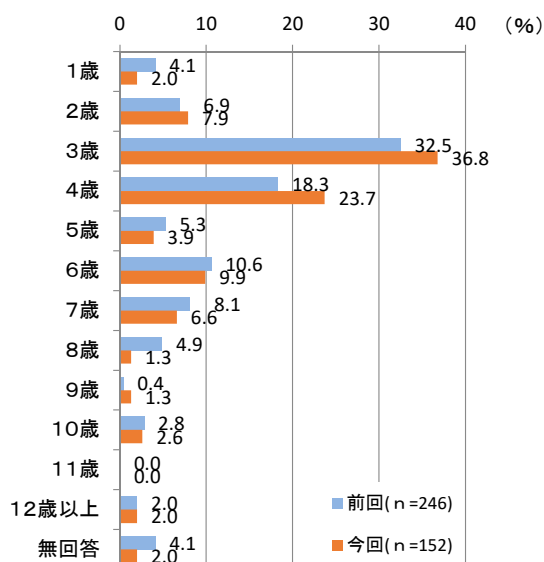


<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	すぐにでも、または1年以内に就労したい	1年より先に就労したい	無回答
全体	328	21.0	24.1	46.3	8.5
0歳	35	14.3	28.6	48.6	8.6
1-2歳	115	16.5	22.6	54.8	6.1
3-6歳	177	24.9	24.3	40.7	10.2
シングルマザー	3	0.0	66.7	33.3	0.0

サンプル数：人 単位：%

**【就労を希望するときの子どもの年齢】**



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	就労希望年齢平均
全体	152	4.34
0歳	17	4.21
1-2歳	63	3.58
3-6歳	72	5.05

サンプル数：人 単位：歳

## (2) 就労希望の形態（母親）

今後就労希望のある母親の希望する就労形態としては、「フルタイム」による就労は11.3%、「フルタイム以外」が82.7%と「フルタイム以外」が多くなっています。

フルタイム以外の就労要件としては、希望就労日数は1週あたり3日が最も多く、平均は3.9日、希望就労時間数は1日あたり5～6時間未満が最も多く、平均で4.8時間となっています。

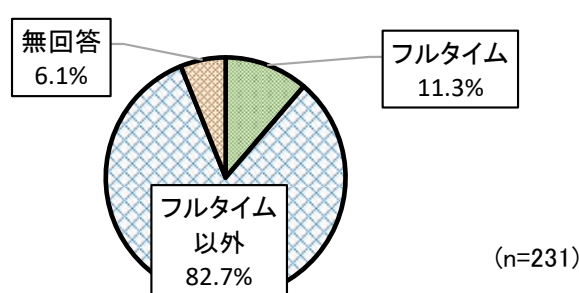
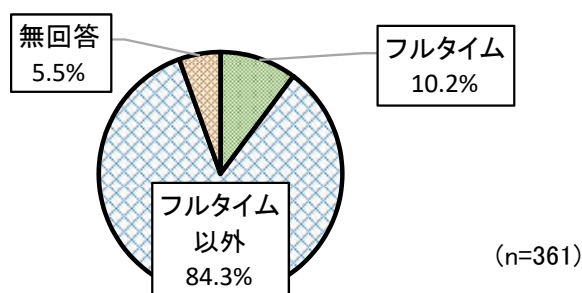
また、就労希望がありながら、現在働いていない理由としては、「自分の子育てや家事に専念したい」が41.1%で最も多く、次いで「教育・保育事業が利用できれば就労したい」が18.2%となっています。前回調査と比較すると、「教育・保育事業が利用できれば就労したい」が7.7ポイント増加し、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が7.4ポイント減少しています。

**問 9-3 で「2.すぐにでも、または1年以内に就労したい」または「3.1年より先に就労したい」を選択した方にお伺いします。**

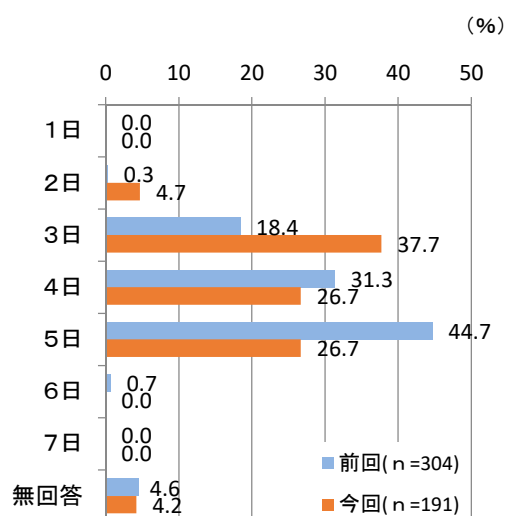
問 9-4. 就労希望の形態はどのようなものですか。

<前回>

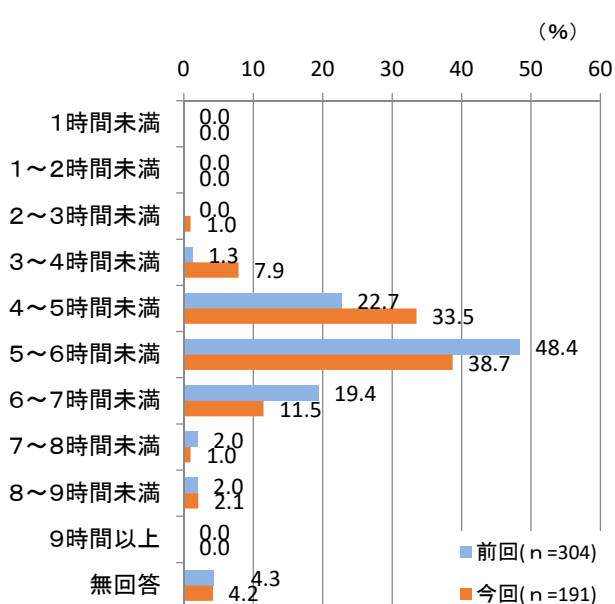
<今回>



【1週あたり希望就労日数(フルタイム以外)】



【1日あたり希望就労時間数(フルタイム以外)】

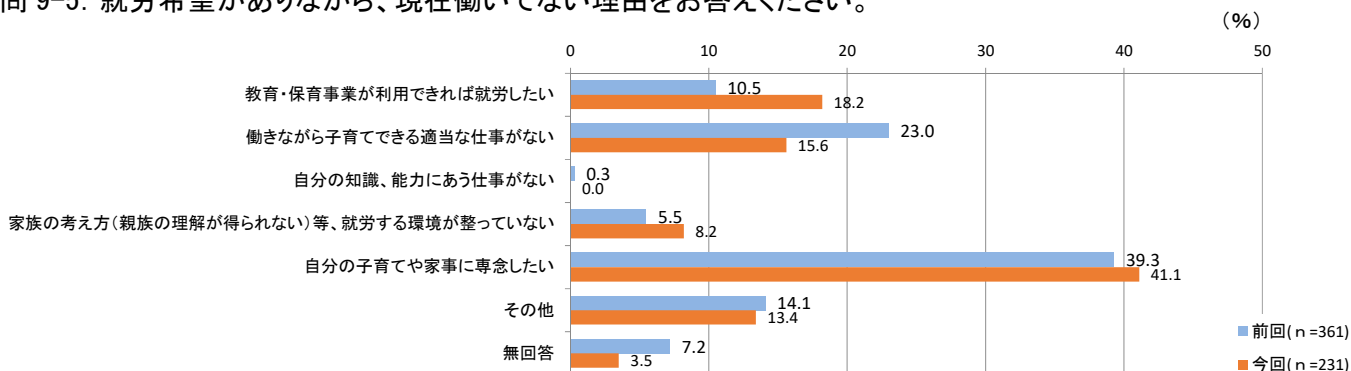


<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	就労希望形態			就労希望 日数平均	就労希望 時間平均
		フルタイム	フルタイム以 外	無回答		
全体	231	11.3	82.7	6.1	3.9日	4.8時間
0歳	27	18.5	70.4	11.1	4.1日	5.1時間
1-2歳	89	18.0	77.5	4.5	3.9日	4.6時間
3-6歳	115	4.3	89.6	6.1	3.9日	4.8時間
シングルマザー	3	0.0	100.0	0.0	4.0日	5.3時間

サンプル数：人 単位：%

問 9-5. 就労希望がありながら、現在働いてない理由をお答えください。



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	教育・保育事業が利用できれば就労したい	働きながら子育て出来る適当な仕事がない	自分の知識・能力にあう仕事がない	家族の考え方等、就労する環境が整っていない	自分の子育てや家事に専念したい	その他	無回答
全体	231	18.2	15.6	0.0	8.2	41.1	13.4	3.5
0歳	27	25.9	11.1	0.0	7.4	33.3	11.1	11.1
1-2歳	89	21.3	14.6	0.0	6.7	39.3	16.9	1.1
3-6歳	115	13.9	17.4	0.0	9.6	44.3	11.3	3.5
シングルマザー	3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

### 3-4. 出産前後の離職について（母親）

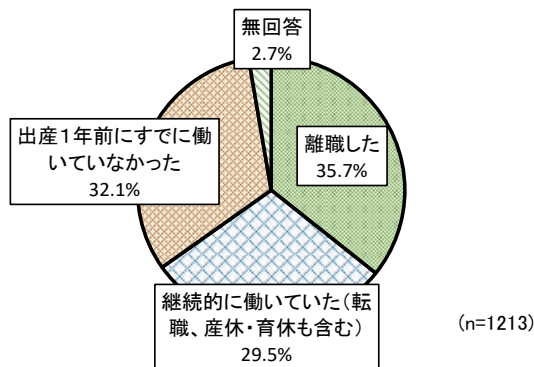
母親が出産前後に離職したかについてみると、「継続的に働いていた」が 36.5%で最も多く、次いで「離職した」が 32.0%、「出産 1 年前にすでに働いていなかった」が 20.0%となっています。前回調査と比較すると、「継続的に働いていた」が 7.0 ポイント増加し、「出産 1 年前にすでに働いていなかった」が 12.1 ポイント減少しています。

このうち、「離職した」人の就労継続の環境としては、「いずれにしても辞めていた」が 40.3%で最も多くなっています。

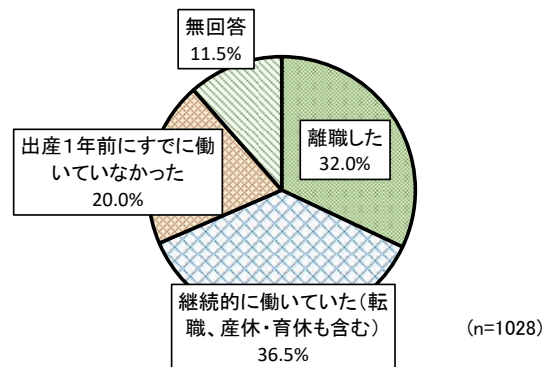
#### 父子家庭の方など該当しない方は、問 11 にお進みください。

問 10. お子さんの母親は、出産前後(前後それぞれ 1 年以内)に離職しましたか。(1 つに○)

<前回>



<今回>



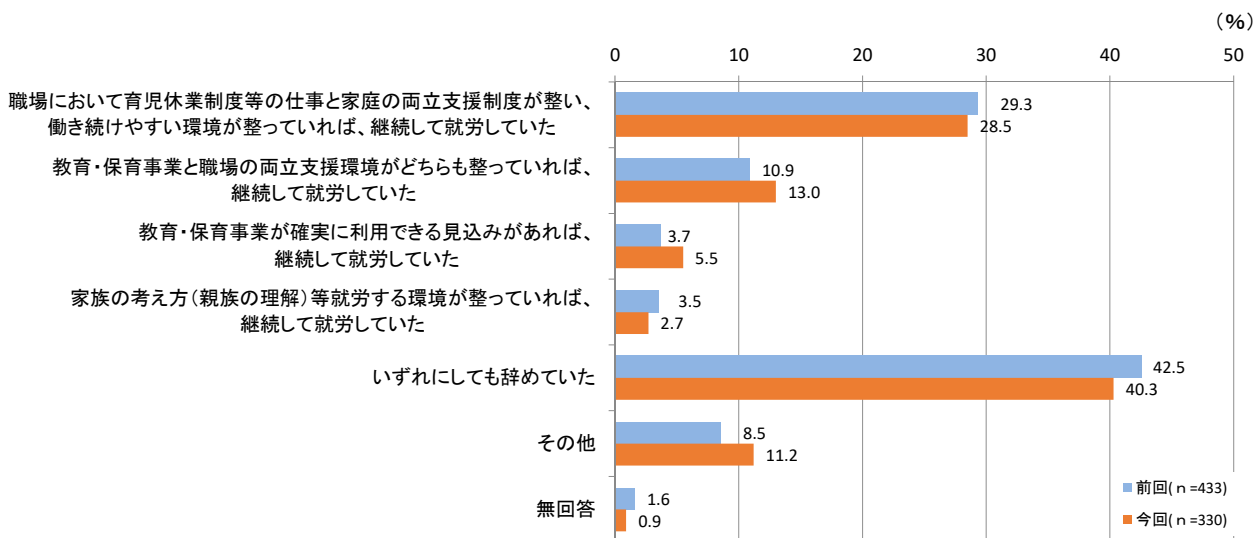
<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	離職した	継続的に働いていた	出産1年前にすでに働いていなかった	無回答
全体	1028	32.0	36.5	20.0	11.5
0歳	89	23.6	51.7	16.9	7.9
1-2歳	312	27.2	42.6	17.9	12.2
3-6歳	621	35.6	31.2	21.4	11.8
シングルマザー	53	39.6	32.1	17.0	11.3

サンプル数：人 単位：%

問 10 で「1.離職した」に○をした方にお伺いします。

問 10-1. どのような環境が整っていたら、就労を継続しましたか。(1 つに○)



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	教育・保育事業が確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた	職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた	教育・保育事業と職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた	家族の考え方等就労する環境が整っていれば、継続して就労していた	いずれにしても辞めていた	その他	無回答
全体	330	5.5	28.5	13.0	2.7	40.3	11.2	0.9
0歳	21	4.8	23.8	4.8	4.8	38.1	28.6	0.0
1-2歳	85	5.9	22.4	9.4	2.4	48.2	14.1	0.0
3-6歳	222	5.4	31.5	15.3	2.3	37.4	8.6	1.4
シングルマザー	21	9.5	28.6	9.5	0.0	38.1	14.3	4.8
シングルファザー	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

## 4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

### 4-1. 利用している事業

定期的な教育・保育事業を利用している子どもは、防府市内 72.2%、市外 1.0%を合わせて 73.2%となっています。前回調査と比較すると、「防府市内で利用している」が 10.0 ポイント増加しています。

利用している事業の内訳をみると、「認可保育所」が 37.7%で最も多く、次いで「認定こども園」が 29.9%、「幼稚園」が 21.2%となっています。

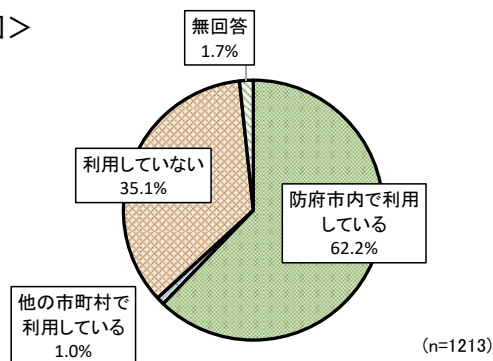
前回調査と比較すると、「認定こども園」が 18.4 ポイント増加し、「幼稚園」が 19.9 ポイント減少しています。

#### すべての方にお伺いします。

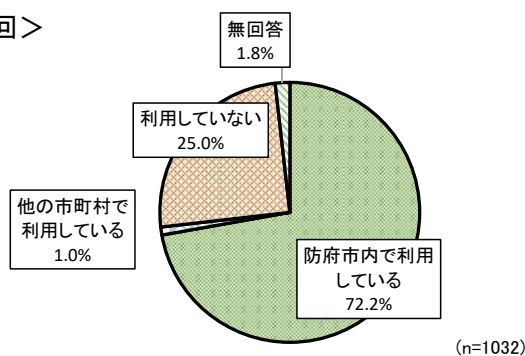
問 11. お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。

(1つに○)

<前回>



<今回>

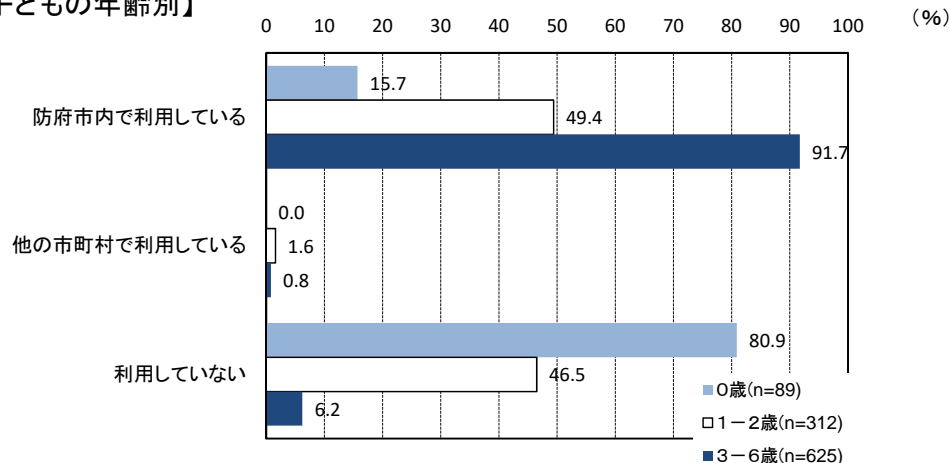


#### <年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	防府市内で利用している	他の市町村で利用している	利用していない	無回答
全体	1032	72.2	1.0	25.0	1.8
シングルマザー	53	88.7	1.9	3.8	5.7
シングルファザー	4	100.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

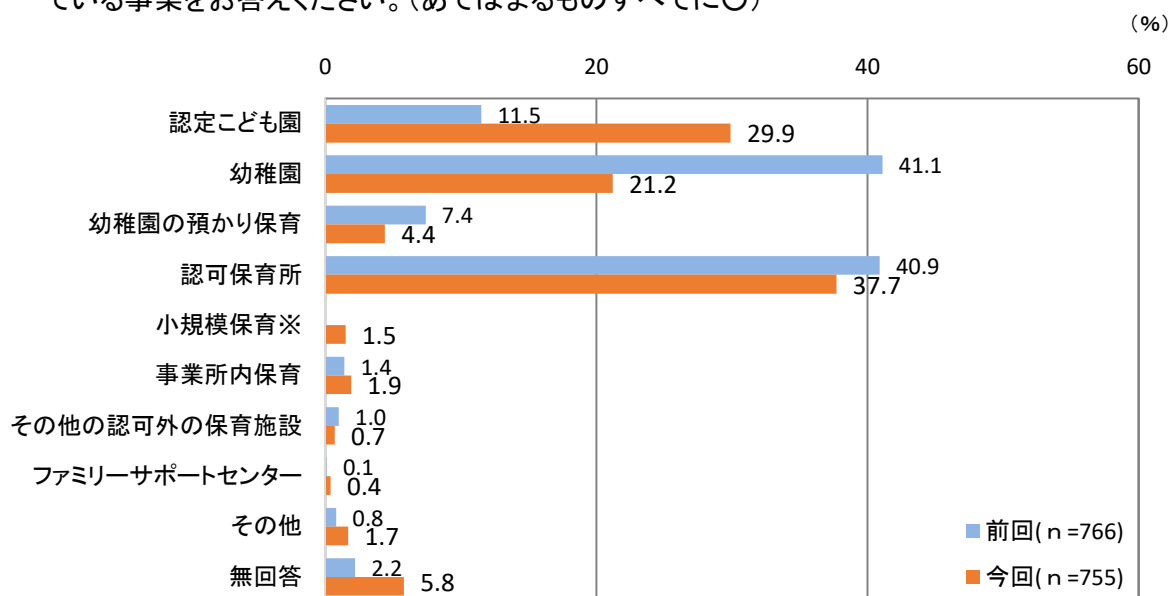
#### 【子どもの年齢別】





問 11 で「1.防府市内で利用している」または「2.他の市町村で利用している」に○をした方にお伺いします。

問 11-1. お子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



※前回調査にない項目

<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	認定こども園	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	小規模保育
全体	755	29.9	21.2	4.4	37.7	1.5
0歳	14	7.1	0.0	0.0	64.3	7.1
1-2歳	159	22.6	1.3	0.0	63.5	2.5
3-6歳	578	32.7	27.2	5.5	30.3	1.0
シングルマザー	48	25.0	10.4	2.1	45.8	2.1
シングルファザー	4	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0
	サンプル数	事業所内保育	その他の認可外の保育施設	ファミリーサポートセンター	その他	無回答
全体	755	1.9	0.7	0.4	1.7	5.8
0歳	14	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1
1-2歳	159	5.0	1.3	1.3	1.9	3.1
3-6歳	578	0.7	0.5	0.2	1.7	6.1
シングルマザー	48	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
シングルファザー	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

#### 4-2. 教育・保育事業の利用日数と利用時間

主要サービスである「認定こども園」「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」「認可保育所」について、それぞれの「現在」「希望」についての平均の1週あたり日数、1日あたりの保育時間、最も多い開始時刻と終了時刻は、以下の通りです。

##### 1. 認定こども園

現在

- ・1週 5.1日      ・1日 7時間 15分 (9時00分/15時00分)

希望

- ・1週 5.2日      ・1日 7時間 50分 (9時00分/16時00分)

##### 2. 幼稚園

現在

- ・1週 5.0日      ・1日 6時間 15分 (9時00分/14時30分)

希望

- ・1週 5.0日      ・1日 7時間 15分 (8時00分/16時00分)

##### 3. 幼稚園の預かり保育

現在

- ・1週 3.7日      ・1日 4時間 10分 (15時30分/18時00分)

希望

- ・1週 4.5日      ・1日 4時間 10分 (15時30分/18時00分)

##### 4. 認可保育所

現在

- ・1週 5.2日      ・1日 9時間 0分 (8時00分/18時00分)

希望

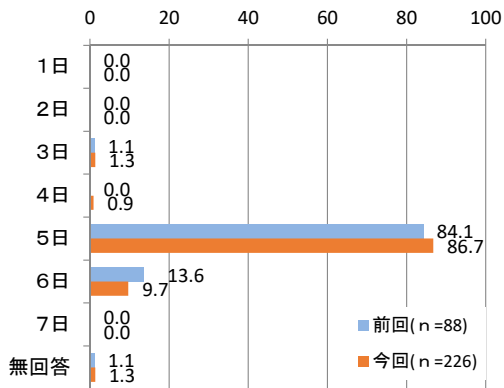
- ・1週 5.3日      ・1日 9時間 20分 (8時00分/18時00分)

現在

■ 認定こども園

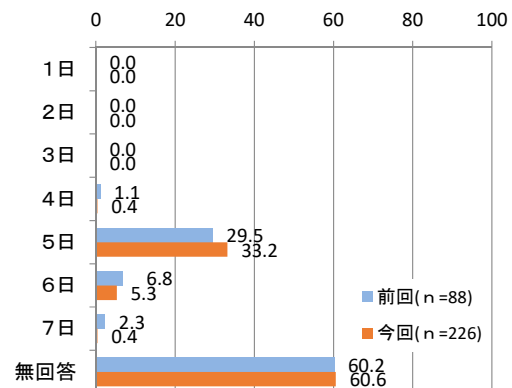
【1週あたりの日数】

(%)



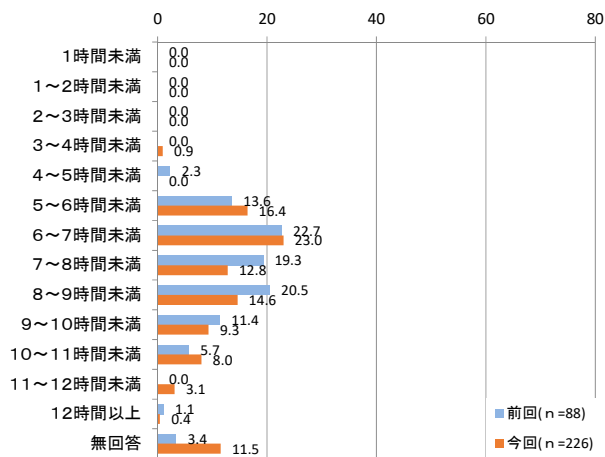
希望

(%)

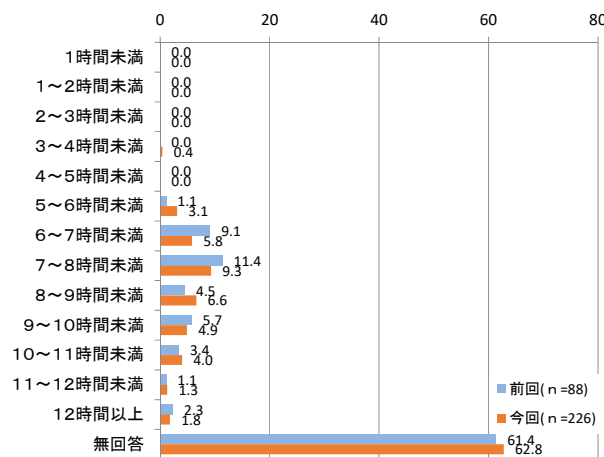


【1日あたり保育時間】

(%)

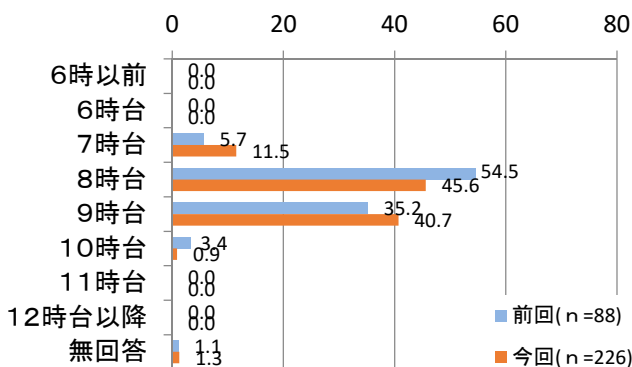


(%)

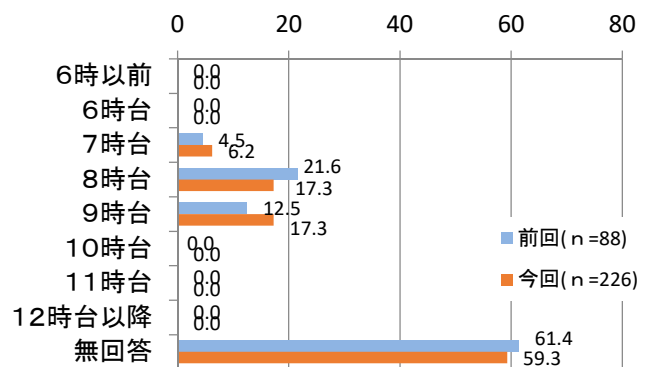


【開始時刻】

(%)

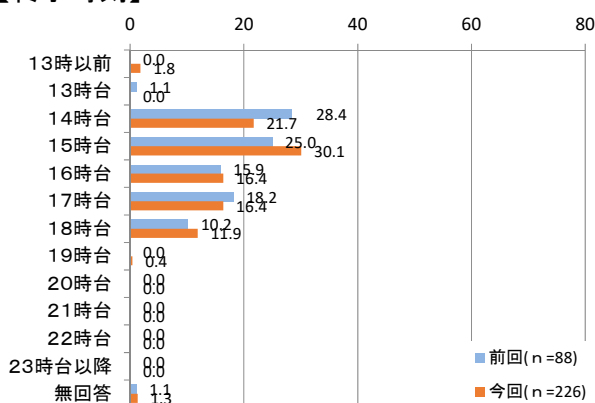


(%)

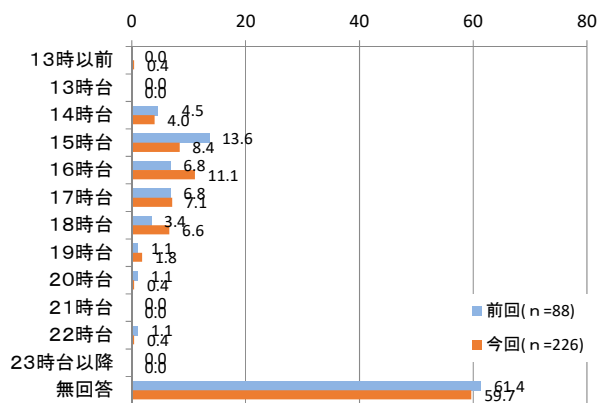


【終了時刻】

(%)



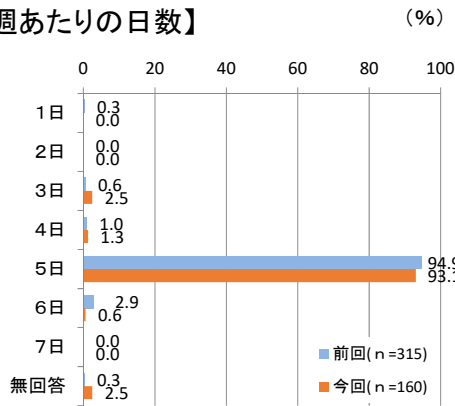
(%)



現在

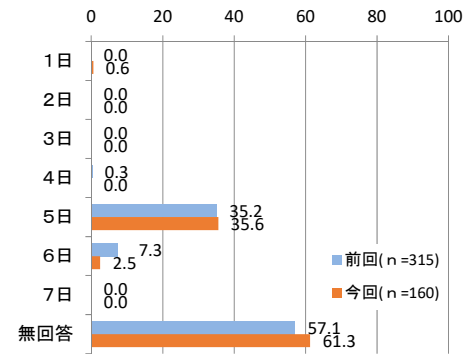
■ 幼稚園

【1週あたりの日数】

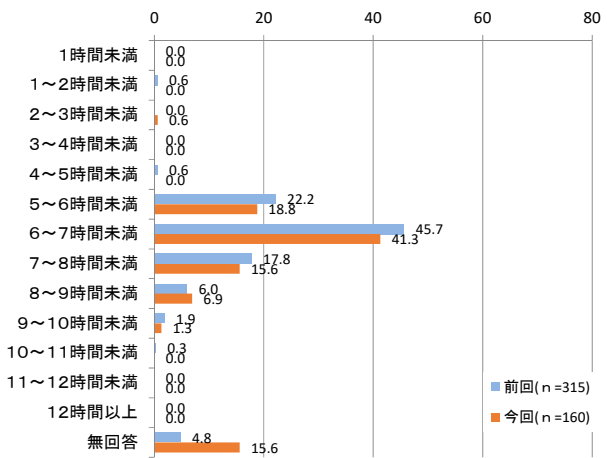


希望

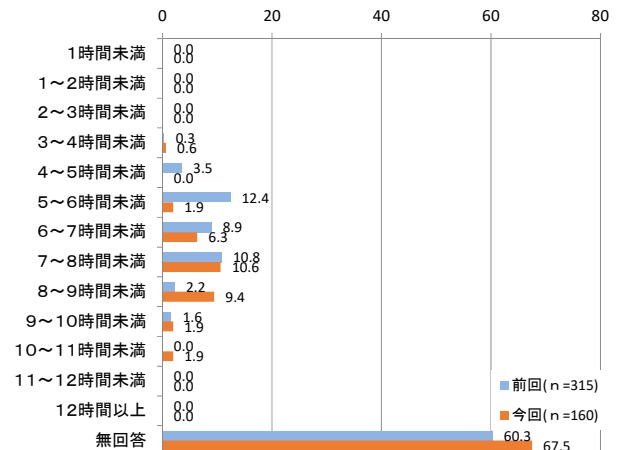
【1週あたりの日数】



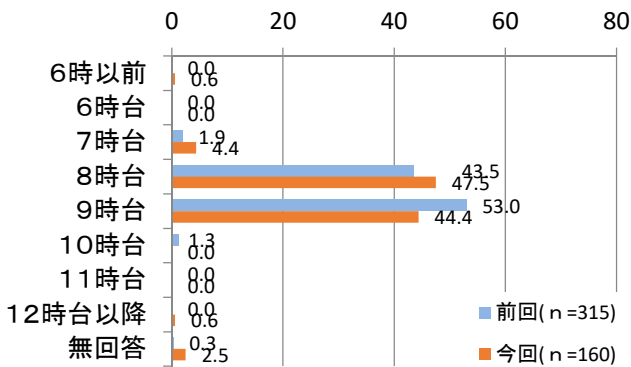
【1日あたり保育時間】



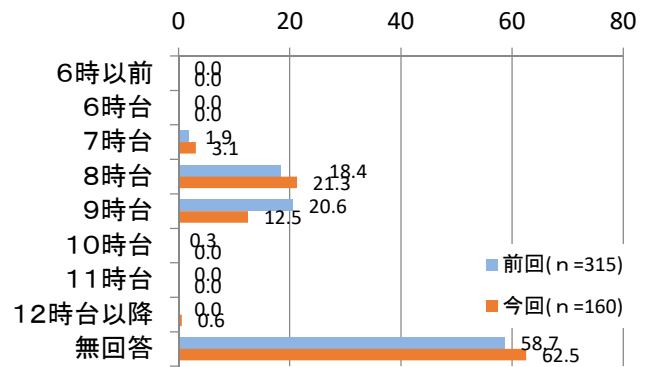
【1日あたり保育時間】



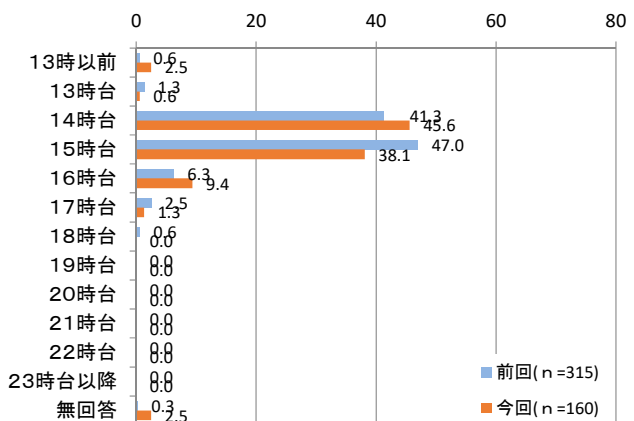
【開始時刻】



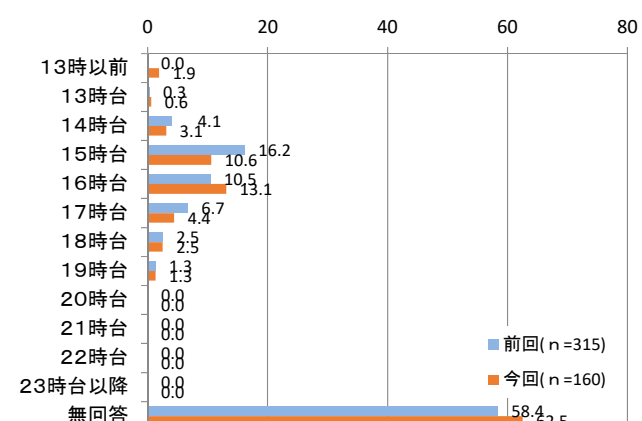
【開始時刻】



【終了時刻】



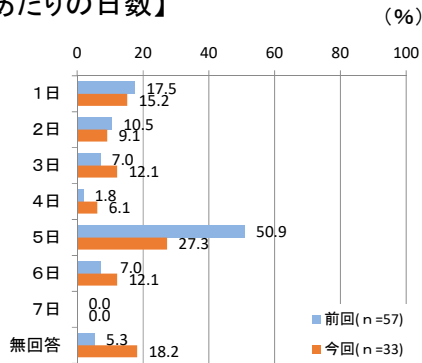
【終了時刻】



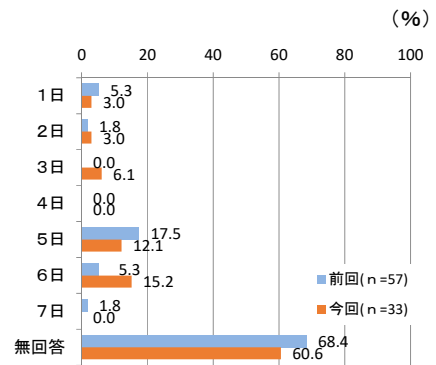
現在

■ 幼稚園の預かり保育

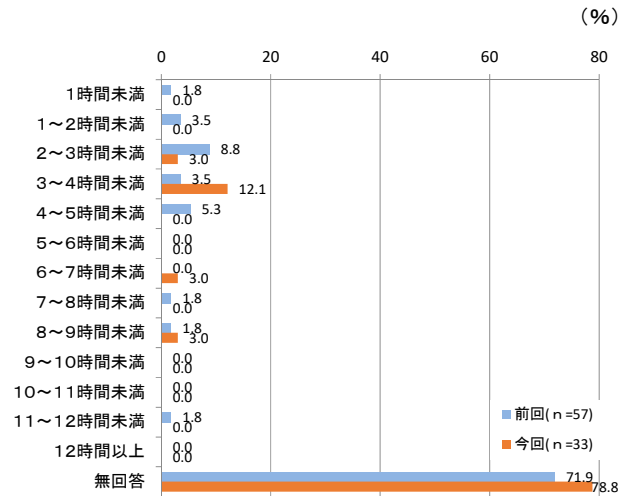
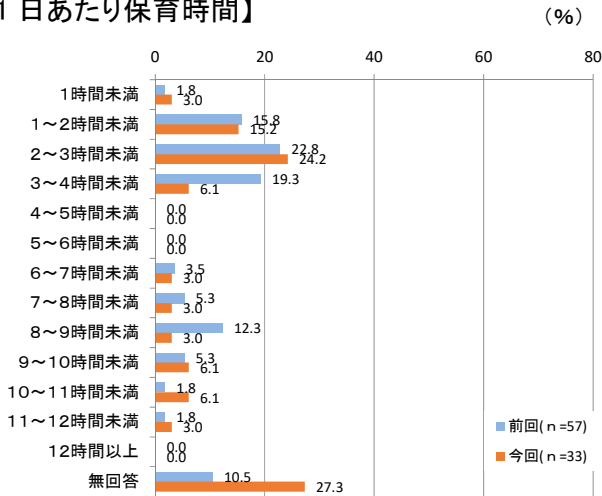
【1週あたりの日数】



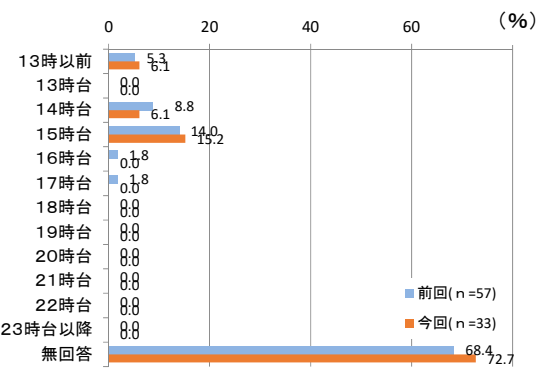
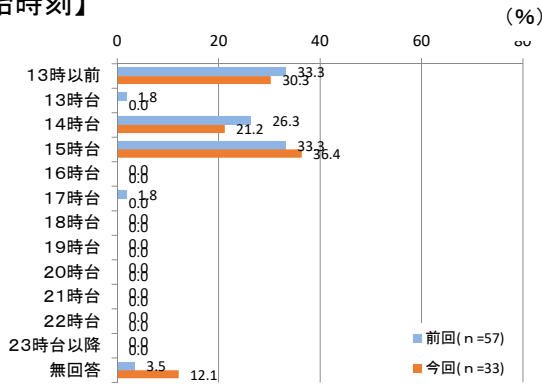
希望



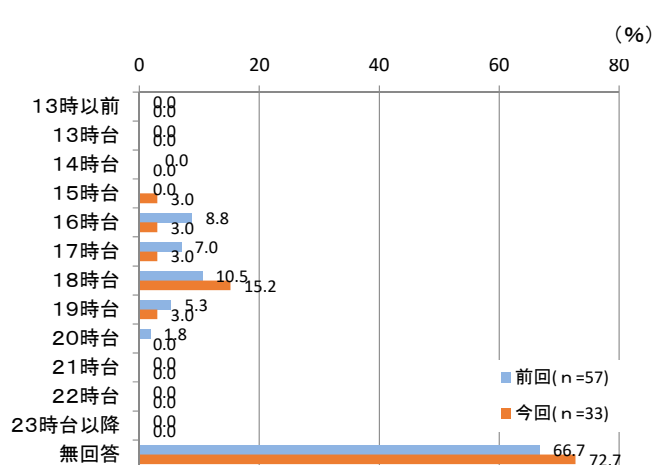
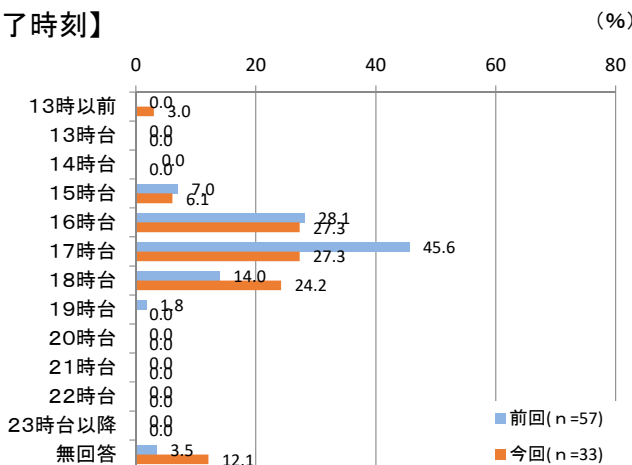
【1日あたり保育時間】



【開始時刻】



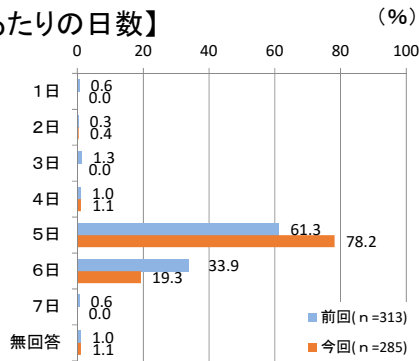
【終了時刻】



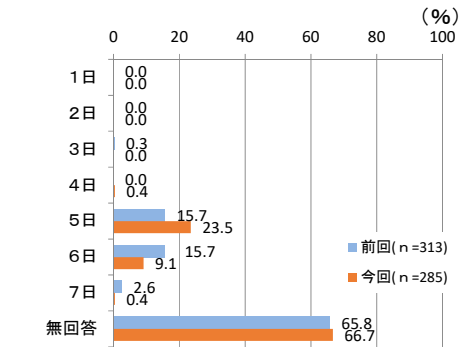
現在

■認可保育所

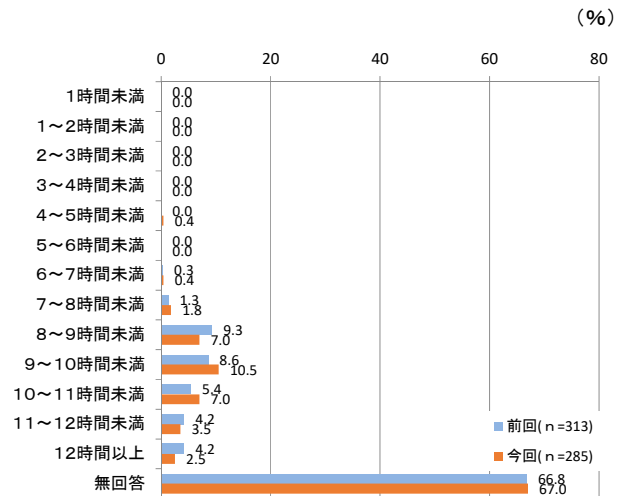
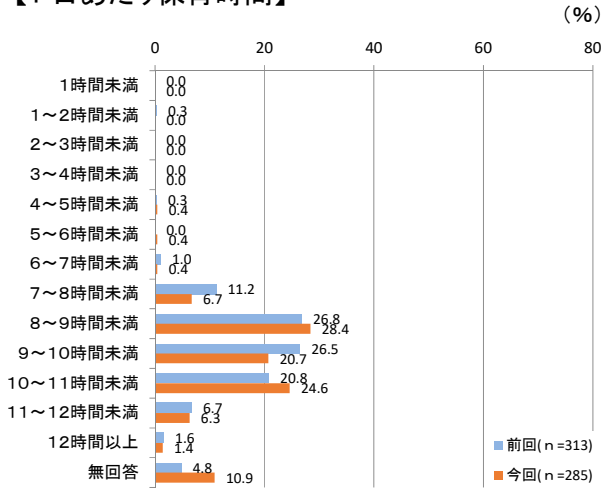
【1週あたりの日数】



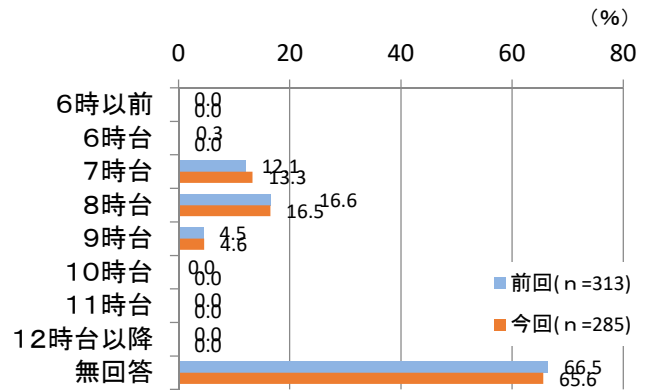
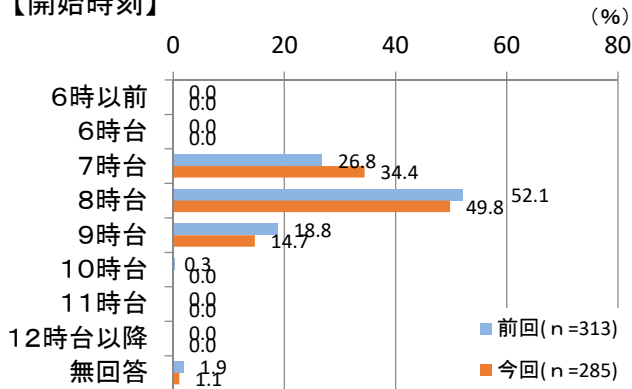
希望



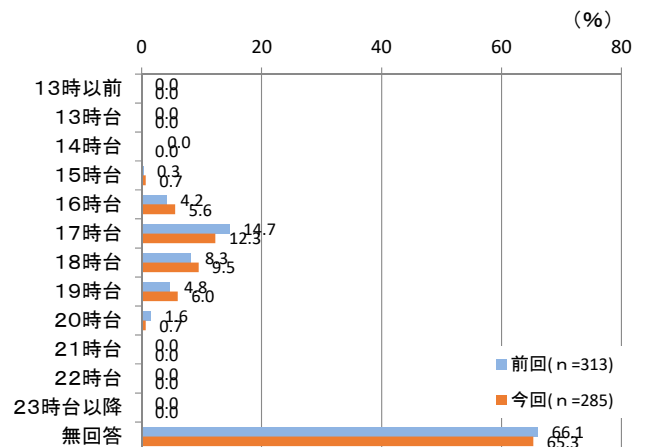
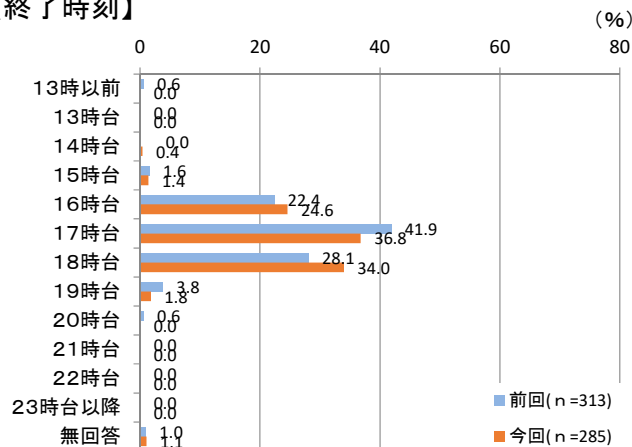
【1日あたり保育時間】



【開始時刻】



【終了時刻】



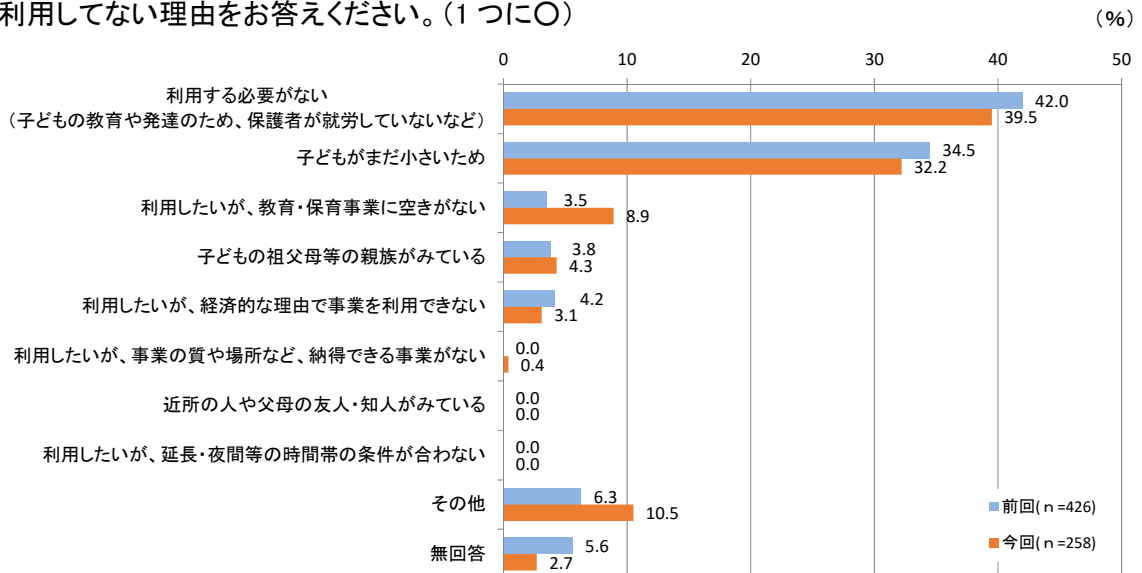
### 4-3. 利用していない理由

利用していない理由としては、「利用する必要がない」が 39.5%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」の 32.2%となっています。

前回調査と比較すると、「利用したいが、教育・保育事業に空きがない」が 5.4 ポイント増加しています。

#### 問 11 で「3.利用していない」に○をした方にお伺いします。

問 11-2. 利用していない理由をお答えください。(1つに○)



#### <年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用する必要がない	子どもの祖父母等の親族がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、教育・保育事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
全体	258	39.5	4.3	0.0	8.9	3.1
0歳	72	23.6	1.4	0.0	9.7	0.0
1-2歳	145	42.1	5.5	0.0	10.3	4.8
3-6歳	39	61.5	5.1	0.0	2.6	2.6
シングルマザー	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サンプル数	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため	その他	無回答
全体	258	0.0	0.4	32.2	10.5	2.7
0歳	72	0.0	0.0	51.4	12.5	1.4
1-2歳	145	0.0	0.0	26.9	9.0	4.1
3-6歳	39	0.0	2.6	12.8	12.8	0.0
シングルマザー	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

## 5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

今後「定期的に」利用したい教育・保育事業をみると、「認定子ども園」が 49.6%（現在利用している 29.9%）で最も多く、次いで「認可保育所」の 41.4%（現在利用している 37.7%）、「幼稚園」の 34.1%（現在利用している 21.2%）、「幼稚園の預かり保育」の 21.0%（現在利用している 4.4%）となっています。前回調査と比較すると、「認定こども園」が 22.1 ポイント増加しています。

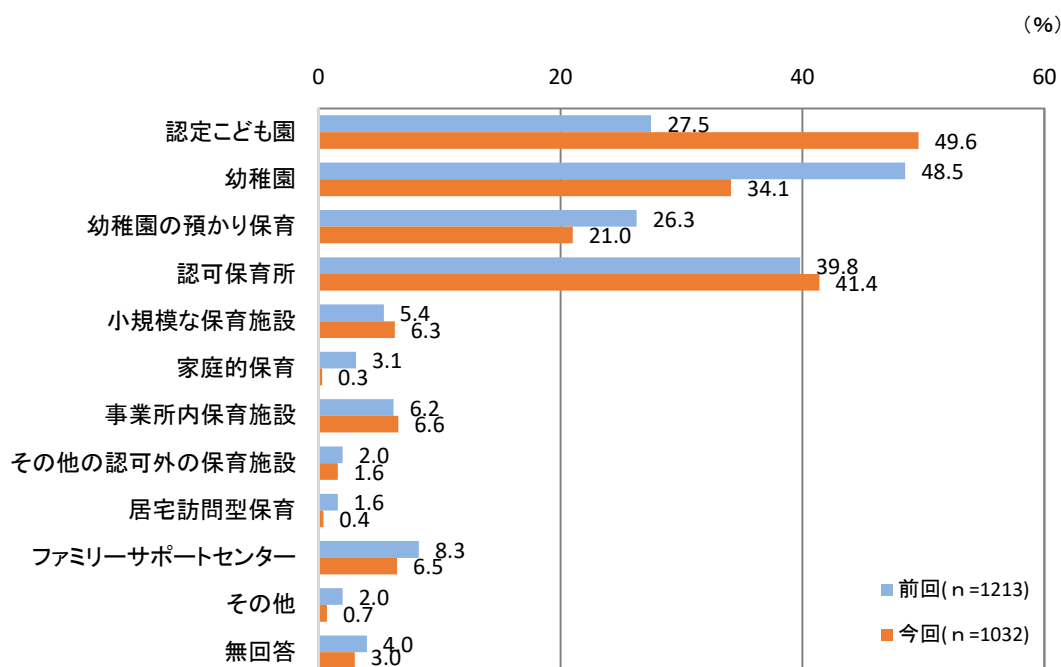
これら主要サービスの利用したい場所は、いずれも9割以上が「防府市内」を希望しています。

幼児教育無償化による事業利用の変更についての意向では、「変更することはない」が 78.5%となっています。

幼児教育無償化による影響・効果については、「子育て家庭の経済的負担軽減につながる」が 70.0%で最も多く、次いで「保育園を希望する人がさらに増え、待機児童が増える」の 36.5%、「子育てしやすい環境づくりとなり、少子化対策につながる」の 35.2%となっています。

### すべての方にお伺いします。

問 12. 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育の事業として、今後「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）  
また、選択した事業について、利用したい場所もそれぞれお答えください。





<年齢別・ひとり親家庭別>

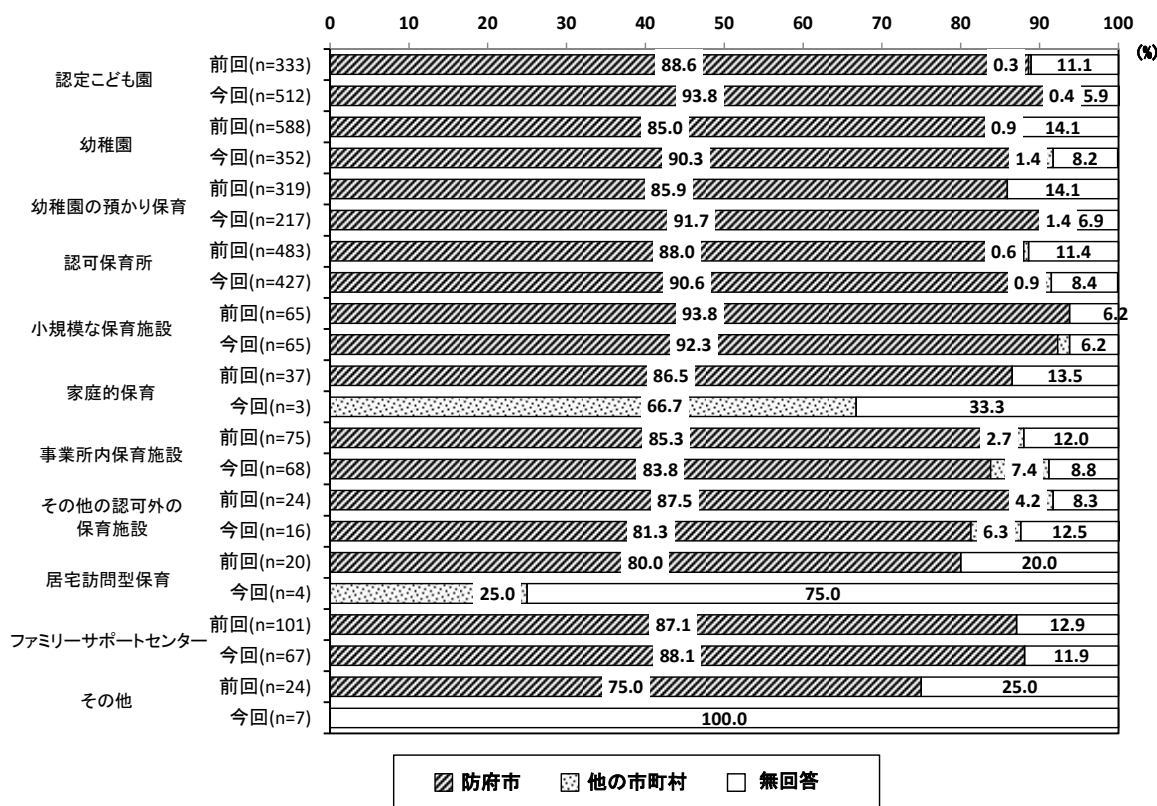
	サンプル数	認定 こども園	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	認可保育所	小規模な 保育施設	家庭的保育
全体	1032	49.6	34.1	21.0	41.4	6.3	0.3
0歳	89	58.4	38.2	23.6	59.6	14.6	0.0
1-2歳	312	58.7	31.4	20.8	51.3	9.6	0.0
3-6歳	625	44.0	34.6	20.6	33.9	3.5	0.5
シングルマザー	53	28.3	11.3	9.4	52.8	0.0	0.0
シングルファザー	4	75.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0

	サンプル数	事業所内 保育施設	その他の認 可外の 保育施設	居宅訪問型 保育	ファミリー サポート センター	その他	無回答
全体	1032	6.6	1.6	0.4	6.5	0.7	3.0
0歳	89	9.0	1.1	0.0	6.7	0.0	2.2
1-2歳	312	10.3	2.6	0.3	7.7	0.6	1.3
3-6歳	625	4.5	1.1	0.5	5.9	0.8	4.0
シングルマザー	53	5.7	0.0	0.0	3.8	0.0	7.5
シングルファザー	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

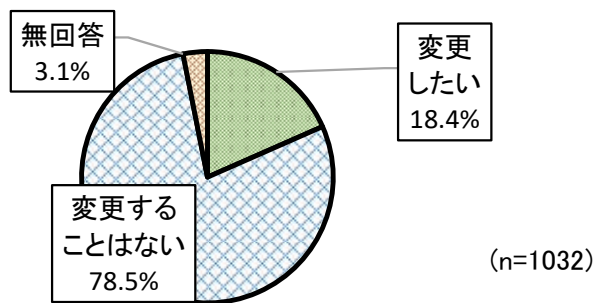
サンプル数：人 単位：%

【 利用したい場所 】

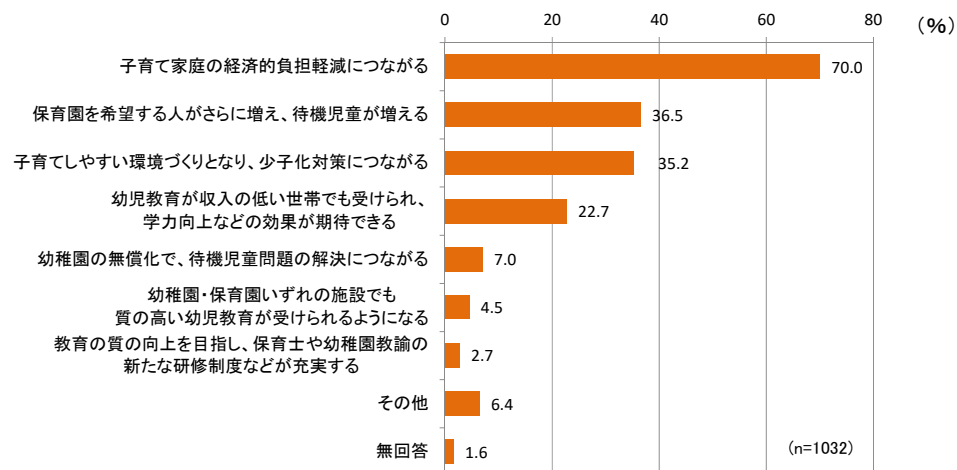


問 13. あなたは、幼児教育の無償化によって幼児教育・保育の利用を変更したいと考えますか。

(1つに○)



問 14. あなたは、幼児教育の無償化によって、幼児教育・保育にどのような影響や効果があると思いますか。



＜年齢別・ひとり親家庭別

	サンプル数	幼児教育が収入の低い世帯でも受けられ、学力向上などの効果が期待できる	子育てしやすい環境づくりとなり、少子化対策につながる	幼稚園の無償化で、待機児童問題の解決につながる	保育園を希望する人がさらに増え、待機児童が増える	子育て家庭の経済的負担軽減につながる
全体	1032	22.7	35.2	7.0	36.5	70.0
0歳	89	20.2	44.9	9.0	38.2	77.5
1-2歳	312	23.4	34.0	6.1	40.7	70.8
3-6歳	625	22.6	34.6	7.0	34.1	68.6
シングルマザー	53	26.4	24.5	11.3	32.1	58.5
シングルファザー	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	サンプル数	幼稚園・保育園いずれの施設でも質の高い幼児教育が受けられるようになる	教育の質の向上を目指し、保育士や幼稚園教諭の新たな研修制度などが充実する	その他	無回答	
全体	1032	4.5	2.7	6.4	1.6	
0歳	89	3.4	2.2	6.7	2.2	
1-2歳	312	3.8	2.2	5.1	1.0	
3-6歳	625	5.0	3.0	7.0	1.8	
シングルマザー	53	5.7	1.9	3.8	5.7	
シングルファザー	4	0.0	0.0	25.0	0.0	

サンプル数：人 単位：%

## 6. 子育て支援サービスの認知状況、利用状況

### 6-1. 地域の子育て支援事業について

「地域子育て支援拠点事業」、「防府市で実施している類似の事業（子育てサロン・あつまれ！わくわく広場など）」がともに1割程度の利用となっています。

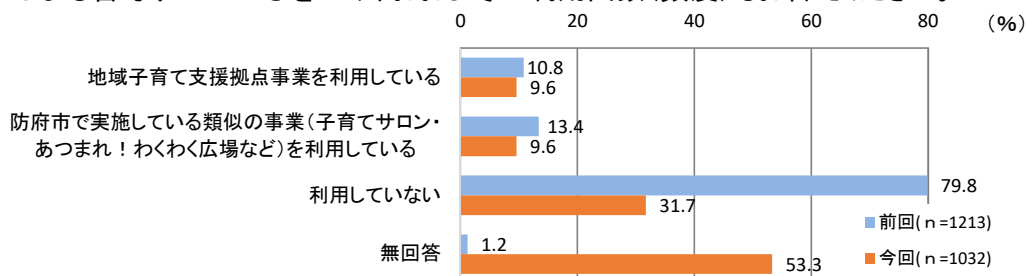
1か月あたりの平均利用回数は、「地域子育て支援拠点事業」が5.2回、防府市で実施している類似の事業が2.5回となっています。

今後の利用意向では、新たに利用したり、増やしたりを考えていない人は26.6%となっています。

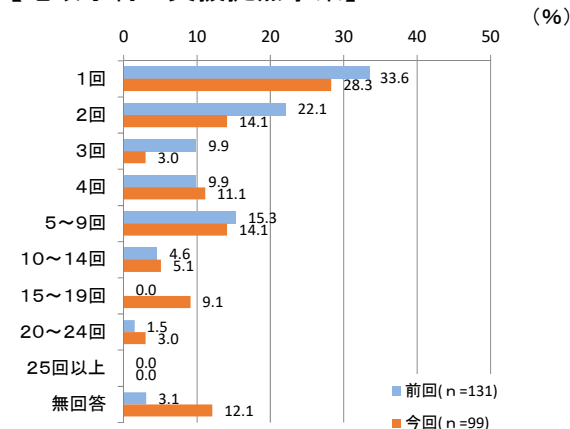
**お子さんが未就園の方にお伺いします。該当しない方は問17にお進みください。**

問15. お子さんは現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。

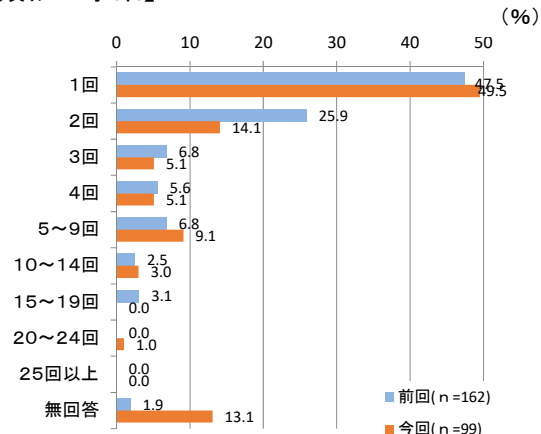
あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数(頻度)もお答えください。



#### 【地域子育て支援拠点事業】



#### 【類似の事業】



#### <年齢別・ひとり親家庭別>

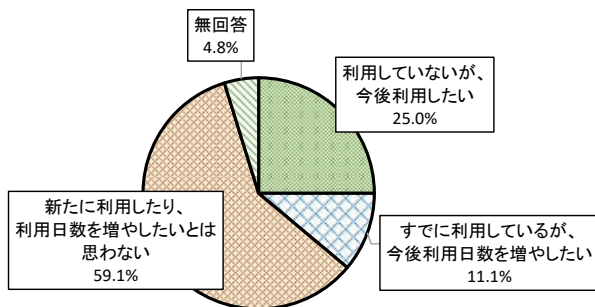
	サンプル数	地域子育て支援事業を利用している	防府市で実施している類似の事業を利用している	利用していない	無回答
全体	1032	9.6	9.6	31.7	53.3
0歳	89	22.5	10.1	67.4	6.7
1-2歳	312	18.6	18.9	31.7	39.1
3-6歳	625	3.4	4.8	26.4	67.2
シングルマザー	53	0.0	1.9	32.1	66.0
シングルファザー	4	0.0	0.0	50.0	50.0

サンプル数：人 単位：%

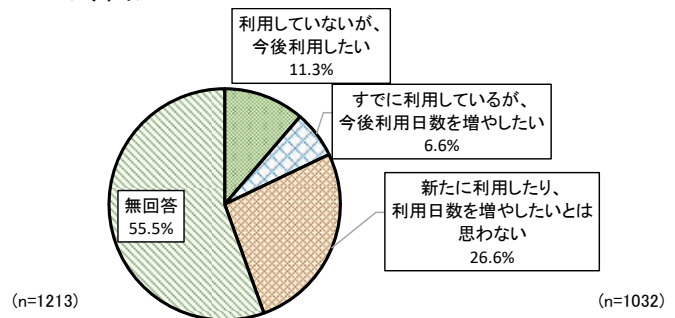
問 16. 問 15 のような地域子育て支援拠点事業について、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは利用頻度を増やしたいと思いませんか。(1 つに○)

また、希望するおおよその利用回数(頻度)をお答えください。

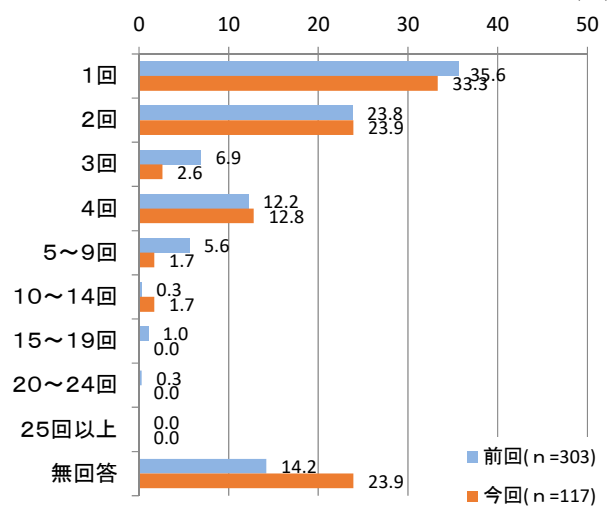
<前回>



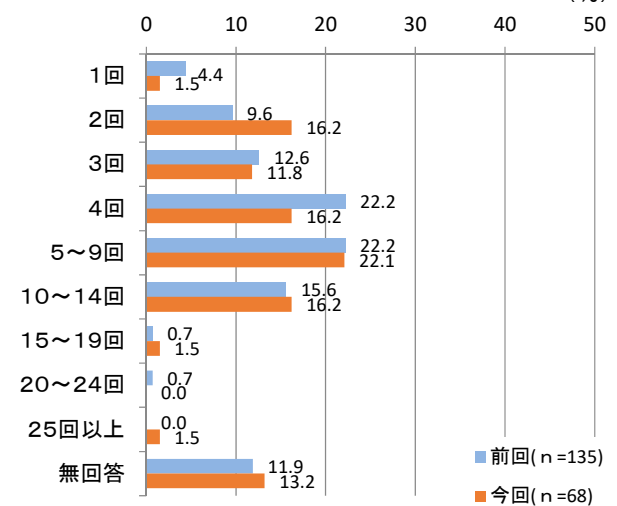
<今回>



【今後利用したい回数(1 か月あたり)】 (%)



【今後増やしたい回数(1 か月あたり)】 (%)



## 6-2. 子育て支援サービスの認知状況等

### 【認知度】

各種の子育て支援サービスの認知状況は、「②保健センターの乳幼児相談・電話相談」(82.1%)、「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」(82.0%)が認知率8割を超えています。続いて「⑪母子保健推進員のサークル、家庭訪問」(71.6%)が7割以上の認知率となっています。

一方、「③家庭教育に関する学級・講座」(29.1%)は20%台にとどまっています。

前回調査と比較すると、「④教育相談電話・教育相談」が15.8ポイント減少しています。

### 【利用経験】

利用経験では、認知率の高い「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」が58.1%、「⑪母子保健推進員のサークル、家庭訪問」が53.2%、「②保健センターの乳幼児相談・電話相談」が43.6%となっており、認知率に比べて利用率は相対的に低くなっています。

とくに、「③家庭教育に関する学級・講座」、「④教育相談電話・教育相談」、「⑦こども相談室」といった講座や相談に関するサービスの利用率は数パーセントにとどまっています。

前回調査と比較すると、「⑥児童館」が7.4ポイント増加しています。

**【利用意向】**

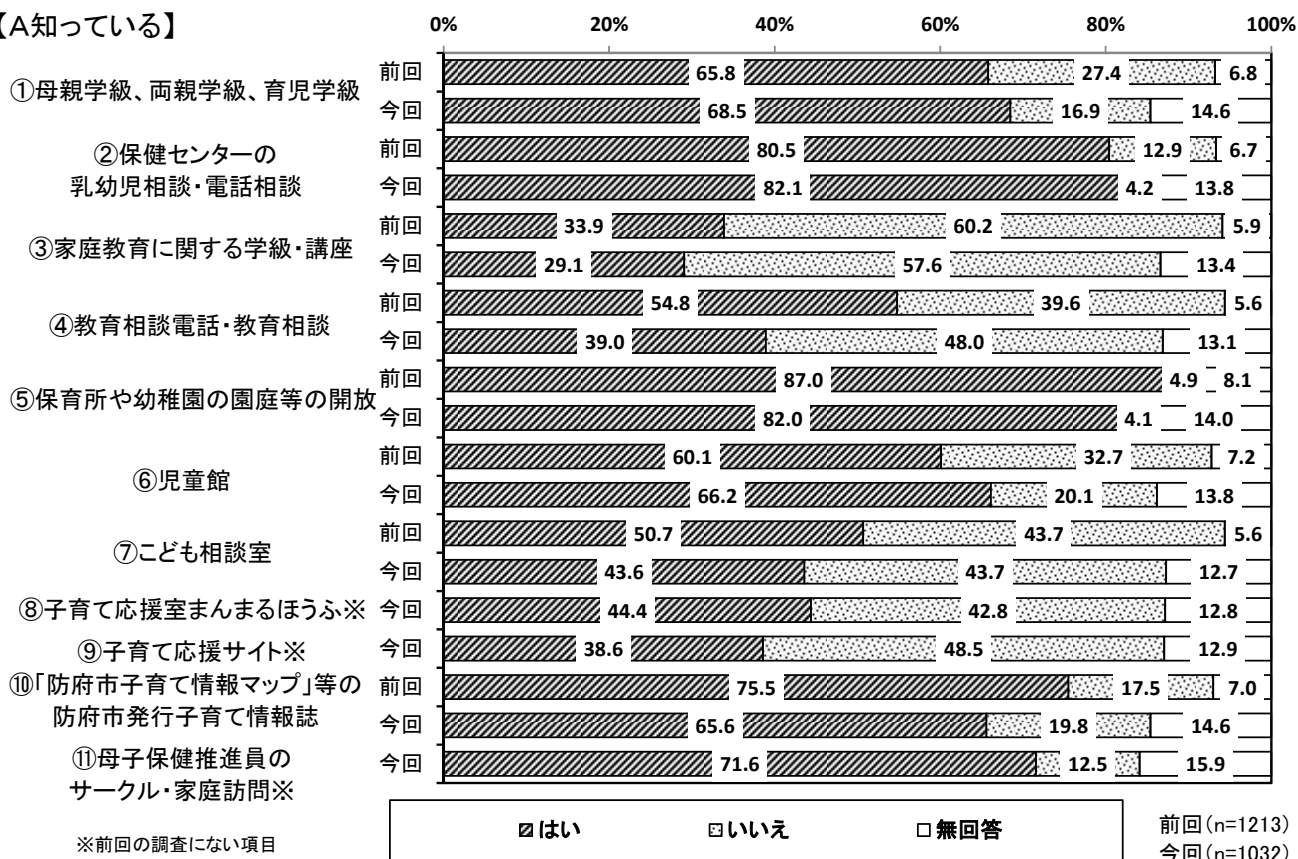
今後の利用意向としては、「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」(46.0%)、「⑩「防府市子育て支援マップ」等の防府市発行子育て情報誌」(45.0%)の2項目が4割を超えており、以下、「⑥児童館」の38.8%、「②保健センターの情報・相談サービス」の33.6%と続いています。

利用率が数パーセントであった「③家庭教育に関する学級・講座」、「④教育相談電話・教育相談」、「⑦こども相談室」といった講座や相談に関するサービスの利用意向率は、おおむね2割にとどいていません。

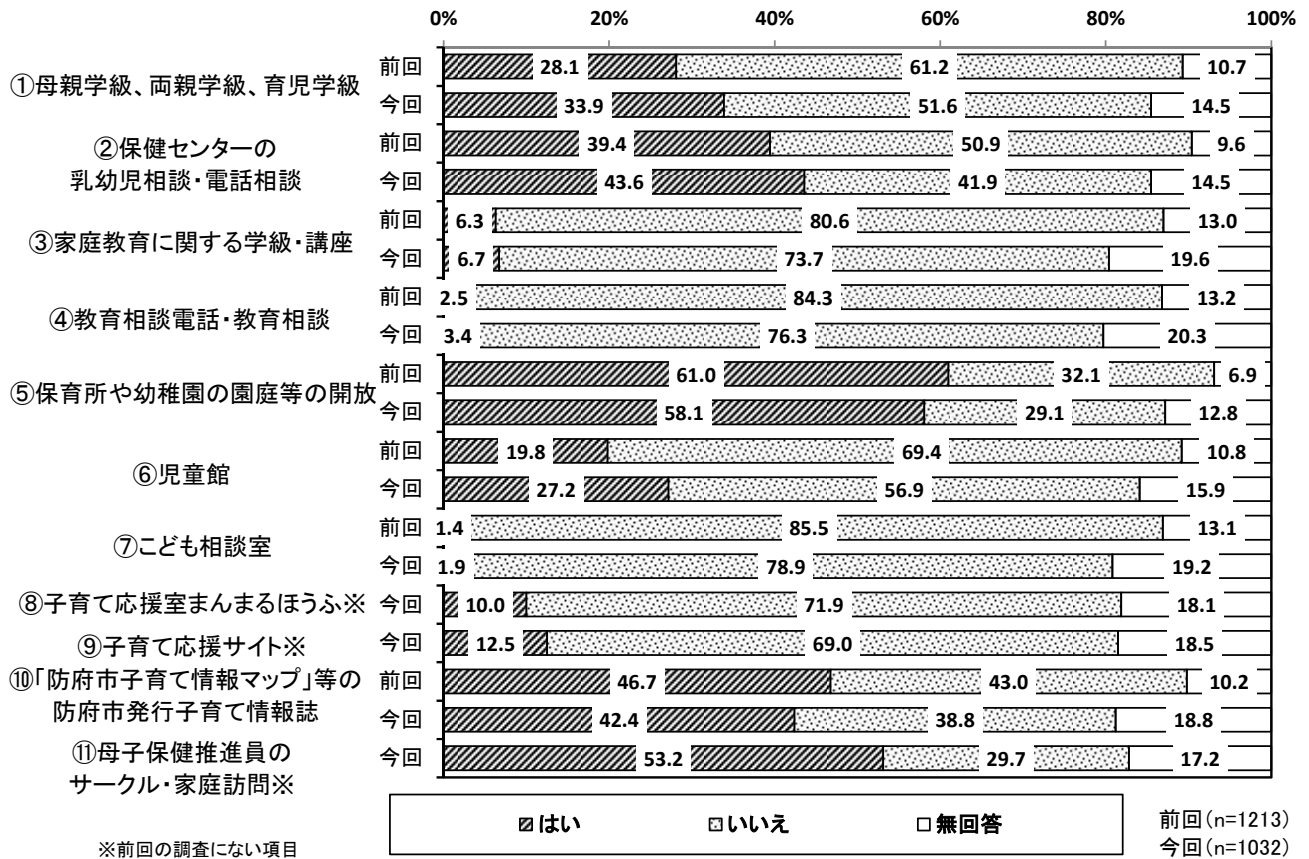
問 17. 下記の①～⑪のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。

また、今後利用したいと思いますか。(サービスごとに、A～Cのそれぞれ1つに○)

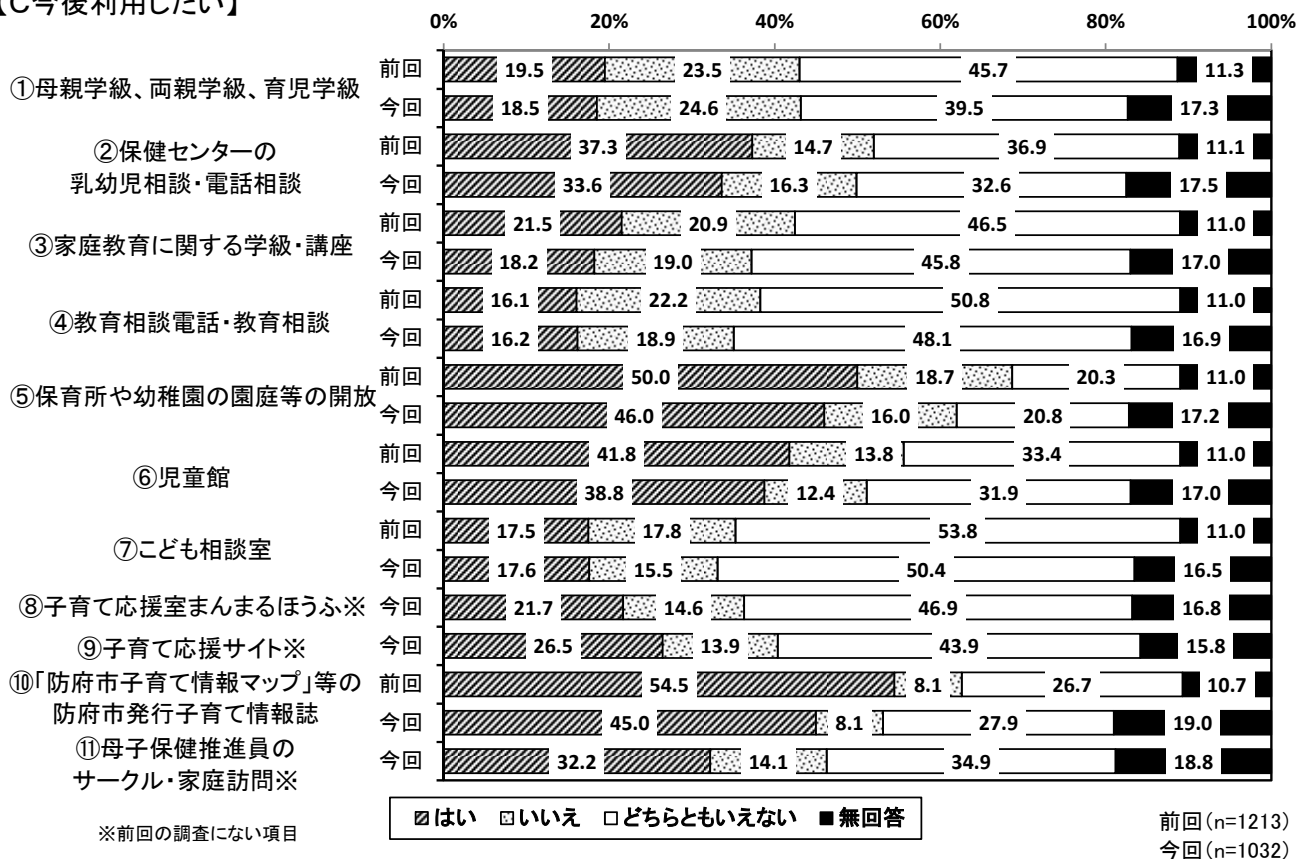
**【A知っている】**



【B利用したことがある】



【C今後利用したい】



## 7. 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向についてみると、土曜日では「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回利用したい」の合計が42.8%と4割を超えていますが、日曜日・祝日では19.1%と土曜日と比べ低くなっています。

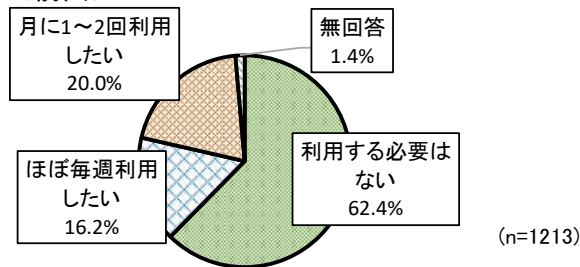
希望利用時間帯としては、開始時刻は土曜日、日曜日・祝日とも「8時台」が最も多く、「7時台」と「9時台」を合わせると9割以上となり、終了時刻では、土曜日は「17時台」、日曜日・祝日は「18時台」が最も多くなっています。土曜日、日曜日・祝日ともに開始時刻は8時、終了時刻は18時が最も多くなっています。

現在幼稚園を利用している方の夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の利用希望率は、「ほぼ毎日」と「週に数日」を合わせて52.6%であり、開始時刻は、「8時台」「9時台」で90%以上を占め、9時が最も多くなっています。終了時刻は、「15時台」を中心に「17時台」までで70%以上を占め、15時台が最も多くなっています。

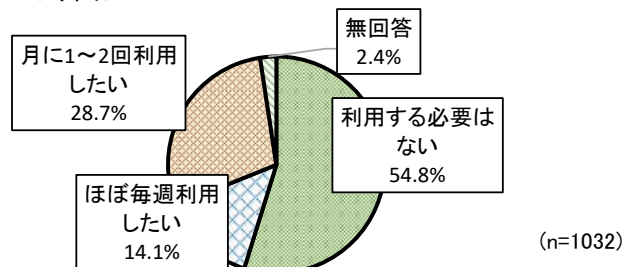
問 18. 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。

### (1) 土曜日

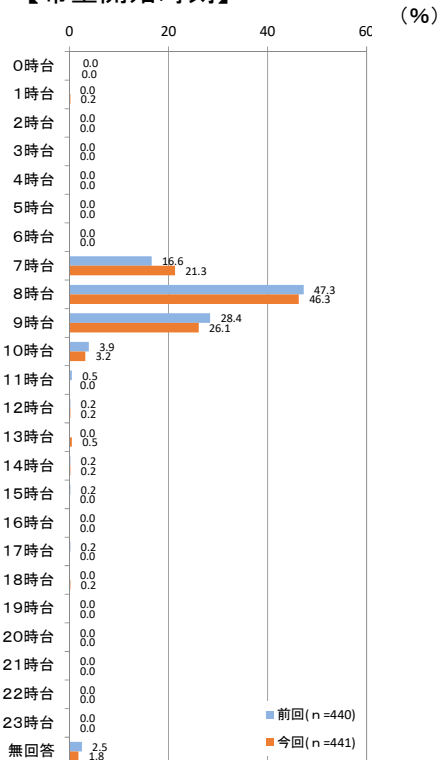
#### <前回>



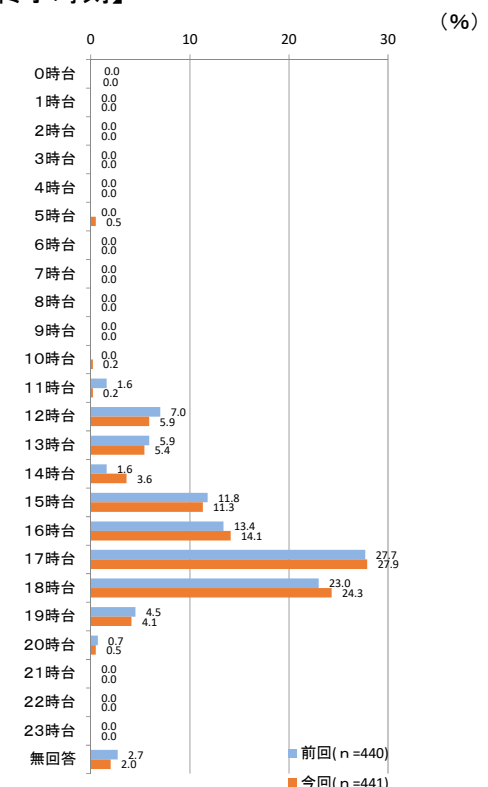
#### <今回>



#### 【希望開始時刻】



#### 【希望終了時刻】



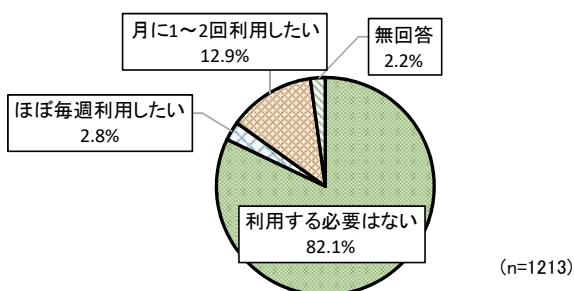
<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用する 必要はない	ほぼ毎週 利用したい	月に1~2回 利用したい	無回答
全体	1032	54.8	14.1	28.7	2.4
0歳	89	49.4	9.0	38.2	3.4
1-2歳	312	54.8	13.1	30.8	1.3
3-6歳	625	55.5	15.2	26.6	2.7
シングルマザー	53	37.7	30.2	30.2	1.9
シングルファザー	4	50.0	25.0	0.0	25.0

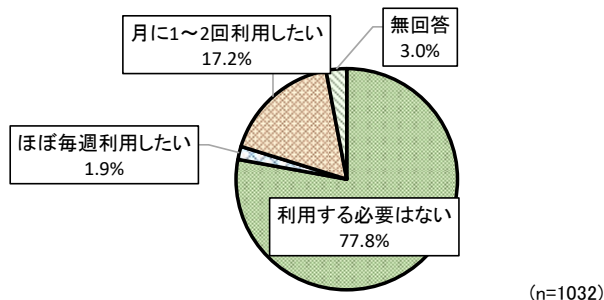
サンプル数：人 単位：%

(2) 日曜日・祝日

<前回>

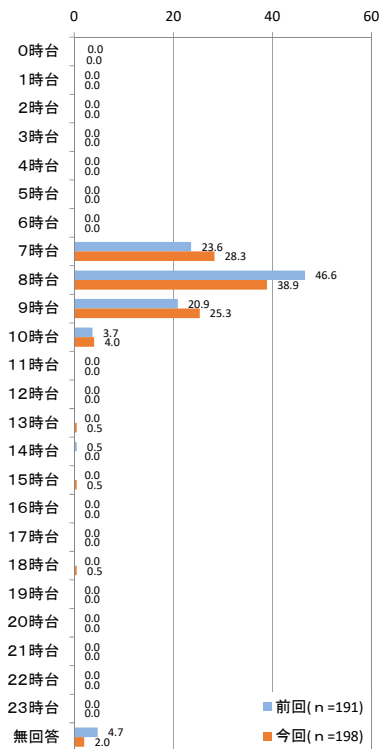


<今回>



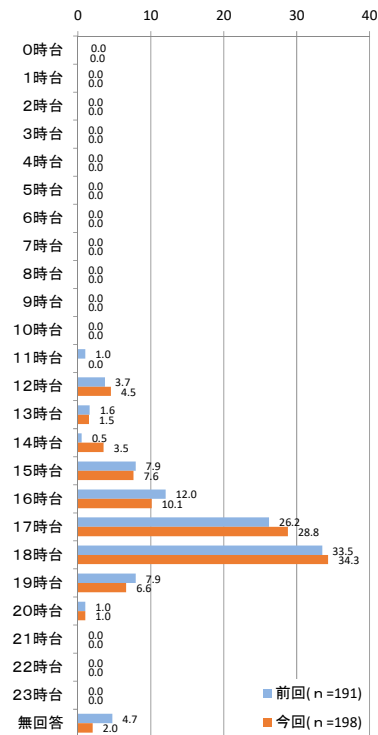
【希望開始時刻】

(%)



【希望終了時刻】

(%)





<年齢別・ひとり親家庭別>

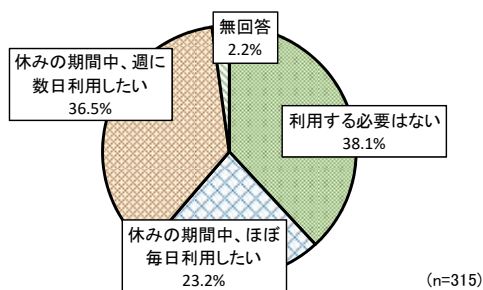
	サンプル数	利用する 必要はない	ほぼ毎週 利用したい	月に1~2回 利用したい	無回答
全体	1032	77.8	1.9	17.2	3.0
0歳	89	76.4	0.0	18.0	5.6
1-2歳	312	75.3	3.2	19.6	1.9
3-6歳	625	79.4	1.4	16.2	3.0
シングルマザー	53	64.2	3.8	30.2	1.9
シングルファザー	4	50.0	0.0	0.0	50.0

サンプル数：人 単位：%

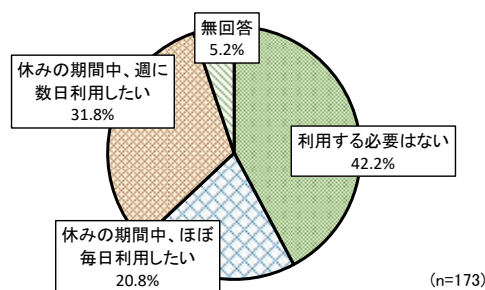
現在、幼稚園を利用している方にお伺いします。利用していない方は、問 20 にお進みください。

問 19. お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望はありますか。

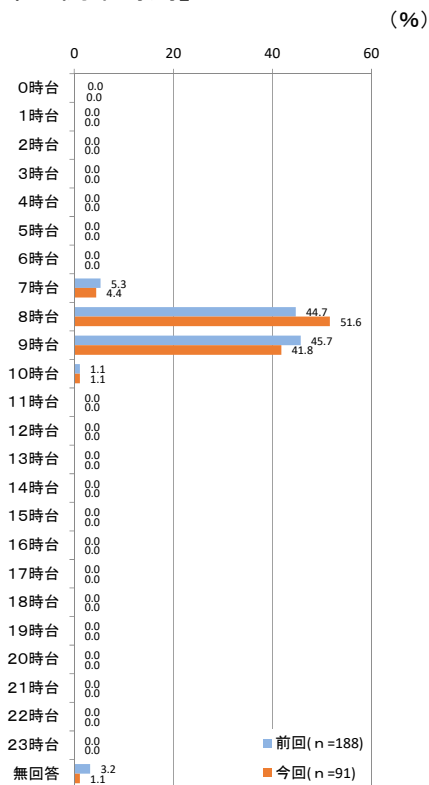
<前回>



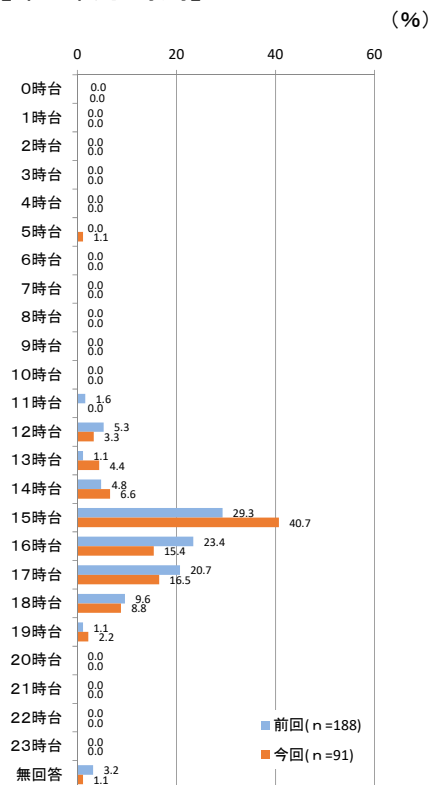
<今回>



【希望開始時刻】



【希望終了時刻】



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用する 必要はない	休みの期間 中、ほぼ毎 日利用した い	休みの期間 中、週に数 日利用した い	無回答
全体	173	42.2	20.8	31.8	5.2
0歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0
1-2歳	2	0.0	50.0	50.0	0.0
3-6歳	170	42.4	20.6	31.8	5.3
シングルマザー	5	40.0	40.0	20.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

## 8. 病児保育について

### 8-1. 過去1年間に教育・保育事業を利用できなかったことの有無

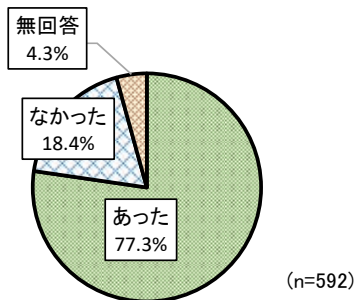
この1年間に、子どもが病気やけがで平日の定期的な教育・保育事業が利用できなかった経験についてみると、「あった」が80.8%で8割を超えています。

その対処方法としては、「母親が休んだ」が68.9%で最も多く、平均日数は7.7日です。次いで「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が36.2%で、平均日数6.8日、「父親が休んだ」と「就労していない保護者が看た」が20.2%でそれぞれ平均日数8.6日、3.2日となっています。前回調査と比較すると、「母親が休んだ」が8.6ポイント、「父親が休んだ」が7.4ポイント増加しています。

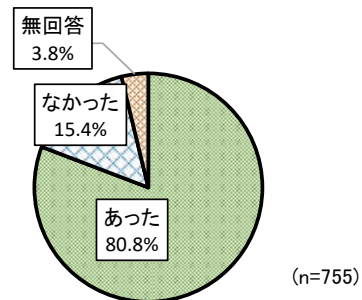
平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方(問11で「1.防府市内で利用している」または「2.他の市町村で利用している」に○をつけた方)にお伺いします。利用していない方は、問21へお進みください。

問20. この1年間に、お子さんが病気やけがで平日の定期的な教育・保育事業が利用できなかったことはありましたか。(1つに○)

<前回>



<今回>



<年齢別・ひとり親家庭別>

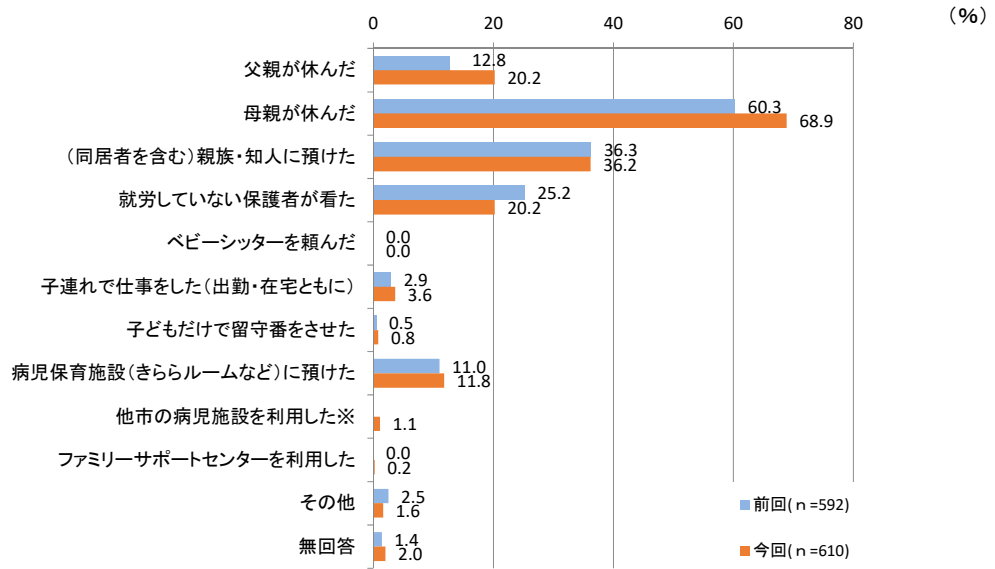
	サンプル数	あった	なかった	無回答
全体	755	80.8	15.4	3.8
0歳	14	71.4	28.6	0.0
1-2歳	159	88.7	8.8	2.5
3-6歳	578	78.9	16.8	4.3
シングルマザー	48	75.0	16.7	8.3
シングルファザー	4	50.0	50.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

**問 20 で「1.あった」に○をした方にお伺いします。**

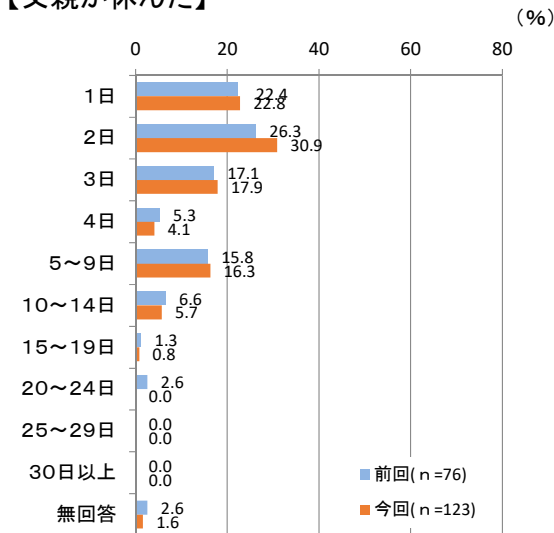
問 20-1. この1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか。

あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数をお答えください。

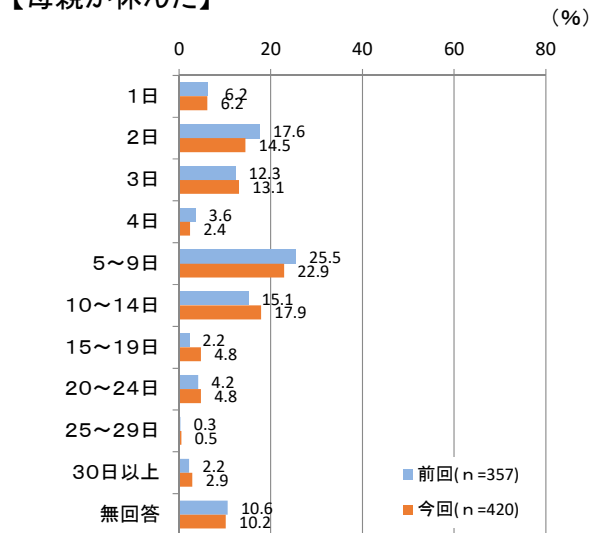


※前回の調査にない項目

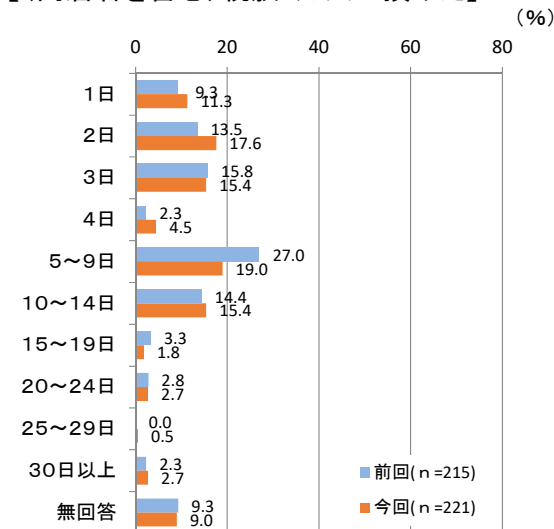
**【父親が休んだ】**



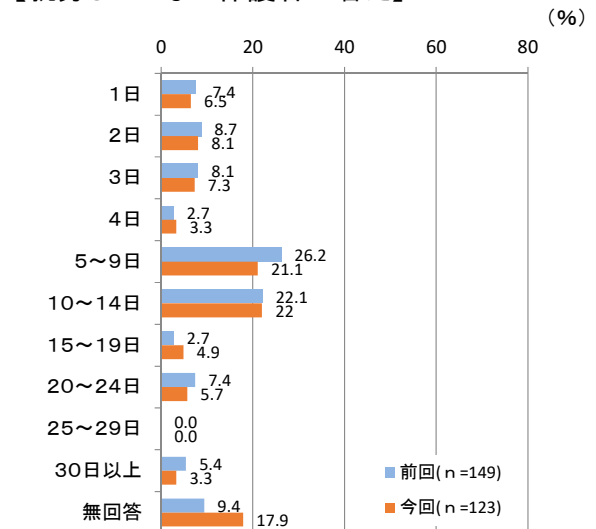
**【母親が休んだ】**



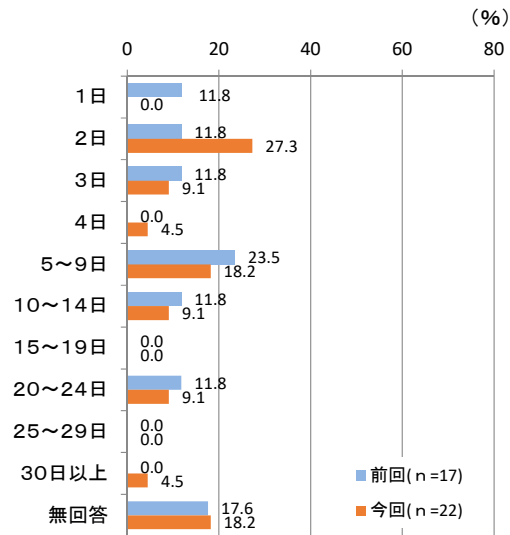
**【(同居者を含む)親族・知人に預けた】**



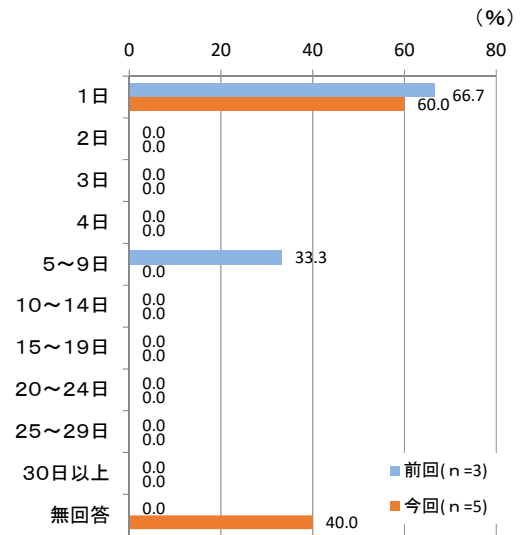
**【就労していない保護者が見た】**



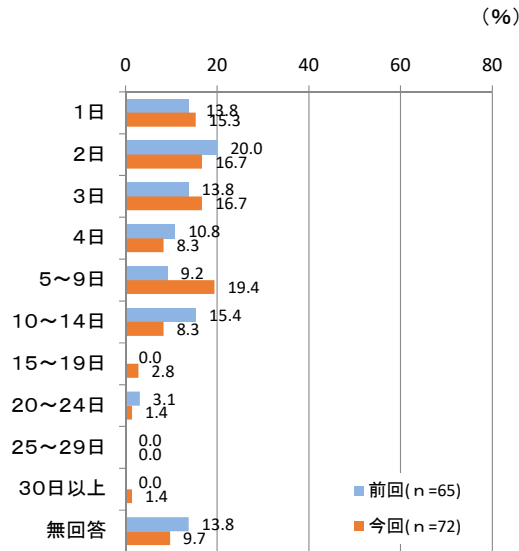
【子連れで仕事をした(出勤・在宅ともに)】



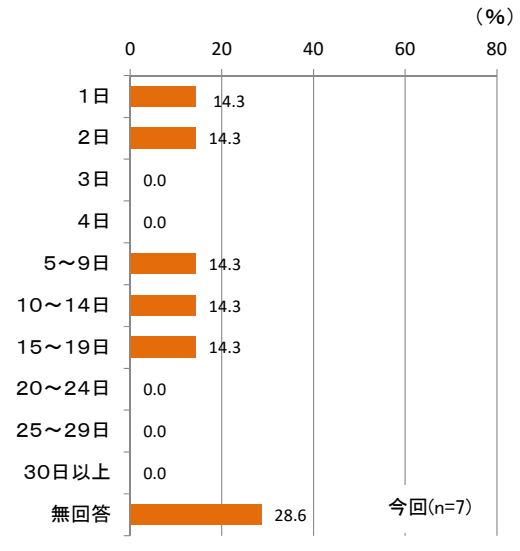
【子どもだけで留守番をさせた】



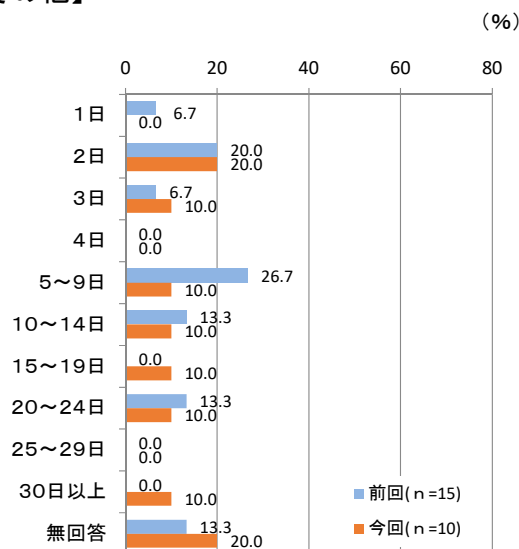
【病児保育施設(きららルームなど)に預けた】



【他市の病児施設を利用した※】



【その他】



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人に預けた	就労していない保護者が見た	ベビーシッターを頼んだ	子連れで仕事をした
全体	610	20.2	68.9	36.2	20.2	0.0	3.6
0歳	10	10.0	80.0	30.0	20.0	0.0	0.0
1-2歳	141	27.0	86.5	53.2	4.3	0.0	7.1
3-6歳	456	18.4	62.9	31.1	25.2	0.0	2.6
シングルマザー	36	0.0	75.0	38.9	5.6	0.0	5.6
シングルファザー	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サンプル数	子どもだけで留守番をさせた	病児保育施設に預けた	他市の病児施設を利用した	ファミリーサポートセンターを利用した	その他	無回答
全体	610	0.8	11.8	1.1	0.2	1.6	2.0
0歳	10	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0
1-2歳	141	0.0	17.7	1.4	0.0	0.7	1.4
3-6歳	456	0.9	9.9	0.9	0.2	2.0	2.2
シングルマザー	36	0.0	11.1	2.8	0.0	0.0	2.8
シングルファザー	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

8-2. 病児保育の利用希望

「父親」「母親」が休んで対応した人のうち、病児のための保育施設等を「できれば利用したかった」は 35.6%であり、年間の利用希望日数は「5~9日」の 19.4%が最も多く、平均では 6.0 日となっています。前回調査と比較すると、「できれば利用したかった」が 5.8 ポイント増加しています。

具体的な事業形態としては、「幼稚園・保育所等」または「小児科」に併設した施設が、それぞれ約 7 割となっています。前回調査と比較すると、「小児科に併設した施設」が 9.1 ポイント増加しています。

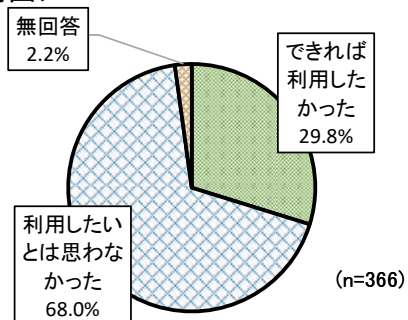
一方、病児のための保育施設等を利用したいと思わなかった理由は、「保護者が仕事を休んで対応する」が 55.8%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」の 36.8%、「他人に看てもらうのは不安」の 34.2%となっています。前回調査と比較すると、「他人に看てもらうのは不安」が 10.4 ポイント減少しています。

問 20-1 で「1.父親が休んだ」または「2.母親が休んだ」に○をした方にお伺いします。

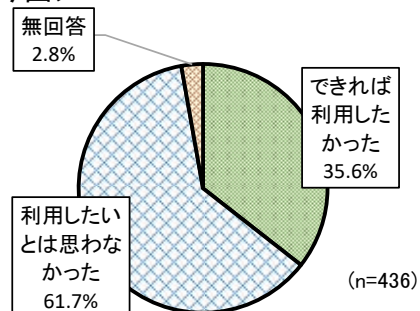
問 20-2. その際、できれば病児のための保育施設等を利用したいと思いましたか。(1つに○)

また、利用したいと思った日数をお答えください。

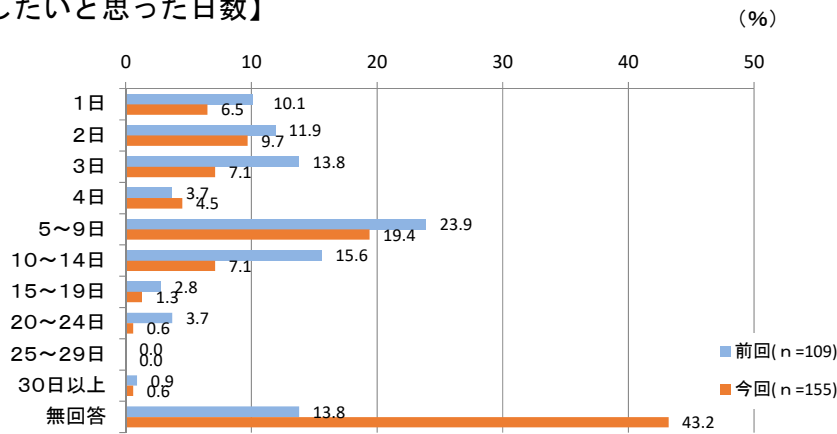
<前回>



<今回>



【利用したいと思った日数】



＜年齢別・ひとり親家庭別＞

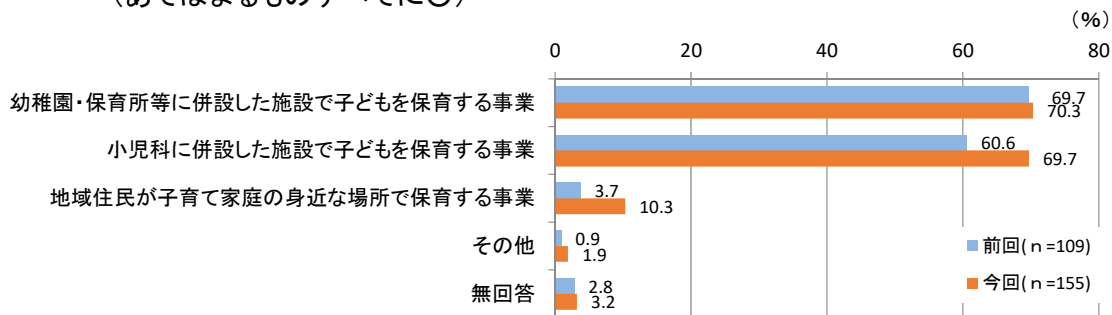
	サンプル数	できれば利用したかった	利用したいと思わなかった	無回答
全体	436	35.6	61.7	2.8
0歳	9	22.2	55.6	22.2
1～2歳	122	44.3	54.1	1.6
3～6歳	302	32.5	65.2	2.3
シングルマザー	27	37.0	59.3	3.7
シングルファザー	2	0.0	100.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

問 20-2 で「1.できれば利用したかった」に○をした方にお伺いします。

問 20-3. 病気やけががお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)



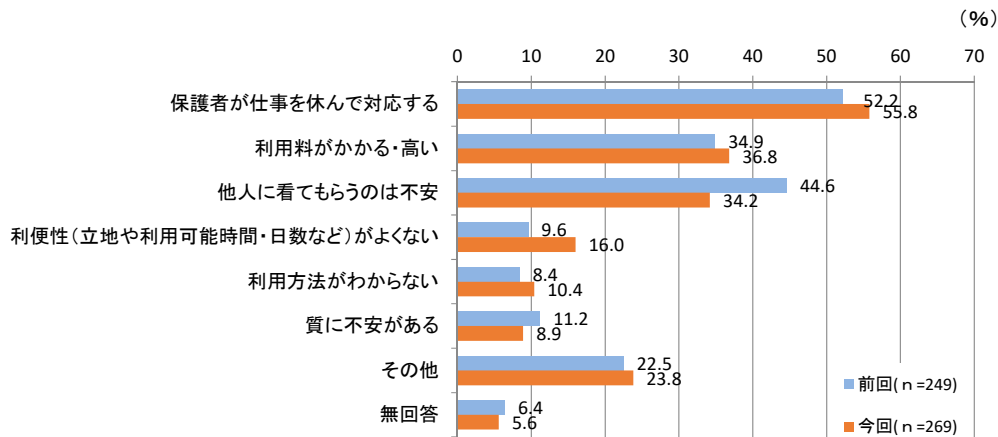
＜年齢別・ひとり親家庭別＞

	サンプル数	幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業	小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業	その他	無回答
全体	155	70.3	69.7	10.3	1.9	3.2
0歳	2	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0
1～2歳	54	70.4	77.8	9.3	1.9	3.7
3～6歳	98	70.4	64.3	9.2	2.0	3.1
シングルマザー	10	70.0	40.0	10.0	10.0	10.0

サンプル数：人 単位：%

**問 20-2 で「2.利用したいとは思わなかった」に○をした方にお伺いします。**

問 20-4. そう思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



＜年齢別・ひとり親家庭別＞

	サンプル数	他人に看てもらうのは不安	質に不安がある	利便性がよくない	利用料がかかる・高い	利用方法がわからない	保護者が仕事を休んで対応する	その他	無回答
全体	269	34.2	8.9	16.0	36.8	10.4	55.8	23.8	5.6
0歳	5	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	40.0	20.0
1-2歳	66	30.3	13.6	10.6	37.9	7.6	57.6	27.3	3.0
3-6歳	197	35.5	7.1	17.8	36.0	11.2	55.3	22.3	6.1
シングルマザー	16	37.5	6.3	12.5	56.3	12.5	37.5	25.0	6.3
シングルファザー	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0

サンプル数：人 単位：%

防府市以外で山口県内の病児のための保育施設等の利用意向については、「利用する」が9.7%、「利用しない」が58.0%となっています。

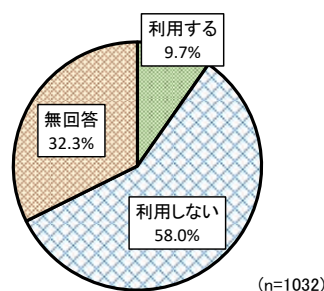
利用したい市町では、「山口市」が79.0%となっています。

年間の利用希望日数は「5～9日」の26.0%が最も多く、平均では4.8日となっています。

子どもが病気やけがの場合、仕事を休めるかについては、「仕事を休んで看ることができ」が43.7%、「仕事を休んで看ることは難しい」と答えた人は14.8%となっています。

**すべての方にお伺いします。**

問 20-5. 防府市以外で山口県内の病児のための保育施設等の利用が可能であれば利用しますか。(1つだけ○)





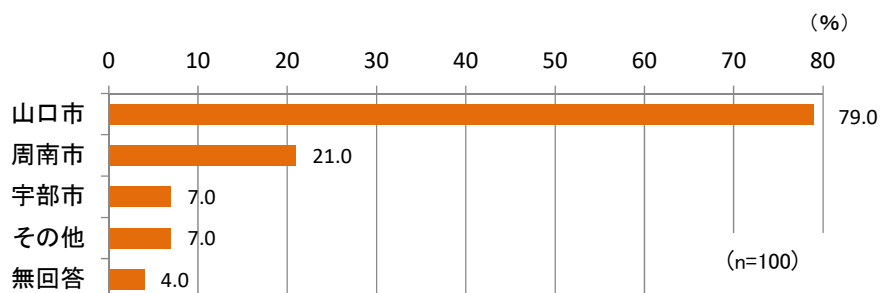
<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用する	利用しない	無回答
全体	1032	9.7	58.0	32.3
0歳	89	7.9	20.2	71.9
1-2歳	312	10.3	48.1	41.7
3-6歳	625	9.8	68.6	21.6
シングルマザー	53	15.1	60.4	24.5
シングルファザー	4	50.0	25.0	25.0

サンプル数：人 単位：%

問 20-5 で「1.利用する」に○をした方にお伺いします。

問 20-6. どの市町であれば利用したいですか。(あてはまるものすべてに○)

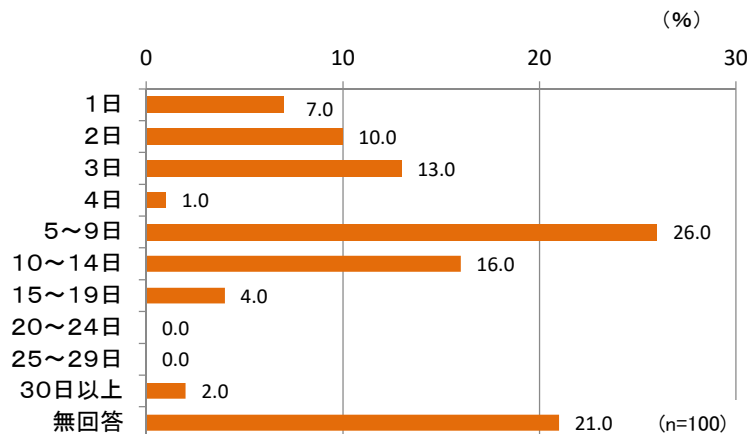


<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	山口市	周南市	宇部市	その他	無回答
全体	100	79.0	21.0	7.0	7.0	4.0
0歳	7	57.1	57.1	0.0	14.3	0.0
1-2歳	32	75.0	21.9	15.6	6.3	3.1
3-6歳	61	83.6	16.4	3.3	6.6	4.9
シングルマザー	8	87.5	12.5	12.5	0.0	0.0
シングルファザー	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

問 20-7. 利用する場合、何日くらい利用したいですか。

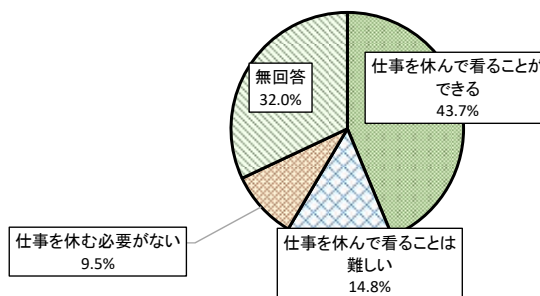
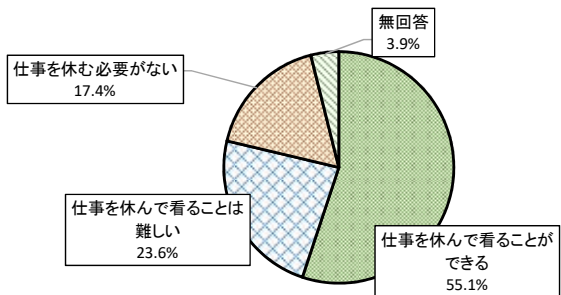


すべての方にお伺いします。

問 20-8. お子さんが病気やけがの場合に仕事を休んで看ることができますか。(1つに○)

<前回>

<今回>



(n=592)

(n=1032)

<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	仕事を休んで看ることができる	仕事を休んで看ることが難しい	仕事を休む必要がない	無回答
全体	1032	43.7	14.8	9.5	32.0
0歳	89	15.7	7.9	4.5	71.9
1-2歳	312	40.1	14.1	3.2	42.6
3-6歳	625	49.6	16.3	13.4	20.6
シングルマザー	53	60.4	18.9	1.9	18.9
シングルファザー	4	50.0	25.0	0.0	25.0

サンプル数：人 単位：%

## 9. 一時預かりについて

### 9-1. 過去1年間に家族以外に一時的に預けたことの有無

この1年間で、私用、保護者の通院、不定期な就労等の目的で不定期に利用した施設についてみると、「利用していない」が79.9%となっています。

利用している中では、「幼稚園の預かり保育」の割合が13.8%、年間平均日数29.5日で最も多く、次いで「一時預かり」の3.2%、「ファミリーサポートセンター」の1.4%となっています。

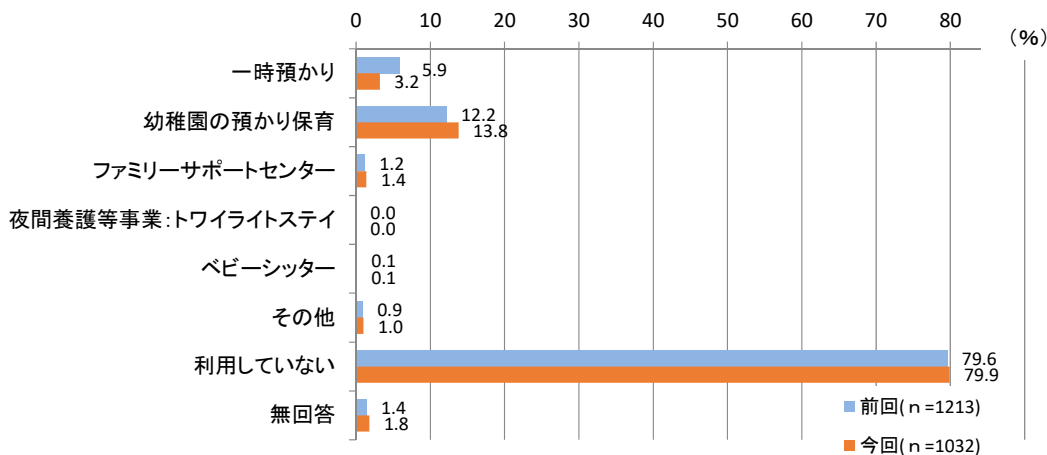
また、現在利用していない理由としては、「特に利用する必要がない」が8割を超えています。

今後の利用意向をみると、「利用したい」は38.6%であり、前回調査と比較すると5.0ポイント増加しています。内訳は、「私用（買物・子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が年間平均9.6日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が年間平均8.4日、「不定期の就労」が年間平均11.0日となっています。前回調査と比較すると、「私用（買物・子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が16.4ポイント増加しています。

また、「利用したい」事業形態としては、「大規模施設で子どもを保育する事業」が74.4%となっています。

#### すべての方にお伺いします。

問 21. お子さんについて、私用、保護者の通院、不定期な就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)もお答えください。



#### <年齢別・ひとり親家庭別>

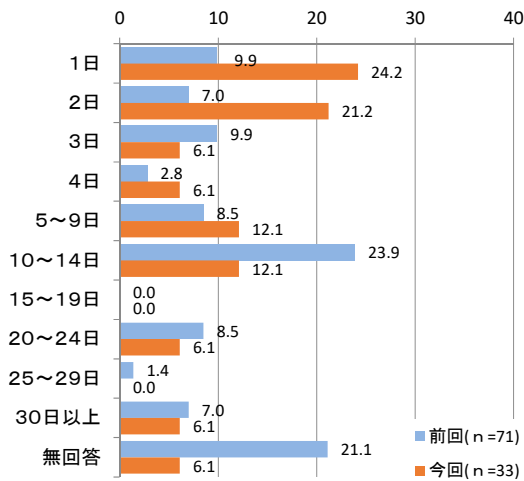
	サンプル数	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリーサポートセンター	夜間養護等事業:トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全体	1032	3.2	13.8	1.4	0.0	0.1	1.0	79.9	1.8
0歳	89	2.2	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1	95.5	0.0
1-2歳	312	4.8	1.3	1.6	0.0	0.0	1.0	90.4	1.3
3-6歳	625	2.6	21.8	1.3	0.0	0.2	1.0	72.8	2.2
シングルマザー	53	3.8	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	81.1	5.7
シングルファザー	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

■主要3事業

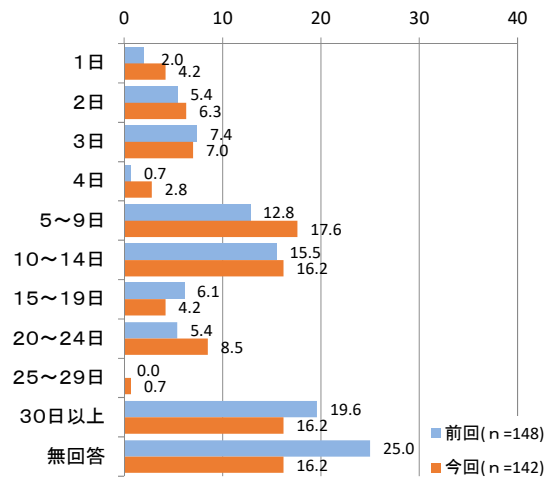
(1) 一時預かり

(%)



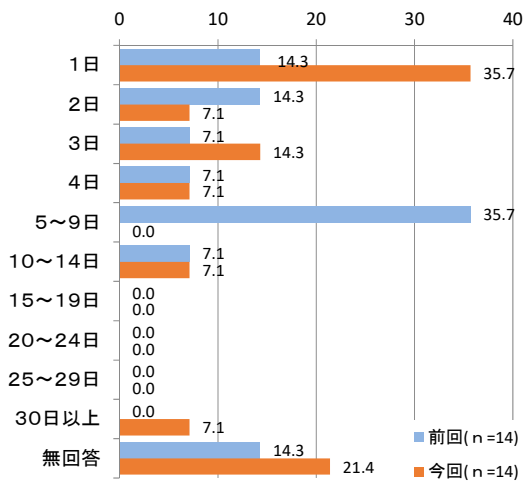
(2) 幼稚園の預かり保育

(%)



(3) ファミリーサポートセンター

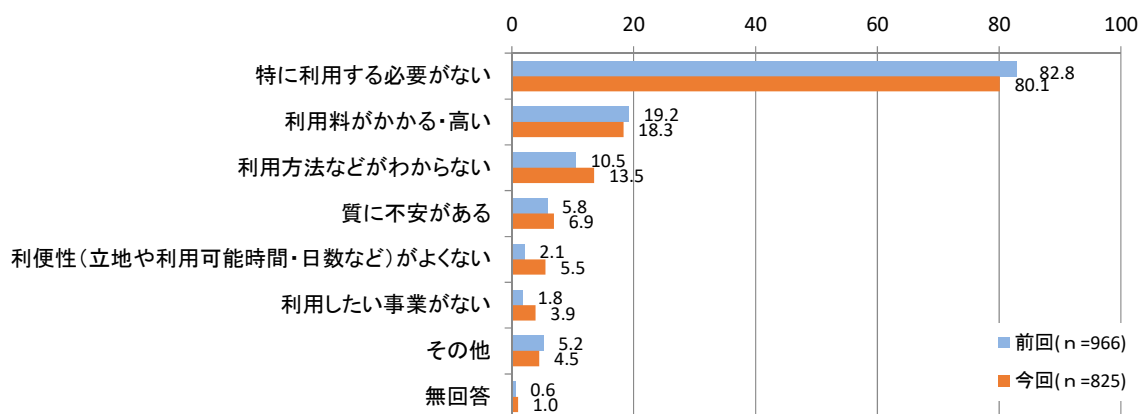
(%)



問 21 で「7.利用していない」に○をした方にお伺いします。

問 21-1. 現在利用していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

(%)



<年齢別・ひとり親家庭別>

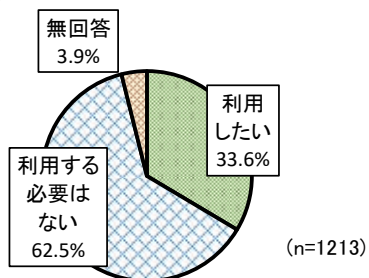
	サンプル数	特に利用する必要がない	利用したい事業がない	質に不安がある	利便性がよくない	利用料がかかる・高い	利用方法などがわからない	その他	無回答
全体	825	80.1	3.9	6.9	5.5	18.3	13.5	4.5	1.0
0歳	85	78.8	0.0	3.5	5.9	18.8	22.4	10.6	1.2
1-2歳	282	79.8	3.9	9.6	5.3	23.4	18.1	4.3	0.4
3-6歳	455	80.7	4.6	5.9	5.5	15.2	8.8	3.5	1.3
シングルマザー	43	67.4	4.7	14.0	11.6	32.6	16.3	2.3	2.3
シングルファザー	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

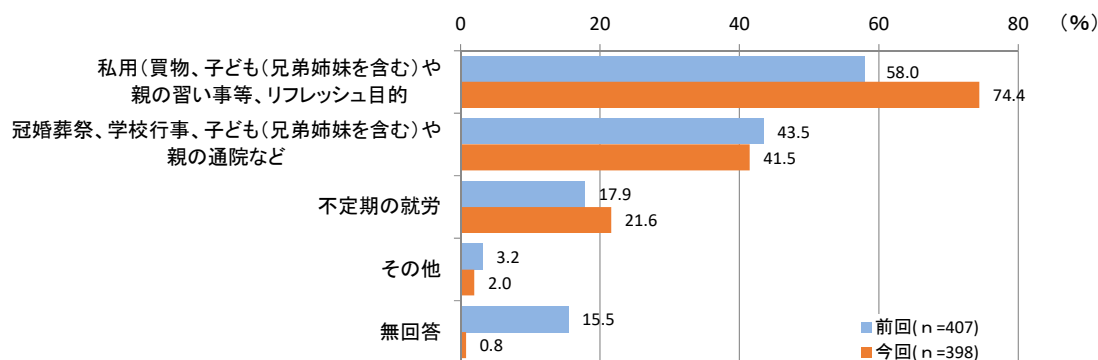
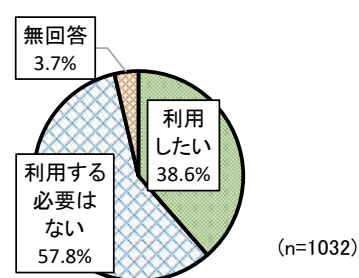
すべての方にお伺いします。

問 22. お子さんについて、私用、保護者の通院、不定期な就労等の目的で、問 21 の「1.一時預かり」「2.幼稚園の預かり保育」「3.ファミリーサポートセンター」「4.夜間養護等事業(トワイライトステイ)」「5.ベビーシッター」「6.その他」の事業を利用したいですか。利用したい場合は、必要な日数もお答えください。

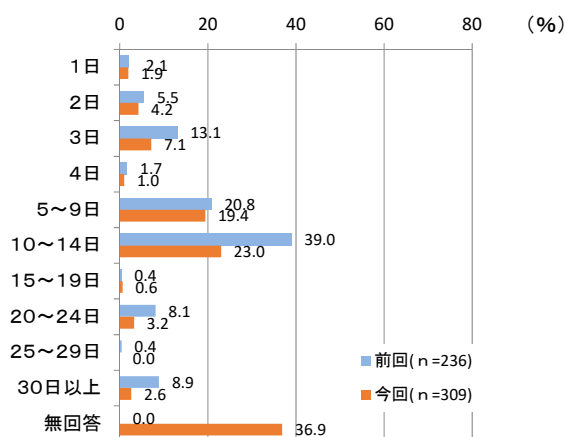
<前回>



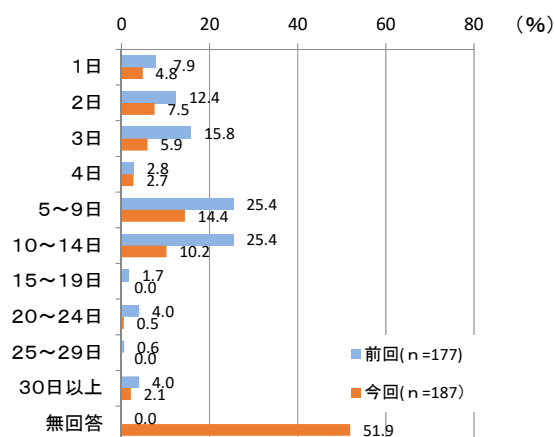
<今回>



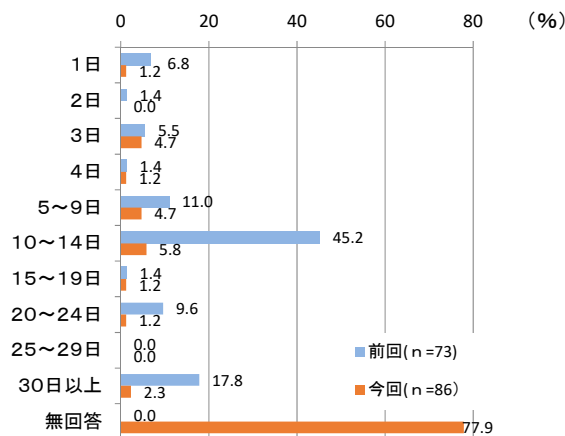
【私用、リフレッシュ目的】



【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など】



【不定期の就労】



<年齢別・ひとり親家庭別>

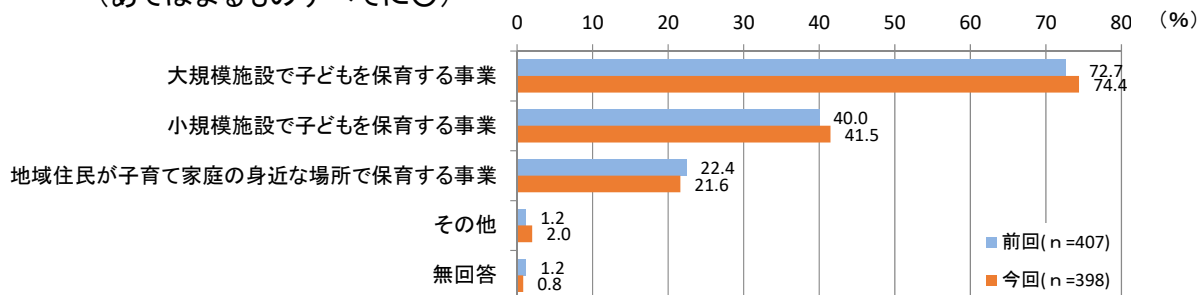
	サンプル数	私用、リフレッシュ目的	冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	不定期の就労	その他	無回答
全体	398	74.4	41.5	21.6	2.0	0.8
0歳	35	51.4	65.7	48.6	2.9	0.0
1～2歳	125	75.2	53.6	22.4	4.0	0.0
3～6歳	235	77.4	31.5	17.4	0.9	1.3
シングルマザー	20	75.0	40.0	30.0	0.0	0.0
シングルファザー	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

問 22 で「1.利用したい」に○をした方にお伺いします。

問 22-1. 問 22 の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	大規模施設で子どもを保育する事業	小規模施設で子どもを保育する事業	地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業	その他	無回答
全体	398	74.4	41.5	21.6	2.0	0.8
0歳	35	51.4	65.7	48.6	2.9	0.0
1～2歳	125	75.2	53.6	22.4	4.0	0.0
3～6歳	235	77.4	31.5	17.4	0.9	1.3
シングルマザー	20	75.0	40.0	30.0	0.0	0.0
シングルファザー	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

## 9-2. 宿泊を伴う一時預かりについて

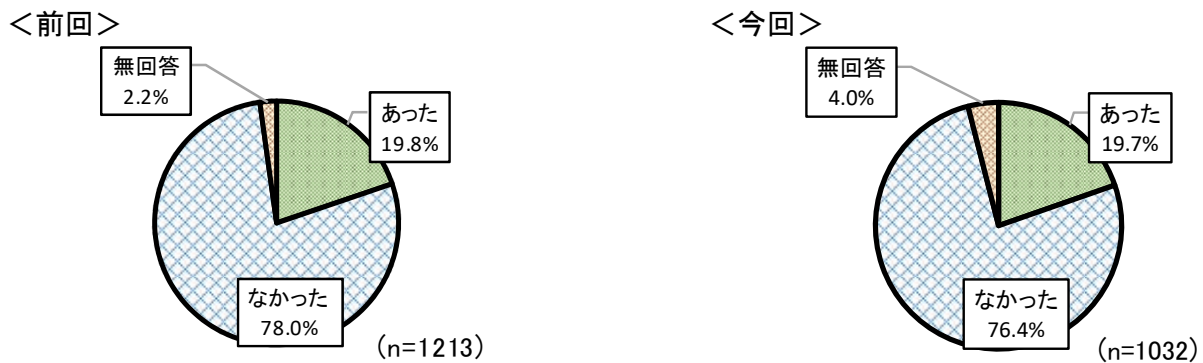
この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで保護者以外に預けなければならぬ経験についてみると、「あった」は19.7%と約2割です。

対処方法としては、8割以上が「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答しており、年間平均日数は7.2泊となっています。

また、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」場合の困難度としては、「非常に」「どちらかという」と合わせて困難が36.5%なのに対し、「特に困難ではない」は62.9%で、困難を感じていない人が全体の6割を占めています。

### すべての方にお伺いします。

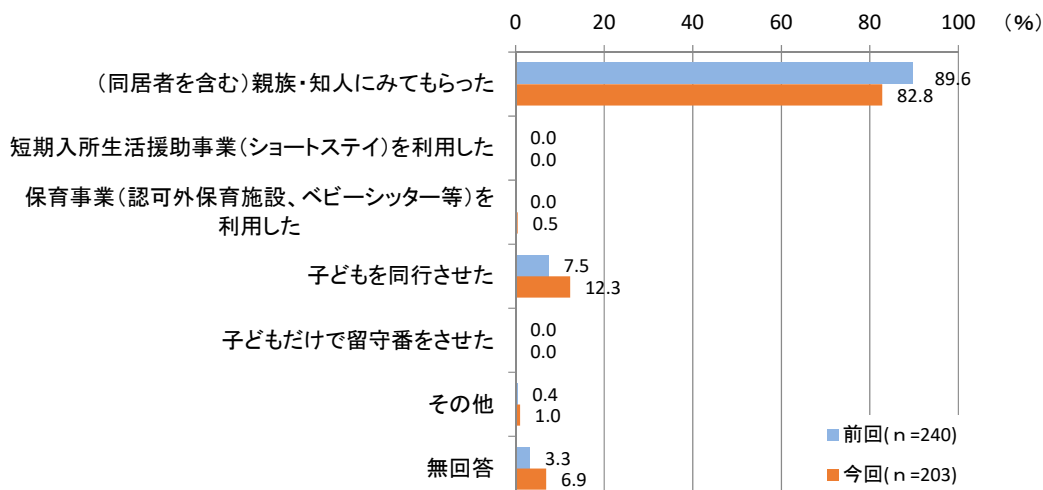
問 23. この1年間に、冠婚葬祭、保護者・家族の病気などにより、お子さんを泊りがけで保護者以外がみなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含まれます)。あった場合は、この1年間の対処方法の日数もお答えください。



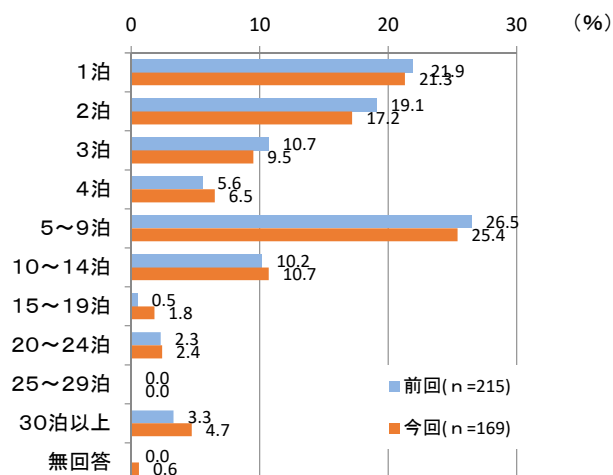
### <年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	あった	なかった	無回答
全体	1032	19.7	76.4	4.0
0歳	89	13.5	82.0	4.5
1-2歳	312	23.1	72.4	4.5
3-6歳	625	19.0	77.4	3.5
シングルマザー	53	15.1	77.4	7.5
シングルファザー	4	25.0	75.0	0.0

サンプル数：人 単位：%



【(同居者を含む)親族・知人にみてもらった】



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	親族、知人にみてもらった	短期入所生活支援事業を利用した	保育事業を利用した	子どもを同行させた	子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	203	82.8	0.0	0.5	12.3	0.0	1.0	6.9
0歳	12	75.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7
1～2歳	72	88.9	0.0	0.0	9.7	0.0	1.4	5.6
3～6歳	119	79.8	0.0	0.8	14.3	0.0	0.8	6.7
シングルマザー	8	75.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5
シングルファザー	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

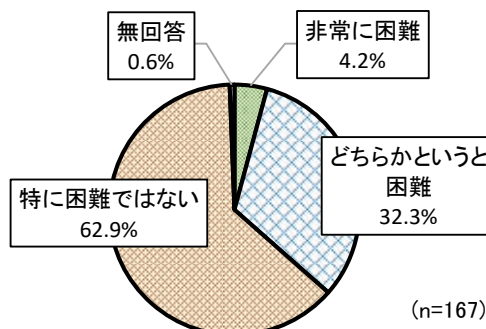
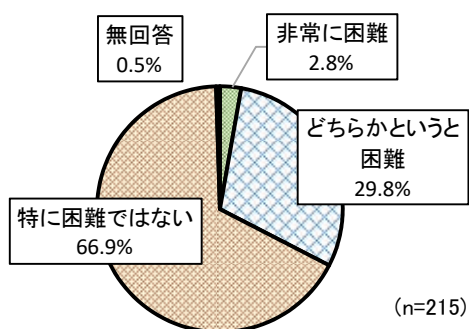
サンプル数：人 単位：%

問23で「1.あった」の「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に回答した方にお伺いします。

問23-1. その場合、みてもらうことは困難でしたか。(1つに○)

<前回>

<今回>



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	非常に困難	どちらかという困難	特に困難ではない	無回答
全体	167	4.2	32.3	62.9	0.6
0歳	9	0.0	44.4	55.6	0.0
1～2歳	64	3.1	31.3	64.1	1.6
3～6歳	94	5.3	31.9	62.8	0.0
シングルマザー	6	0.0	33.3	66.7	0.0
シングルファザー	1	0.0	100.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%



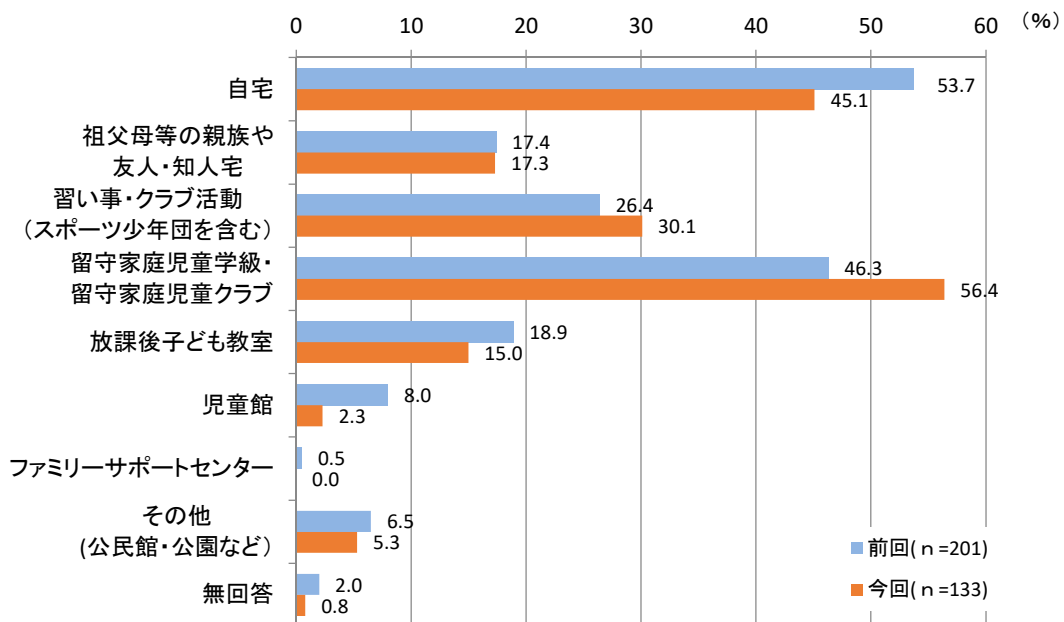
## 10. 留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブについて

### 10-1. 平日の放課後の過ごし方(低学年の時)

低学年の時に放課後の過ごさせたい場所についてみると、「留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ」が56.4%で最も多くなっており、1週あたりの平均利用希望日数は4.5日、最も多い希望終了時刻は18時台となっています。前回調査と比較すると、「留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ」が10.1ポイント増加、「自宅」が8.6ポイント減少しています。

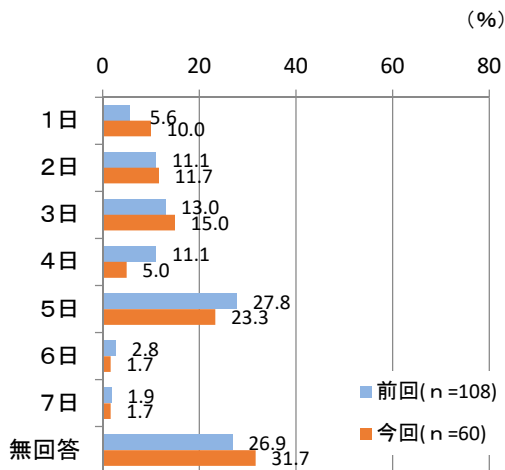
**お子さんが来年度小学校入学予定の方にお伺いします。該当しない方は、問27へお進みください。**

問24. お子さんが小学校低学年(1~3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

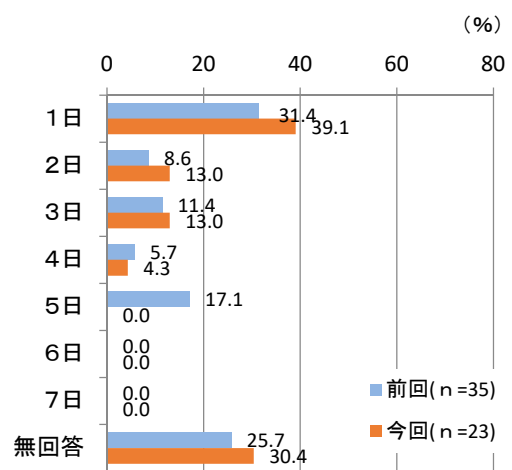


《1週あたり利用希望日数》

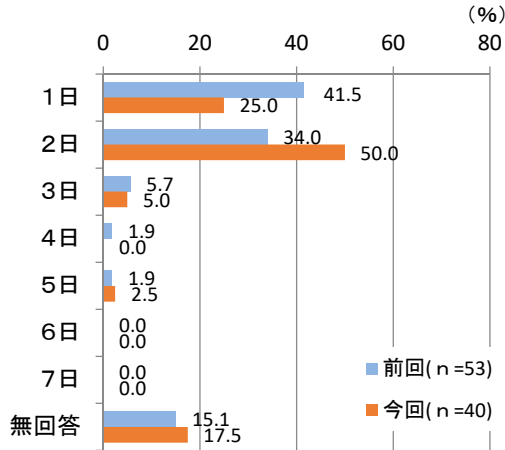
【自宅】



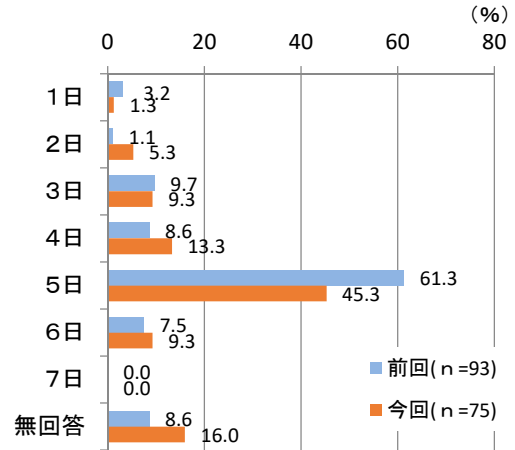
【祖父母等の親族や友人・知人宅】



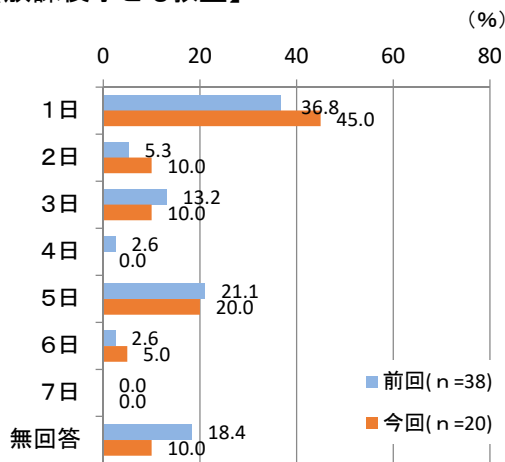
【習い事・クラブ活動(スポーツ少年団を含む)】



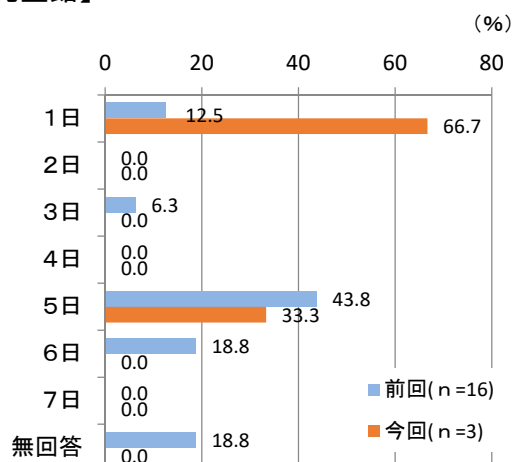
【留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ】



【放課後子ども教室】

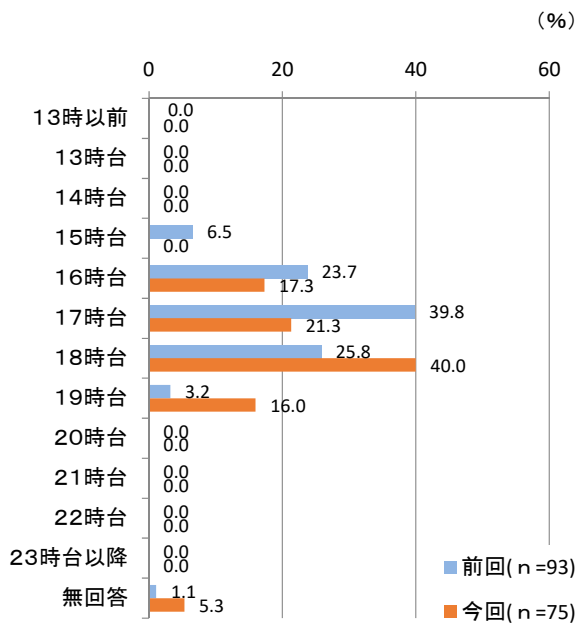


【児童館】



《希望終了時刻》

【留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ】



＜年齢別・ひとり親家庭別＞

	サンプル数	自宅	祖父母等の親族や友人・知人宅	習い事・クラブ活動	留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ	放課後子ども教室
全体	133	45.1	17.3	30.1	56.4	15.0
シングルマザー	9	22.2	11.1	0.0	77.8	11.1
シングルファザー	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サンプル数	児童館	ファミリーサポートセンター	その他	無回答	
全体	133	2.3	0.0	5.3	0.8	
シングルマザー	9	0.0	0.0	0.0	0.0	
シングルファザー	2	0.0	0.0	0.0	0.0	

サンプル数：人 単位：%

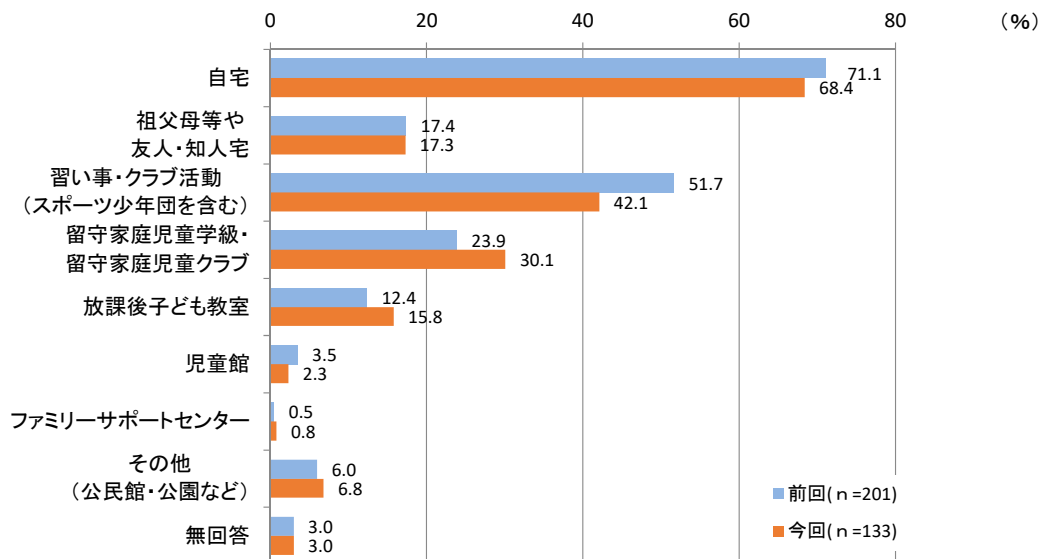
## 10-2. 平日の放課後の過ごし方(高学年の時)

高学年の時に放課後の過ごさせたい場所については、「自宅」が 68.4%と最も多く、次いで「習い事・クラブ活動（スポーツ少年団を含む）」が 42.1%、「留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ」が 30.1%となっています。前回調査と比較すると、「留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ」が 6.2 ポイント増加、「習い事・クラブ活動（スポーツ少年団を含む）」が 9.6 ポイント減少しています。

「留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ」の、1週あたりの平均利用希望日数は 4.4 日、希望学年は6年生までが 62.5%を占めました。また、最も多い希望終了時刻は、18 時台となっています。

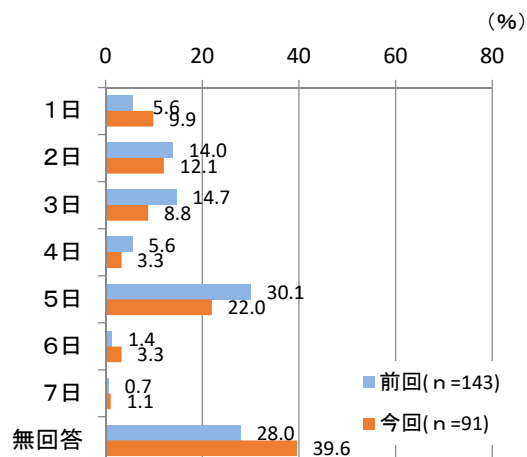
問 25. お子さんが小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

また、留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブを利用したい方は、何年生まで利用したいかお答えください。

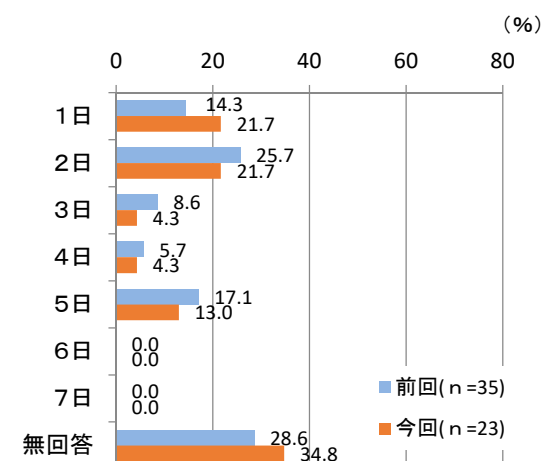


《1週あたり利用希望日数》

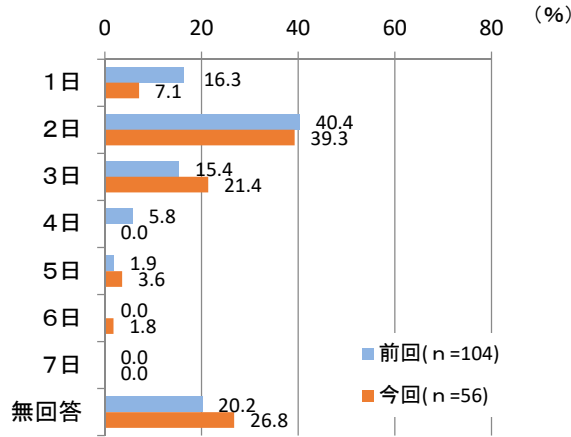
【自宅】



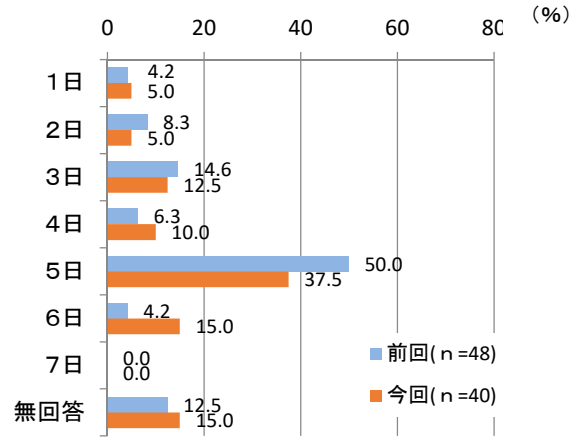
【祖父母や友人・知人宅】



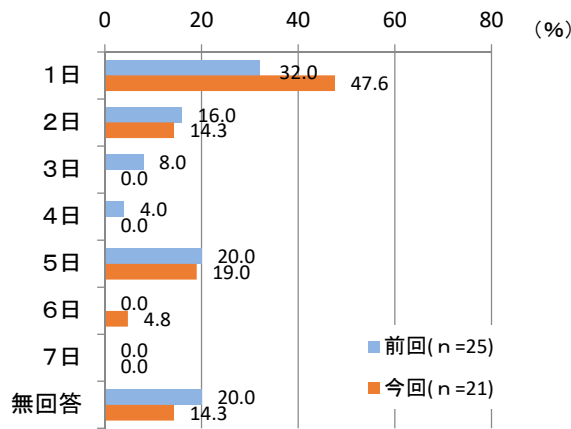
【習い事・クラブ活動(スポーツ少年団を含む)】



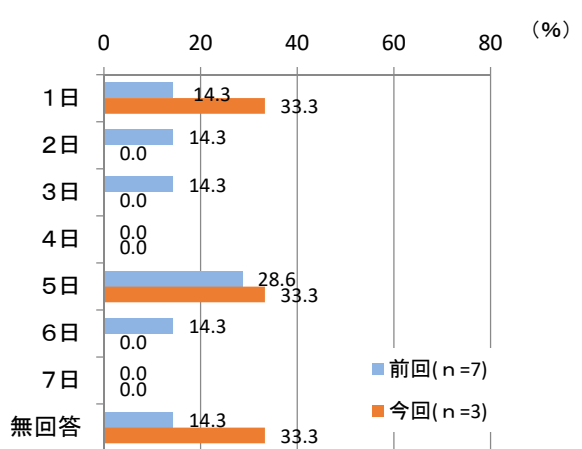
【留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ】



【放課後子ども教室】



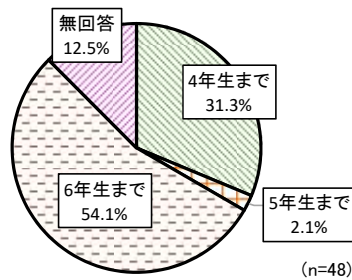
【児童館】



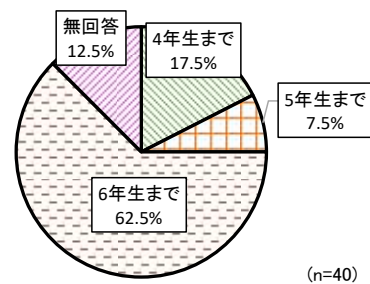
《留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブの利用希望学年と希望終了時刻》

【利用希望学年】

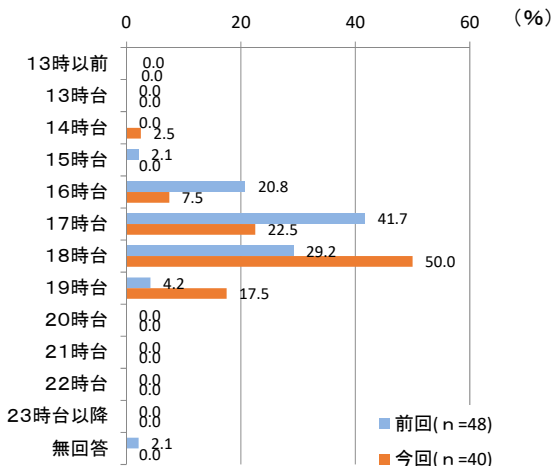
< 前回 >



< 今回 >



【希望終了時刻】



< 年齢別・ひとり親家庭別 >

	サンプル数	自宅	祖父母や友人・知人宅	習い事・クラブ活動(スポーツ少年団を含む)	留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ	放課後子ども教室
全体	133	68.4	17.3	42.1	30.1	15.8
シングルマザー	9	33.3	11.1	22.2	55.6	11.1
シングルファザー	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	サンプル数	児童館	ファミリーサポートセンター	その他(公民館・公園など)	無回答	
全体	133	2.3	0.8	6.8	3.0	
シングルマザー	9	0.0	0.0	0.0	11.1	
シングルファザー	2	0.0	0.0	0.0	0.0	

サンプル数：人 単位：%

### 10-3. 留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブの利用意向

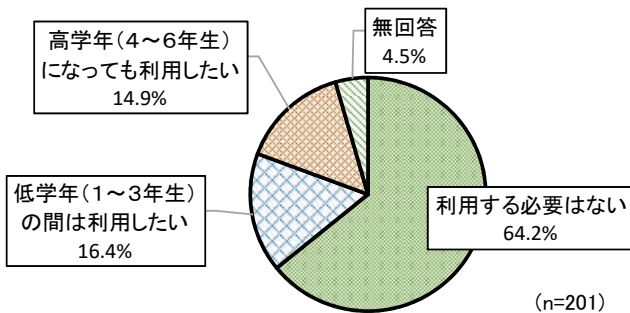
留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブの利用意向をみると、土曜日は「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が18.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が18.0%で、「利用したい（計）」は36.8%となっています。日曜日・祝日の「利用したい（計）」は11.3%と土曜日と比べて希望者は少なくなります。夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の「利用したい（計）」は63.2%となり、6割以上が利用を希望しています。利用希望学年としては、いずれも「6年生まで」が最も多くなっています。前回調査と比較すると、いずれも「利用したい（計）」が増加しています。

平均の希望開始・終了時刻についてみると、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中のいずれも希望開始時刻は8時台、希望終了時刻は18時台が最も多くなっています。

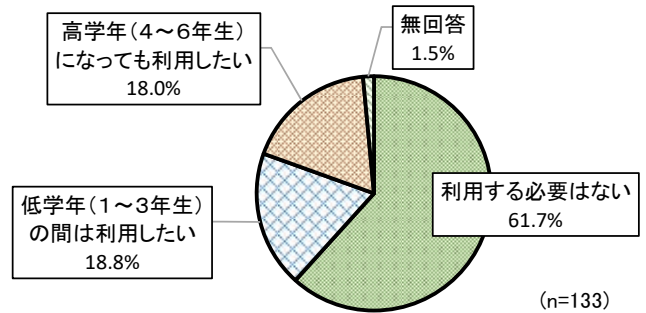
問 26. お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中、留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブの利用希望はありますか。（1つに○）

#### (1) 土曜日

##### <前回>

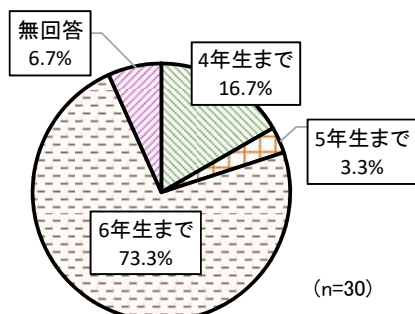


##### <今回>

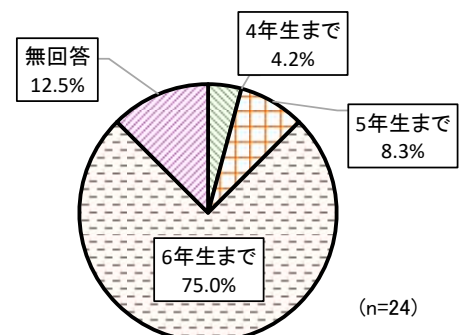


#### 【利用希望学年】

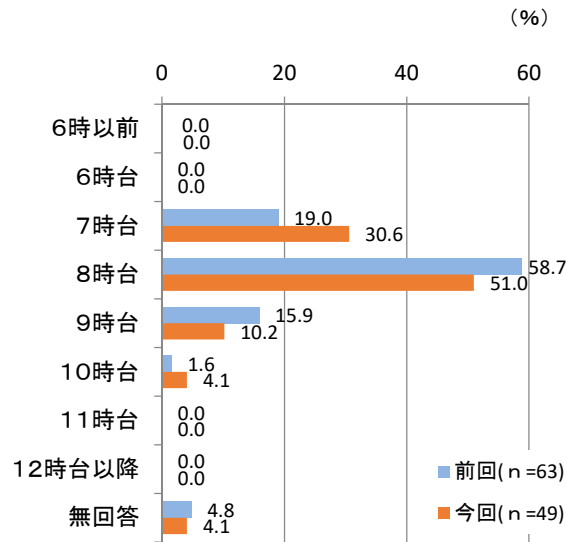
##### <前回>



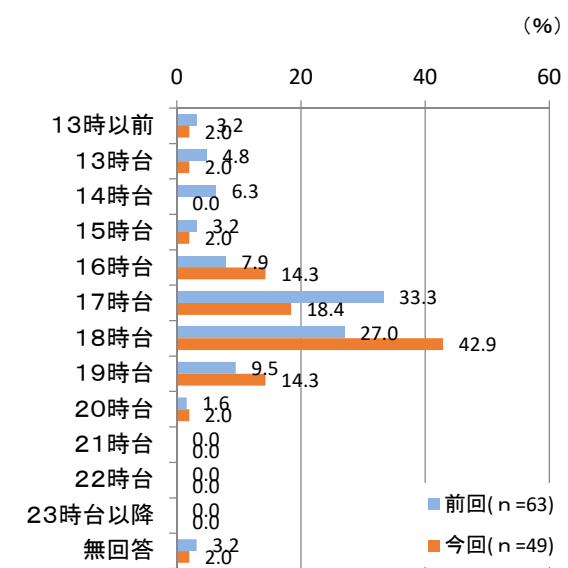
##### <今回>



【希望開始時刻】



【希望終了時刻】



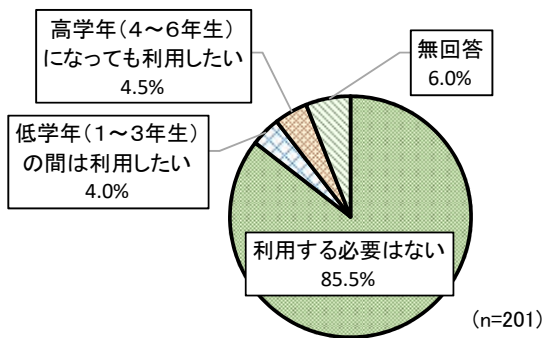
<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用する必要はない	低学年の間は利用したい	高学年になっても利用したい	無回答
全体	133	61.7	18.8	18.0	1.5
シングルマザー	9	11.1	55.6	33.3	0.0
シングルファザー	2	100.0	0.0	0.0	0.0

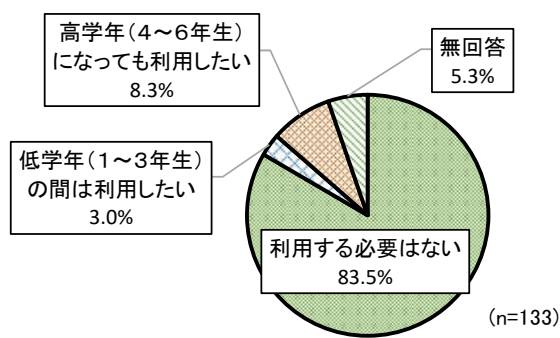
サンプル数：人 単位：%

(2) 日曜日・祝日

<前回>

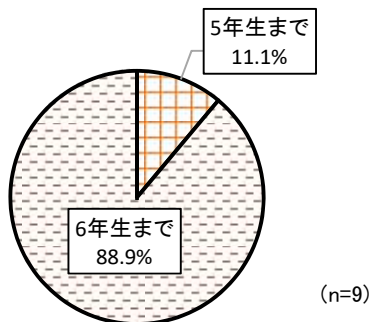


<今回>

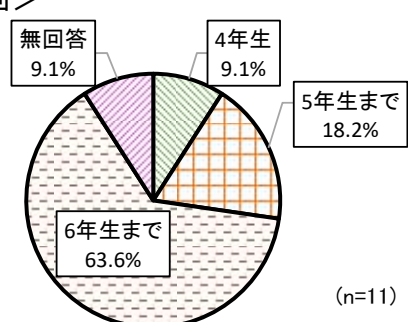


【利用希望学年】

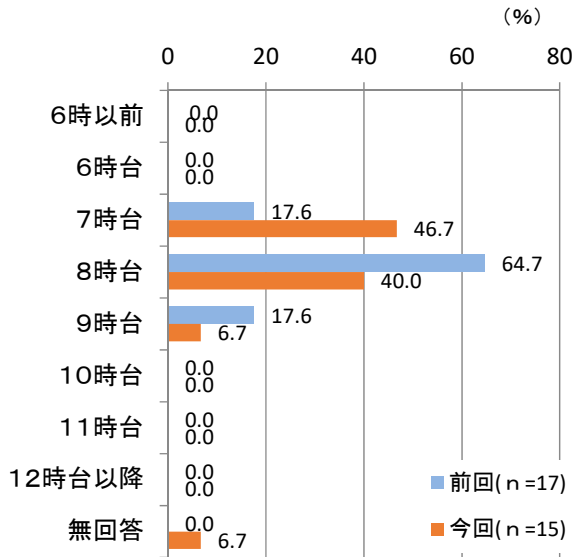
<前回>



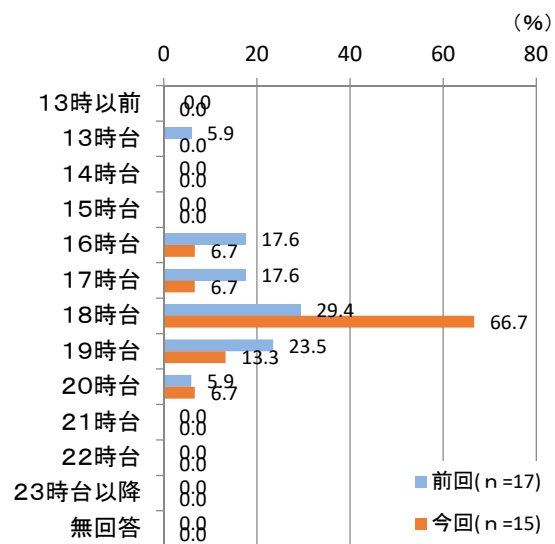
<今回>



【希望開始時刻】



【希望終了時刻】



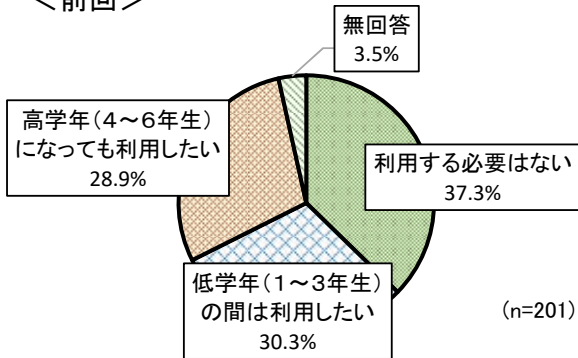
＜年齢別・ひとり親家庭別＞

	サンプル数	利用する必要はない	低学年の間は利用したい	高学年になっても利用したい	無回答
全体	133	83.5	3.0	8.3	5.3
シングルマザー	9	44.4	22.2	22.2	11.1
シングルファザー	2	100.0	0.0	0.0	0.0

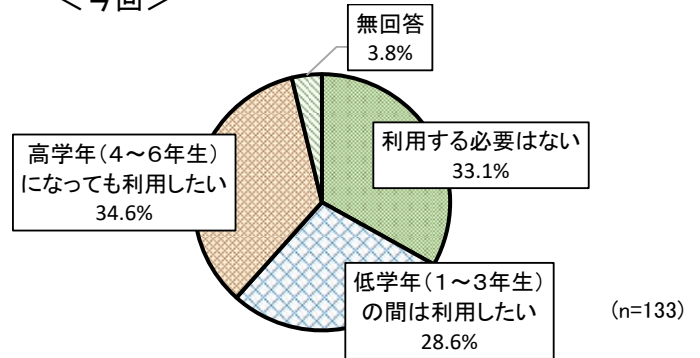
サンプル数：人 単位：%

(3) 夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中

＜前回＞

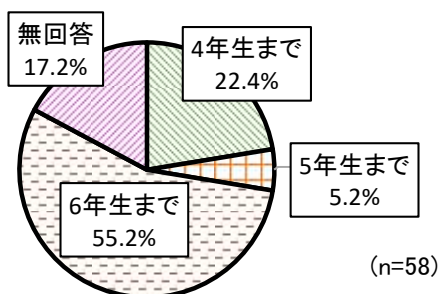


＜今回＞

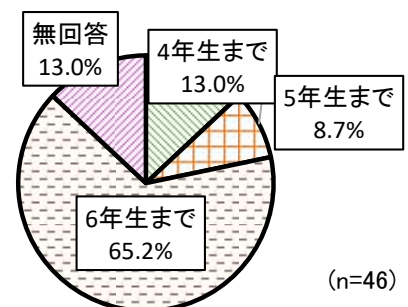


【利用希望学年】

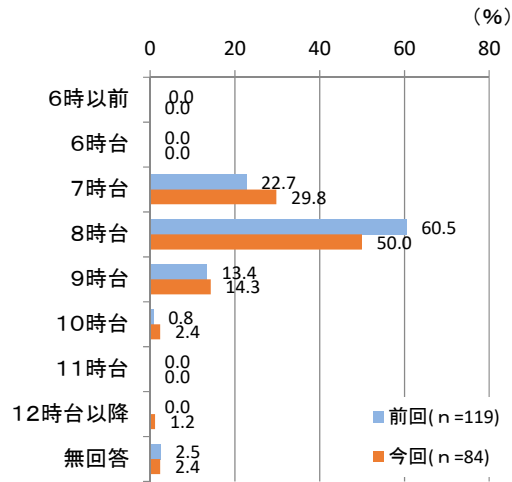
＜前回＞



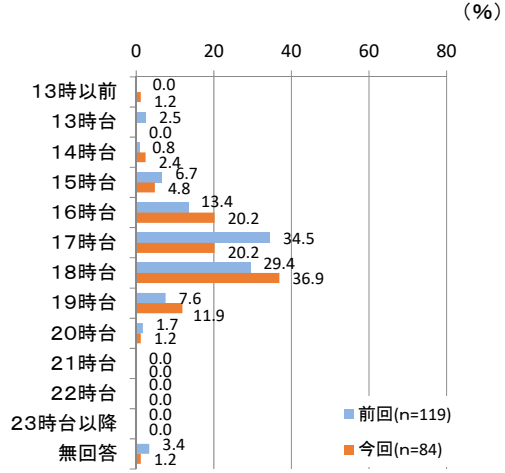
＜今回＞



【希望開始時刻】



【希望終了時刻】



＜年齢別・ひとり親家庭別＞

	サンプル数	利用する 必要はない	低学年の間 は利用した い	高学年に なっても 利用したい	無回答
全体	133	33.1	28.6	34.6	3.8
シングルマザー	9	11.1	55.6	33.3	0.0
シングルファザー	2	100.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%



# 11. 育児休業制度等の利用状況

## 11-1. 育児休業制度の利用の有無

アンケート対象となった子どもが生まれた時に、母親または父親の育児休業制度の利用経験をみると、母親が「取得した」が39.2%であるのに対し、父親の「取得した」は4.7%となっています。前回調査と比較すると、「取得した」において、母親は19.7ポイント、父親は2.7ポイント増加しています。

取得していない理由としては、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」が30.9%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が21.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が9.6%と続いています。前回調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が11.7ポイント減少しています。父親は、「仕事が忙しかった」が31.6%で最も多く、次いで、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が28.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が27.8%となっています。前回調査と比較すると、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が13.7ポイント減少しています。

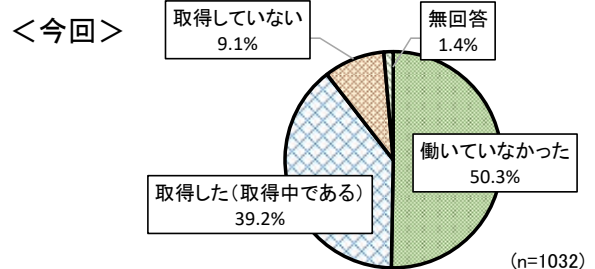
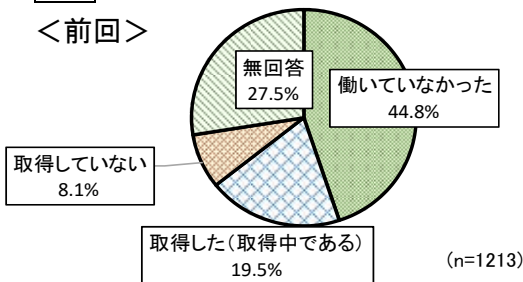
また、「子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み」の認知については、両方とも知っていた人は38.6%、育児休業給付のみ知っていた人が30.6%、保険料免除のみ知っていた人が1.8%となっており、何らかについて知っていた人は、71.0%となっています。前回調査で何らかについて知っていた人の割合は44.7%であり、認知率は上昇しています。

### すべての方にお伺いします。

問 27. お子さんが生まれた時、父母のいずれか、または双方が育児休業を取得しましたか。

(①母親、②父親ごと1つに○)※取得していない場合は、該当する理由をすべてお答えください。

#### 母親



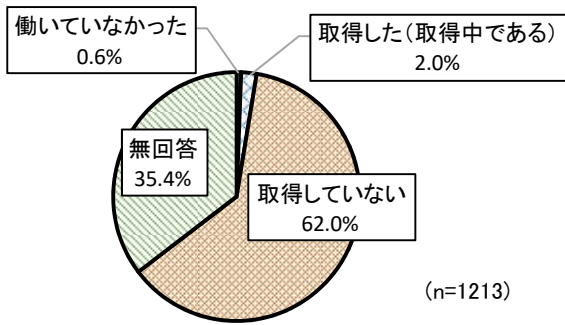
#### <年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	働いていなかった	取得した(取得中である)	取得していない	無回答
全体	1032	50.3	39.2	9.1	1.4
0歳	89	36.0	52.8	10.1	1.1
1-2歳	312	41.0	48.4	9.3	1.3
3-6歳	625	57.0	32.8	8.8	1.4
シングルマザー	53	56.6	30.2	13.2	0.0
シングルファザー	4	50.0	0.0	0.0	50.0

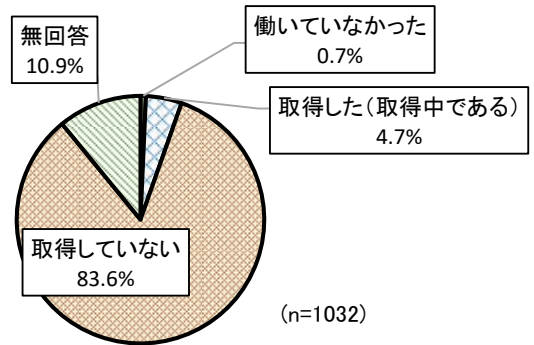
サンプル数：人 単位：%

**父親**

<前回>



<今回>



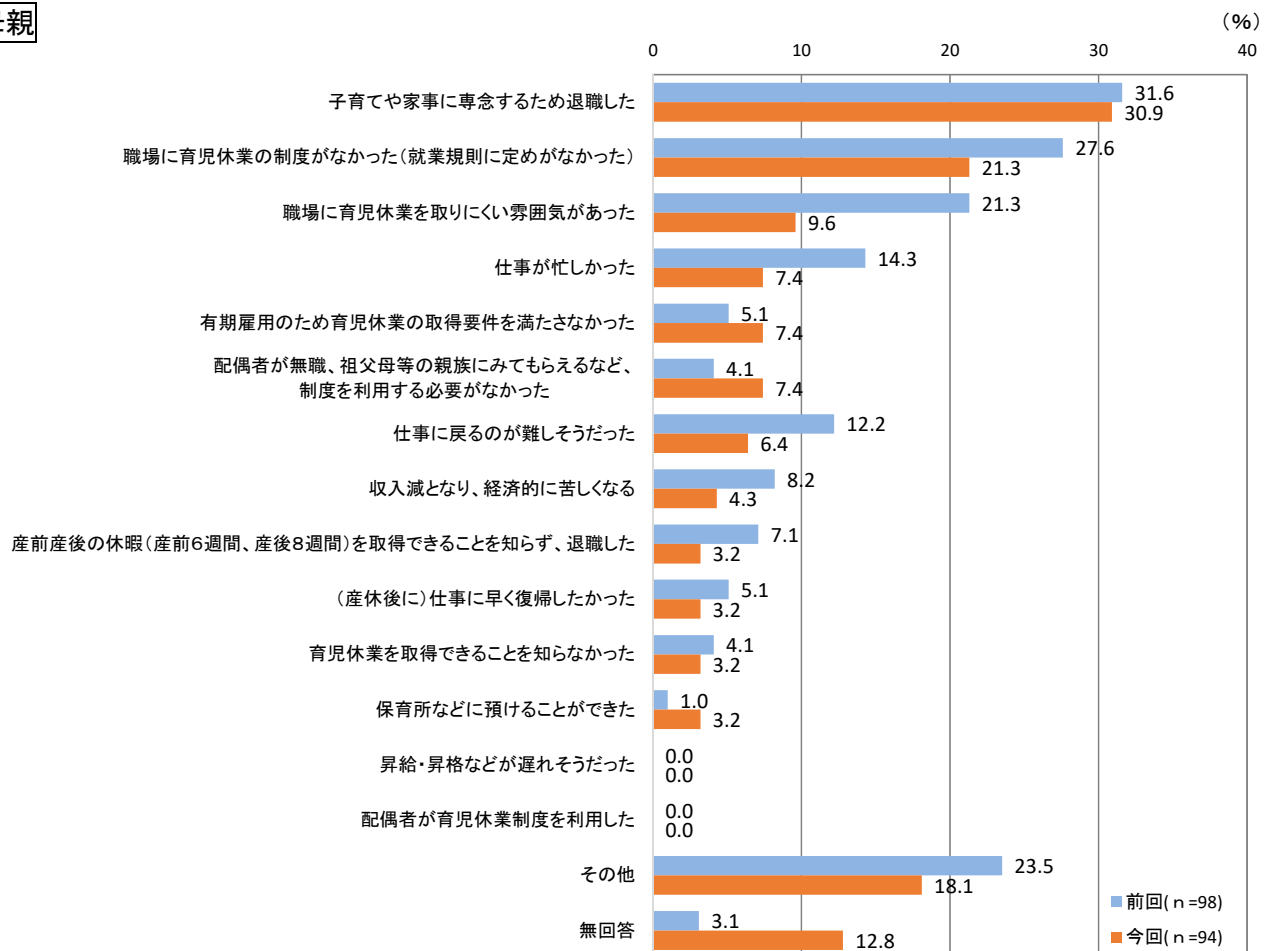
<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	働いて いなかった	取得した (取得中であ る)	取得 していない	無回答
全体	1032	0.7	4.7	83.6	10.9
0歳	89	0.0	10.1	85.4	4.5
1-2歳	312	0.3	7.1	84.9	7.7
3-6歳	625	1.0	2.9	82.9	13.3
シングルマザー	53	0.0	0.0	32.1	67.9
シングルファザー	4	0.0	0.0	100.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

【取得していない理由】

**母親**



<年齢別・ひとり親家庭別>

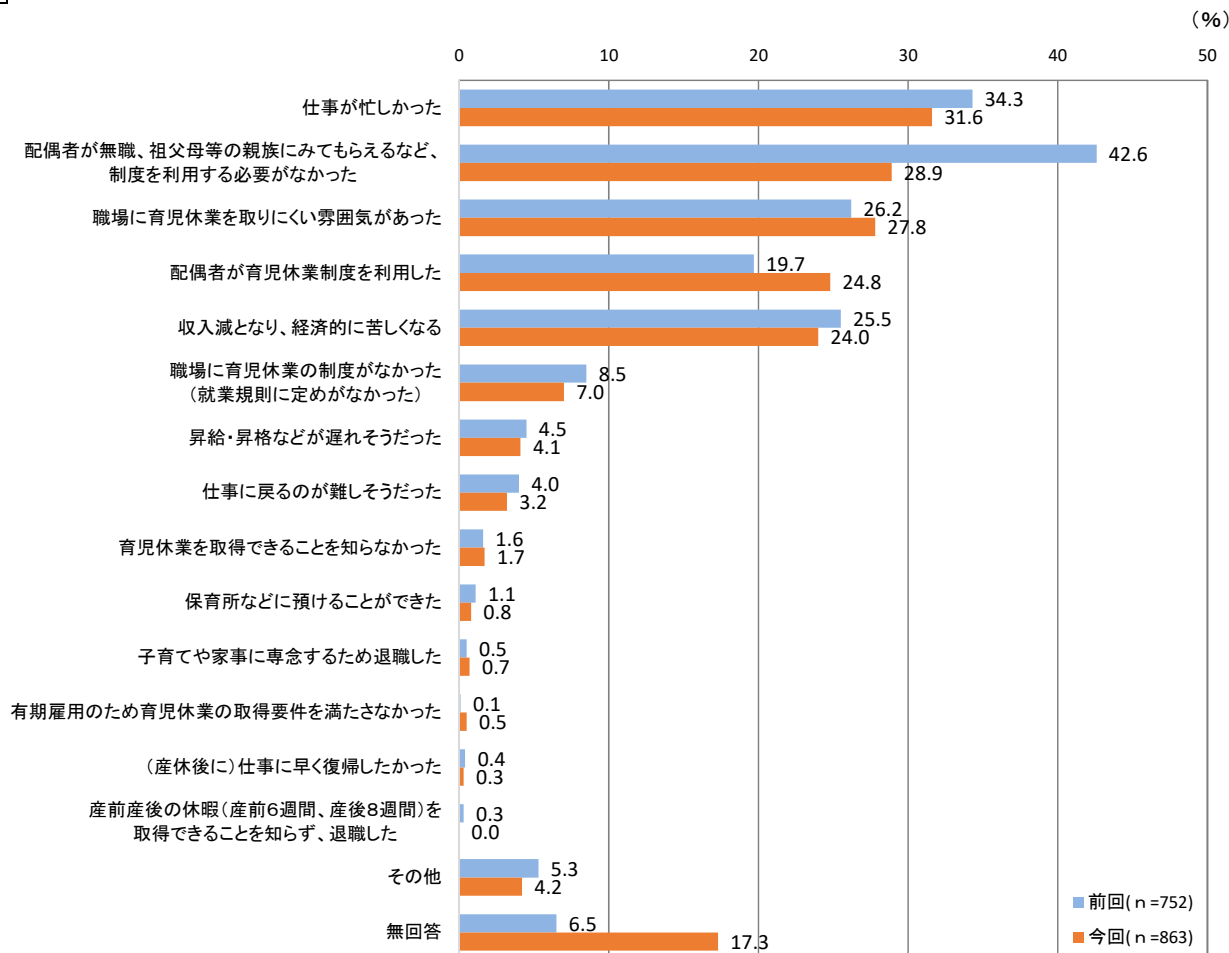
	サンプル数	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	仕事が忙しかった	(産休後に)仕事に早く復帰したかった	仕事に戻るのが難しそうだった	昇給・昇格などが遅れそうだった	収入減となり、経済的に苦しくなる	保育所などに預けることができた	配偶者が育児休業制度を利用した
全体	94	9.6	7.4	3.2	6.4	0.0	4.3	3.2	0.0
0歳	9	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
1-2歳	29	6.9	10.3	3.4	6.9	0.0	0.0	3.4	0.0
3-6歳	55	12.7	7.3	5.5	5.5	0.0	7.3	3.6	0.0
シングルマザー	7	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0
シングルファザー	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	サンプル数	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	子育てや家事に専念するため退職した	職場に育児休業の制度がなかった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	育児休業を取得できなかった	産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した	その他	無回答
全体	94	7.4	30.9	21.3	7.4	3.2	3.2	18.1	12.8
0歳	9	11.1	77.8	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1
1-2歳	29	10.3	17.2	20.7	6.9	3.4	0.0	20.7	10.3
3-6歳	55	5.5	30.9	25.5	7.3	3.6	5.5	16.4	14.5
シングルマザー	7	0.0	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3
シングルファザー	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

父親



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	仕事が忙しかった	(産休後に)仕事に早く復帰したかった	仕事に戻るのが難しそうだった	昇給・昇格などが遅れそうだった	収入減となり、経済的に苦しくなる	保育所などに預けることができた	配偶者が育児休業制度を利用した
全体	863	27.8	31.6	0.3	3.2	4.1	24.0	0.8	24.8
0歳	76	34.2	38.2	1.3	3.9	2.6	35.5	1.3	34.2
1-2歳	265	31.3	32.1	0.4	2.6	4.9	26.4	0.4	30.2
3-6歳	518	25.1	30.5	0.2	3.5	3.7	21.2	1.0	20.7
シングルマザー	17	17.6	29.4	0.0	0.0	5.9	23.5	0.0	11.8
シングルファザー	4	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	4	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0

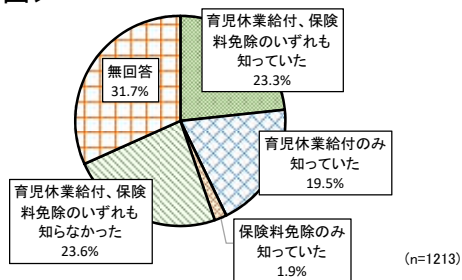
  

	サンプル数	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	子育てや家事に専念するため退職した	職場に育児休業の制度がなかった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	育児休業を取得できることを知らなかった	産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した	その他	無回答
全体	863	28.9	0.7	7.0	0.5	1.7	0.0	4.2	17.3
0歳	76	27.6	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	7.9	9.2
1-2歳	265	25.7	0.0	8.3	0.4	2.3	0.0	4.9	18.5
3-6歳	518	30.9	1.2	6.9	0.6	1.7	0.0	3.1	17.8
シングルマザー	17	23.5	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0	5.9	17.6
シングルファザー	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
無回答	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0

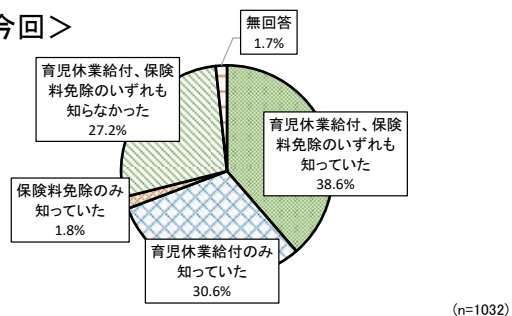
サンプル数：人 単位：%

問 28. 子どもが原則 1 歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等の期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。(1つに○)

<前回>



<今回>



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた	育児休業給付のみ知っていた	保険料免除のみ知っていた	育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった	無回答
全体	1032	38.6	30.6	1.8	27.2	1.7
0歳	89	47.2	33.7	0.0	16.9	2.2
1-2歳	312	42.6	30.4	1.9	24.0	1.0
3-6歳	625	35.5	30.6	2.1	29.8	2.1
シングルマザー	53	28.3	32.1	1.9	37.7	0.0
シングルファザー	4	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

## 11-2. 育児休業取得後の対応等(母親)

育児休業取得後の職場復帰について、母親が「育児休業取得後、職場に復帰した」は73.1%となっており、前回調査と比較すると、9.8ポイント増加しています。復帰のタイミングとしては、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が29.7%と約3割になっています。

復帰時期については、希望、職場の取得可能期間ともに平均1歳5か月までなのに対し、現実は1歳1ヶ月までしか育児休業を取得していないという状況です。

また、育児のため3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望取得の子どもの年齢は平均1歳11か月となっています。

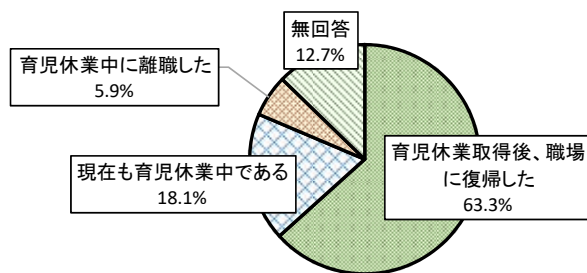
「現在も育児休業中」の人に対する「子どもが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか」についての質問では、86.6%の人が取得を希望しており、前回調査より7.5%増加しています。

**問27で母親または父親が「2.取得した(取得中である)」に○をした方にお伺いします。該当しない方は、問30へお進みください。**

### 母親

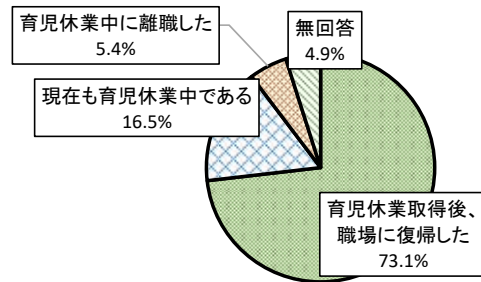
問29. 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(①母親、②父親ごと1つに○)

<前回>



(n=237)

<今回>



(n=405)

<年齢別・ひとり親家庭別>

### 母親

	サンプル数	育児休業取得後、職場に復帰した	現在も育児休業中である	育児休業中に離職した	無回答
全体	405	73.1	16.5	5.4	4.9
0歳	47	14.9	83.0	2.1	0.0
1-2歳	151	76.2	11.3	6.0	6.6
3-6歳	205	83.9	5.4	5.9	4.9
シングルマザー	16	93.8	0.0	6.3	0.0

サンプル数：人 単位：%

### 父親

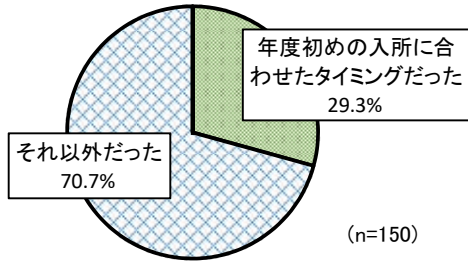
	サンプル数	育児休業取得後、職場に復帰した	現在も育児休業中である	育児休業中に離職した	無回答
全体	49	79.6	0.0	0.0	20.4
0歳	9	88.9	0.0	0.0	11.1
1-2歳	22	90.9	0.0	0.0	9.1
3-6歳	18	61.1	0.0	0.0	38.9

サンプル数：人 単位：%

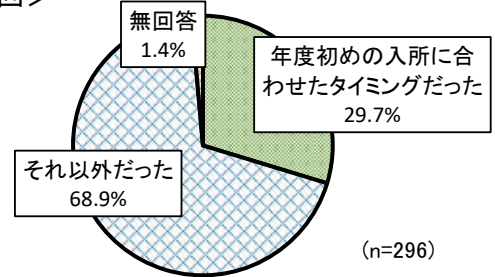
**問 29 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をした方にお伺いします。**

問 29-1. 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの認定こども園や保育所入所に合わせたタイミングでしたか。(①母親、②父親ごとに1つに○)

<前回>



<今回>



<年齢別・ひとり親家庭別>

**母親**

	サンプル数	年度初めの入所に合わせたタイミングだった	それ以外だった	無回答
全体	296	29.7	68.9	1.4
0歳	7	14.3	85.7	0.0
1-2歳	115	29.6	68.7	1.7
3-6歳	172	30.2	68.6	1.2
シングルマザー	15	20.0	80.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

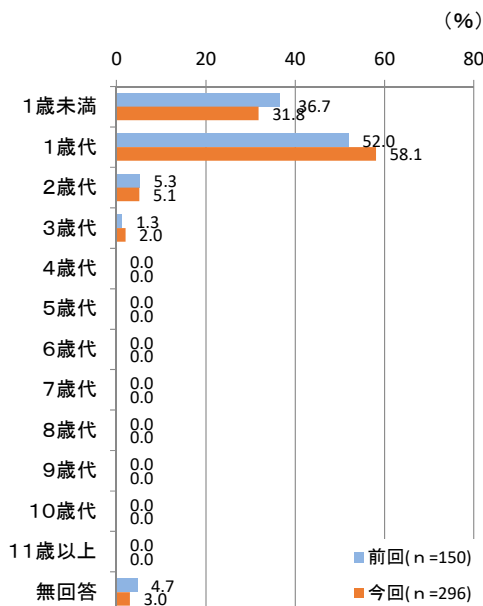
**父親**

	サンプル数	年度初めの入所に合わせたタイミングだった	それ以外だった	無回答
全体	39	5.1	94.9	0.0
0歳	8	0.0	100.0	0.0
1-2歳	20	10.0	90.0	0.0
3-6歳	11	0.0	100.0	0.0

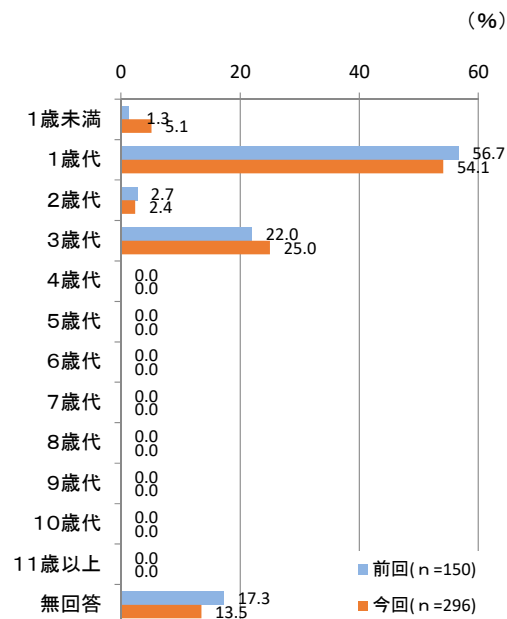
サンプル数：人 単位：%

問 29-2. お子さんが何歳何か月になるまで育児休業を取得しましたか。また、お勤め先の制度の取得可能期間と、その期間内でお子さんが何歳何か月になるまで取得したかったかお答えください。(①母親、②父親ごと)

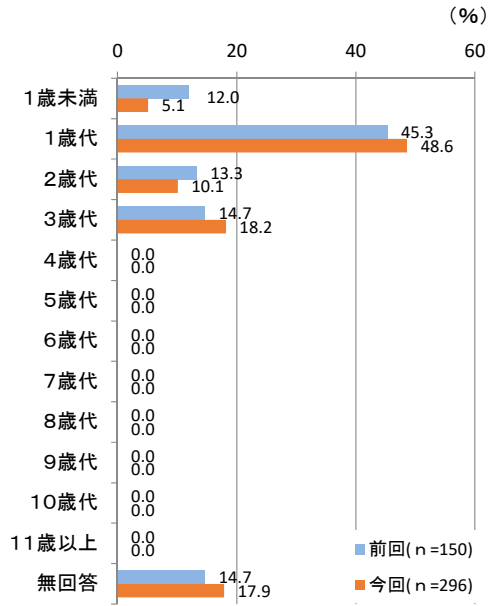
**【実際の取得期間】**



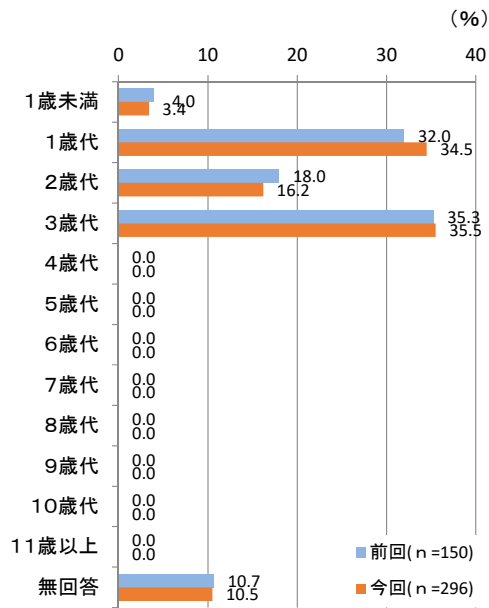
**【お勤め先の制度の取得可能期間】**



【希望の取得期間】



問 29-3. お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったかお答えください。(①母親、②父親ごと)

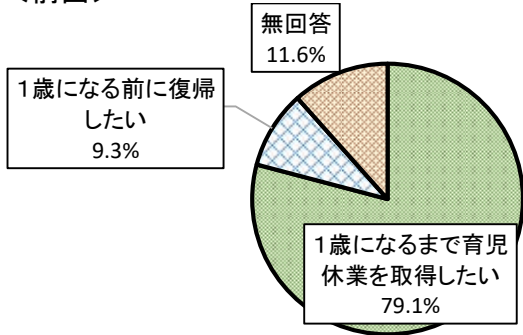


問 29 で「2.現在も育児休業中である」に○をした方にお伺いします。

問 29-4. お子さんが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があれば1歳になるまで育児休業を取得しますか。(①母親、②父親ごと1つに○)

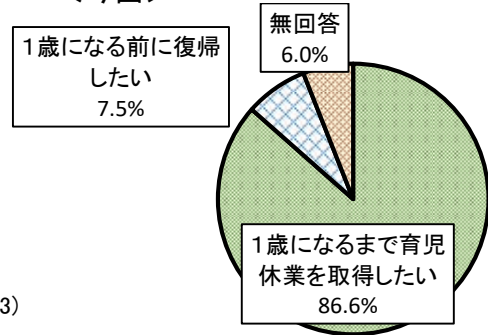
母親

<前回>



(n=43)

<今回>



(n=67)

<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	1歳になるまで育児休業を取得したい	1歳になる前に復帰したい	無回答
全体	67	86.6	7.5	6.0
0歳	39	84.6	10.3	5.1
1-2歳	17	88.2	5.9	5.9
3-6歳	11	90.9	0.0	9.1

サンプル数：人 単位：%

※問 29～問 29-4 の「父親」についての質問は回答者が少ないため、省略しています。



## 12. 「ファミリーサポートセンター」の利用状況

### 12-1. 利用状況と利用している理由

ファミリーサポートセンターを利用したことがある人は3.0%となっています。

利用理由としては、「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）」が、38.7%で最も多く、次いで「保育施設等の送り迎えに利用している」が25.8%となっています。

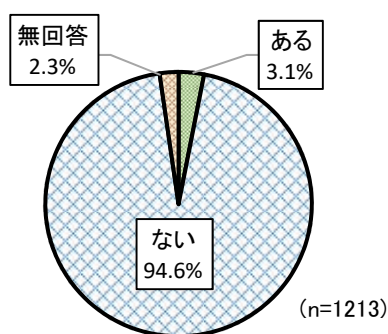
前回調査と比較すると、「祖父母等の親戚や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」は10.9ポイント減少しています。

1か月あたりの利用回数としては平均2.3回、1回あたりの利用時間は平均2.8時間となっています。

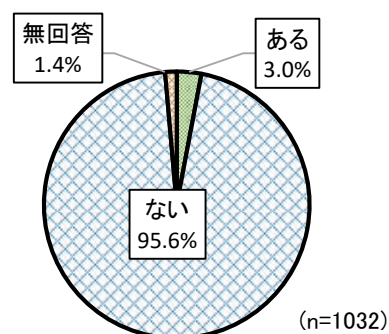
#### すべての方にお伺いします。

問 30. ファミリーサポートセンターを利用したことがありますか。(1つに○)

<前回>



<今回>



#### <年齢別・ひとり親家庭別>

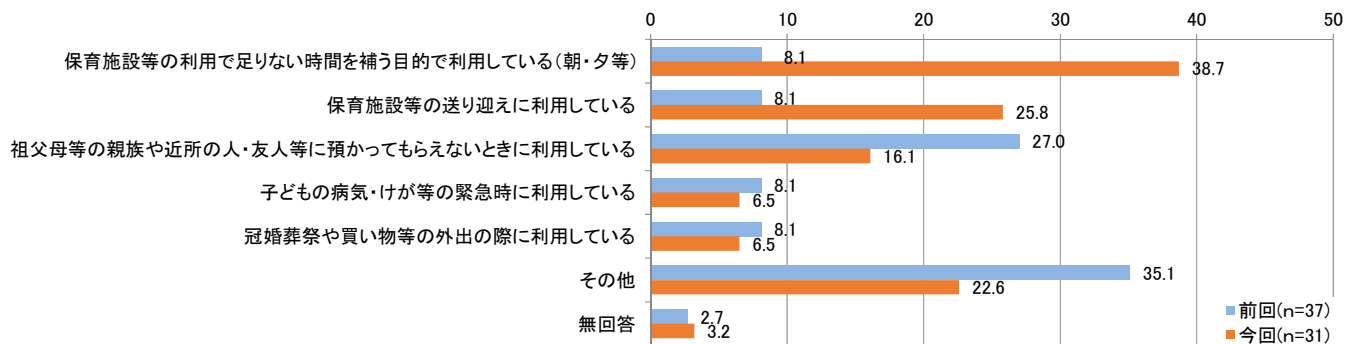
	サンプル数	ある	ない	無回答
全体	1032	3.0	95.6	1.4
0歳	89	1.1	96.6	2.2
1-2歳	312	3.5	95.8	0.6
3-6歳	625	3.0	95.4	1.6
シングルマザー	53	1.9	98.1	0.0
シングルファザー	4	25.0	75.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

**問 30 で「1.ある」に○をした方にお伺いします。**

問 30-1. どのような目的で利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

(%)



<年齢別・ひとり親家庭別>

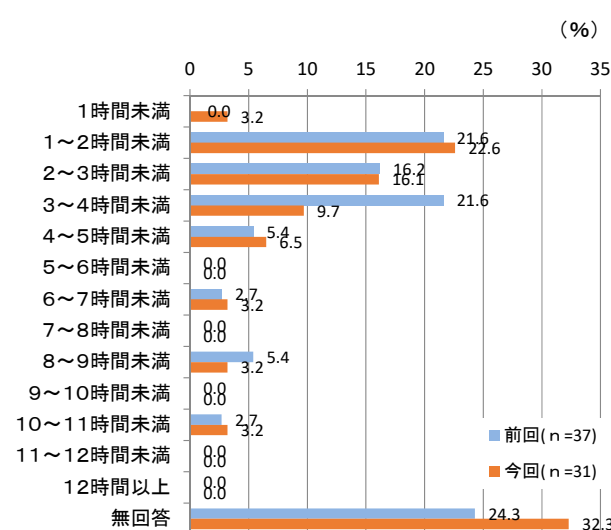
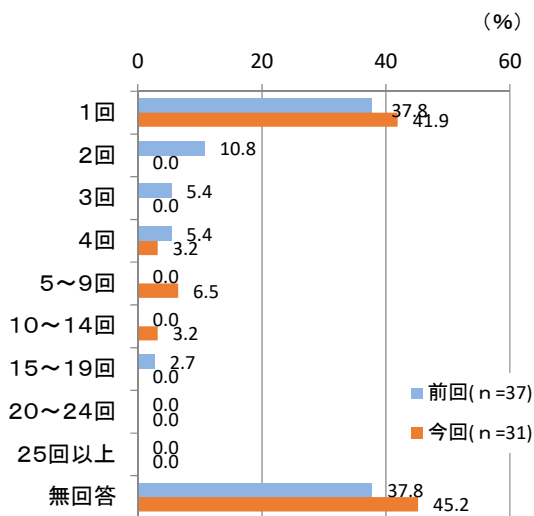
	サンプル数	保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している	子どもの病気・けが等の緊急時に利用している	祖父母等の親族や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	冠婚葬祭や買い物等の外出の際に利用している	保育施設等の送り迎えに利用している	その他	無回答
全体	31	38.7	6.5	16.1	6.5	25.8	22.6	3.2
0歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
1-2歳	11	45.5	0.0	9.1	0.0	36.4	27.3	0.0
3-6歳	19	36.8	10.5	21.1	5.3	21.1	21.1	5.3
シングルマザー	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
シングルファザー	1	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

問 30-2. 月に何回くらいの頻度で利用していますか。

【1 か月あたり利用回数】

【1 回あたり利用時間】



## 12-2. 今後の利用希望等

今後の利用希望としては、1 か月あたりの利用回数では平均 3.1 回、1 回あたりの利用時間で平均 3 時間となっています。

また、現在利用していないが、今後利用したい人は 14.8%となっています。

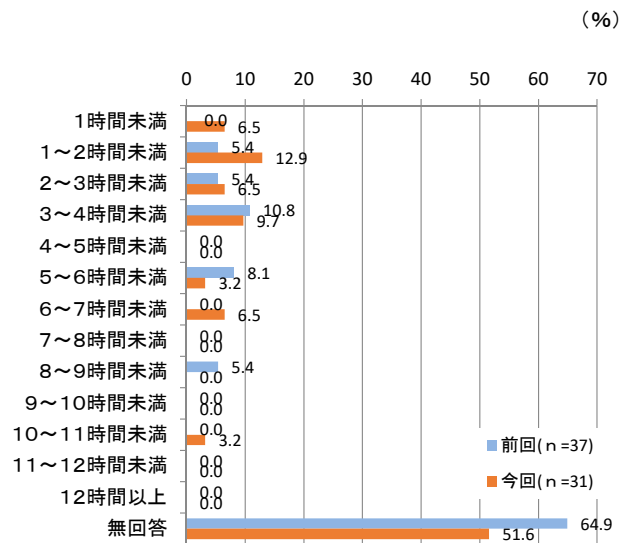
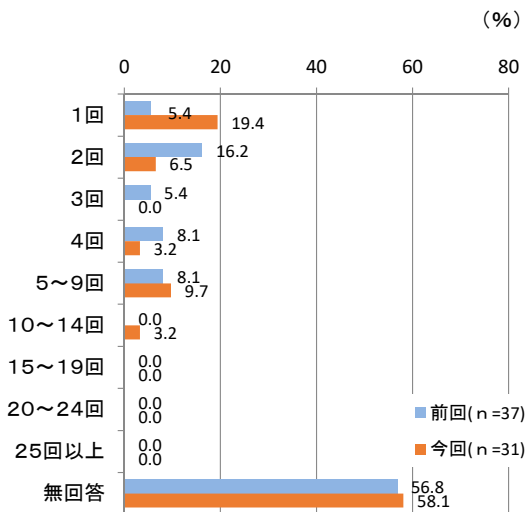
1 か月あたりの希望利用回数は平均 2.9 回、1 回あたりの希望利用時間は平均 4 時間となっています。

実際の利用時間と希望利用時間に平均 1 時間の差があります。

問 30-3. 利用回数や利用時間を増やせるとしたら、どれくらい増やしたいと思いますか。

【1 か月あたり希望利用回数】

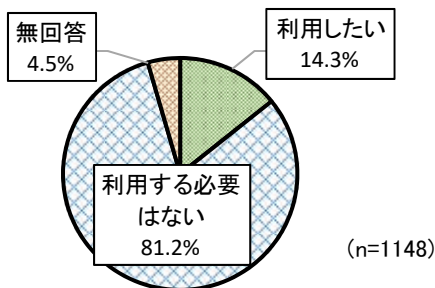
【1 回あたり希望利用時間】



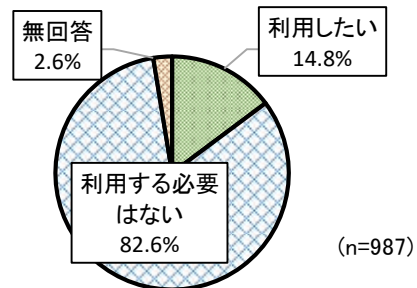
問 30 で「2.ない」に○をした方にお伺いします。

問 30-4. 今後利用したいと思いますか。利用したい場合は、利用したい回数、時間をお答えください。

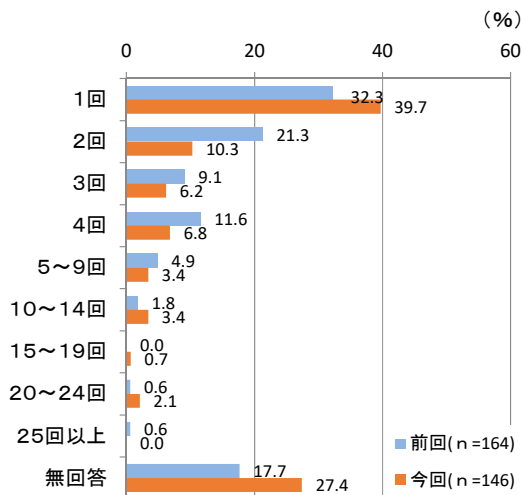
<前回>



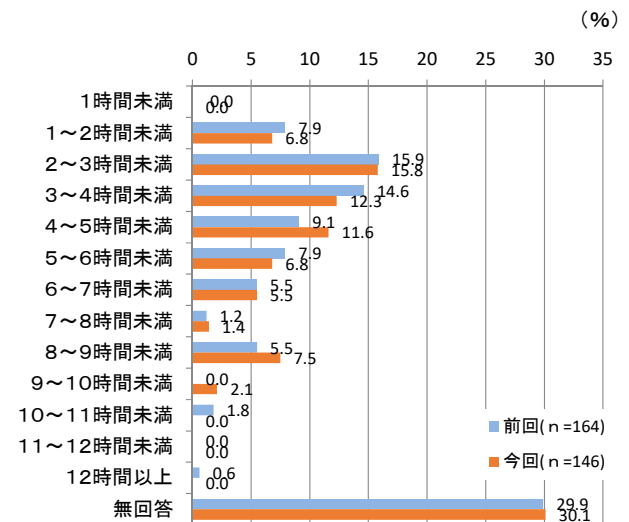
<今回>



【1 か月あたり希望利用回数】



【1 回あたり希望利用時間】



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用したい	利用する 必要はない	無回答
全体	987	14.8	82.6	2.6
0歳	86	18.6	80.2	1.2
1-2歳	299	18.7	79.6	1.7
3-6歳	596	12.4	84.6	3.0
シングルマザー	52	21.2	75.0	3.8
シングルファザー	3	33.3	33.3	33.3

サンプル数：人 単位：%

## 13. 子ども家庭支援センター「海北」の利用状況

### 13-1. 利用状況と利用していない理由

子ども家庭支援センター「海北」を利用したことがある人は 5.3%となっており、利用者の1か月あたりの利用回数は平均 1.1 回となっています。

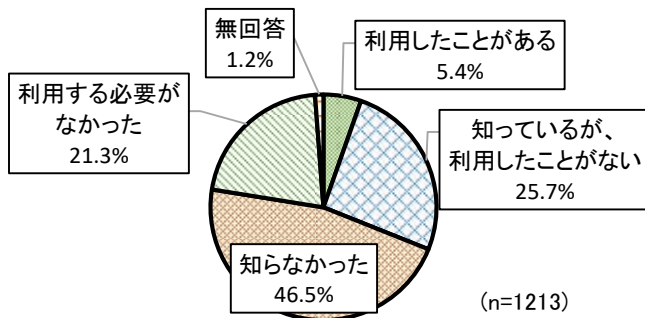
利用したことがない理由として、「特に理由はない」が 48.0%で最も多く、次いで「サービスの利用方法がわからない」が 22.6%、「利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」が 15.5%となっています。

前回調査と比較すると、「利用したいサービスがないから」は 5.2 ポイント、利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」は 3.6 ポイントそれぞれ増加しています。

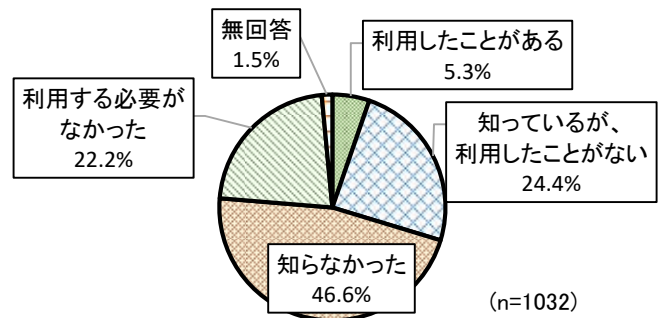
#### すべての方にお伺いします。

問 31. 子ども家庭支援センター「海北」を利用したことがありますか。(1つに○)

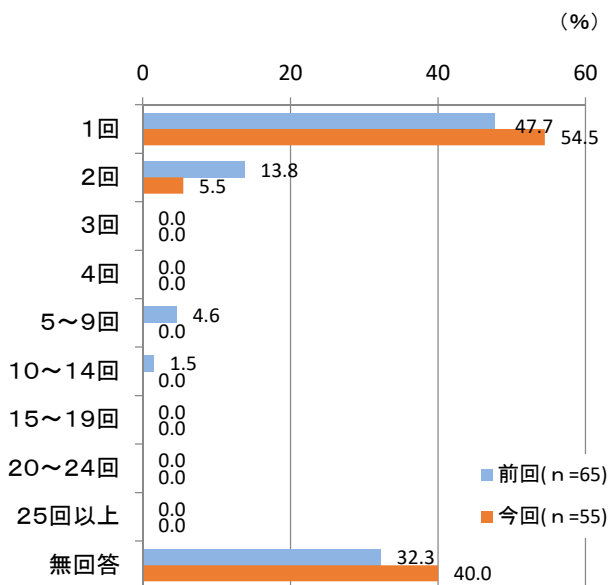
<前回>



<今回>



#### 【1か月あたり利用回数】



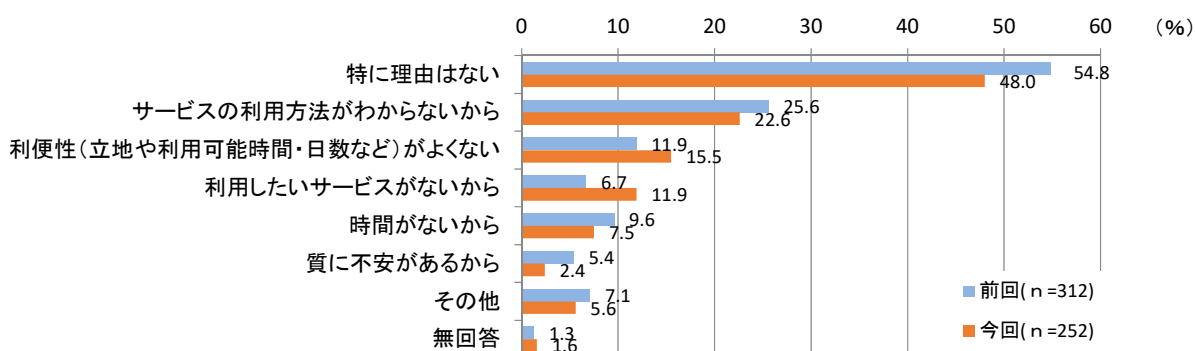
<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用したことがある	知っているが、利用したことがない	知らなかった	利用する必要がなかった	無回答
全体	1032	5.3	24.4	46.6	22.2	1.5
0歳	89	4.5	21.3	53.9	19.1	1.1
1-2歳	312	4.8	28.8	46.5	18.6	1.3
3-6歳	625	5.8	22.9	45.4	24.3	1.6
シングルマザー	53	0.0	24.5	58.5	17.0	0.0
シングルファザー	4	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

**問 31 で「2.知っているが、利用したことがない」に○をした方にお伺いします。**

問 31-1. サービスを利用したことがない理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用したいサービスがないから	質に不安があるから	利便性がよくない	時間がないから	サービスの利用方法がわからないから	その他	特に理由はない	無回答
全体	252	11.9	2.4	15.5	7.5	22.6	5.6	48.0	1.6
0歳	19	5.3	0.0	10.5	5.3	15.8	15.8	52.6	0.0
1-2歳	90	8.9	4.4	16.7	12.2	25.6	3.3	44.4	3.3
3-6歳	143	14.7	1.4	15.4	4.9	21.7	5.6	49.7	0.7
シングルマザー	13	15.4	7.7	7.7	0.0	23.1	0.0	46.2	0.0

サンプル数：人 単位：%

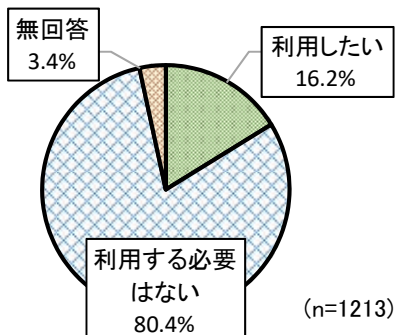
**13-2. 今後の利用希望等**

今後の利用希望については、「利用したい」は16.0%と2割ありません。  
1か月あたりの希望利用回数は平均2.0回となっています。

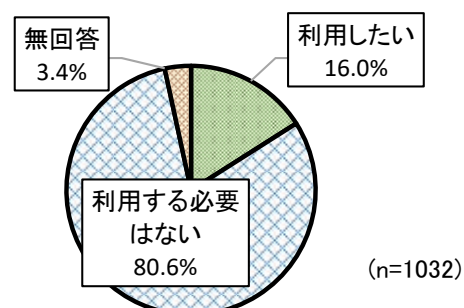
**すべての方にお伺いします。**

問 32. 今後利用したいと思いますか。利用したい場合は、利用したい回数をお答えください。

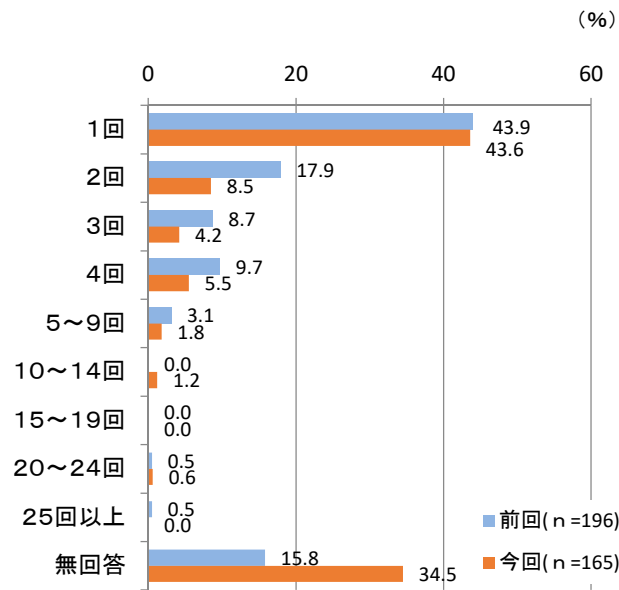
<前回>



<今回>



【1 か月あたり希望利用回数】



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用したい	利用する 必要はない	無回答
全体	1032	16.0	80.6	3.4
0歳	89	33.7	66.3	0.0
1～2歳	312	21.8	76.0	2.2
3～6歳	625	10.6	85.0	4.5
シングルマザー	53	9.4	86.8	3.8
シングルファザー	4	0.0	100.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

## 14. 「子育て応援室まんまるほうふ」の利用状況

子育て応援室まんまるほうふの利用状況について、「知らなかった」が48.0%と最も多く、次いで「知っているが、利用したことがない」が25.8%、「利用する必要がなかった」が16.0%となっています。

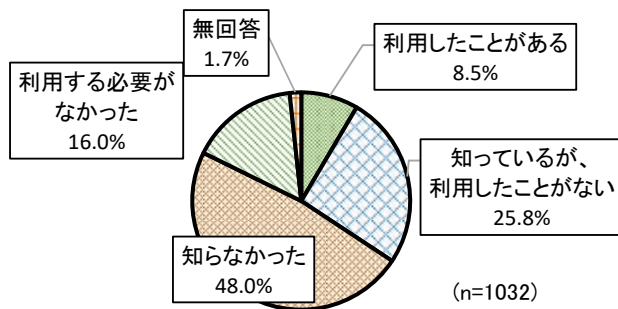
サービスを利用したことがない理由については、「特に理由はない」が54.5%で最も多く、次いで「サービスの利用方法がわからないから」が22.6%、「時間がないから」が16.2%となっています。

今後の利用希望としては、1か月あたりの利用回数では平均1.3回となっています

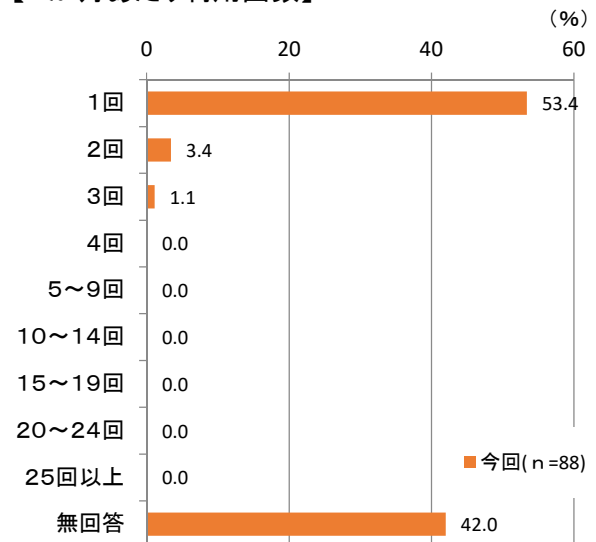
### すべての方にお伺いします。

問 33. 子育て応援室まんまるほうふ(子育て世代包括支援センター)を利用したことがありますか。

(1つに○)



### 【1か月あたり利用回数】



### <年齢別・ひとり親家庭別>

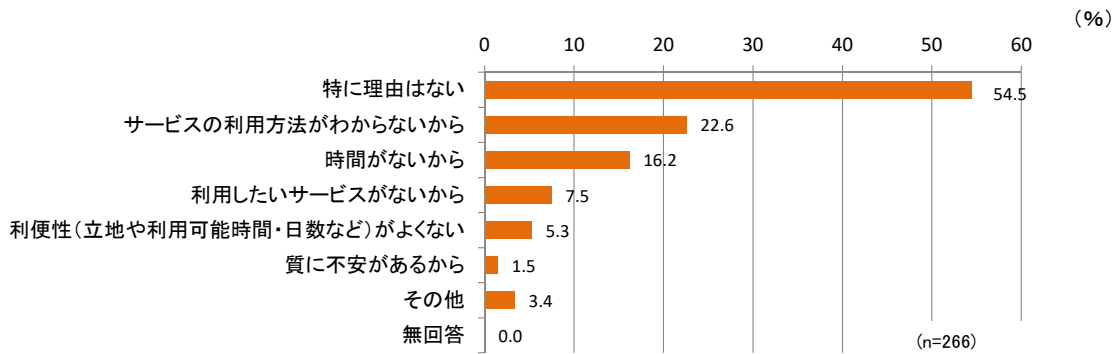
	サンプル数	利用したことがある	知っているが、利用したことがない	知らなかった	利用する必要がなかった	無回答
全体	1032	8.5	25.8	48.0	16.0	1.7
0歳	89	24.7	41.6	24.7	7.9	1.1
1-2歳	312	11.9	32.7	39.4	15.1	1.0
3-6歳	625	4.5	20.3	55.2	17.8	2.2
シングルマザー	53	0.0	15.1	66.0	18.9	0.0
シングルファザー	4	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0

サンプル数：人 単位：%



**問 33 で「2. 知っているが、利用したことがない」に○をした方にお伺いします。**

問 33-1. サービスを利用したことがない理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



**<年齢別・ひとり親家庭別>**

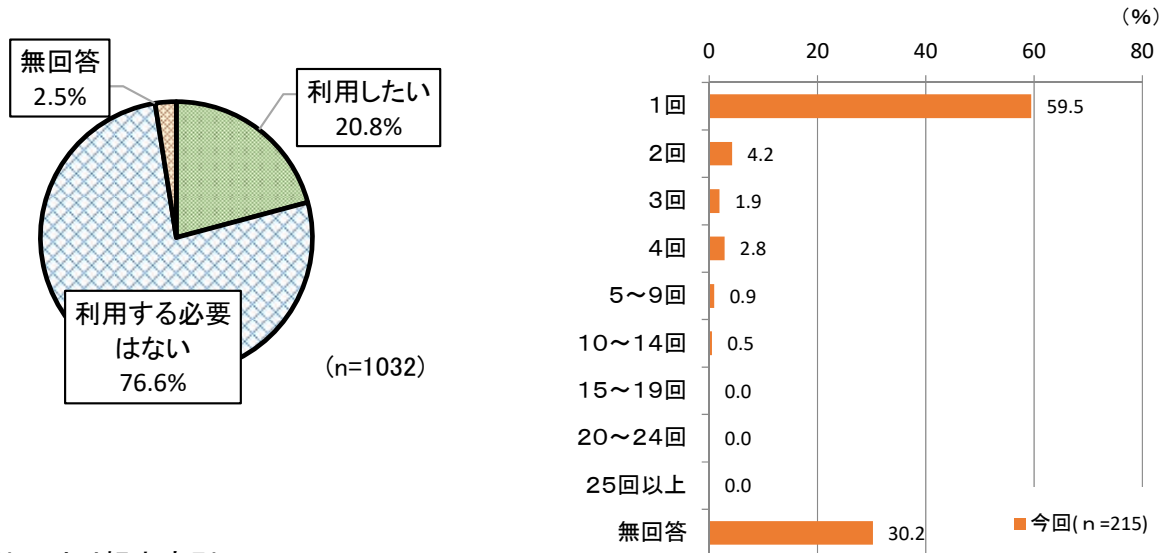
	サンプル数	利用したいサービスがないから	質に不安があるから	利便性がよくない	時間がないから	サービスの利用方法がわからないから	その他	特に理由はない	無回答
全体	266	7.5	1.5	5.3	16.2	22.6	3.4	54.5	0.0
0歳	37	2.7	0.0	5.4	13.5	40.5	0.0	51.4	0.0
1-2歳	102	4.9	0.0	3.9	20.6	16.7	3.9	55.9	0.0
3-6歳	127	11.0	3.1	6.3	13.4	22.0	3.9	54.3	0.0
シングルマザー	8	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	62.5	0.0

サンプル数：人 単位：%

**すべての方にお伺いします。**

問 34. 今後利用したいと思いますか。利用したい場合は、利用したい回数をお答えください。

**【1 か月あたり希望利用回数】**



**<年齢別・ひとり親家庭別>**

	サンプル数	利用したい	利用する必要はない	無回答
全体	1032	20.8	76.6	2.5
0歳	89	50.6	49.4	0.0
1-2歳	312	26.0	72.4	1.6
3-6歳	625	14.1	82.6	3.4
シングルマザー	53	5.7	88.7	5.7
シングルファザー	4	0.0	100.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

## 15. 児童虐待について

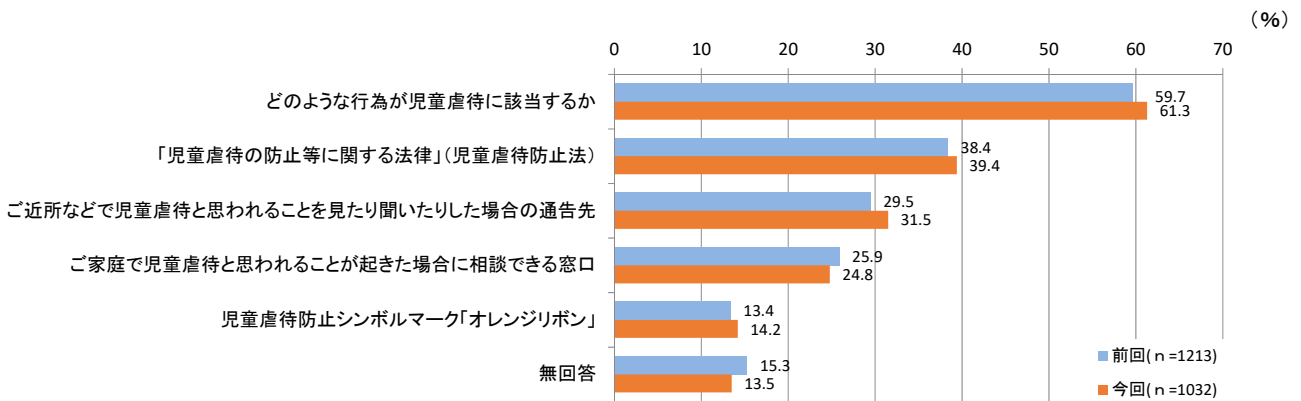
児童虐待について知っていることは、「どのような行為が児童虐待に該当するか」の割合が61.3%で最も多く、次いで「児童虐待の防止等に関する法律(児童虐待防止法)」が39.4%、「ご近所などで児童虐待と思われることを見たり聞いたりした場合の通告先」の31.5%なっています。

児童虐待を見聞きした場合にどちらに通告するかについては、「児童相談所」が43.4%で最も多く、次いで「地元警察署」が25.9%、「市役所」が25.3%となっています。

また、自分の子どもに対する行為としては、「必要以上に大声でしかったことがある」が62.1%で最も多く、次いで「感情のままにたたいたことがある」が26.2%となっています。

### すべての方にお伺いします。

問 35. 児童虐待について知っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

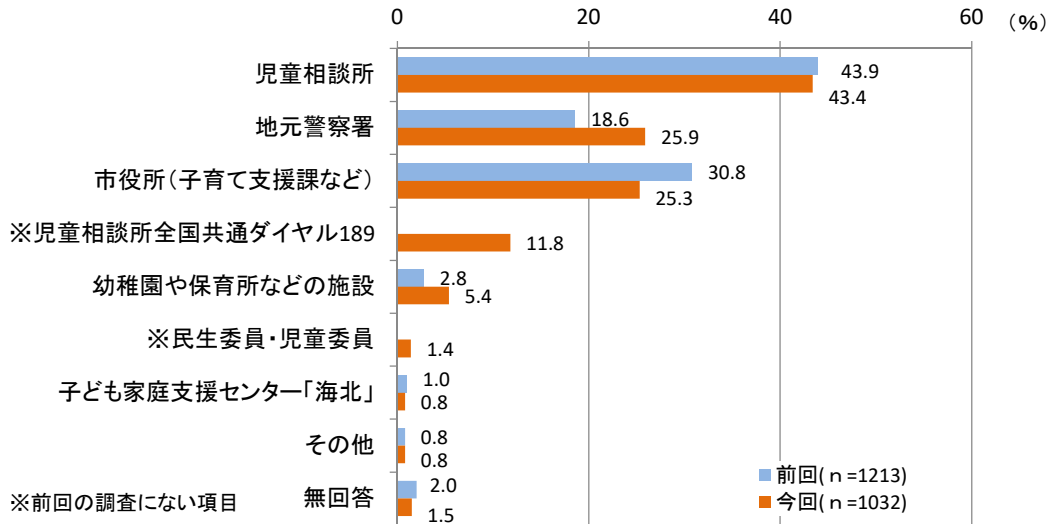


### <年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	「児童虐待の防止等に関する法律」(児童虐待防止法)	ご近所などで児童虐待と思われることを見たり聞いたりした場合の通告先	ご家庭で児童虐待と思われることが起きた場合に相談できる窓口	児童虐待防止シンボルマーク「オレンジリボン」	どのような行為が児童虐待に該当するか	無回答
全体	1032	39.4	31.5	24.8	14.2	61.3	13.5
0歳	89	47.2	25.8	24.7	11.2	64.0	12.4
1-2歳	312	37.5	33.3	24.0	13.5	65.1	12.8
3-6歳	625	39.4	31.7	25.3	15.2	59.4	13.6
シングルマザー	53	39.6	24.5	24.5	15.1	47.2	18.9
シングルファザー	4	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

問 36. 児童虐待を見聞きした場合には、どちらに通報しようと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

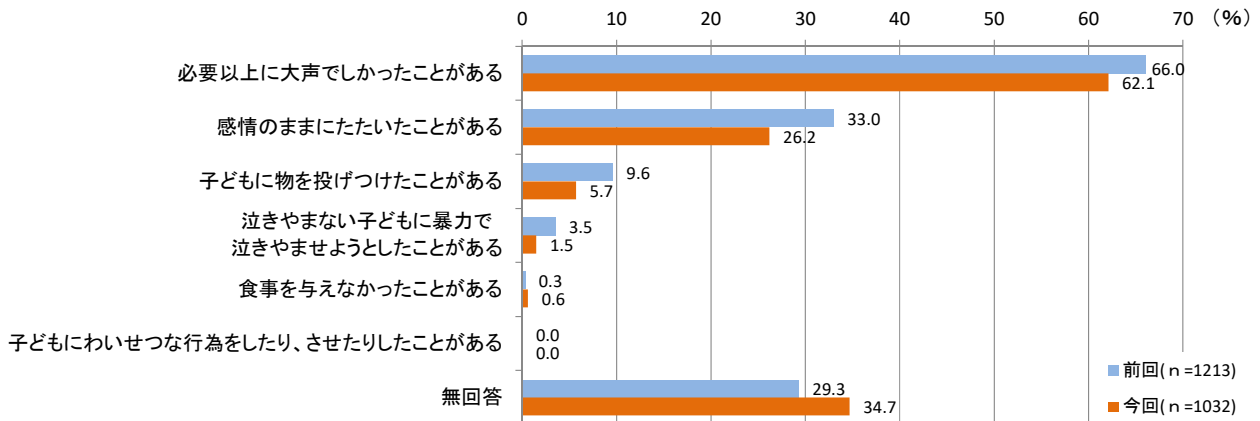


<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	市役所 (子育て支援課など)	子ども家庭 支援センター 「海北」	児童相談所	地元警察署	幼稚園や保 育所などの 施設	民生委員・児 童委員	児童相談所 全国共通 ダイヤル189	その他	無回答
全体	1032	25.3	0.8	43.4	25.9	5.4	1.4	11.8	0.8	1.5
0歳	89	28.1	1.1	41.6	24.7	4.5	1.1	11.2	1.1	1.1
1-2歳	312	24.4	0.3	45.2	28.8	2.2	0.3	14.1	0.6	1.6
3-6歳	625	25.0	1.0	43.2	24.6	7.2	1.9	10.6	0.8	1.4
シングルマザー	53	32.1	0.0	43.4	22.6	0.0	3.8	11.3	0.0	1.9
シングルファザー	4	25.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

問 37. あなたは今までに、自分の子どもに対し、下記のようなことをしたことや感じたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



<年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	必要以上に 大声でしかつ たことがある	感情のまま にたたいたこ とがある	食事を与え なかったこと がある	泣きやまな い子どもに暴 力で泣きや ませようとし たことがある	子どもに物を 投げつけたこ とがある	子どもにわい せつな行為 をしたり、さ せたりしたこ とがある	無回答
全体	1032	62.1	26.2	0.6	1.5	5.7	0.0	34.7
0歳	89	28.1	14.6	1.1	0.0	3.4	0.0	68.5
1-2歳	312	52.2	20.2	0.3	1.9	4.5	0.0	43.9
3-6歳	625	71.7	30.9	0.6	1.4	6.6	0.0	25.4
シングルマザー	53	64.2	32.1	0.0	1.9	9.4	0.0	28.3
シングルファザー	4	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

サンプル数：人 単位：%

## 16. 子育て全般について

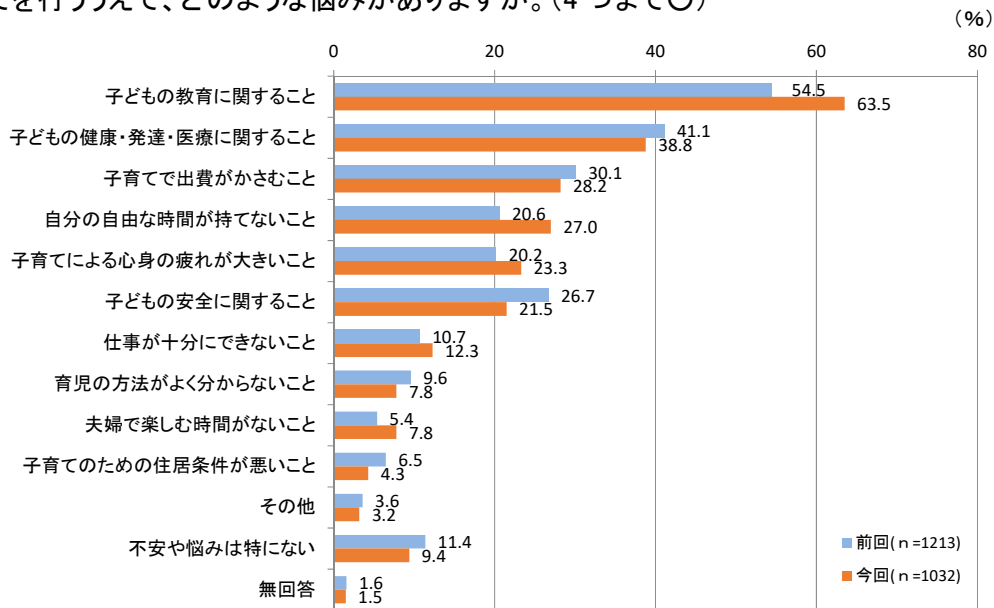
### 15-1. 子育てについての悩み

子育てを行ううえでどの悩みについては、「子どもの教育に関すること」が63.5%で最も多く、次いで「子どもの健康・発達・医療に関すること」が38.8%、「子育てで出費がかさむこと」が28.2%となっています。

前回調査と比較すると、「子どもの教育に関すること」は9.0ポイント増加し、また、「自分の自由な時間が持てないこと」が6.4ポイント増加し27.0%となっています。

#### すべての方にお伺いします。

問 38. 子育てを行ううえで、どのような悩みがありますか。(4つまで○)



#### <年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	子どもの教育に関すること	子どもの健康・発達・医療に関すること	子どもの安全に関すること	育児の方法がよく分からないこと	子育てによる心身の疲れが大きいこと	子育てで出費がかさむこと	自分の自由な時間が持てないこと
全体	1032	63.5	38.8	21.5	7.8	23.3	28.2	27.0
0歳	89	50.6	48.3	22.5	12.4	29.2	29.2	34.8
1-2歳	312	67.0	37.5	18.9	8.7	25.3	28.2	31.4
3-6歳	625	64.0	38.2	22.7	6.7	21.4	28.0	23.8
シングルマザー	53	60.4	18.9	18.9	9.4	24.5	35.8	26.4
シングルファザー	4	100.0	50.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0
	サンプル数	夫婦で楽しむ時間がないこと	仕事が十分にできないこと	子育てのための住居条件が悪いこと	その他	不安や悩みは特にない	無回答	
全体	1032	7.8	12.3	4.3	3.2	9.4	1.5	
0歳	89	12.4	10.1	5.6	4.5	15.7	0.0	
1-2歳	312	6.7	13.8	5.1	3.2	8.0	1.6	
3-6歳	625	7.5	11.8	3.7	3.0	9.1	1.4	
シングルマザー	53	0.0	22.6	1.9	3.8	13.2	1.9	
シングルファザー	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

サンプル数：人 単位：%

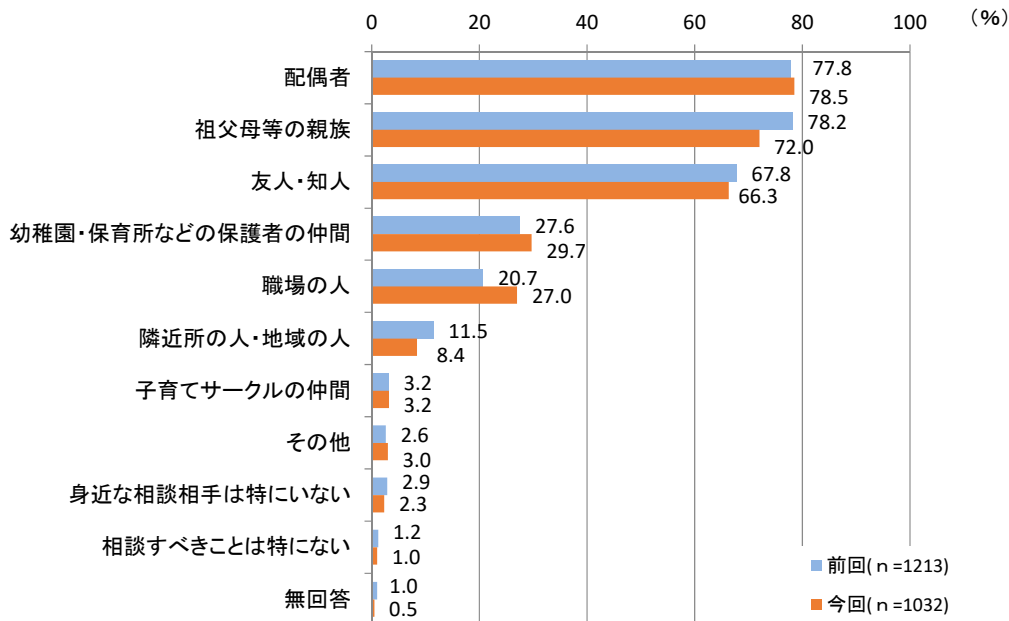
## 15-2. 悩みや不安の身近な相談先

子育ての悩みや不安についての身近な相談先としては、「配偶者」が 78.5%で最も多く、次いで「祖父母等の親族」が72.0%、「友人・知人」が66.3%となっています。

前回調査と比較すると、「職場の人」は 6.3 ポイント、「幼稚園・保育園などの保護者の仲間」は 2.1 ポイントそれぞれ増加しています。

### すべての方にお伺いします。

問 39. 子育てについての悩みや不安を気軽に相談できる相手はいますか。(あてはまるものすべてに○)



### <年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	配偶者	祖父母等の親族	友人・知人	隣近所の人・地域の人	職場の人	幼稚園・保育所などの保護者の仲間	子育てサークルの仲間	その他	身近な相談相手は特にいない	相談すべきことは特にない	無回答
全体	1032	78.5	72.0	66.3	8.4	27.0	29.7	3.2	3.0	2.3	1.0	0.5
0歳	89	83.1	76.4	64.0	5.6	16.9	13.5	1.1	3.4	1.1	0.0	0.0
1-2歳	312	81.7	74.0	65.7	7.1	28.8	22.8	6.1	3.5	2.9	0.6	0.6
3-6歳	625	76.3	70.4	66.9	9.6	27.7	35.5	2.1	2.7	2.2	1.3	0.5
シングルマザー	53	9.4	69.8	66.0	0.0	28.3	30.2	1.9	5.7	3.8	1.9	0.0
シングルファザー	4	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

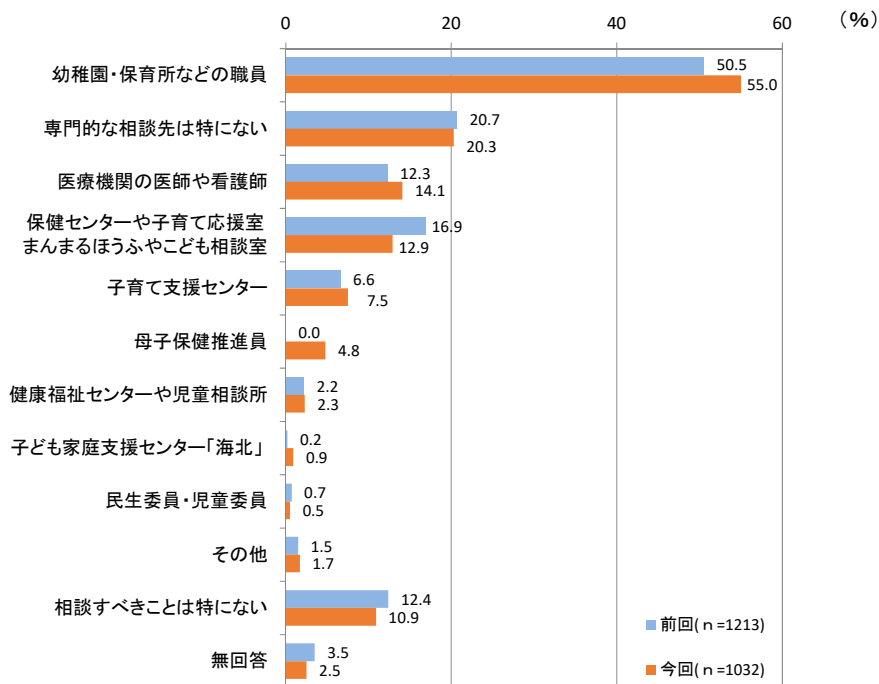
### 15-3. 悩みや不安の専門的な相談先

子育ての悩みや不安についての専門的な相談先では、「幼稚園・保育所などの職員」が55.0%で最も多く、次いで「専門的な相談先は特にならない」が20.3%、「医療機関の医師や看護師」が14.1%となっています。

前回調査と比較すると、「幼稚園・保育所などの職員」は4.5ポイント増加しています。

問 40. 子育てについての悩みや不安を相談できる専門的な相談先はありますか。

(あてはまるものすべてに○)



### <年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	幼稚園・保育所などの職員	保健センターや子育て応援室まんまるほうふやこども相談室	母子保健推進員	民生委員・児童委員	子育て支援センター	子ども家庭支援センター「海北」	健康福祉センターや児童相談所	医療機関の医師や看護師	その他	専門的な相談先は特にならない	相談すべきことは特にならない	無回答
全体	1032	55.0	12.9	4.8	0.5	7.5	0.9	2.3	14.1	1.7	20.3	10.9	2.5
0歳	89	29.2	30.3	7.9	0.0	10.1	1.1	2.2	18.0	2.2	24.7	9.0	2.2
1-2歳	312	50.0	15.7	5.1	0.3	11.9	1.3	2.6	13.1	1.3	25.0	9.0	1.0
3-6歳	625	61.1	9.0	4.3	0.6	5.0	0.6	2.2	14.1	1.9	17.4	11.8	3.4
シングルマザー	53	56.6	7.5	3.8	1.9	7.5	1.9	0.0	5.7	0.0	17.0	13.2	3.8
シングルファザー	4	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0

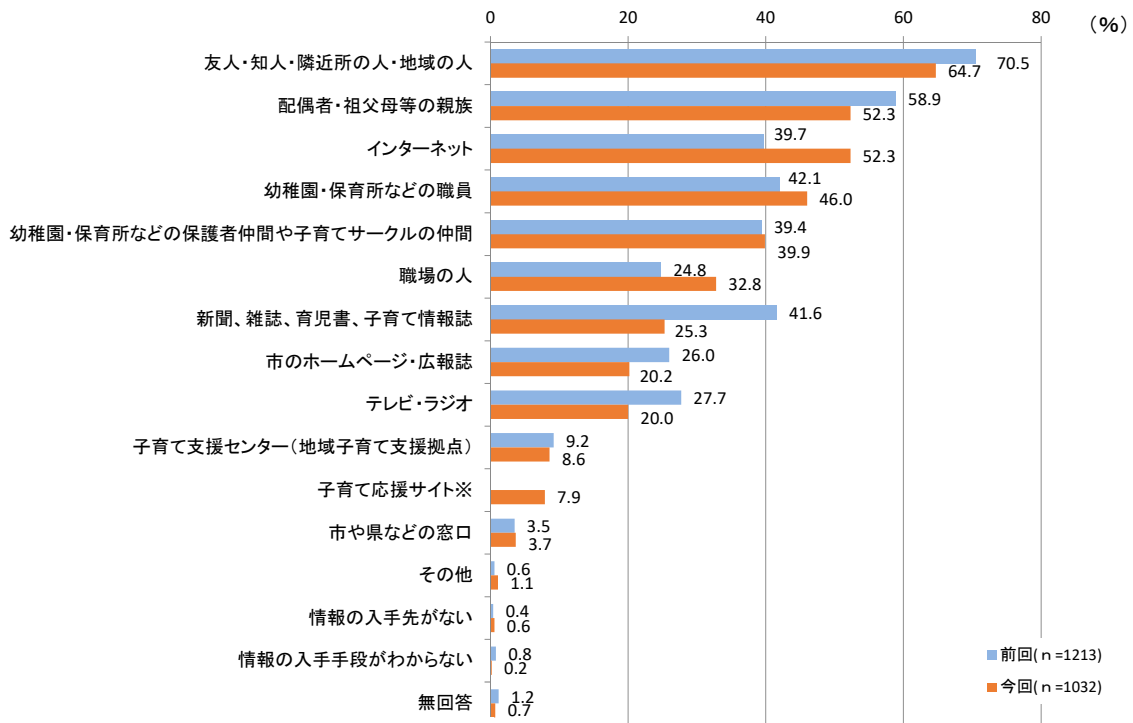
サンプル数：人 単位：%

### 15-4. 情報の入手先

子育てに関する情報の入手先としては、「友人・知人・隣近所の人・地域の人」が64.7%で最も多く、次いで「配偶者・祖父母等の親族」と「インターネット」が52.3%となっています。

前回調査と比較すると、「インターネット」は12.6ポイント増加し、また、「職場の人」は8.0ポイント増加し、32.8%となっています。

問 41. 子育てに関する情報をどこ(誰)から入手していますか。(あてはまるものすべてに○)



※前回の調査にない項目

### <年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	配偶者・祖父母等の親族	友人・知人・隣近所の人・地域の人	職場の人	幼稚園・保育所などの保護者仲間や子育てサークルの仲間	幼稚園・保育所などの職員	子育て支援センター(地域子育て支援拠点)	市や県などの窓口	市のホームページ・広報誌
全体	1032	52.3	64.7	32.8	39.9	46.0	8.6	3.7	20.2
0歳	89	66.3	67.4	22.5	22.5	23.6	10.1	1.1	21.3
1-2歳	312	57.4	64.4	31.1	28.5	42.3	12.8	2.6	21.2
3-6歳	625	48.0	64.8	35.4	48.2	51.4	6.4	4.6	19.7
シングルマザー	53	41.5	54.7	39.6	37.7	56.6	1.9	3.8	15.1
シングルファザー	4	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

	サンプル数	子育て応援サイト	テレビ・ラジオ	インターネット	新聞、雑誌、育児書、子育て情報誌	情報の入手先がない	その他	情報の入手手段がわからない	無回答
全体	1032	7.9	20.0	52.3	25.3	0.6	1.1	0.2	0.7
0歳	89	20.2	19.1	80.9	29.2	0.0	1.1	0.0	0.0
1-2歳	312	10.9	20.2	61.9	29.8	0.3	2.2	0.0	0.3
3-6歳	625	4.8	20.2	43.5	22.7	0.8	0.3	0.3	0.8
シングルマザー	53	1.9	20.8	39.6	20.8	0.0	1.9	0.0	3.8
シングルファザー	4	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

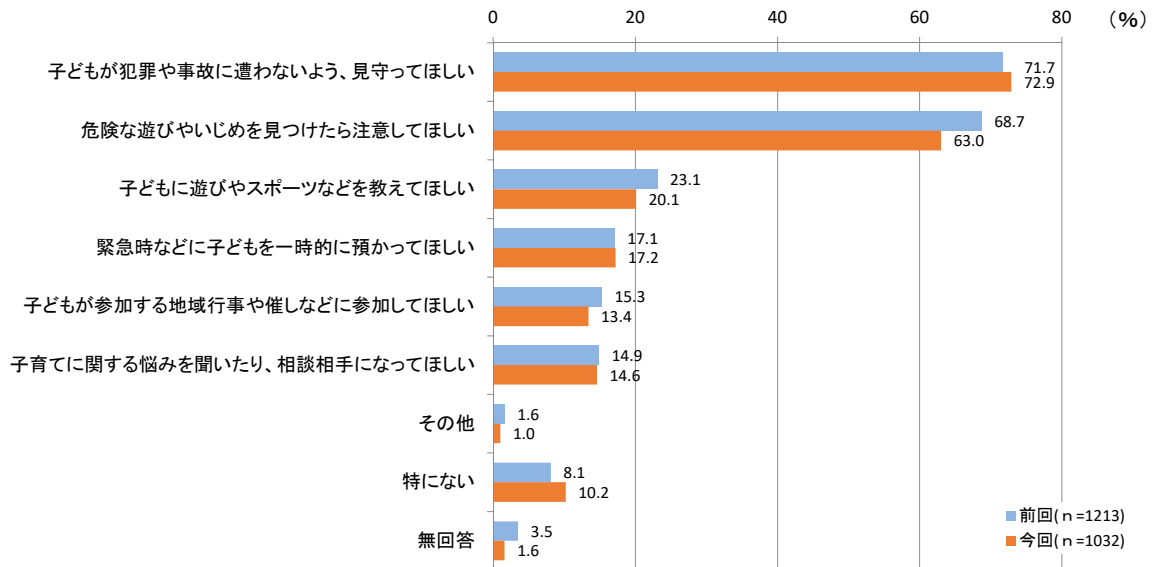
サンプル数：人 単位：%

### 15-5. 地域に望む子育て支援について

地域に望む子育て支援については、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が 72.9%で最も多く、次いで「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が 63.0%となっています。

前回調査と比較すると、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」は 5.7 ポイント減少しています。

問 42. 子育て支援として、身近な地域の人に望むことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



#### <年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	子育てに関する悩みを聞いたり、相談相手になってほしい	緊急時などに子どもを一時的に預かってほしい	危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい	子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい	子どもが参加する地域行事や催しなどに参加してほしい	子どもに遊びやスポーツなどを教えてほしい	その他	特にない	無回答
全体	1032	14.6	17.2	63.0	72.9	13.4	20.1	1.0	10.2	1.6
0歳	89	24.7	15.7	56.2	74.2	15.7	18.0	3.4	12.4	0.0
1-2歳	312	17.0	17.3	55.4	74.0	9.9	17.9	1.3	11.9	1.3
3-6歳	625	12.2	17.4	68.2	72.2	14.9	21.6	0.5	9.0	1.9
シングルマザー	53	13.2	20.8	56.6	56.6	11.3	15.1	0.0	18.9	3.8
シングルファザー	4	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0

サンプル数：人 単位：%



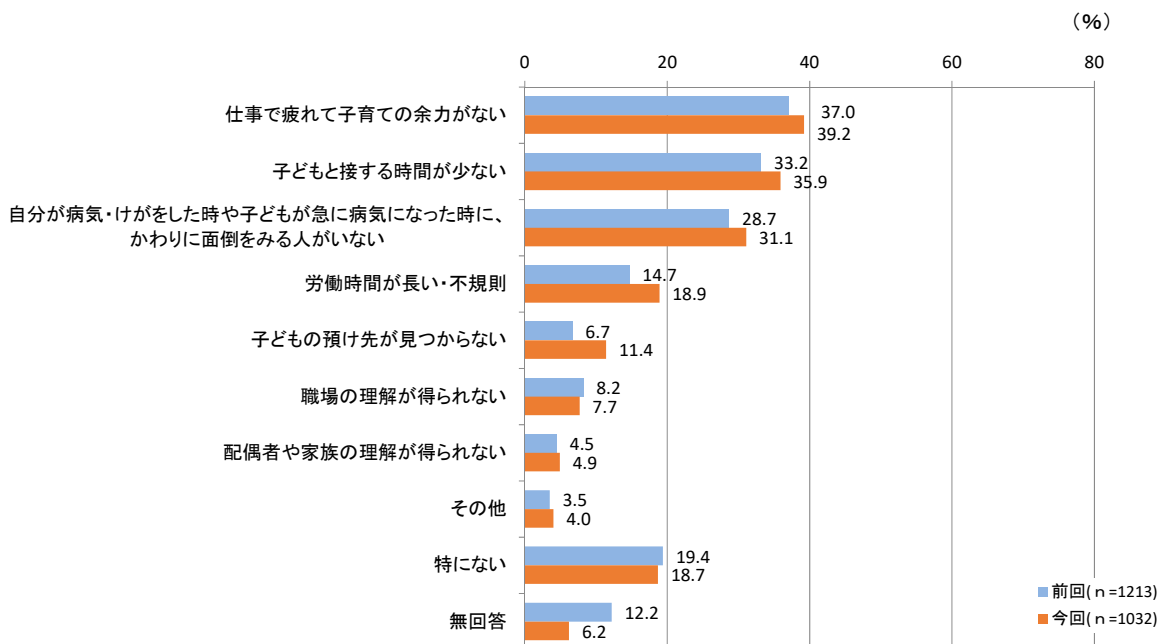
## 15-6. 仕事と子育ての両立について

仕事と子育てを両立する上での問題は、「仕事で疲れて子育ての余力がない」が 39.2%で最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が 35.9%、保護者が病気等のとき「かわりに面倒をみる人がいない」が 31.1%となっており、いずれも前回調査と比較すると 2 ポイント以上の増加がみられます。

また、前回調査と比較すると「子どもの預け先が見つからない」は 4.7 ポイント、「労働時間が長い・不規則」は 4.2 ポイントと、それぞれ 4 ポイント以上増加しています。

問 43. 仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)



### <年齢別・ひとり親家庭別>

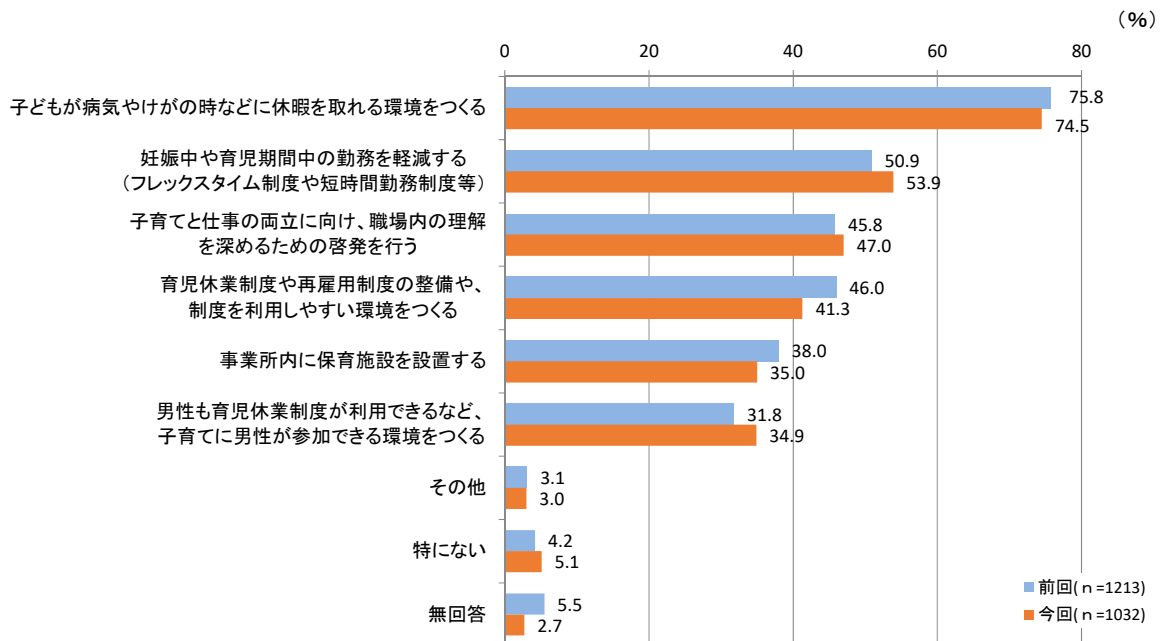
	サンプル数	仕事で疲れて子育ての余力がない	労働時間が長い・不規則	自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に、かわりに面倒をみる人がいない	配偶者や家族の理解が得られない	職場の理解が得られない	子どもの預け先が見つからない	子どもと接する時間が少ない	その他	特になし	無回答
全体	1032	39.2	18.9	31.1	4.9	7.7	11.4	35.9	4.0	18.7	6.2
0歳	89	37.1	15.7	31.5	3.4	3.4	20.2	30.3	9.0	18.0	4.5
1-2歳	312	42.3	19.9	33.3	6.1	7.4	12.8	38.5	3.5	15.1	6.7
3-6歳	625	38.2	19.0	29.8	4.6	8.5	9.4	35.7	3.5	20.6	5.9
シングルマザー	53	43.4	13.2	28.3	3.8	3.8	9.4	37.7	1.9	24.5	5.7
シングルファザー	4	75.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

### 15-7. 子育てと仕事の両立のための企業等の取り組み

仕事と子育てを両立するために必要な企業等の取り組みとしては、「子どもが病気やけがの時などに休暇を取れる環境をつくる」が74.5%で最も多く、次いで「妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する」が53.9%、「子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う」が47.0%となっています。

問 44. 子育てと仕事の両立支援のために、企業等はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)



#### <年齢別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する	育児休業制度や再雇用制度の整備や、制度を利用しやすい環境をつくる	子どもが病気やけがの時などに休暇を取れる環境をつくる	事業所内に保育施設を設置する	男性も育児休業制度が利用できるなど、子育てに男性が参加できる環境をつくる	子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う	その他	特にない	無回答
全体	1032	53.9	41.3	74.5	35.0	34.9	47.0	3.0	5.1	2.7
0歳	89	73.0	52.8	86.5	49.4	44.9	57.3	3.4	2.2	0.0
1-2歳	312	53.5	44.2	77.2	39.4	37.8	48.1	4.5	3.8	1.3
3-6歳	625	51.4	38.6	71.4	30.7	32.2	45.0	2.2	6.2	3.7
シングルマザー	53	35.8	28.3	60.4	24.5	11.3	39.6	0.0	13.2	7.5
シングルファザー	4	25.0	0.0	0.0	50.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

## 17. 本市の子育て支援策についての満足度と重要度

### 【満足度】

いずれの項目も「普通」が多くなっています。その中で、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制」の「満足」と「やや満足」を合計した「満足（計）」は 51.9%で最も多く、次いで「親子が安心して集まれる身近な場」28.1%、「子どもの健康診断の回数や内容」24.9%となっています。

前回調査の「満足（計）」と比較すると、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制」は 10.5 ポイント増加し、また、「子育てに困ったときに相談したり情報が得られる場」は 7.6 ポイント増加し、22.2%となっています。

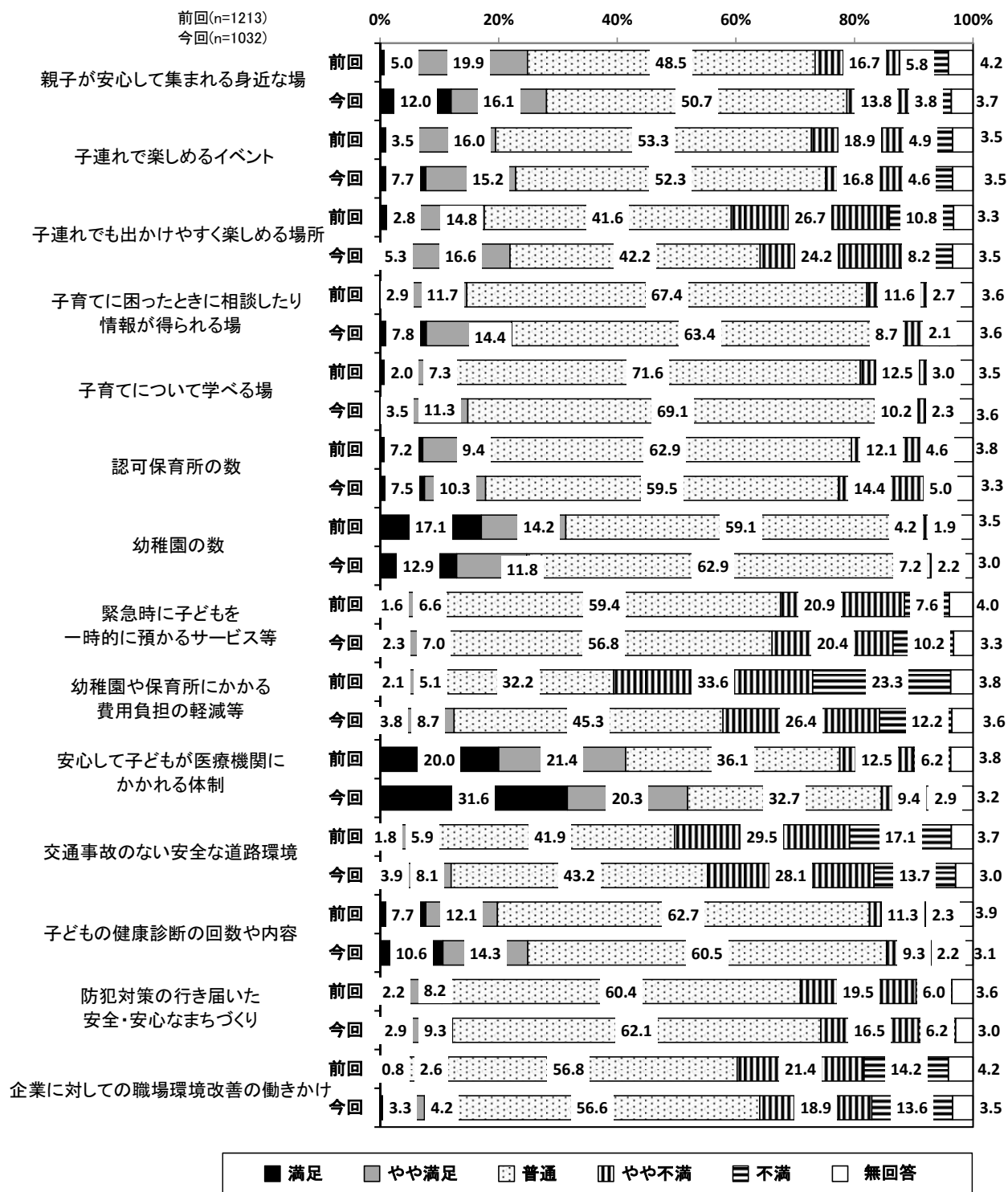
### 【重要度】

「重要」と「やや重要」を合計した「重要（計）」では、ほとんどの項目で4割以上となっています。その中で、「交通事故のない安全な道路環境」が 84.1%で最も多く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制」82.2%、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」78.5%となっています。

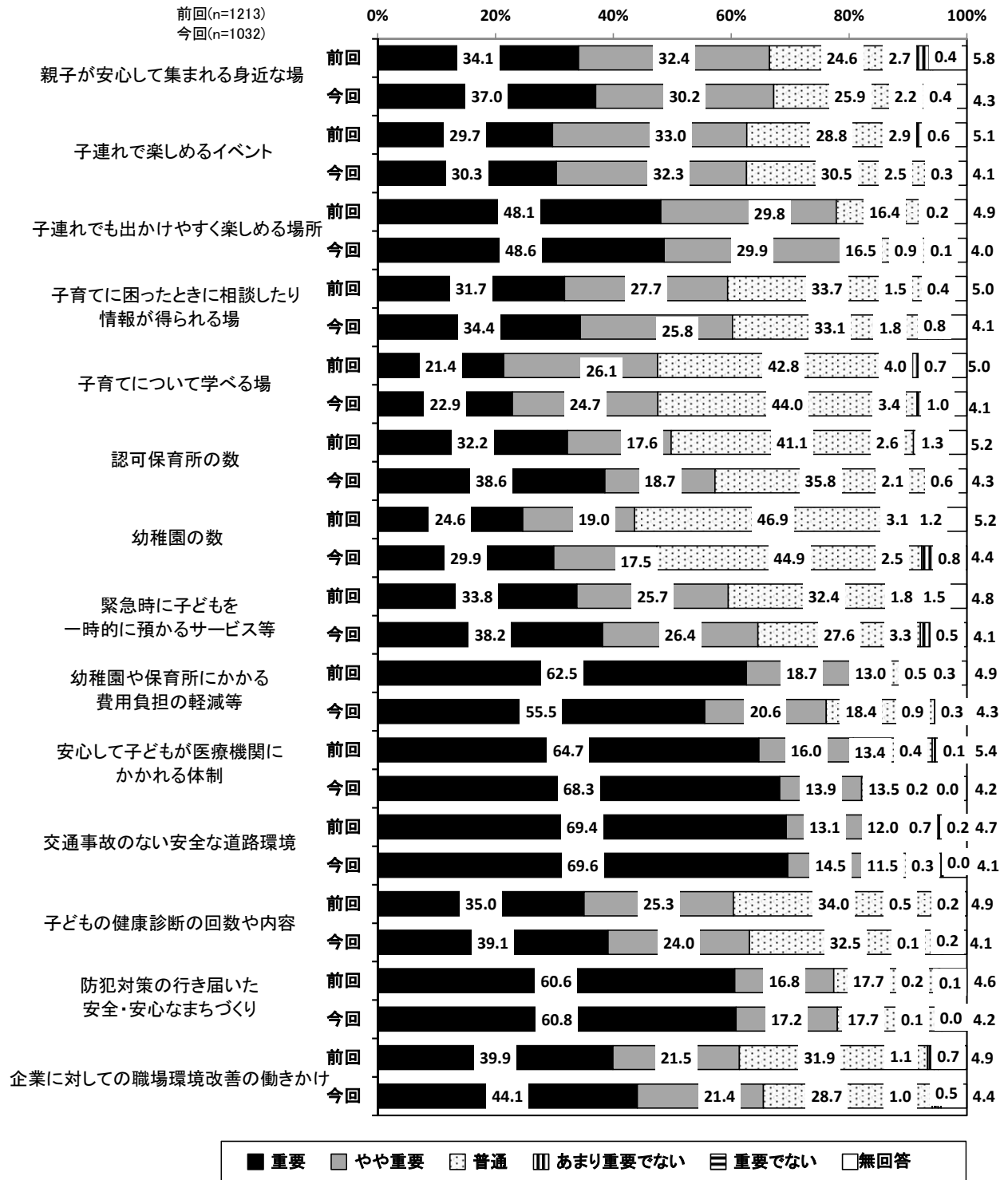
前回調査の「重要（計）」と比較すると、「緊急時に子どもを一時的に預かるサービス等」は 5.1 ポイント増加し、また、「認可保育所の数」は 7.5 ポイント増加し、57.3%となっています。

問 45. 防府市の子育て支援策についての「満足度」と「重要度」についてお答えください。

【満足度】



【重要度】



## 【満足度と重要度の平均スコア分布図による評価】

### ※スコア算出方法

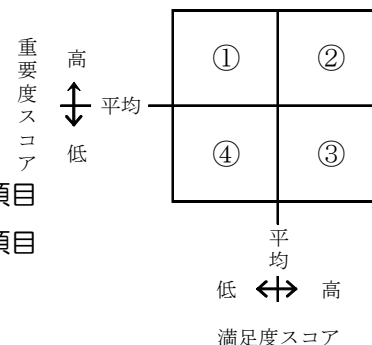
満足度スコアの場合 「満足」→5点、「やや満足」→4点、「普通」→3点、「やや不満」→2点、「不満」→1点とし、それぞれの回答者数を乗じた後、合計し、回答者総数で除して算出。

重要度スコアの場合 「重要」→5点、「やや重要」→4点、「普通」→3点、「あまり重要でない」→2点、「重要でない」→1点とし、それぞれの回答者数を乗じた後、合計し、回答者総数で除して算出。

### ※分類方法

満足度と重要度のスコアを二軸に、項目別のスコアの平均値を算出し、平均値を上回るか、下回るかにより4通りに分類。分類結果を以下のように位置づけ。

- ① 満足度：低 重要度：高 … 改善して重点的に取り組む項目
- ② 満足度：高 重要度：高 … 継続して重点的に取り組む項目
- ③ 満足度：高 重要度：低 … このまま維持していく項目
- ④ 満足度：低 重要度：低 … 見直しが必要な項目



### ①改善して重点的に取り組む項目（相対的に「重要度」が高いものの「満足度」が低い項目）

- ・交通事故のない安全な道路環境
- ・防犯対策の行き届いた安全・安心なまちづくり
- ・幼稚園や保育所にかかる費用負担の軽減等
- ・子連れでも出かけやすく楽しめる場所
- ・企業に対しての職場環境改善の働きかけ

### ②継続して重点的に取り組む項目（相対的に「重要度」「満足度」ともに高い項目）

- ・安心して子どもが医療機関にかかれる体制

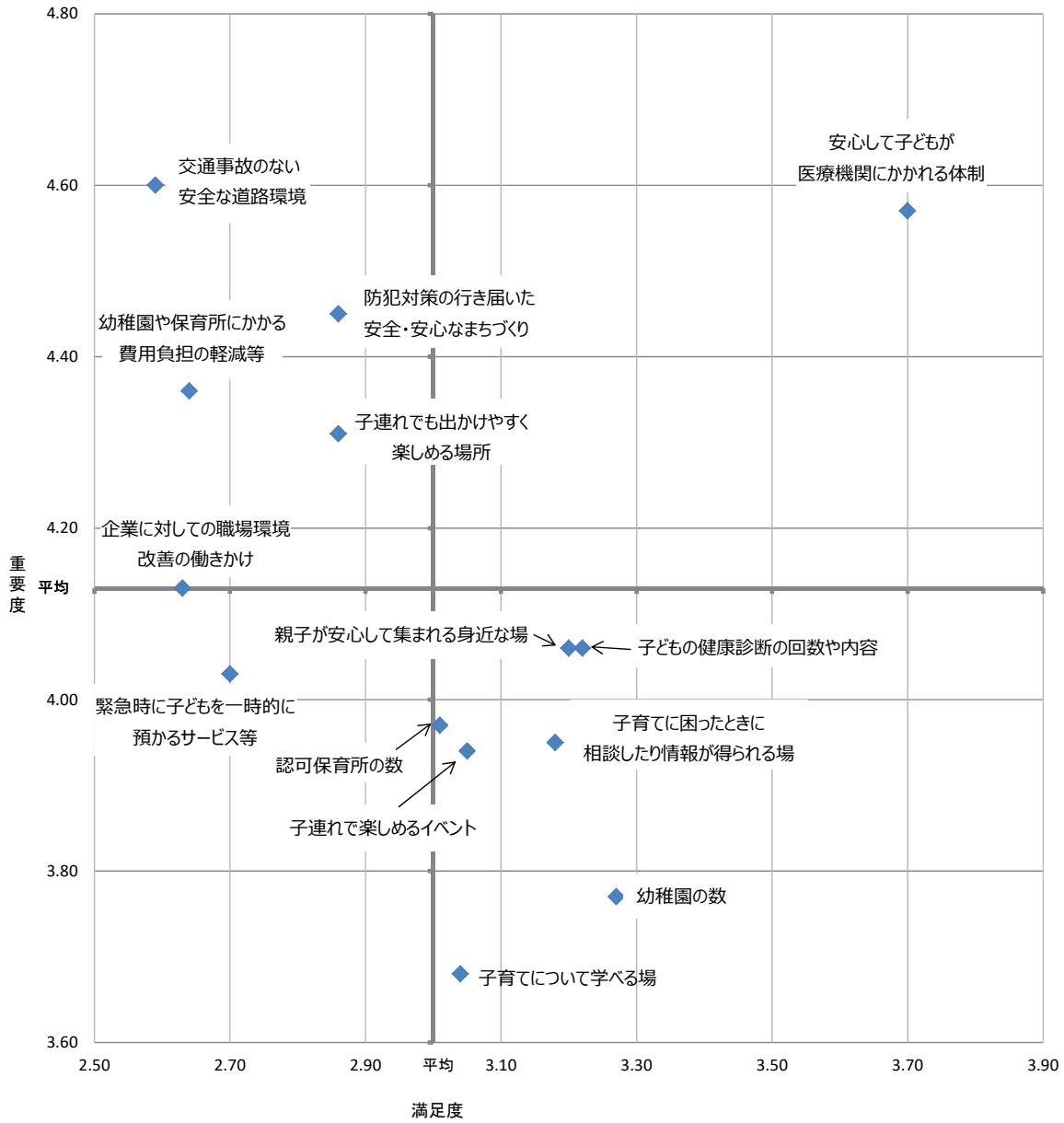
### ③このまま維持していく項目（相対的に「重要度」が低いものの「満足度」が高い項目）

- ・親子が安心して集まれる身近な場
- ・子どもの健康診断の回数や内容
- ・認可保育所の数
- ・子育てに困ったときに相談したり情報が得られる場
- ・子連れで楽しめるイベント
- ・幼稚園の数
- ・子育てについて学べる場

### ④見直しが必要な項目（相対的に「重要度」「満足度」ともに低い項目）

- ・緊急時に子どもを一時的に預かるサービス等

■就学前 満足度・重要度分布図■



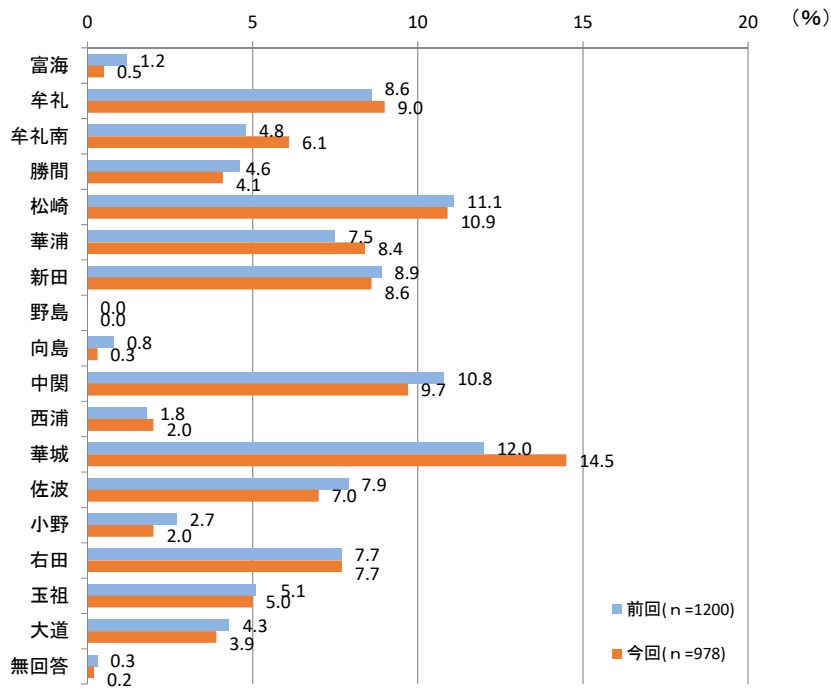




### **/// 小学生調査結果**

# 1. 対象者及び保護者の特性

## 問1. 小学校区



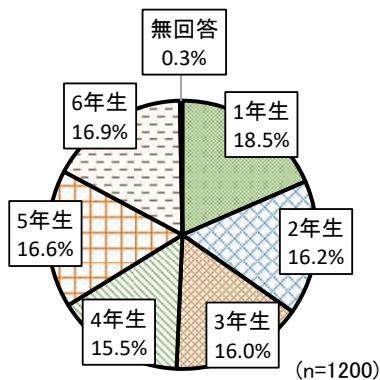
### <学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	富海	牟礼	牟礼南	勝間	松崎	華浦	新田	野島	向島
全体	978	0.5	9.0	6.1	4.1	10.9	8.4	8.6	0.0	0.3
1～2年生	392	0.8	8.9	6.9	3.1	11.5	8.7	8.4	0.0	0.0
3～4年生	357	0.3	9.8	5.3	4.8	10.1	7.0	9.8	0.0	0.3
5～6年生	226	0.4	8.0	6.2	4.9	11.5	10.2	7.1	0.0	0.9
シングルマザー	94	1.1	10.6	3.2	5.3	10.6	8.5	13.8	0.0	0.0
シングルファザー	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0
	サンプル数	中関	西浦	華城	佐波	小野	右田	玉祖	大道	無回答
全体	978	9.7	2.0	14.5	7.0	2.0	7.7	5.0	3.9	0.2
1～2年生	392	11.2	2.8	14.8	6.6	1.8	6.6	4.3	3.3	0.3
3～4年生	357	7.6	1.7	14.8	7.6	2.8	8.1	6.2	3.9	0.0
5～6年生	226	10.6	1.3	13.3	6.6	1.3	8.4	4.4	4.9	0.0
シングルマザー	94	9.6	0.0	12.8	5.3	3.2	10.6	1.1	4.3	0.0
シングルファザー	7	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0

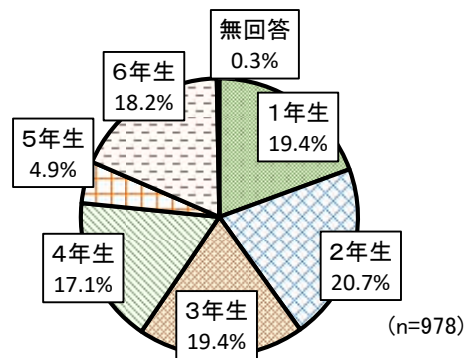
サンプル数：人 単位：%

## 問2. 子どもの学年

### <前回>



### <今回>



<学年別・ひとり親家庭別>

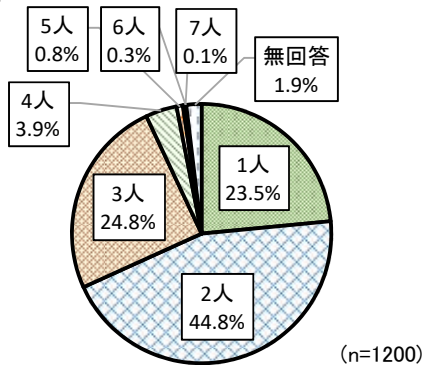
	サンプル数	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	無回答
全体	978	19.4	20.7	19.4	17.1	4.9	18.2	0.3
シングルマザー	94	22.3	14.9	20.2	14.9	6.4	21.3	0.0
シングルファザー	7	14.3	0.0	0.0	57.1	14.3	14.3	0.0

サンプル数：人 単位：%

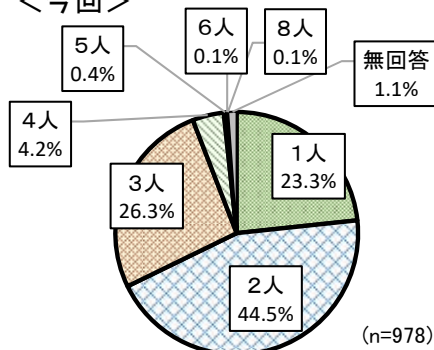
問3. 子どもの数と末子の年齢

【子どもの数】

<前回>



<今回>



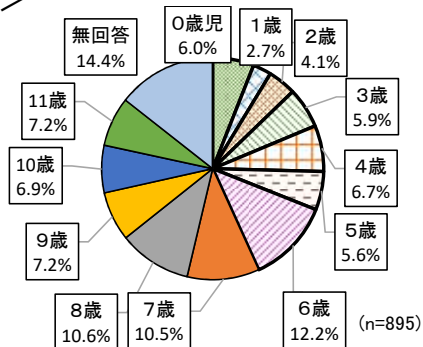
<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	無回答
全体	978	23.3	44.5	26.3	4.2	0.4	0.1	0.0	0.0	0.1
1～2年生	392	25.3	44.9	23.5	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
3～4年生	357	24.1	42.9	27.7	3.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.8
5～6年生	226	18.6	46.5	29.2	3.1	0.9	0.4	0.0	0.4	0.9
シングルマザー	94	38.3	35.1	18.1	4.3	3.2	0.0	0.0	0.0	1.1
シングルファザー	7	0.0	71.4	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

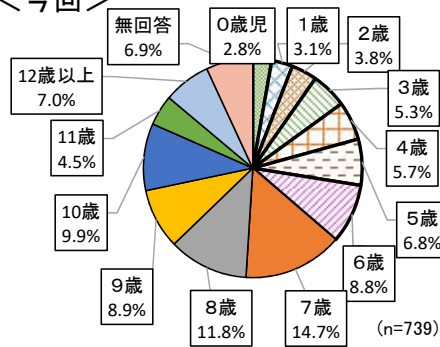
サンプル数：人 単位：%

【末子の年齢】

<前回>



<今回>



<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	0歳児	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
全体	739	2.8	3.1	3.8	5.3	5.7	6.8	8.8
1～2年生	288	3.1	4.9	5.2	9.4	9.4	9.7	9.7
3～4年生	268	3.7	1.9	3.0	4.5	4.1	6.0	11.2
5～6年生	182	1.1	2.2	2.7	0.0	2.2	3.3	3.8
シングルマザー	57	0.0	1.8	3.5	3.5	1.8	3.5	7.0
シングルファザー	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3

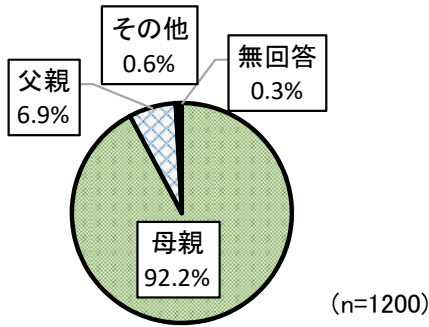
  

	サンプル数	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳以上	無回答
全体	739	14.7	11.8	8.9	9.9	4.5	7.0	6.9
1～2年生	288	25.0	14.9	0.0	0.7	0.3	0.0	7.6
3～4年生	268	9.3	11.2	19.0	20.5	0.0	0.4	5.2
5～6年生	182	6.6	7.1	8.2	8.8	17.6	28.0	8.2
シングルマザー	57	17.5	12.3	10.5	19.3	0.0	12.3	7.0
シングルファザー	7	0.0	0.0	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0

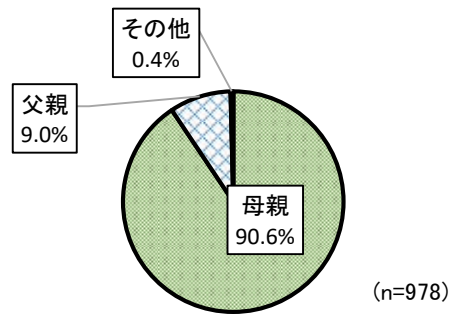
サンプル数：人 単位：%

問4. 子どもとの続柄

<前回>



<今回>



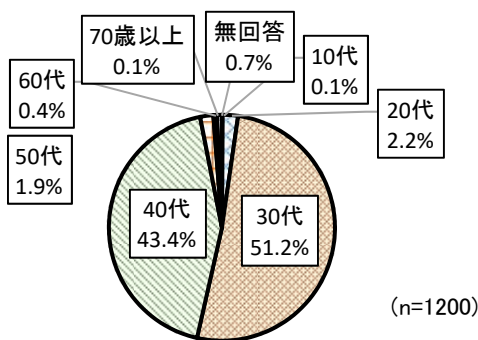
<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	母親	父親	その他	無回答
全体	978	90.6	9.0	0.4	0.0
1～2年生	392	92.1	7.4	0.5	0.0
3～4年生	357	89.9	9.5	0.6	0.0
5～6年生	226	89.4	10.6	0.0	0.0

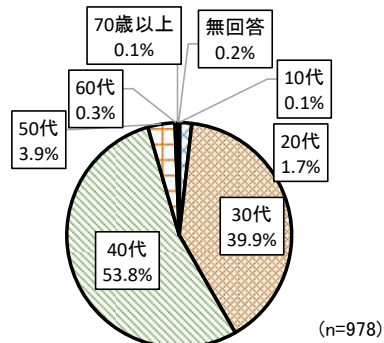
問5. 回答者の年齢

サンプル数：人 単位：%

<前回>



<今回>



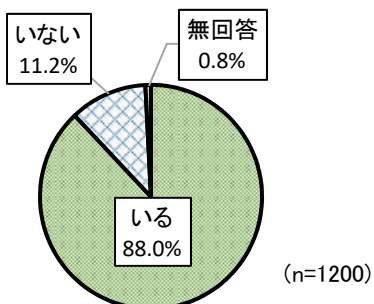
<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
全体	978	0.1	1.7	39.9	53.8	3.9	0.3	0.1	0.2
1～2年生	392	0.0	3.6	50.3	43.9	1.3	0.8	0.0	0.3
3～4年生	357	0.0	0.6	37.0	58.8	3.4	0.0	0.3	0.0
5～6年生	226	0.4	0.4	27.0	62.8	9.3	0.0	0.0	0.0
シングルマザー	94	0.0	6.4	42.6	51.1	0.0	0.0	0.0	0.0
シングルファザー	7	0.0	0.0	28.6	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0

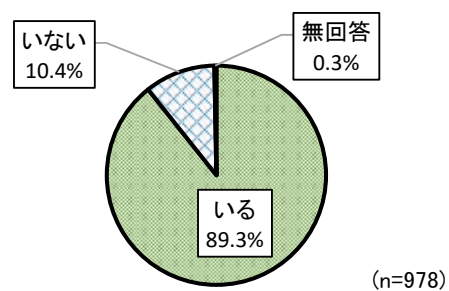
サンプル数：人 単位：%

問6. 配偶者の有無

<前回>



<今回>

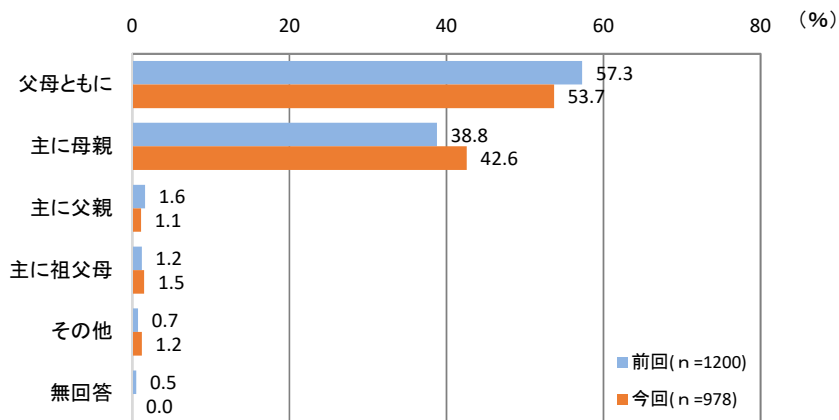


<学年別>

	サンプル数	いる	いない	無回答
全体	978	89.3	10.4	0.3
1～2年生	392	90.3	9.2	0.5
3～4年生	357	89.1	10.6	0.3
5～6年生	226	87.6	12.4	0.0

サンプル数：人 単位：%

問7. お子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)



<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	父母ともに	主に母親	主に父親	主に祖父母	その他	無回答
全体	978	53.7	42.6	1.1	1.5	1.2	0.0
1～2年生	392	55.9	40.8	1.3	1.3	1.3	0.0
3～4年生	357	50.7	44.5	1.1	2.5	1.1	0.0
5～6年生	226	54.9	42.5	0.9	0.4	1.3	0.0
シングルマザー	94	0.0	92.6	0.0	3.2	4.3	2.1
シングルファザー	7	0.0	0.0	71.4	28.6	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

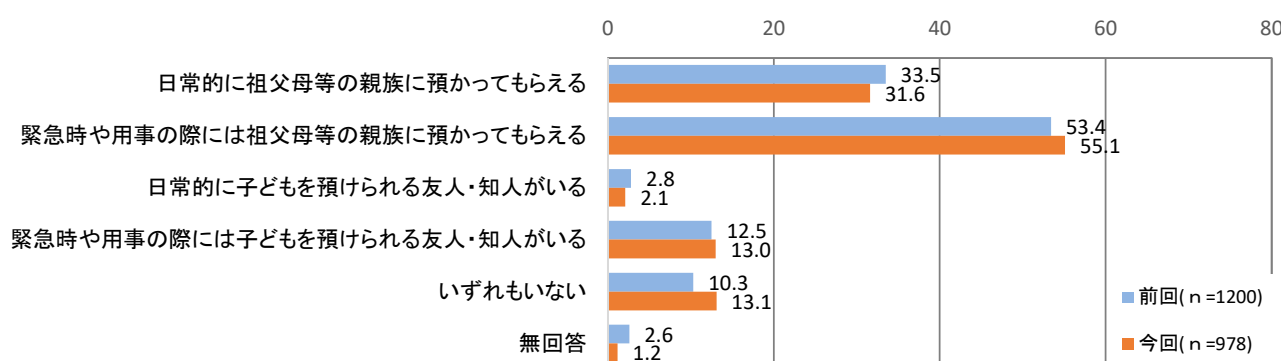
## 2. 子の育ちをめぐる環境について

子どもを預かる人の有無について、その状況をみると、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が31.6%、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が55.1%となっています。一方、「いずれもない」が13.1%となっています。

また、祖父母等の親族または友人・知人に預かってもらっている状況では「特に問題はない」が67.9%となっており、「自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が22.7%となっています。

問8. 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

(%)



<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	緊急時や用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	緊急時や用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
全体	978	31.6	55.1	2.1	13.0	13.1	1.2
1～2年生	392	31.6	56.1	2.0	12.8	12.2	0.8
3～4年生	357	32.2	56.9	1.7	12.3	12.0	1.4
5～6年生	226	31.0	50.9	3.1	14.6	15.5	1.8
シングルマザー	94	50.0	44.7	2.1	9.6	5.3	4.3
シングルファザー	7	57.1	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0

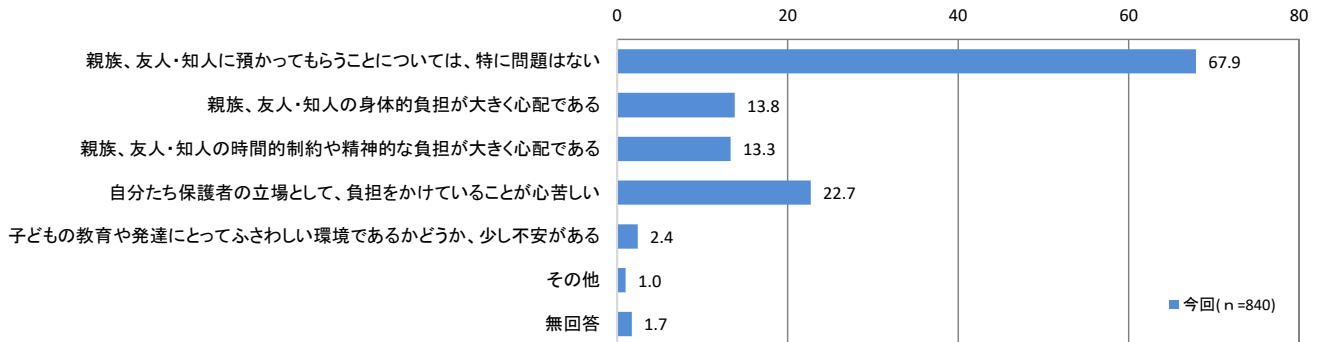
サンプル数：人 単位：%

問 8 で「1.日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」、「2.緊急時や用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」、「3.日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」、「4.緊急時や用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」に○をした方にお伺いします。

問 8-1. 祖父母等の親族または友人・知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。

(あてはまるものすべてに○)

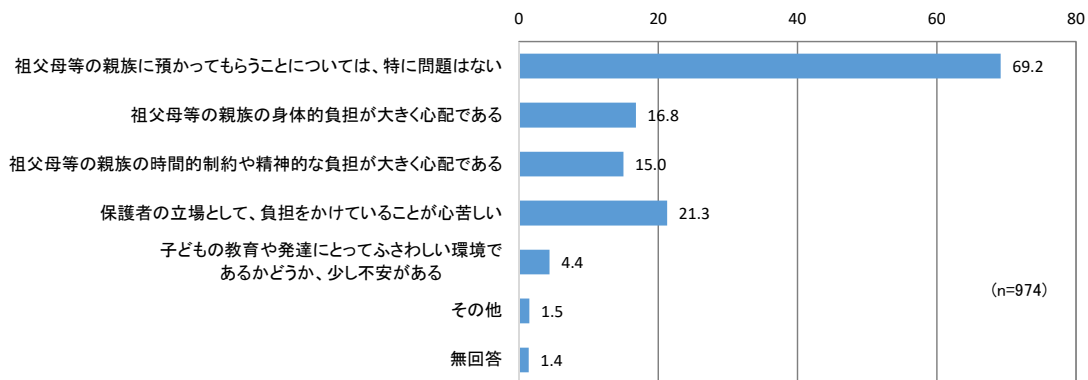
(%)



※前回調査は「祖父母等の親族」と「友人・知人」を別回答

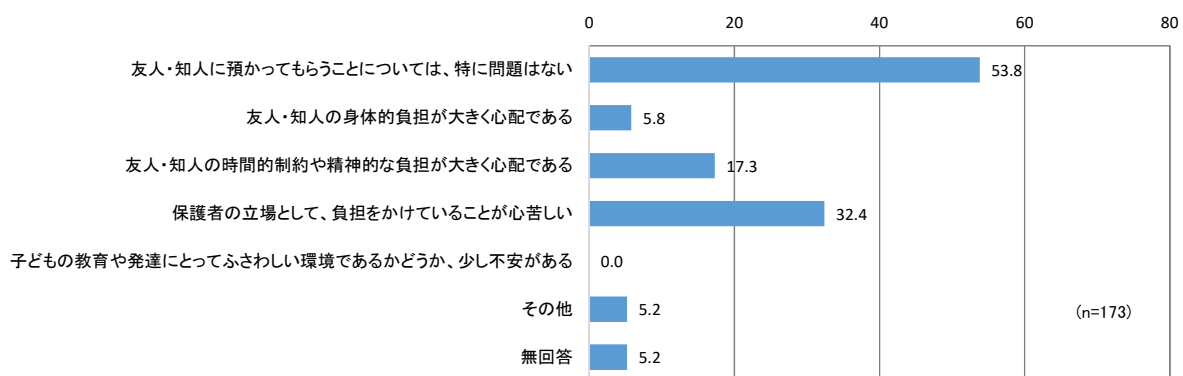
＜前回＞祖父母等の親族に預かってもらっている状況

(%)



＜前回＞友人・知人に預かってもらっている状況

(%)



＜学年別・ひとり親家庭別＞

	サンプル数	親族、友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない	親族、友人・知人の身体的負担が大きく心配である。	親族、友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である	自分たち保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい	子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるかどうか、少し不安がある	その他	無回答
全体	840	67.9	13.8	13.3	22.7	2.4	1.0	1.7
1～2年生	341	62.8	17.6	15.2	27.6	1.8	0.3	1.8
3～4年生	310	69.7	11.3	11.6	21.0	3.9	1.6	1.3
5～6年生	188	74.5	10.6	12.8	17.0	1.1	1.1	2.1
シングルマザー	85	65.9	18.8	17.6	18.8	2.4	0.0	0.0
シングルファザー	6	66.7	16.7	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

### 3. 保護者の就労状況について

#### 3-1. 保護者の就労形態

母親の就労状況をみると、「フルタイム以外で就労している（産休・育休・介護休業中を除く）」が 37.5%で最も多く、次いで「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中を除く）」が 32.6%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 17.6%となっています。前回調査と比較すると、「フルタイムで就労している」が 3.1 ポイント増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 3.3 ポイント減少しています。

父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している（産休・育休・介護休業中を除く）」が 90.5%となっています。

母親の 1 週あたりの就労日数は、「5 日」が 63.1%で最も多く、平均 4.7 日、1 日あたりの就労時間数は、「8～9 時間未満」が最も多く、平均 6.5 時間となっています。

父親の 1 週あたりの就労日数は、「5 日」と「6 日」が多く、平均 5.4 日、1 日あたりの就労時間数も、「8～9 時間未満」が最も多く、平均 9.1 時間となっています。

母親の出勤時間は「8 時台」が 43.9%で最も多く、帰宅時間は「18 時台」が 22.8%で最も多くなっています。

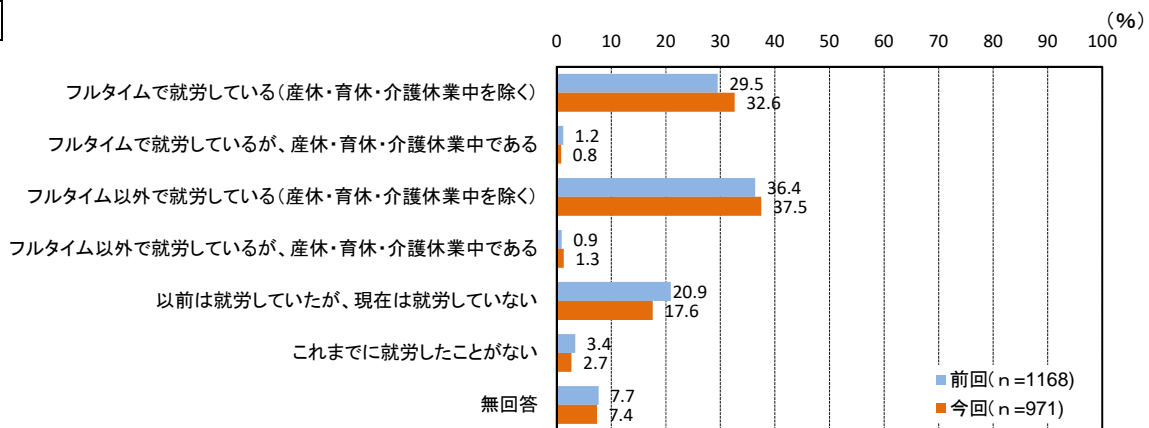
父親の出勤時刻は「7 時台」が 51.5%で最も多く、帰宅時間は「19 時台」を中心に「18 時台」から「20 時台」に分散しています。

※以下は、対象者数が5人以下の「その他」を除きます。

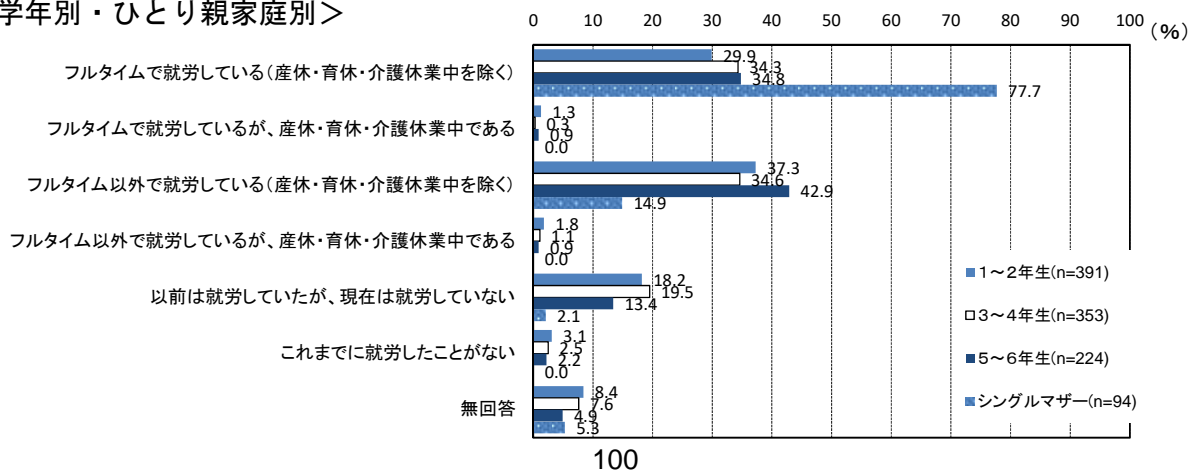
#### すべての方にお伺いします。

問 9. 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

母親

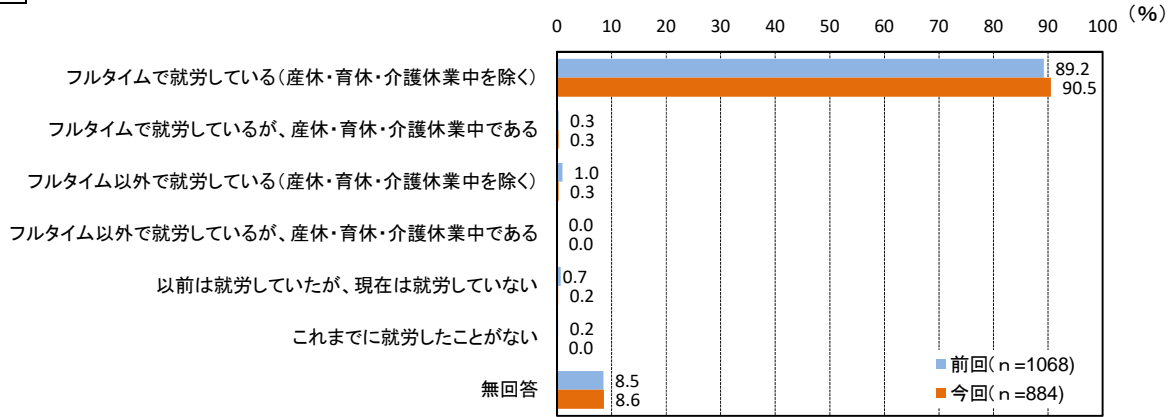


#### <学年別・ひとり親家庭別>





**父親**

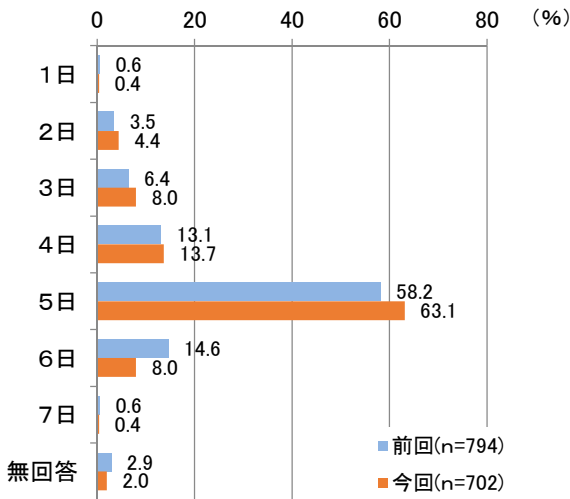


**問 9** で「1.フルタイムで就労している(産休・育休・介護休業中を除く)」、「2.フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「3.フルタイム以外で就労している(産休・育休・介護休業中を除く)」、「4.フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを選択した方にお伺いします。

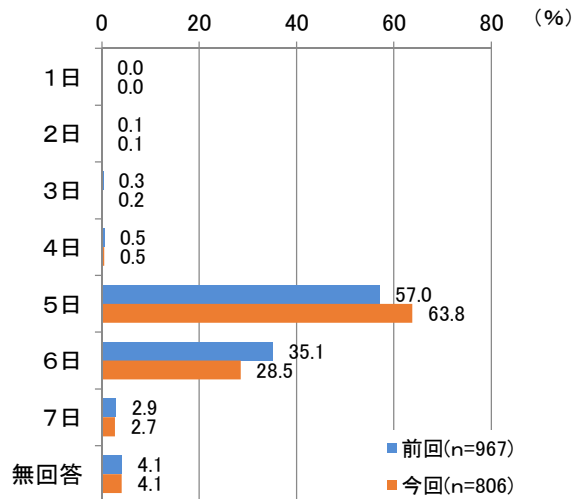
問 9-1. 現在の就労日数、就労時間などの就労条件をお答えください。

**【1週あたり就労日数】**

**母親**

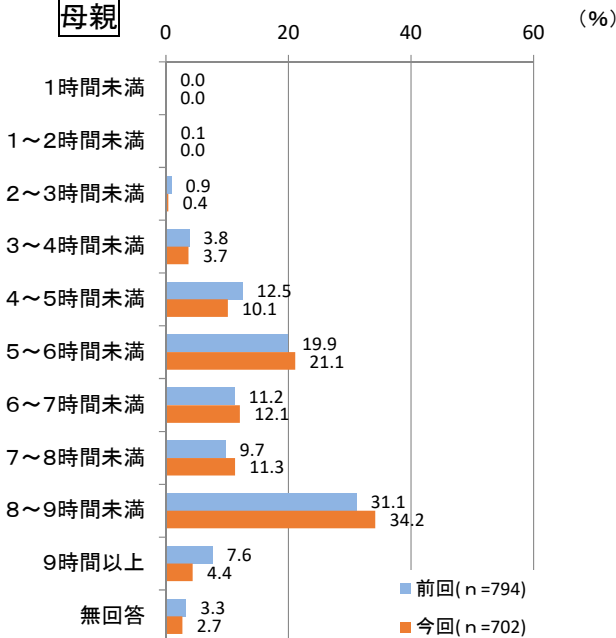


**父親**

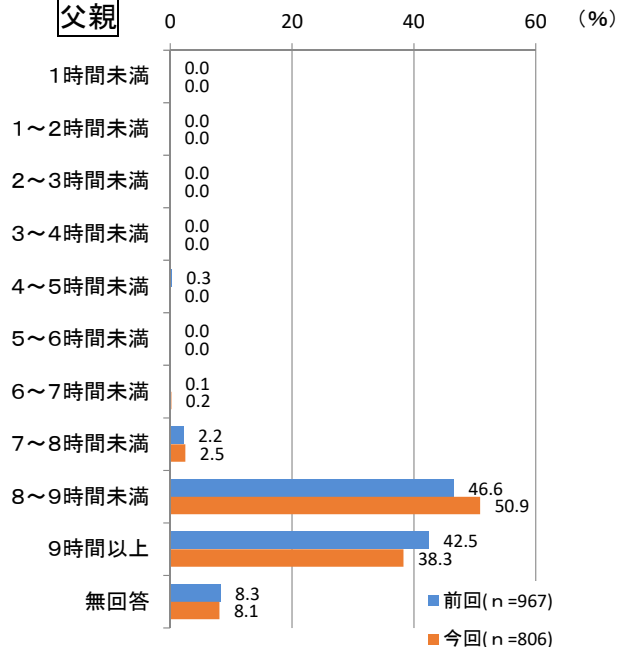


**【1日あたり就労時間数】**

**母親**

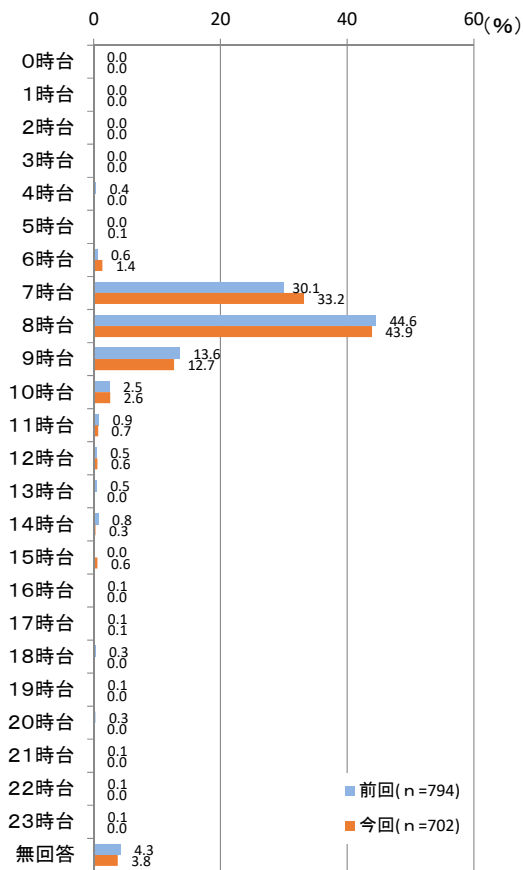


**父親**

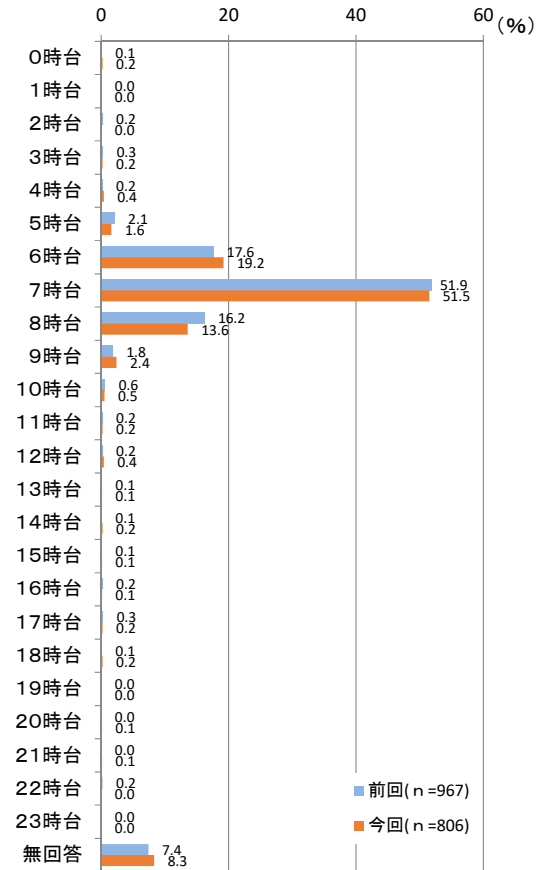


## 【出勤時間】

母親

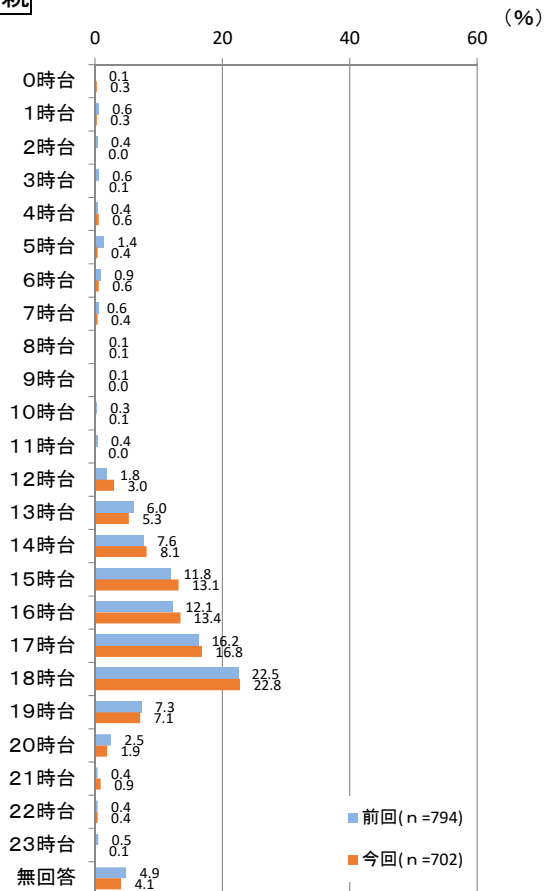


父親

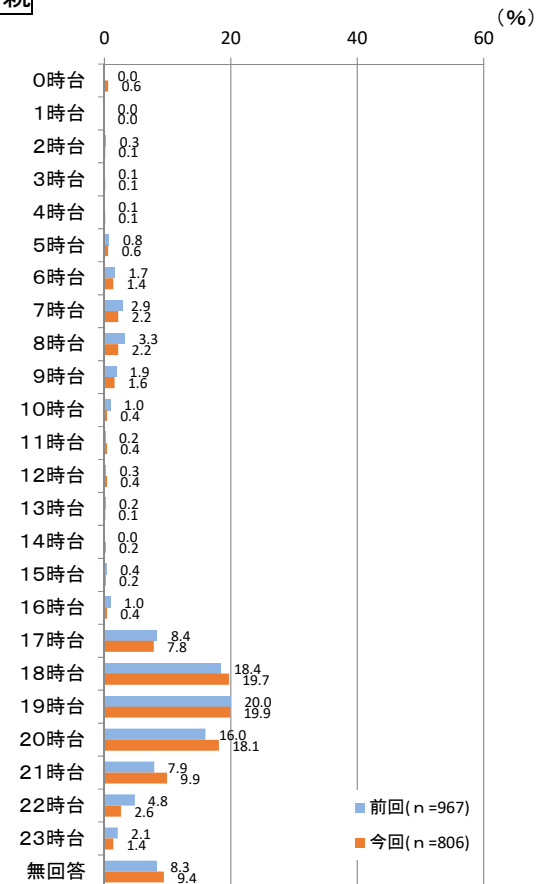


## 【帰宅時間】

母親



父親



### 3-2. フルタイムへの転換希望(母親)

母親のフルタイムへの転換希望についてみると、「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が 59.7%で最も多くなっています。次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 20.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 6.1%となっています。

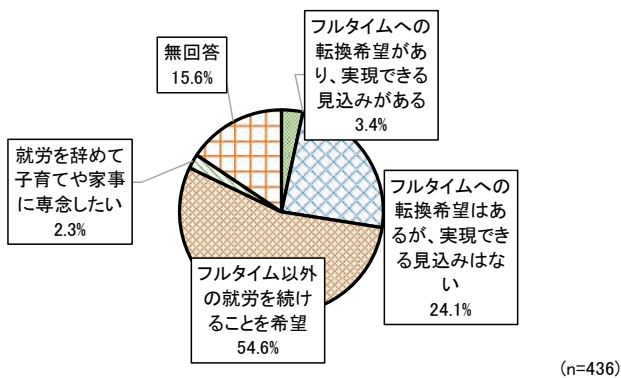
全体でみるとフルタイムへの転換希望は 26.8%で、前回調査と比較すると 0.7 ポイント減少しています。フルタイム転換希望者全体を母数とした場合、フルタイムへの転換が実現できる見込みのある人は 22.8%となっています。

※以下は、対象者数が5人以下の「父親」「その他」を除きます。

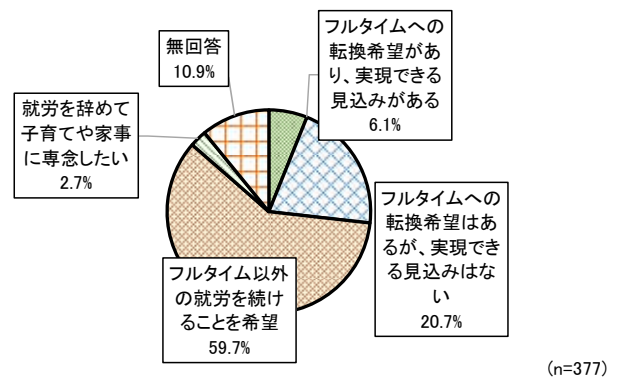
**問 9 で「3.フルタイム以外で就労している(産休・育休・介護休業中を除く)」または「4.フルタイム以外で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選択した方にお伺いします。**

問 9-2. 現在、フルタイムへの転換希望はありますか。

<前回>



<今回>



<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	フルタイム以外の就労を続けることを希望	就労を辞めて子育てや家事に専念したい	無回答
全体	377	6.1	20.7	59.7	2.7	10.9
1~2年生	153	5.9	21.6	56.9	3.9	11.8
3~4年生	126	7.9	24.6	57.1	1.6	8.7
5~6年生	98	4.1	14.3	67.3	2.0	12.2
シングルマザー	14	14.3	57.1	14.3	0.0	14.3

サンプル数：人 単位：%

### 3-3. 現在就労していない母親の就労意向

#### (1) 就労意向

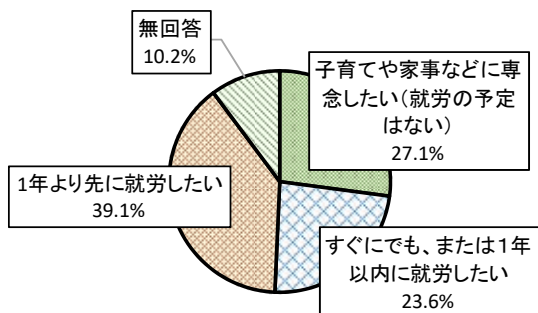
現在就労していない母親の就労意向をみると、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が29.4%、「1年より先に就労したい」が28.4%と、全体の就労意向は6割近くになっています。前回調査と比較すると、「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が5.8ポイント増加し、「1年より先に就労したい」が10.7ポイント減少しています。

また、「1年より先に就労したい」と答えた人のうち、子どもが何歳になったら就労したいかをみると、12歳以上が25.0%と最も多く、平均は8.4歳となっています。

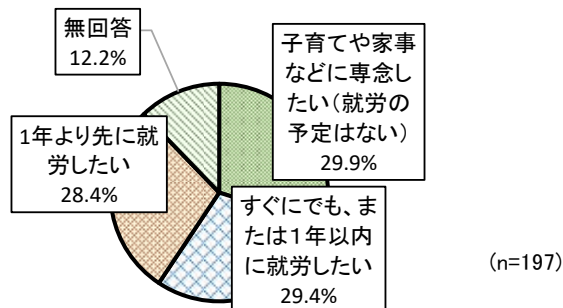
**問9で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまでに就労したことがない」を選択した方にお伺いします。該当しない方は問10にお進みください。**

問9-3. 今後の就労希望はありますか。

<前回>



<今回>

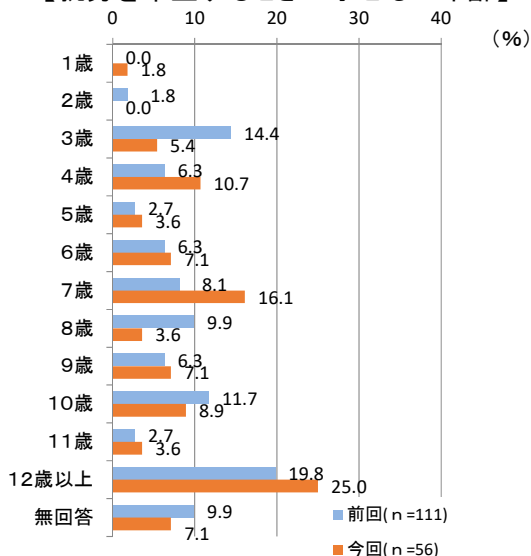


#### <学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	すぐにでも、または1年以内に就労したい	1年より先に就労したい	無回答
全体	197	29.9	29.4	28.4	12.2
1~2年生	83	25.3	30.1	32.5	12.0
3~4年生	78	29.5	32.1	25.6	12.8
5~6年生	35	42.9	20.0	25.7	11.4
シングルマザー	2	0.0	100.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

#### 【就労を希望するときの子どもの年齢】



#### <学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	就労希望年齢平均
全体	56	8.38
1~2年生	25	7.36
3~4年生	18	9.28
5~6年生	9	9.44

サンプル数：人 単位：歳

## (2) 就労希望の形態

今後就労希望のある母親の希望する就労形態としては、「フルタイム」による就労は7.9%、「フルタイム以外」が85.1%と「フルタイム以外」が多くなっています。

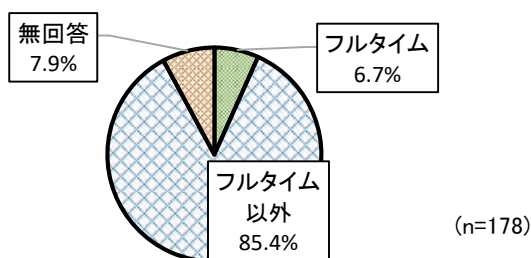
フルタイム以外の就労要件としては、希望就労日数は1週あたり3日が最も多く、平均は3.9日、希望就労時間数は1日あたり4～5時間未満が最も多く、平均で4.6時間となっています。

また、就労希望がありながら、現在働いていない理由としては、「自分の子育てや家事に専念したい」が36.8%で最も多く、次いで「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が21.1%となっています。前回調査と比較すると、「自分の子育てや家事に専念したい」が10.4ポイント増加し、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が9.2ポイント減少しています。

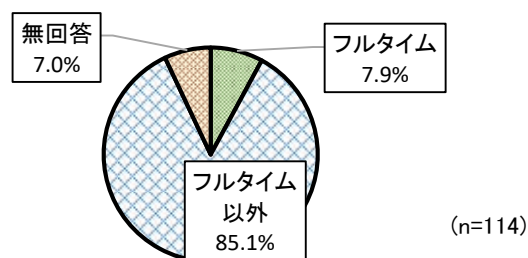
**問 9-3で「2.すぐにでも、または1年以内に就労したい」または「3.1年より先に就労したい」を選択した方にお伺いします。**

問 9-4. 就労希望の形態はどのようなものですか。

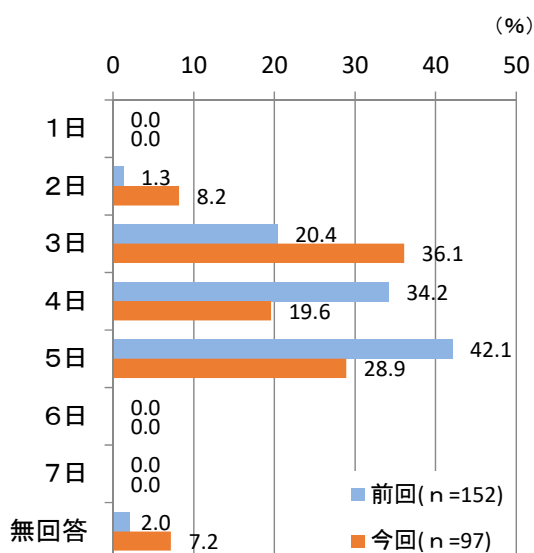
<前回>



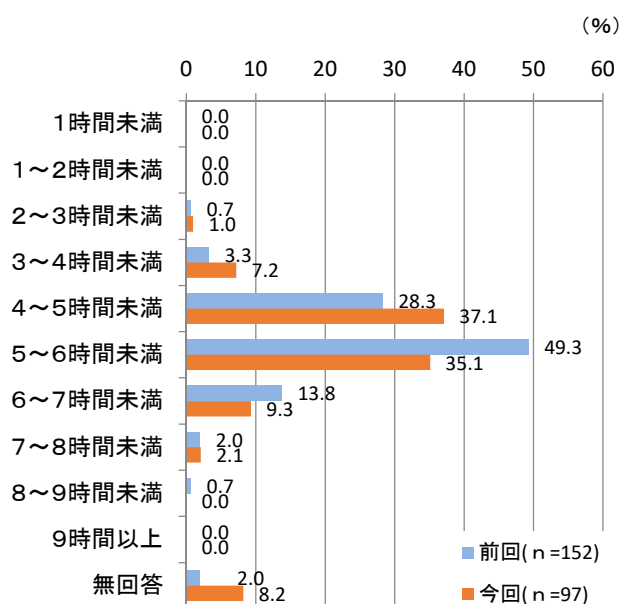
<今回>



【1週あたり希望就労日数(フルタイム以外)】



【1日あたり希望就労時間(フルタイム以外)】

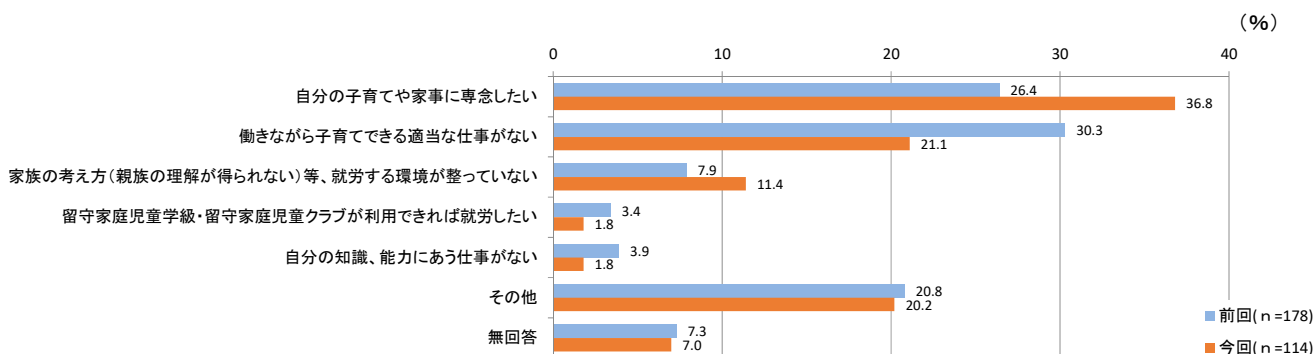


<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	就労希望形態			就労希望 日数平均	就労希望 時間平均
		フルタイム	フルタイム 以外	無回答		
全体	114	7.9	85.1	7.0	3.9日	4.6時間
1～2年生	52	3.8	94.2	1.9	3.9日	4.6時間
3～4年生	45	11.1	77.8	11.1	3.9日	4.7時間
5～6年生	16	12.5	81.3	6.3	3.4日	4.6時間
シングルマザー	2	50.0	50.0	0.0	4.0日	6.0時間

サンプル数：人 単位：%

問 9-5. 就労希望がありながら、現在働いていない理由をお答えください。



<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブが利用できれば就労したい	働きながら子育て出来る適当な仕事がない	自分の知識・能力にあう仕事がない	家族の考え方等、就労する環境が整っていない	自分の子育てや家事に専念したい	その他	無回答
全体	114	1.8	21.1	1.8	11.4	36.8	20.2	7.0
1～2年生	52	3.8	19.2	1.9	9.6	46.2	15.4	3.8
3～4年生	45	0.0	20.0	2.2	13.3	28.9	26.7	8.9
5～6年生	16	0.0	25.0	0.0	12.5	31.3	18.8	12.5
シングルマザー	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

## 4. 留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブについて

### 4-1. 平日の放課後の過ごし方

放課後過ごしている場所としては、自宅以外では「習い事・クラブ活動（スポーツ少年団を含む）」が 33.7%で最も多くなっており、次いで「留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ」の 29.0%となっています。前回調査と比較すると、「放課後こども教室」が 4.6 ポイント増加し、「習い事・クラブ活動（スポーツ少年団を含む）」が 6.4 ポイント減少しています。

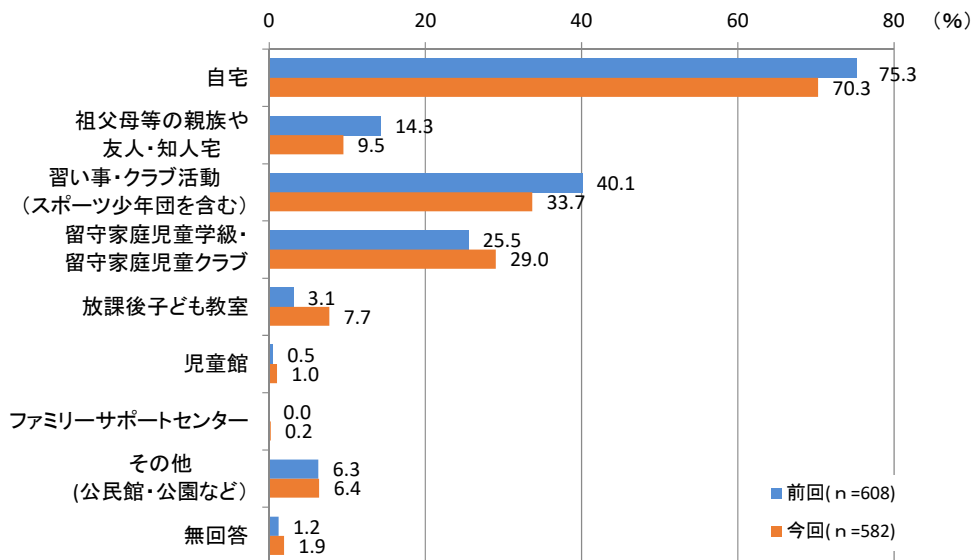
「留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ」の 1 週あたりの平均利用日数は、4.3 日、最も多い希望終了時刻は 17 時台となっています。

お子さんが小学校低学年(1～3年生)の方にお伺いします。

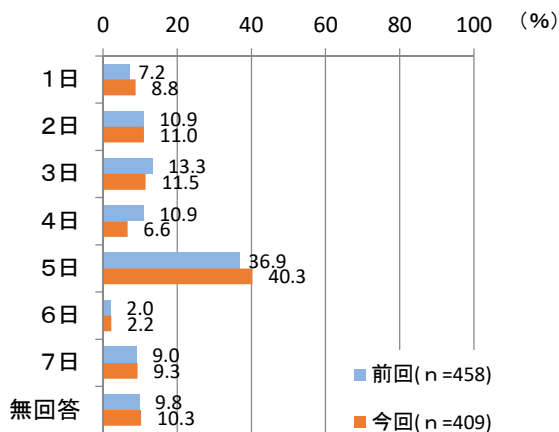
お子さんが小学校高学年(4～6年生)の方は問 12 へお進みください。

問 10. お子さんは現在、放課後(平日の小学校終了後)の時間はどのような場所で過ごしていますか。

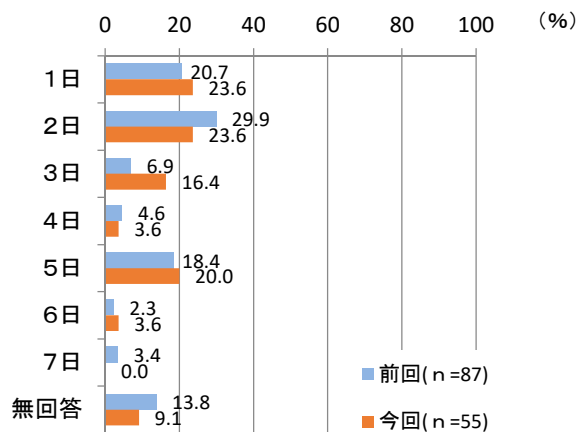
(あてはまるものすべてに○)



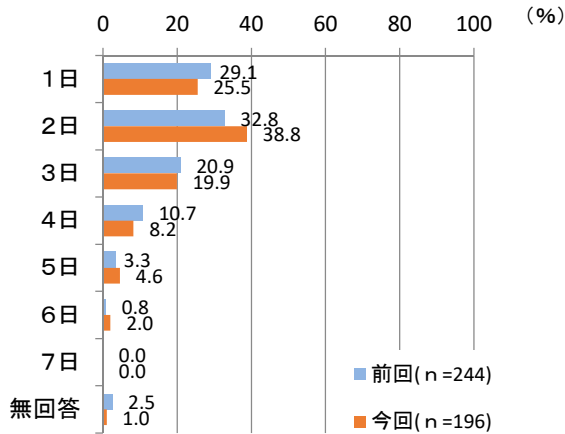
【自宅】



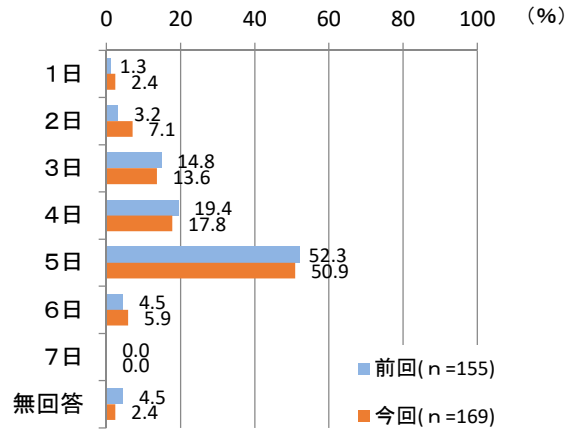
【祖父母等の親族や友人・知人宅】



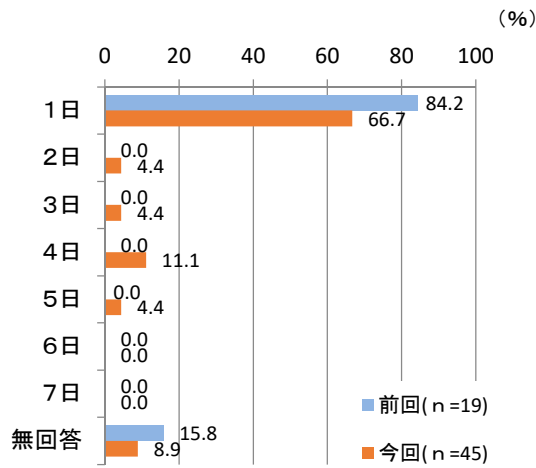
【習い事・クラブ活動(スポーツ少年団を含む)】



【留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ】

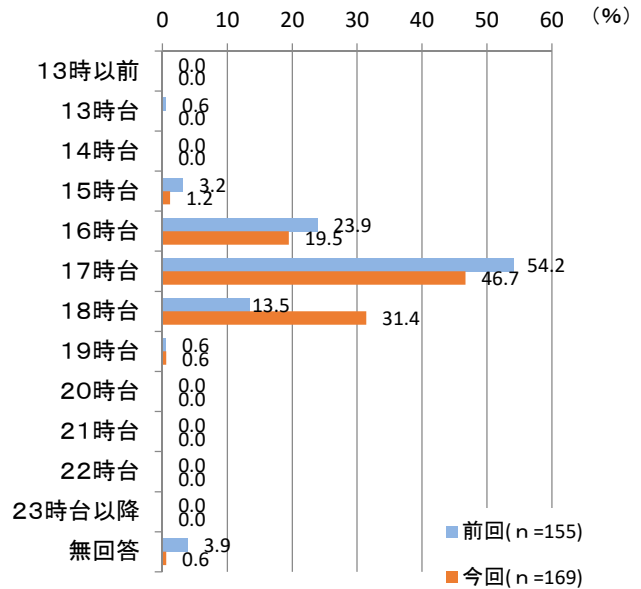


【放課後子ども教室】



《希望終了時刻》

【留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ】



<ひとり親家庭別>

	サンプル数	自宅	祖父母等の親族や友人・知人宅	習い事・クラブ活動(スポーツ少年団を含む)	留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ	放課後子ども教室	児童館	ファミリーサポートセンター	その他(公民館・公園など)	無回答
全体	582	70.3	9.5	33.7	29.0	7.7	1.0	0.2	6.4	1.9
シングルマザー	54	55.6	9.3	22.2	42.6	5.6	1.9	0.0	5.6	0.0

サンプル数：人 単位：%



#### 4-2. 土曜日、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の利用状況と日数等

平日、留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブを利用している人のうち、土曜日の利用は29.0%、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中の利用は89.3%となっています。前回調査と比較すると、土曜日の利用は3.2ポイント増加し、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中の利用は8.7ポイント減少しています。

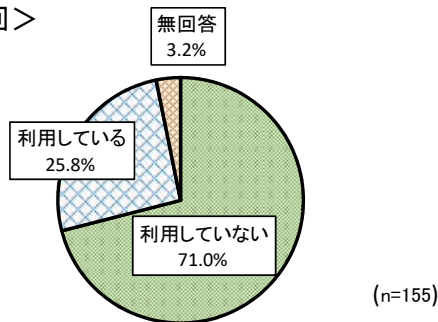
土曜日、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中ともに開始時刻は8時台、終了時刻は17時台が最も多くなっています。

**問 10 で「4.留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ」に○をした方にお伺いします。該当しない方は問 10-4 へお進みください。**

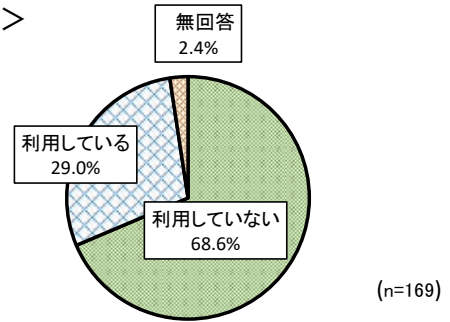
問 10-1. 土曜日、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中について、利用状況をお答えください。(それぞれ1つに○) 利用している場合は、週あたりの利用日数と平均的な利用時間帯もお答えください。

(1)土曜日

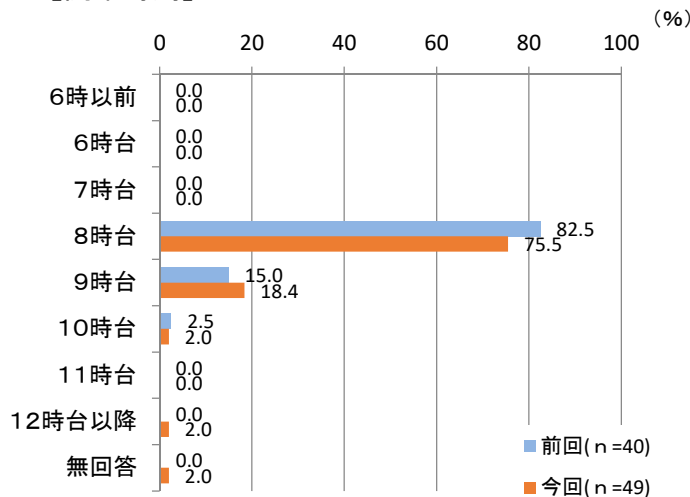
<前回>



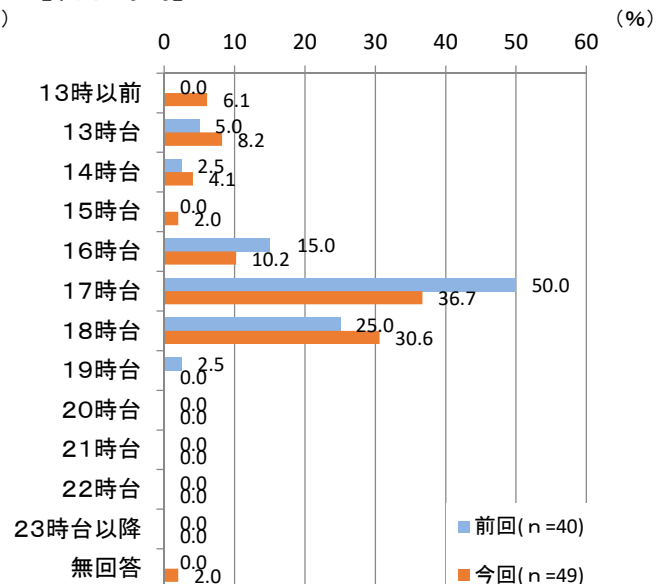
<今回>



【開始時刻】



【終了時刻】



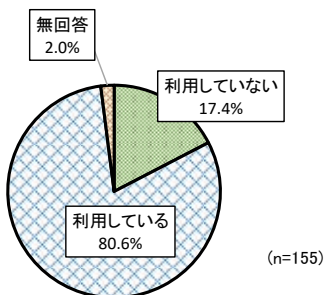
<ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用していない	利用している	無回答
全体	169	68.6	29.0	2.4
シングルマザー	23	47.8	52.2	0.0

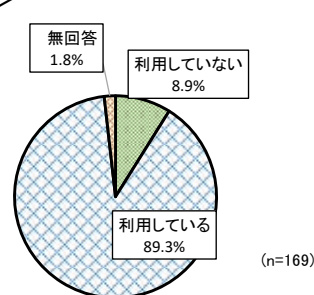
サンプル数：人 単位：%

(2) 夏休みや冬休みなどの長期の休暇期間中

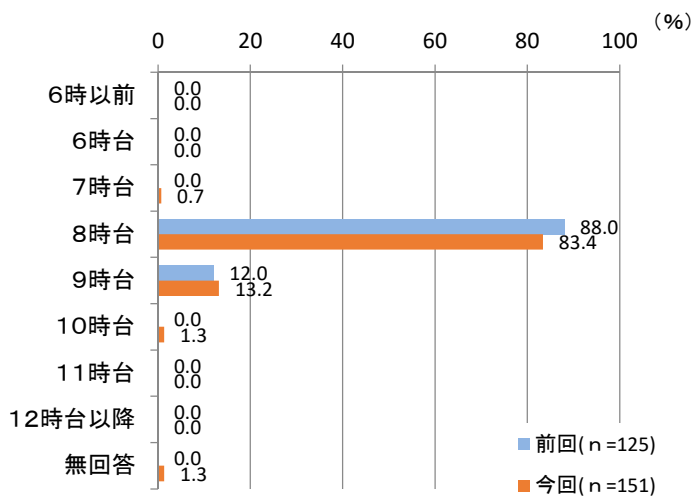
<前回>



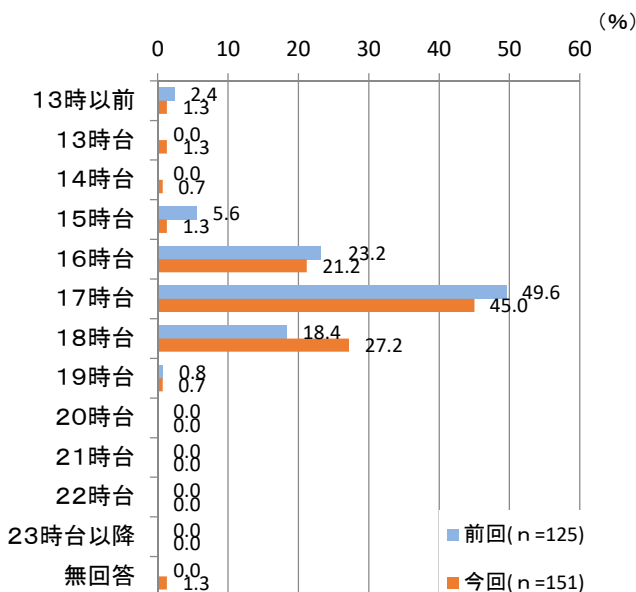
<今回>



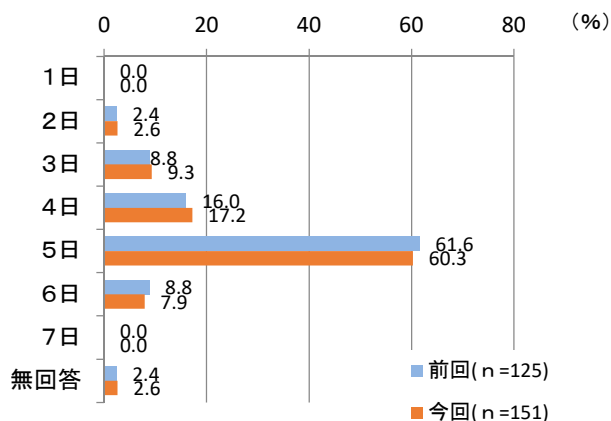
【開始時刻】



【終了時刻】



【1週あたり利用日数】



<ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用していない	利用している	無回答
全体	169	8.9	89.3	1.8
シングルマザー	23	0.0	100.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

### 4-3. 留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブに対する評価

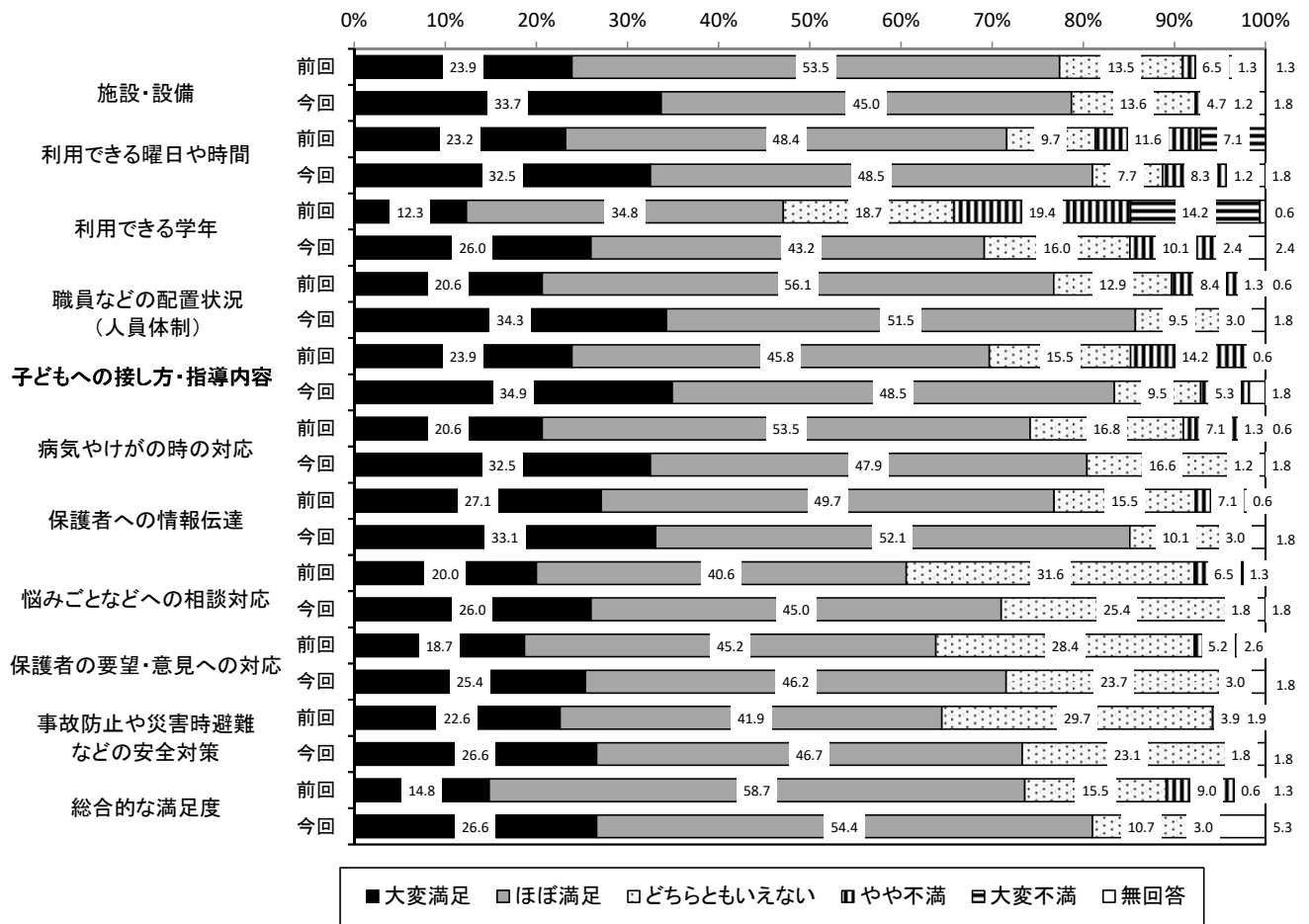
留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブに対する評価について、「大変満足」「ほぼ満足」を合わせると、「職員などの配置状況」85.8%、「保護者への情報伝達」85.2%、「子供への接し方・指導内容」83.4%、などの順となっています。前回調査と比較すると、「利用できる学年」が22.1ポイント、「子供への接し方・指導内容」が13.7ポイント増加しています。

一方、「利用できる学年」が、69.2%と最も低くなっています。

「★総合的な満足度」は、81.0%と8割以上が満足の評価を示しています。

問 10-2. 現在、利用している留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブの満足度についてお答えください。

(①～⑩、★総合的な満足度それぞれ1つに○)

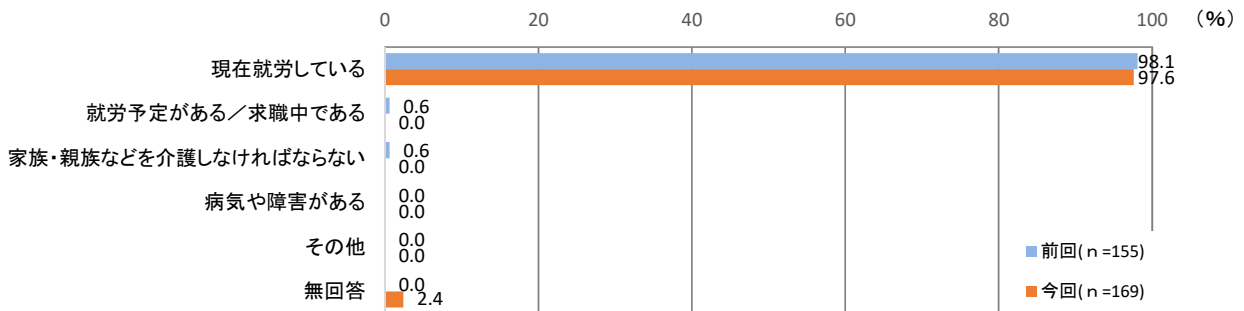


前回(n=155)  
今回(n=169)

#### 4-4. 利用している理由

利用している理由をみると、「現在就労している」が最も多くなっています。

問 10-3. 現在、利用している理由をお答えください。(1つに○)



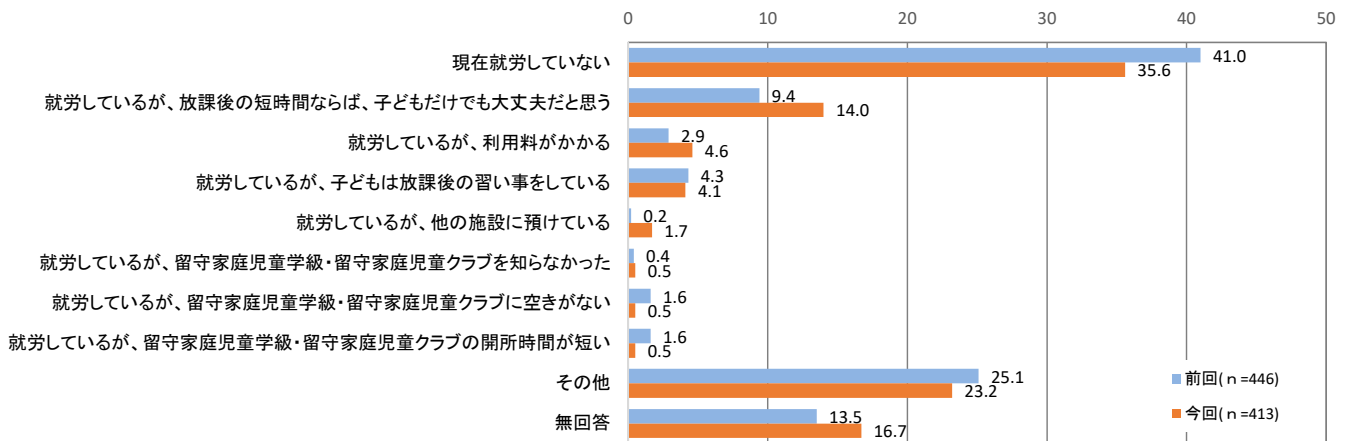
#### 4-5. 利用していない理由

利用していない理由をみると、「現在就労していない」が 35.6%で最も多く、以下、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」が 14.0%となっています。前回調査と比較すると、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」が 4.6 ポイント増加、「現在就労していない」が 5.4 ポイント減少しています。

問 10 で「4.留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ」に○をしてない方(留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブを利用していない方)にお伺いします。

問 10-4. 利用していない理由をお答えください。(1つに○)

(%)



#### <ひとり親家庭別>

	サンプル数	現在就労していない	就労しているが、留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブを知らなかった	就労しているが、留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブに空きがない	就労しているが、留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブの開所時間が短い	就労しているが、利用料がかかる	就労しているが、子どもは放課後の習い事をしている	就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う	就労しているが、他の施設に預けている	その他
全体	413	35.6	0.5	0.5	0.5	4.6	4.1	14.0	1.7	23.2
シングルマザー	31	6.5	0.0	0.0	0.0	16.1	6.5	19.4	0.0	32.3

サンプル数：人 単位：%

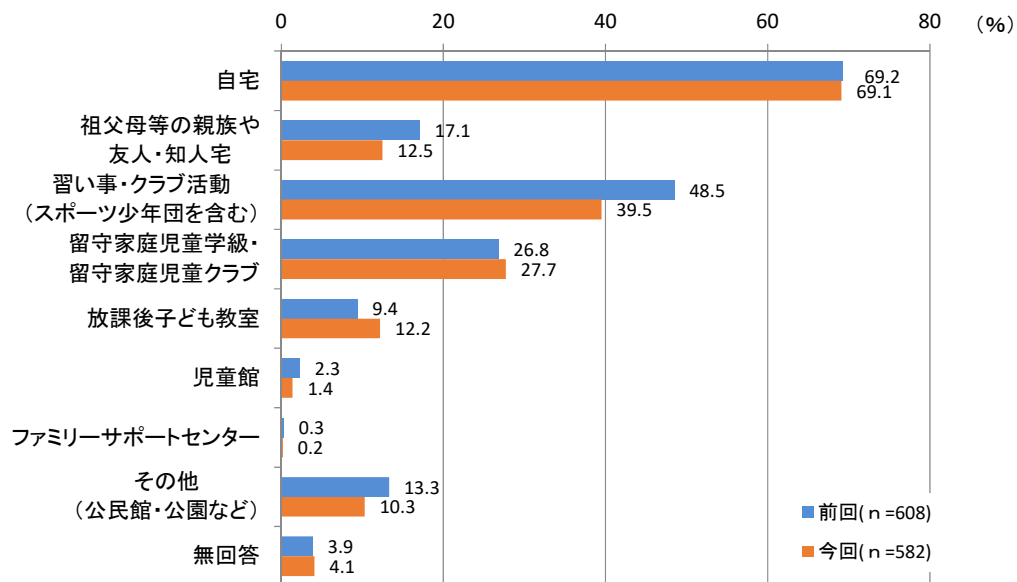
#### 4-6. 今後の利用意向

低学年の放課後、過ごさせたい場所としては、自宅以外では、「習い事・クラブ活動（スポーツ少年団を含む）」が 39.5%で最も多くなっており、次いで「留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ」の 27.7%となっています。前回調査と比較すると、「習い事・クラブ活動（スポーツ少年団を含む）」が 9.0 ポイント、「祖父母等の親戚や友人・知人宅」が 4.6 ポイント減少しています。

「留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ」の 1 週あたりの平均利用希望日数は 4.0 日、最も多い希望終了時刻は 17 時台となっています。

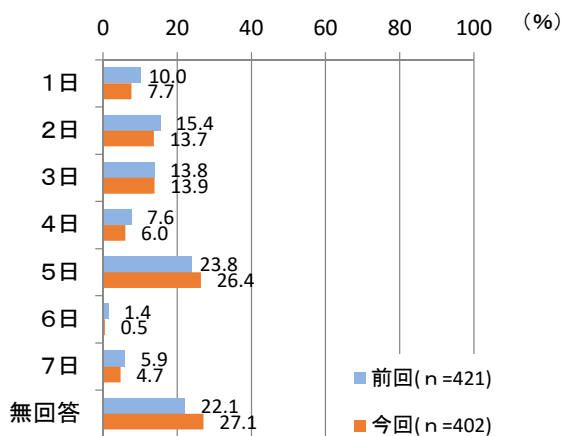
#### お子さんが小学校低学年(1～3年生)の方にお伺いします。

問 11. お子さんについて、小学生低学年(1～3年生)の間、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

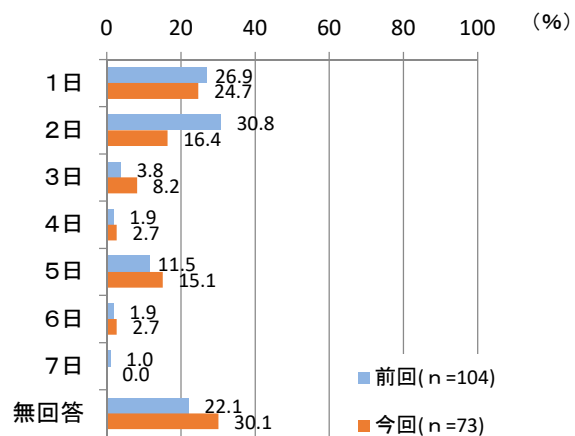


#### 《1週あたりの平均利用希望日数(低学年の時)》

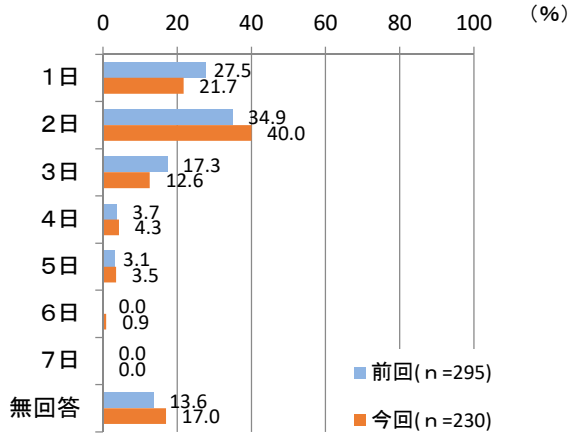
##### 【自宅】



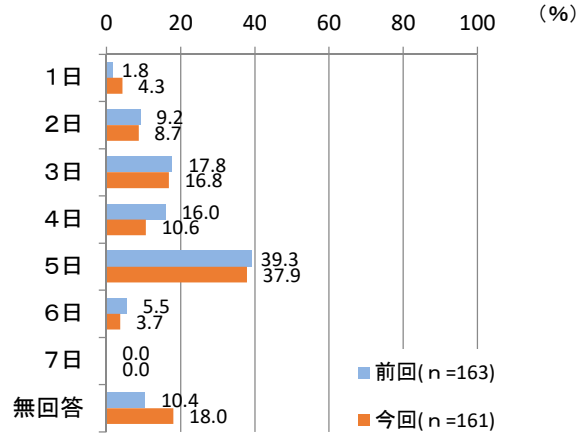
##### 【祖父母等の親戚や友人・知人宅】



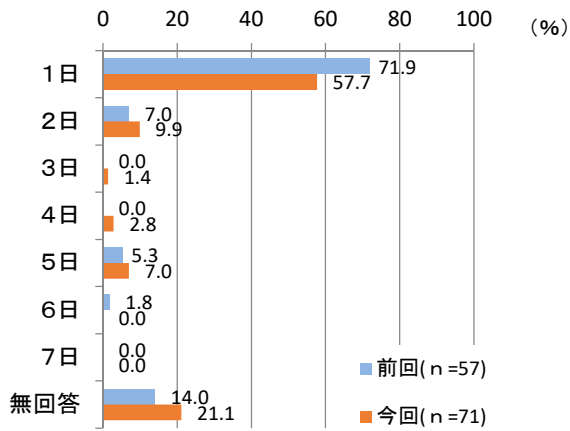
【習い事・クラブ活動(スポーツ少年団を含む)】



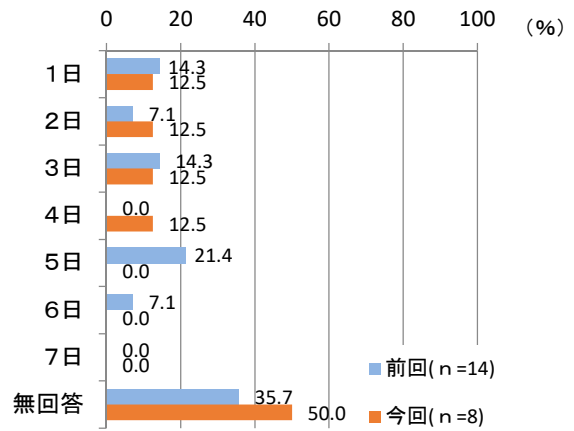
【留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ】



【放課後子ども教室】

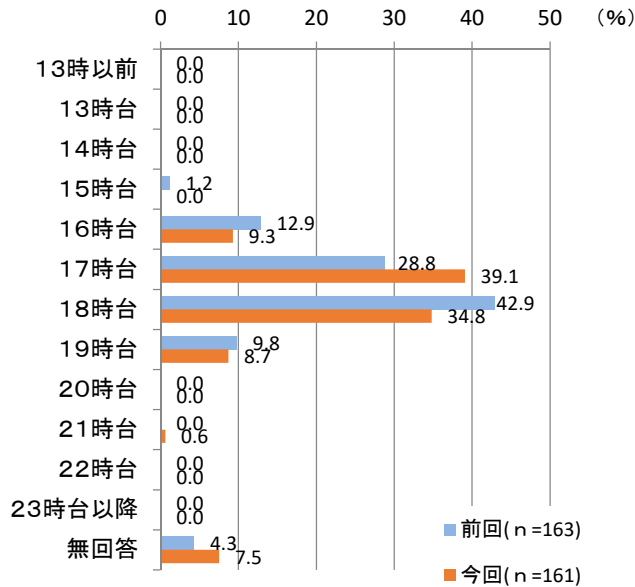


【児童館】



《希望終了時刻(低学年の時)》

【留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ】



<ひとり親家庭別>

	サンプル数	自宅	祖父母等の親族や友人・知人宅	習い事・クラブ活動(スポーツ少年団を含む)	留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ	放課後子ども教室	児童館	ファミリーサポートセンター	その他(公民館・公園など)	無回答
全体	582	69.1	12.5	39.5	27.7	12.2	1.4	0.2	10.3	4.1
シングルマザー	54	63.0	13.0	25.9	37.0	9.3	0.0	0.0	1.9	3.7

サンプル数：人 単位：%

#### 4-7. 土曜日・日曜日等の利用希望や希望日数(低学年の時)

土曜日・日曜日等の留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブの利用希望をみると、「利用したい」は、土曜日が 15.3%、日曜日・祝日が 9.8%、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中が 42.6%となっており、いずれも前回調査より増加しています。

土曜日、日曜日・祝日、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中のいずれも希望開始時刻は 8 時台、希望終了時刻は土曜日、日曜日・祝日、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中のいずれも 18 時台が最も多くなっています。

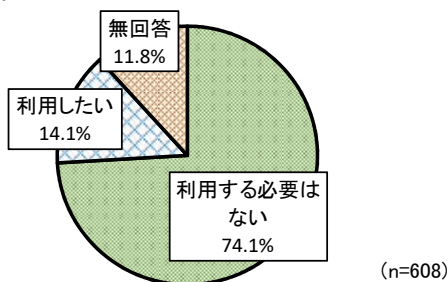
なお、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中の 1 週あたりの平均利用希望日数は 4.5 日となっています。

問 11-1. お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中、留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブの利用希望はありますか。現在利用中の方もお答えください。

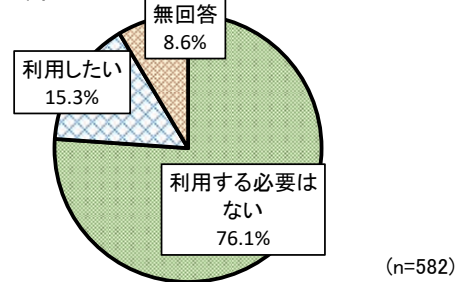
(それぞれ 1 つに○)

(1) 土曜日

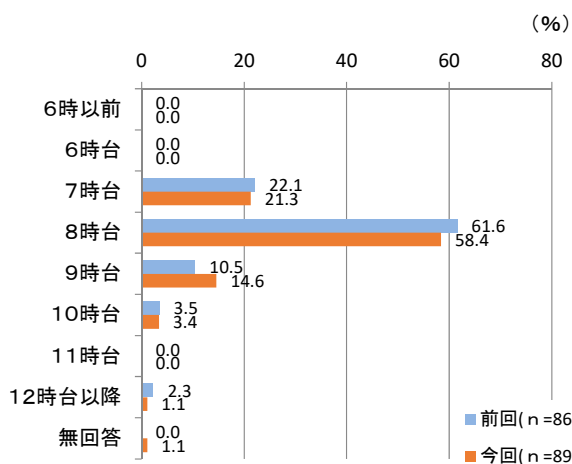
<前回>



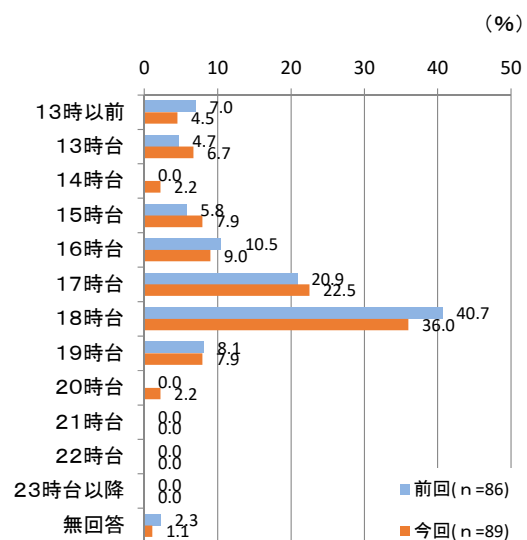
<今回>



【希望開始時刻】



【希望終了時刻】



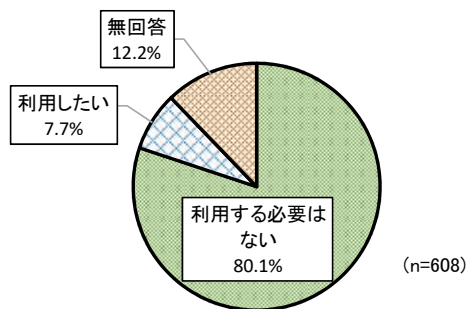
<ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用する必要はない	利用したい	無回答
全体	582	76.1	15.3	8.6
シングルマザー	54	70.4	27.8	1.9

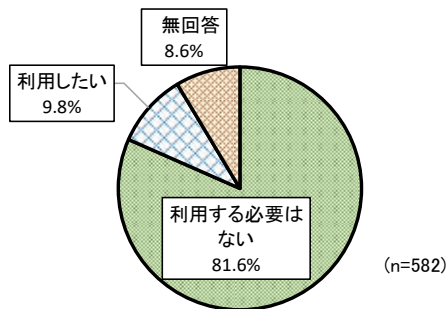
サンプル数：人 単位：%

(2) 日曜日・祝日

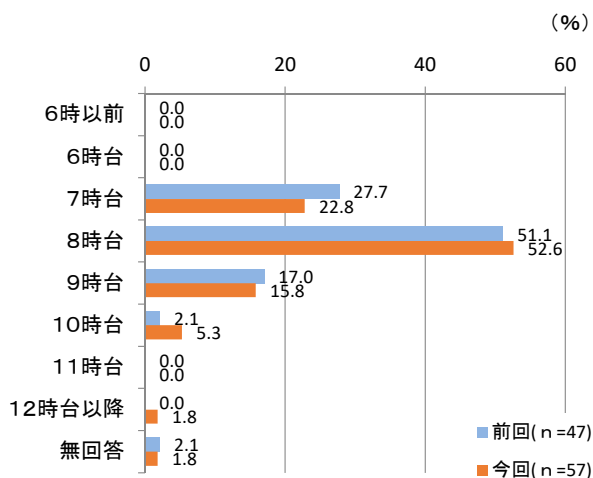
<前回>



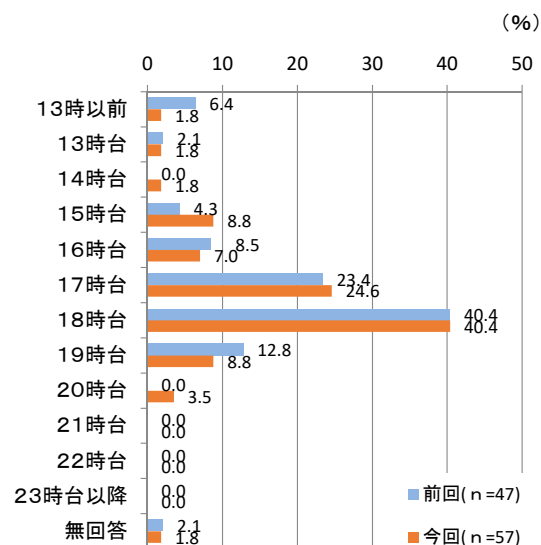
<今回>



【希望開始時刻】



【希望終了時刻】



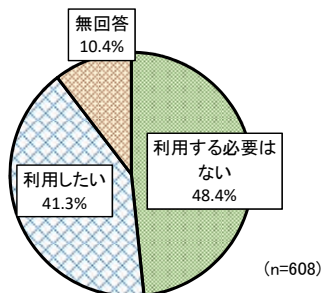
<ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用する 必要はない	利用したい	無回答
全体	582	81.6	9.8	8.6
シングルマザー	54	75.9	22.2	1.9

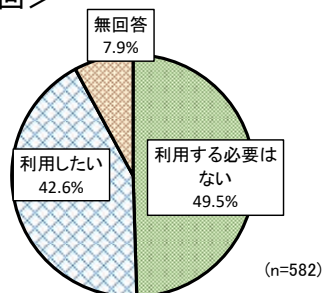
サンプル数：人 単位：%

(3) 夏休みや冬休みなどの長期の休暇期間中

<前回>

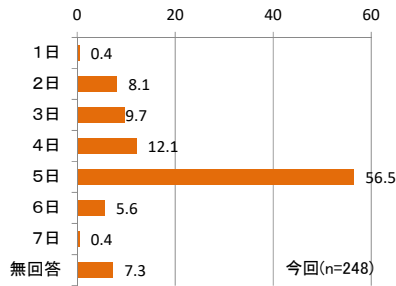


<今回>

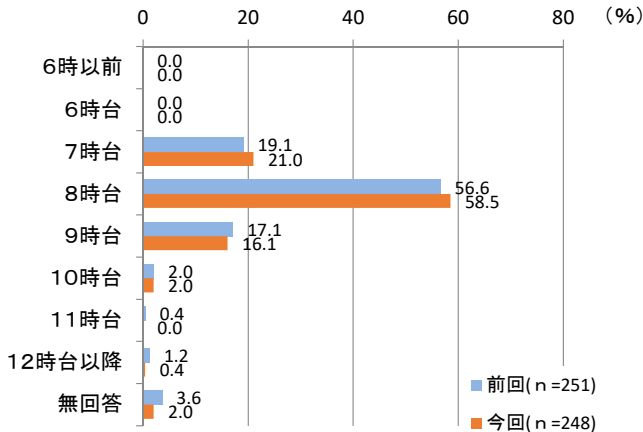




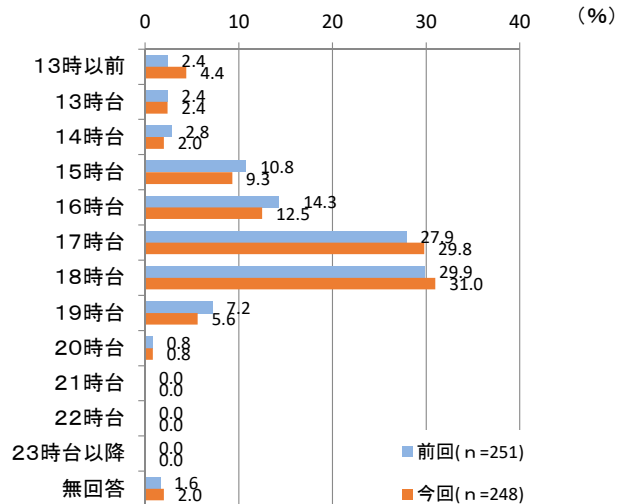
### 【1週あたり利用日数】



### 【希望開始時刻】



### 【希望終了時刻】



### <ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用する必要はない	利用したい	無回答
全体	582	49.5	42.6	7.9
シングルマザー	54	44.4	53.7	1.9

サンプル数：人 単位：%

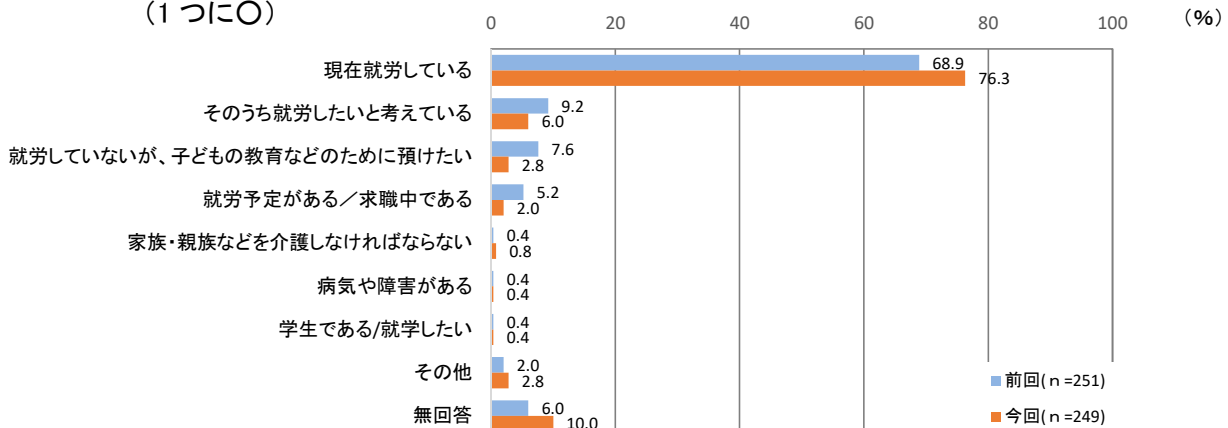
### 4-8. 利用したい理由

利用したい理由をみると、「現在就労している」が76.3%で最も多くなっており、前回調査と比較すると7.4ポイント増加しています。

問 11-1の(1)土曜日、(2)日曜日・祝日、(3)夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中のいずれかで「2.利用したい」に○をした方にお伺いします。

問 11-2. 今後、留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブを利用したいと考えている理由をお答えください。

(1つに○)



<ひとり親家庭別>

	サンプル数	現在就労している	就労予定がある/求職中である	そのうち就労したいと考えている	家族・親族などを介護しなければならない	病気や障害がある	学生である/就学したい	就労していないが、子どもの教育などのために預けたい	その他	無回答
全体	249	76.3	2.0	6.0	0.8	0.4	0.4	2.8	2.8	10.0
シングルマザー	30	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	3.3	16.7

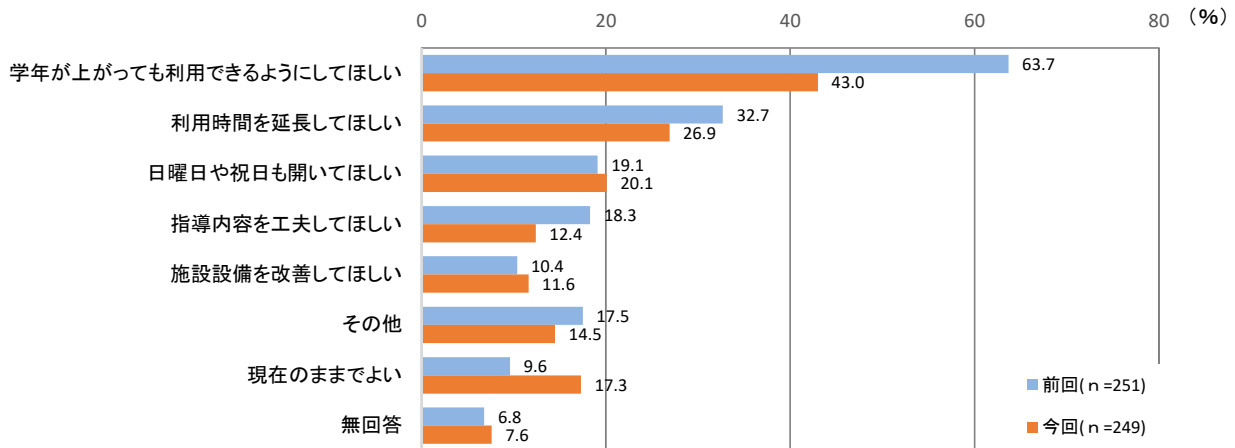
サンプル数：人 単位：%

4-9. 留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブに対する要望

留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブに対する要望では、「学年が上がっても利用できるようにしてほしい」が43.0%で最も多く、次いで、「利用時間を延長してほしい」(26.9%)、「日曜日や祝日も開いてほしい」(20.1%)となっています。前回調査と比較すると、「学年が上がっても利用できるようにしてほしい」が20.7ポイント減少しています。

問 11-3. 留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブに対してどのようなことを希望しますか。

(あてはまるものすべてに○)



<ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用時間を延長してほしい	学年が上がっても利用できるようにしてほしい	日曜日や祝日も開いてほしい	施設設備を改善してほしい	指導内容を工夫してほしい	その他	現在のままでよい	無回答
全体	249	26.9	43.0	20.1	11.6	12.4	14.5	17.3	7.6
シングルマザー	30	33.3	40.0	40.0	20.0	20.0	3.3	20.0	3.3

サンプル数：人 単位：%

#### 4-10. 4年生以上になった時の放課後の過ごし方

4年生以上になった時に放課後、過ごさせたい場所としては、自宅が80.8%と最も多く、次いで「習い事・クラブ活動（スポーツ少年団を含む）」が51.4%となっています。一方、「留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ」は12.5%となっています。前回調査と比較すると、「習い事・クラブ活動（スポーツ少年団を含む）」が9.6ポイント減少しています。

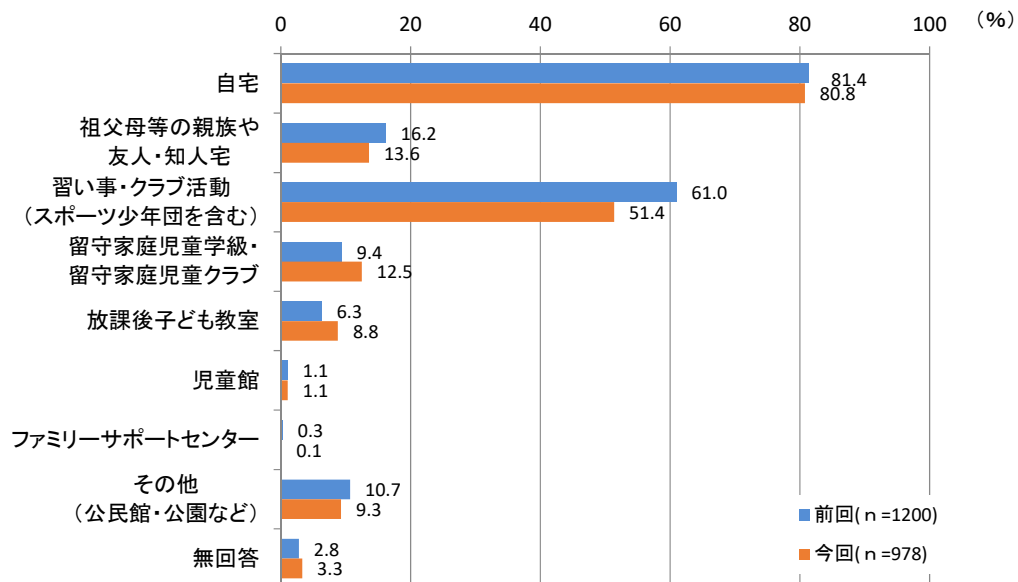
「留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ」の1週あたりの平均利用希望日数は3.8日、最も多い希望終了時刻は18時台、利用したい学年は6年生までが6割近くを占めています。

#### すべての方にお伺いします。

問 12. お子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

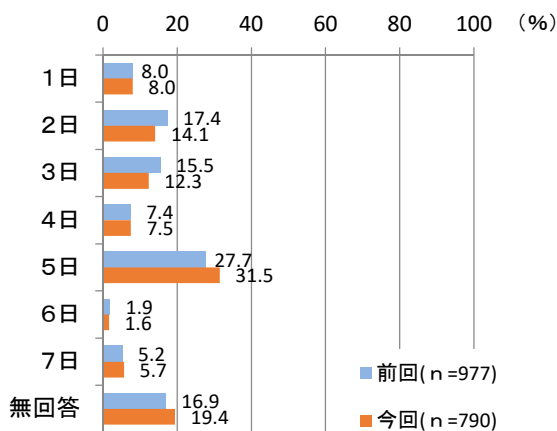
お子さんがすでに小学校高学年の方は、お子さんの現在の状況をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)。

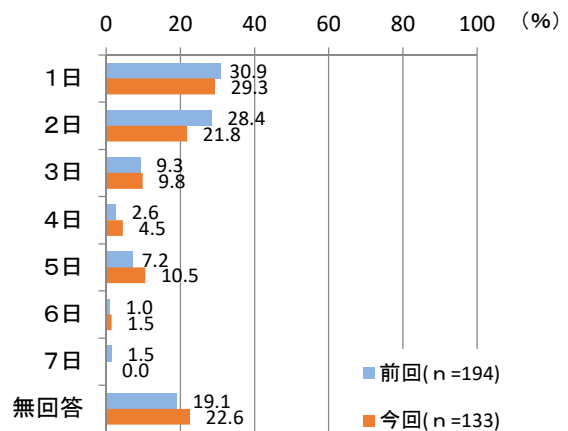


#### 《1週あたりの平均利用希望日数(高学年の時)》

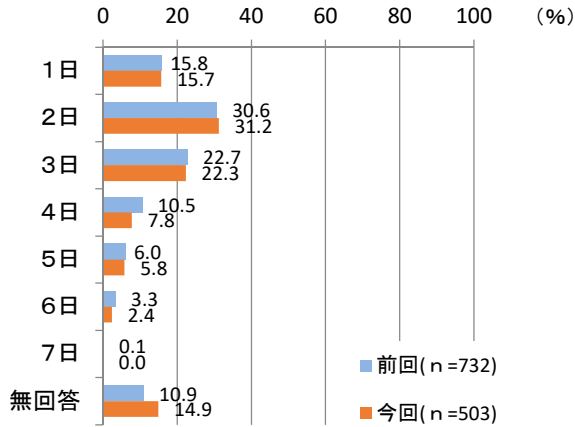
##### 【自宅】



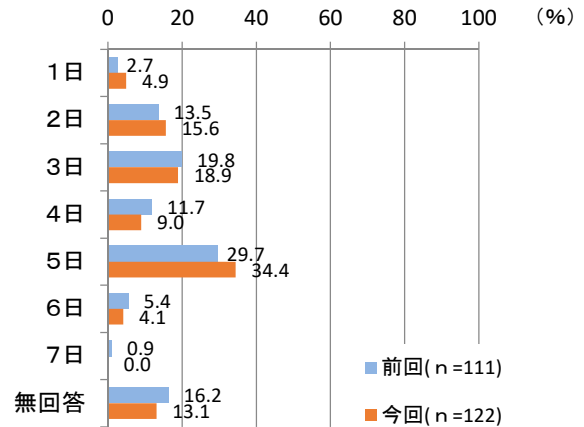
##### 【祖父母等の親族や友人・知人宅】



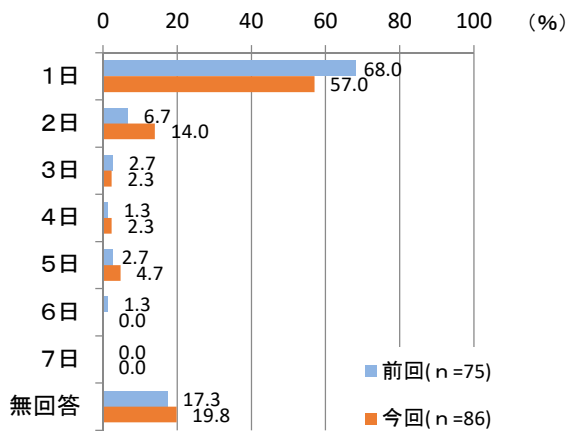
【習い事・クラブ活動(スポーツ少年団を含む)】



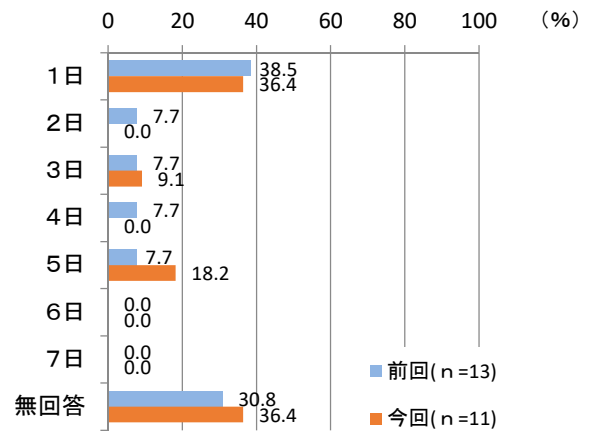
【留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ】



【放課後子ども教室】



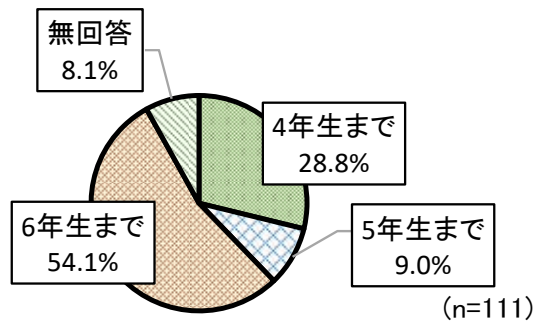
【児童館】



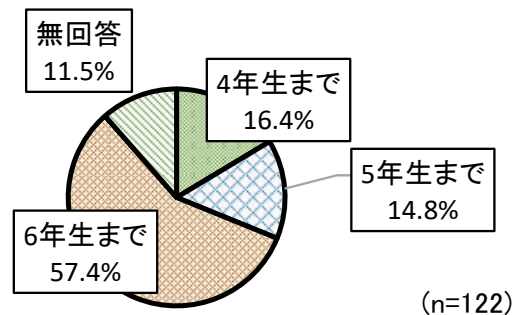
《希望利用学年(高学年の時)》

【留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ】

<前回>

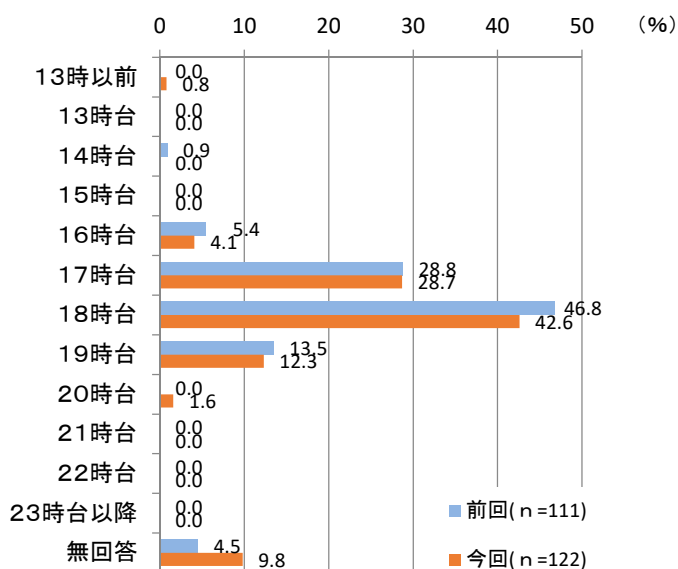


<今回>



《希望終了時刻(高学年の時)》

【留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ】



＜学年別・ひとり親家庭別＞

	サンプル数	自宅	祖父母等の親族や友人・知人宅	習い事・クラブ活動(スポーツ少年団を含む)	留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブ	放課後子ども教室	児童館	ファミリーサポートセンター	その他(公民館・公園など)	無回答
全体	978	80.8	13.6	51.4	12.5	8.8	1.1	0.1	9.3	3.3
1～2年生	392	76.8	12.5	55.1	19.1	12.8	1.8	0.3	13.3	2.3
3～4年生	357	83.2	16.0	50.4	10.6	8.1	0.8	0.0	8.1	2.8
5～6年生	226	84.5	11.9	46.5	4.0	3.1	0.4	0.0	4.4	5.8
シングルマザー	94	71.3	13.8	44.7	18.1	9.6	0.0	1.1	5.3	3.2
シングルファザー	7	71.4	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3

サンプル数：人 単位：%

#### 4-11. 土曜日、日曜日等の利用希望や希望日数(高学年の時)

留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブの高学年での利用希望をみると、土曜日は「利用したい」は 9.8%となっています。日曜日・祝日は 6.1%で土曜日と比べ希望者は少なくなります。

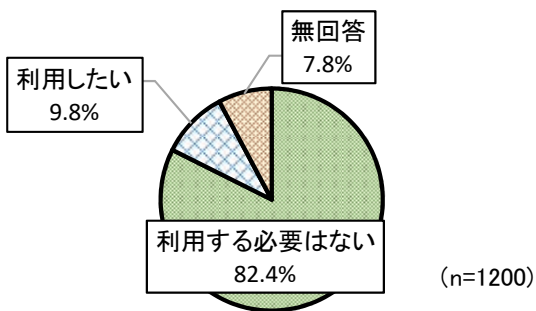
夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中は 25.9%であり、利用希望学年としては、いずれも6年生までが中心です。

土曜日、日曜日・祝日、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中のいずれも希望開始時刻は8時台、希望終了時刻は土曜日、日曜日・祝日、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中のいずれも18時台が最も多くなっています。

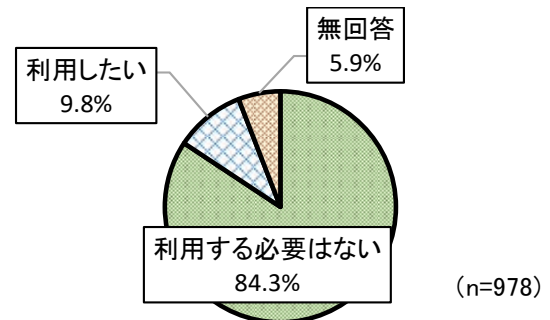
問 12-1. お子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中、留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブの利用希望はありますか。(ひとつに○)  
また、利用したい方は、何年生まで利用したいかお答えください。  
利用を希望する場合は、週あたりの利用日数と平均的な利用時間帯もお答えください。

##### (1) 土曜日

<前回>

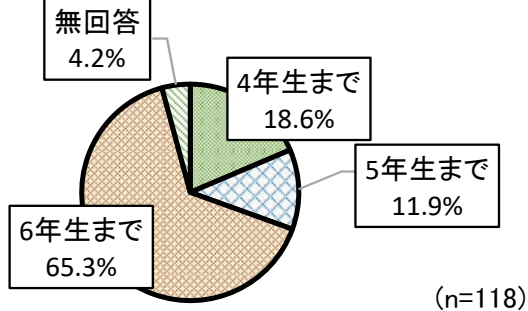


<今回>

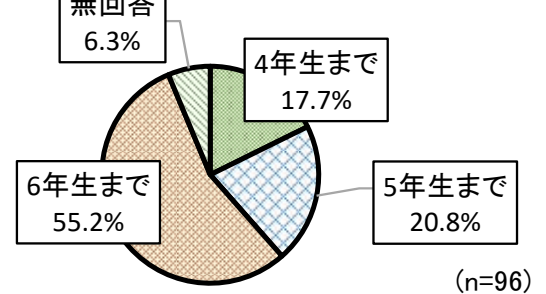


##### 【希望利用学年】

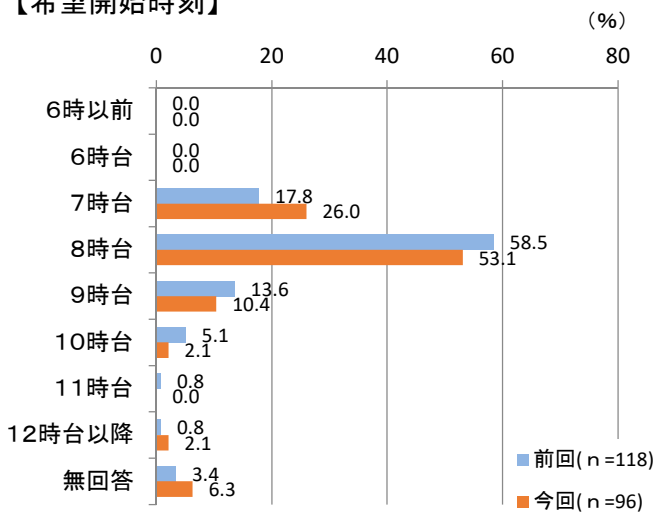
<前回>



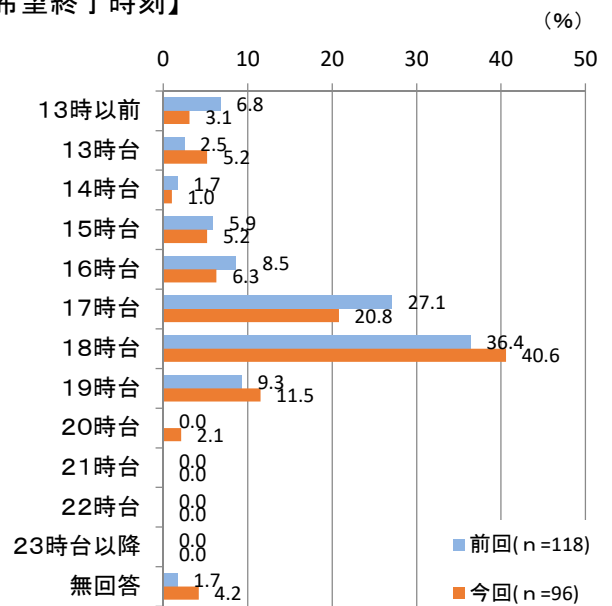
<今回>



【希望開始時刻】



【希望終了時刻】



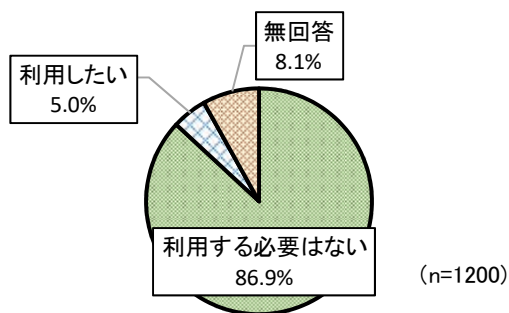
＜学年別・ひとり親家庭別＞

	サンプル数	利用する必要はない	利用したい	無回答
全体	978	84.3	9.8	5.9
1～2年生	392	75.8	16.1	8.2
3～4年生	357	88.8	8.1	3.1
5～6年生	226	92.5	1.3	6.2
シングルマザー	94	77.7	19.1	3.2
シングルファザー	7	100.0	0.0	0.0

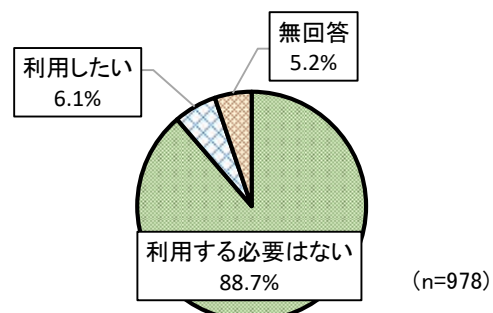
サンプル数：人 単位：%

(2) 日曜日・祝日

＜前回＞

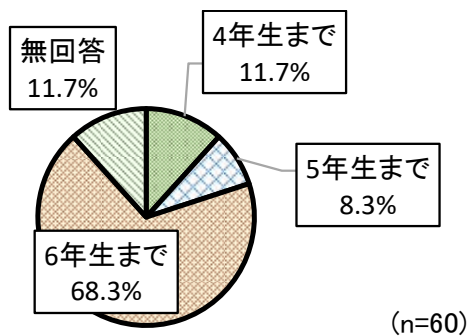


＜今回＞

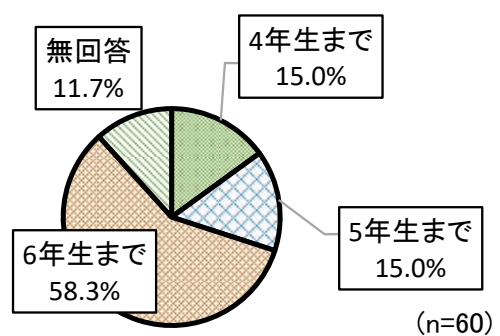


【希望利用学年】

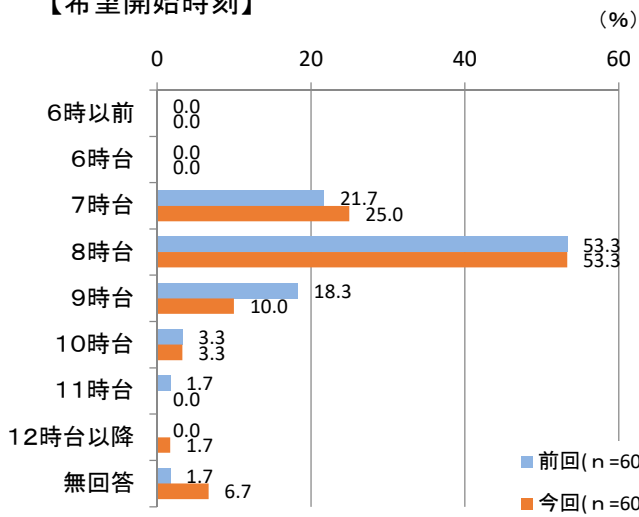
＜前回＞



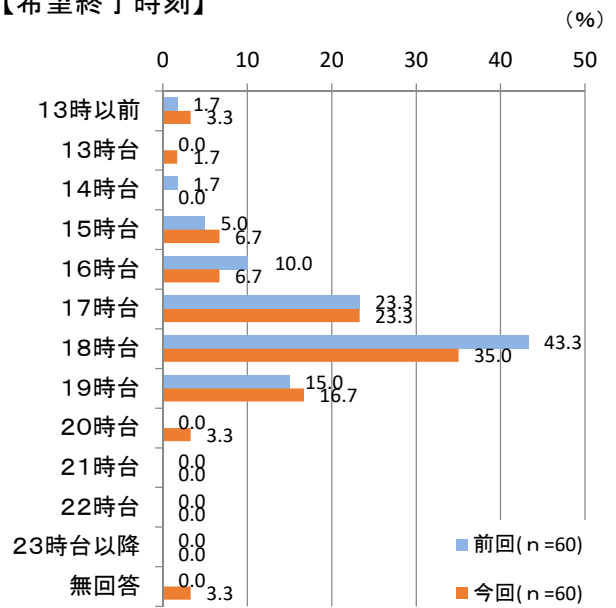
＜今回＞



【希望開始時刻】



【希望終了時刻】



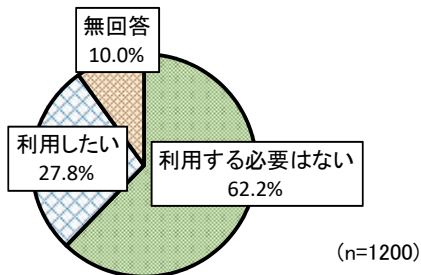
＜学年別・ひとり親家庭別＞

	サンプル数	利用する必要はない	利用したい	無回答
全体	978	88.7	6.1	5.2
1～2年生	392	83.4	10.2	6.4
3～4年生	357	92.2	4.8	3.1
5～6年生	226	92.5	1.3	6.2
シングルマザー	94	83.0	13.8	3.2
シングルファザー	7	100.0	0.0	0.0

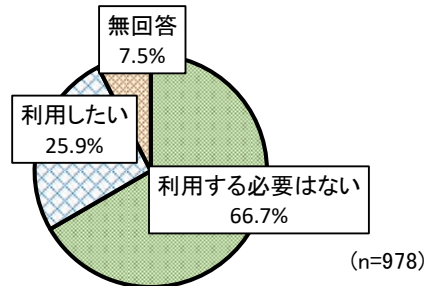
サンプル数：人 単位：%

(3) 夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中

＜前回＞

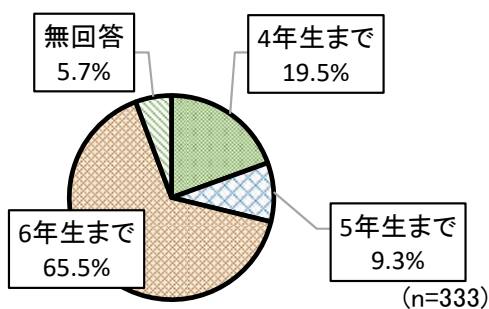


＜今回＞

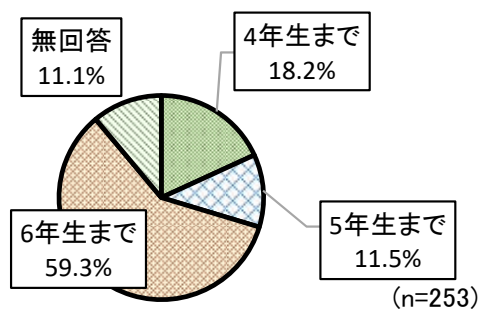


【希望利用学年】

＜前回＞

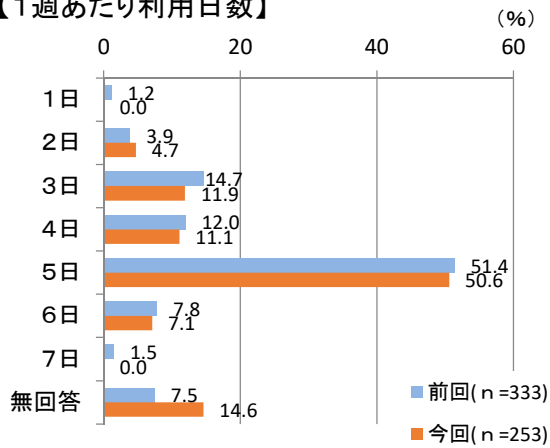


＜今回＞

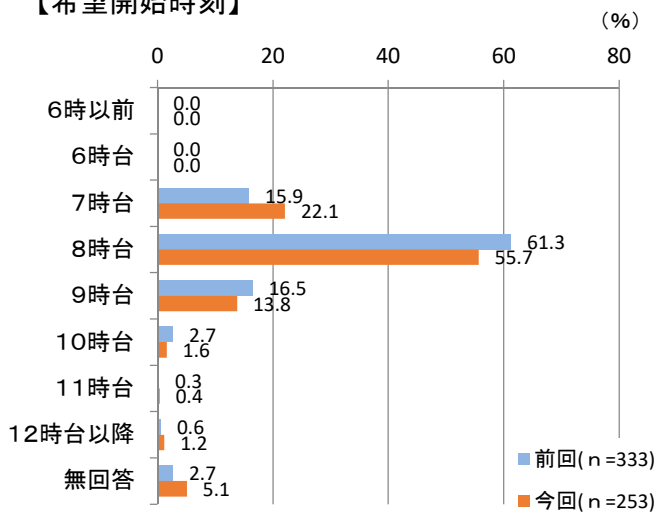




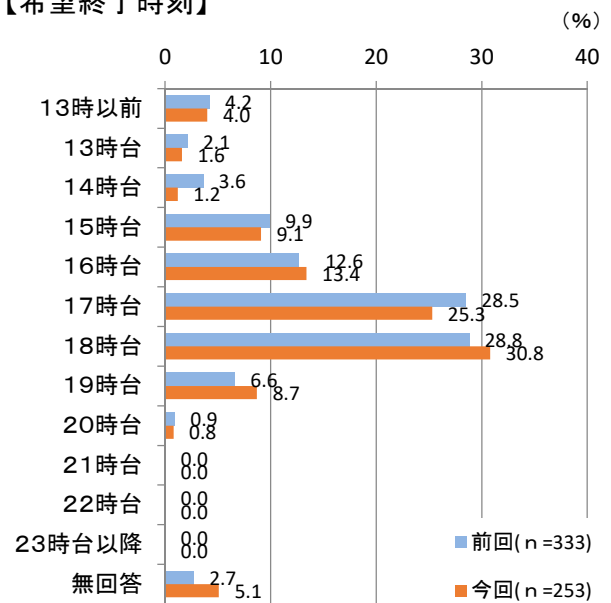
【1週あたり利用日数】



【希望開始時刻】



【希望終了時刻】



<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用する必要はない	利用したい	無回答
全体	978	66.7	25.9	7.5
1～2年生	392	54.3	38.3	7.4
3～4年生	357	68.9	25.5	5.6
5～6年生	226	85.0	4.9	10.2
シングルマザー	94	56.4	34.0	9.6
シングルファザー	7	71.4	14.3	14.3

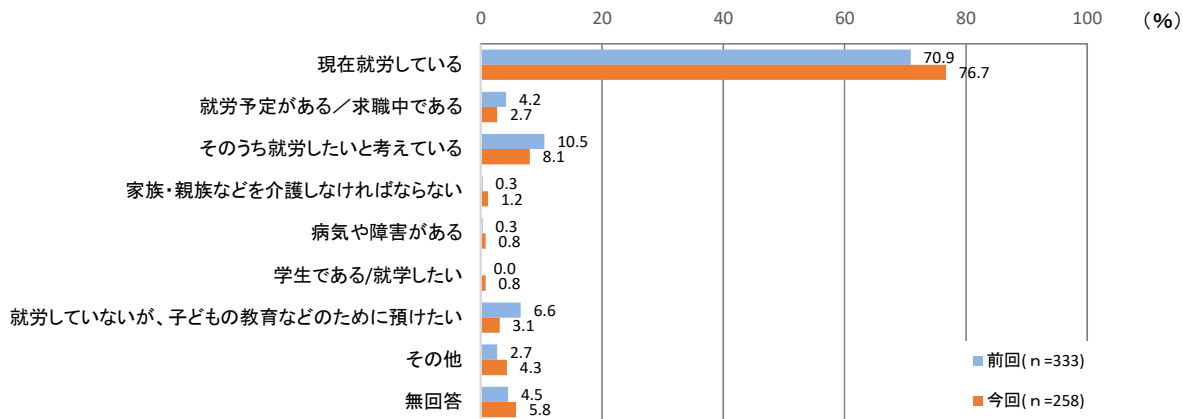
サンプル数：人 単位：%

#### 4-12. 留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブを利用したい理由

留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブを利用したいと考えている理由としては、「現在就労している」が76.7%であり、前回調査より5.8ポイント増加しています。

問 12-1の(1)土曜日、(2)日曜日・祝日、(3)夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中のいずれかで「2.利用したい」に○をした方にお伺いします。

問 12-2. 今後、留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブを利用したいと考えている理由をお答えください。  
(1つに○)



#### <学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	現在就労している	就労予定がある/求職中である	そのうち就労したいと考えている	家族・親族などを介護しなければならない	病気や障害がある	学生である/就学したい	就労していないが、子どもの教育などのために預けたい	その他	無回答
全体	258	76.7	2.7	8.1	1.2	0.8	0.8	3.1	4.3	5.8
1～2年生	152	77.0	2.0	9.2	0.7	0.7	0.7	2.6	3.3	6.6
3～4年生	94	74.5	4.3	7.4	2.1	1.1	1.1	3.2	6.4	5.3
5～6年生	11	90.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
シングルマザー	32	87.5	0.0	0.0	3.1	0.0	3.1	0.0	3.1	6.3

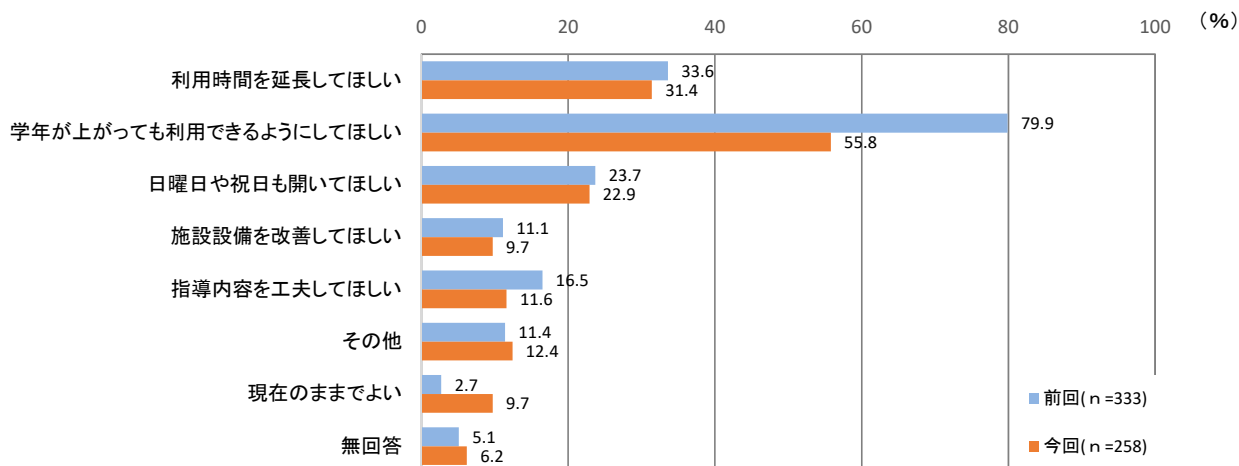
サンプル数：人 単位：%

#### 4-13. 留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブに対する要望

留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブに対して希望していることとしては、「学年が上がっても利用できるようにしてほしい」の55.8%が最も多く、以下「利用時間を延長してほしい」の31.4%、「日曜日や祝日も開いてほしい」の22.9%となっています。前回調査と比較すると、「学年が上がっても利用できるようにしてほしい」が24.1ポイント減少しています。

問 12-3. 留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブに対してどのようなことを希望しますか。

(あてはまるものすべてに○)



#### <学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用時間を延長してほしい	学年が上がっても利用できるようにしてほしい	日曜日や祝日も開いてほしい	施設設備を改善してほしい	指導内容を工夫してほしい	その他	現在のままでよい	無回答
全体	258	31.4	55.8	22.9	9.7	11.6	12.4	9.7	6.2
1～2年生	152	34.9	53.3	20.4	11.2	12.5	10.5	10.5	5.9
3～4年生	94	26.6	58.5	25.5	7.4	9.6	13.8	8.5	7.4
5～6年生	11	18.2	63.6	36.4	9.1	9.1	27.3	9.1	0.0
シングルマザー	32	37.5	59.4	34.4	21.9	18.8	6.3	9.4	6.3

サンプル数：人 単位：%

## 5. 病児保育について

### 5-1. 過去1年間に学校を休まなければならなかったことの有無

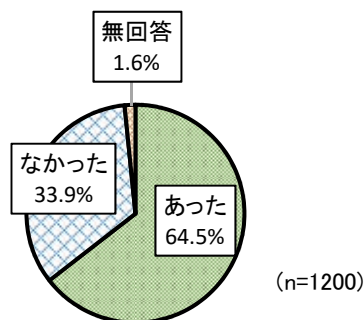
この1年間に、子どもが病気やけがで学校を休まなければならなかった経験について、「あった」が66.0%となっています。

その対処方法としては、「母親が休んだ」が58.3%で最も多く、平均日数は3.6日です。次いで、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が24.5%で、平均日数3.3日、「就労していない保護者が見た」が21.4%で平均日数4.6日となっています。前回調査と比較すると、「母親が休んだ」が10.8ポイント増加しています。

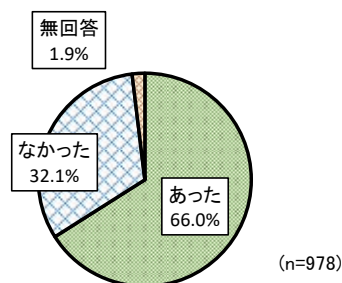
問 13. この1年間に、お子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありましたか。

(1つに○)

<前回>



<今回>



<学年別・ひとり親家庭別>

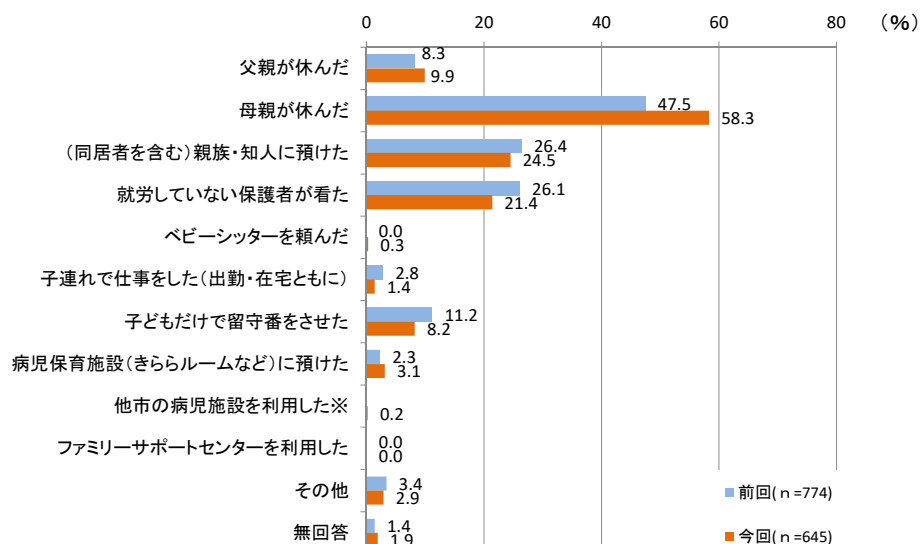
	サンプル数	あった	なかった	無回答
全体	978	66.0	32.1	1.9
1~2年生	392	62.0	35.2	2.8
3~4年生	357	72.0	26.9	1.1
5~6年生	226	62.8	35.4	1.8
シングルマザー	94	60.6	36.2	3.2
シングルファザー	7	71.4	28.6	0.0

サンプル数：人 単位：%

問 13 で「1. あった」に○をした方にお伺いします。

問 13-1. この1年間の対処方法とそれぞれの日数は何日でしたか。

あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数もお答えください。



<学年別・ひとり親家庭別>

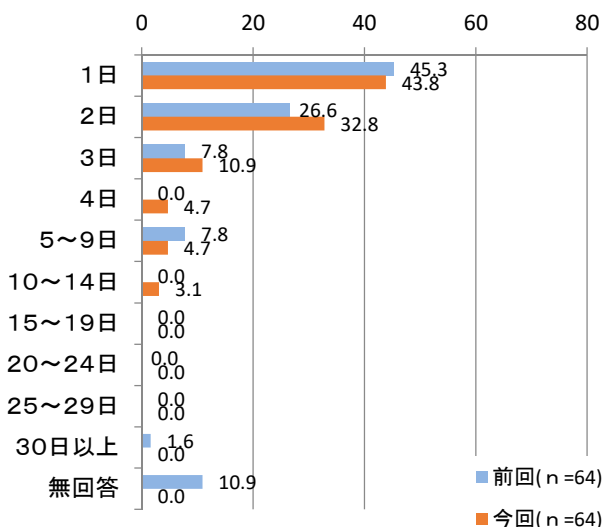
	サンプル数	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人に預けた	就労していない保護者が見た	ベビーシッターを頼んだ	子連れで仕事をした
全体	645	9.9	58.3	24.5	21.4	0.3	1.4
1～2年生	243	9.1	63.8	26.7	23.9	0.0	2.5
3～4年生	257	11.3	55.3	23.3	21.4	0.4	1.2
5～6年生	142	8.5	54.9	23.2	16.9	0.7	0.0
シングルマザー	57	0.0	63.2	49.1	3.5	0.0	7.0
シングルファザー	5	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0

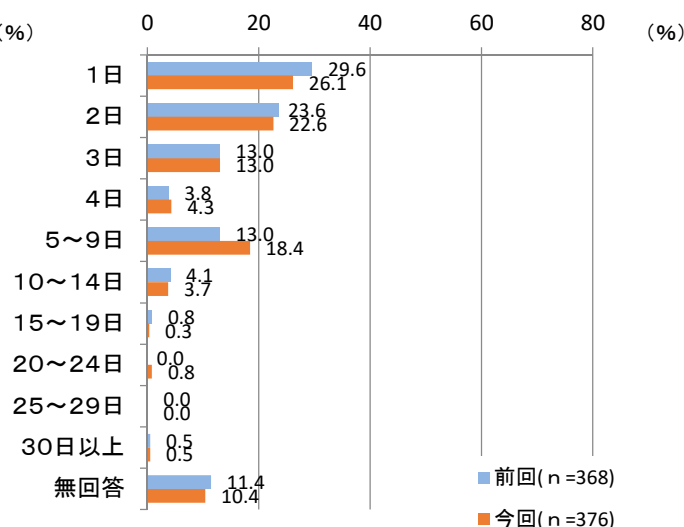
	サンプル数	子どもだけで留守番をさせた	病児保育施設に預けた	他市の病児施設を利用した	ファミリーサポートセンターを利用した	その他	無回答
全体	645	8.2	3.1	0.2	0.0	2.9	1.9
1～2年生	243	2.1	5.8	0.4	0.0	2.9	1.2
3～4年生	257	11.7	1.6	0.0	0.0	3.1	2.3
5～6年生	142	12.7	0.7	0.0	0.0	2.1	2.1
シングルマザー	57	12.3	5.3	0.0	0.0	1.8	0.0
シングルファザー	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

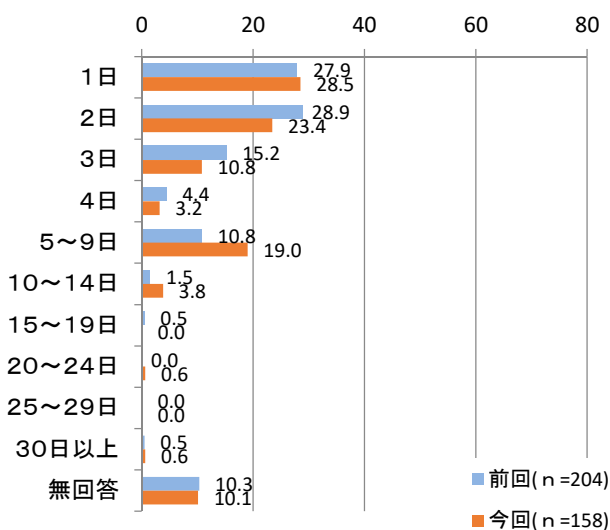
【父親が休んだ】



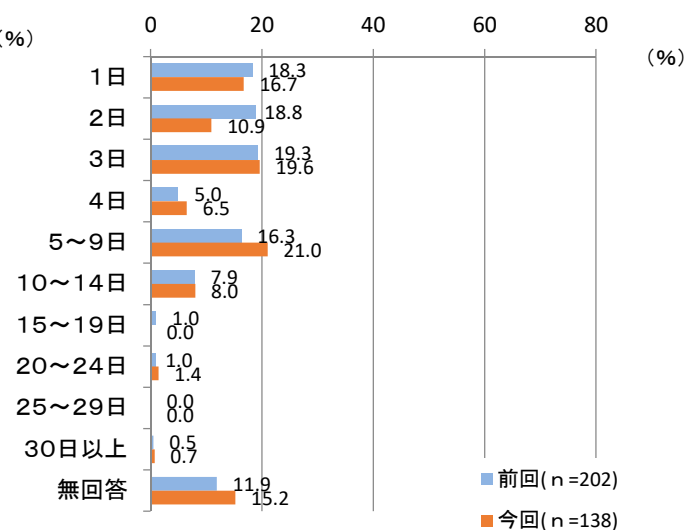
【母親が休んだ】



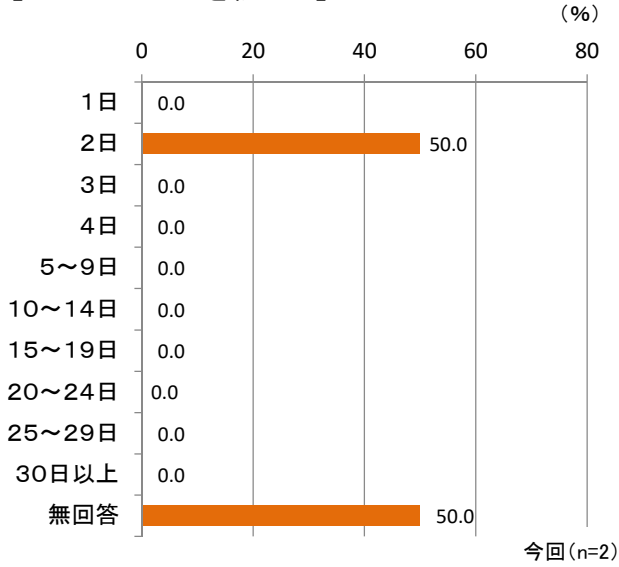
【(同居者を含む)親族・知人に預けた】



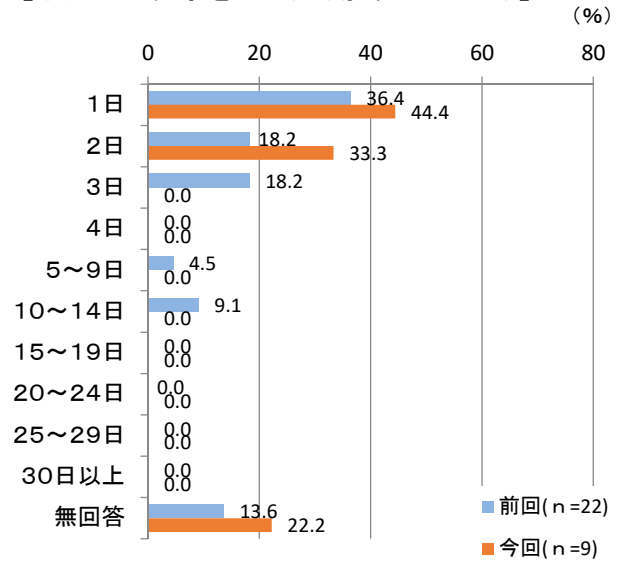
【就労していない保護者が見た】



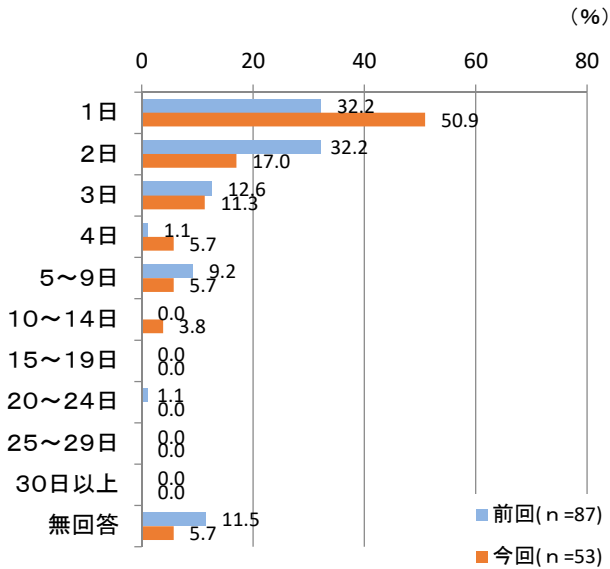
【ベビーシッターを頼んだ】



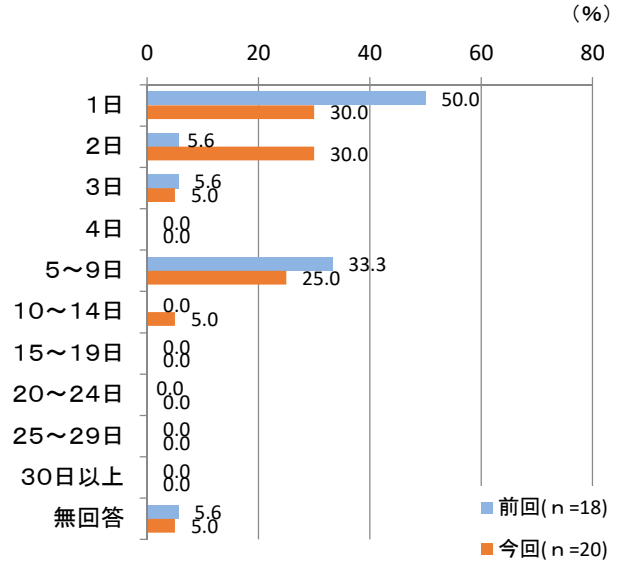
【子連れで仕事をした(出勤・在宅ともに)】



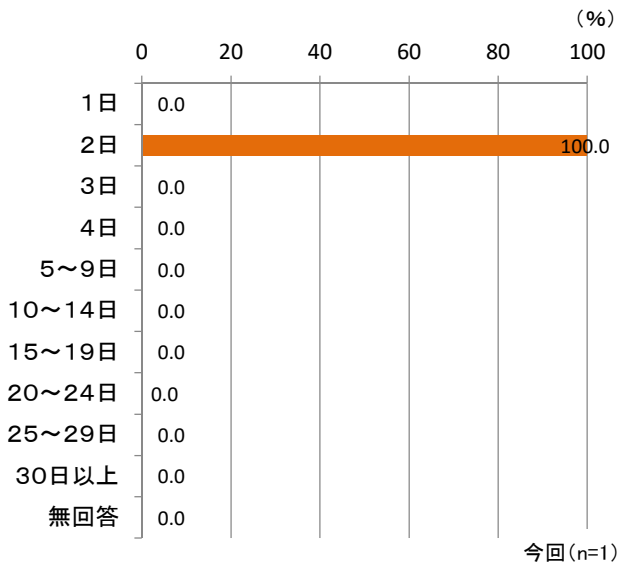
【子どもだけで留守番をさせた】



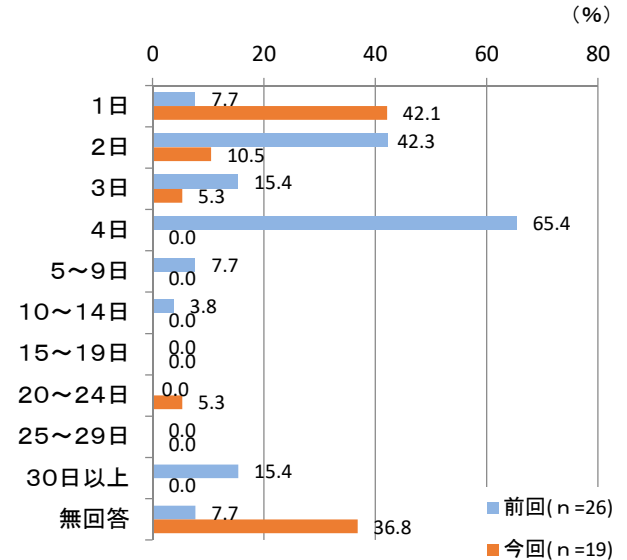
【病児保育施設(きららルームなど)に預けた】



【他市の病児施設を利用した】



【その他】



## 5-2. 病児保育の利用希望等

「父親」「母親」が休んで対応した人で病児のための保育施設等を「できれば利用したかった」は 11.9%であり、年間の希望利用日数では「2 日」が 19.6%で最も多く、平均で 3.5 日となっています。

具体的な事業形態としては、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 89.1%と最も多くなっています。前回調査と比較すると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 13.5 ポイント増加、「地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業」が 11.5 ポイント減少しています。

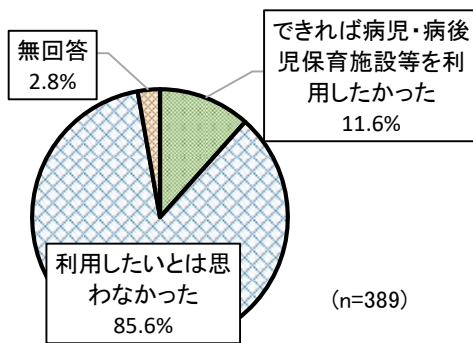
一方、病児のための保育施設等を利用したいと思わなかった理由は、「保護者が仕事を休んで対応する」が 64.7%で、次いで「他人に看てもらうのは不安」の 30.5%となっています。前回調査と比較すると、「保護者が仕事を休んで対応する」が 7.0 ポイント増加、「他人に看てもらうのは不安」が 6.1 ポイント減少しています。

問 13-1で「1.父親が休んだ」または「2.母親が休んだ」に○をした方にお伺いします。

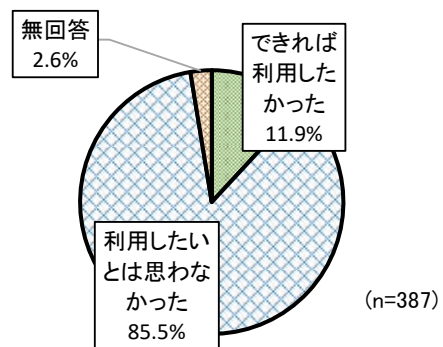
問 13-2. その際、できれば病児のための保育施設等を利用したいと思いましたか。(1 つに○)

また、利用したいと思った日数をお答えください。

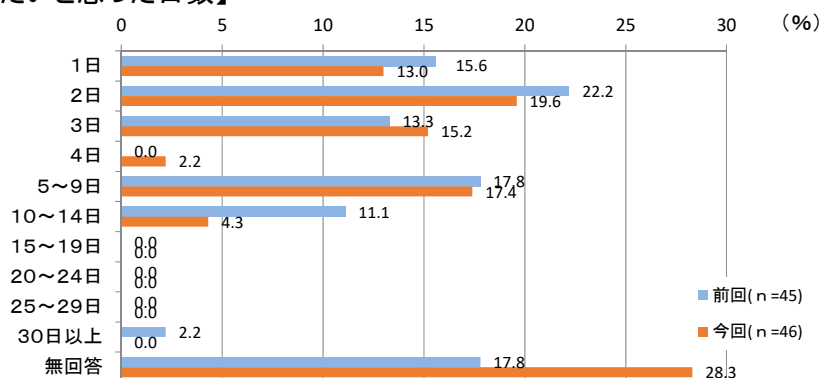
<前回>



<今回>



【利用したいと思った日数】



<学年別・ひとり親家庭別>

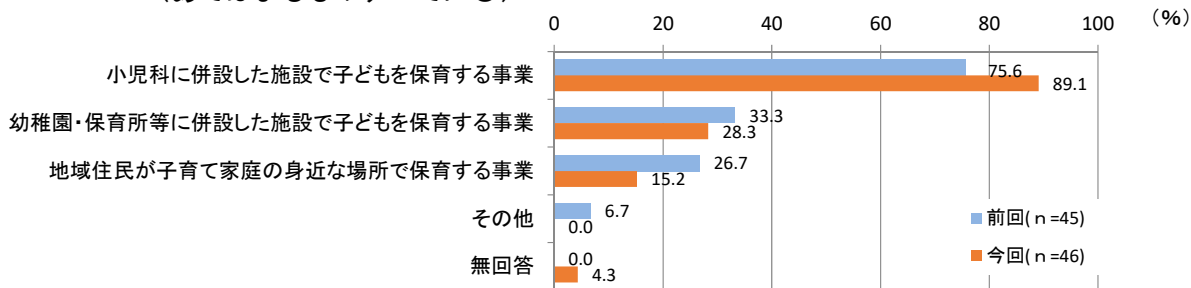
	サンプル数	できれば利用したかった	利用したいと思わなかった	無回答
全体	387	11.9	85.5	2.6
1~2年生	159	15.1	83.6	1.3
3~4年生	148	12.2	85.1	2.7
5~6年生	79	3.8	91.1	5.1
シングルマザー	36	16.7	83.3	0.0

サンプル数：人 単位：%

**問 13-2で「1.できれば利用したかった」に○をした方にお伺いします。**

問 13-3. 病気やけがでお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)



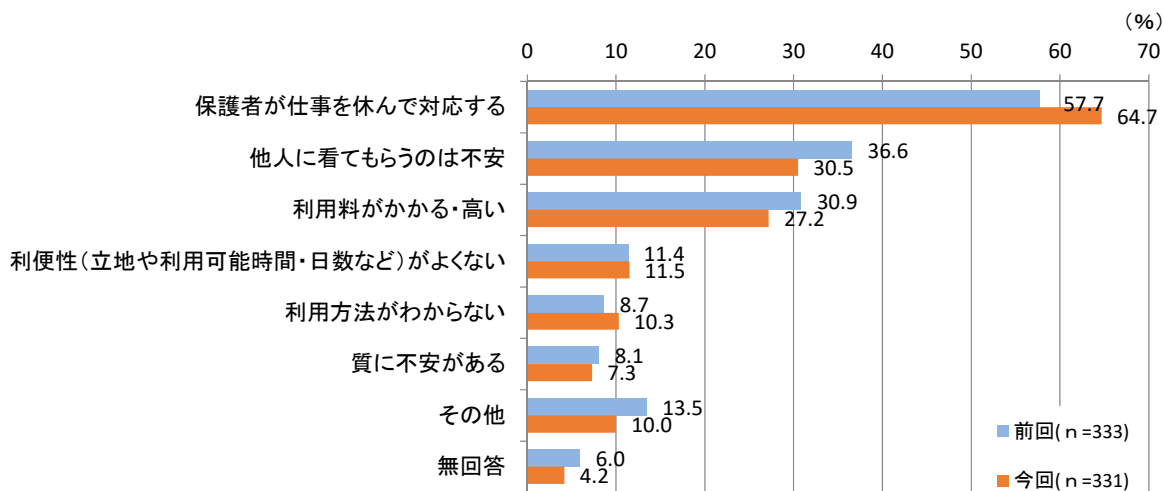
<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業	小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業	その他	無回答
全体	46	89.1	28.3	15.2	0.0	4.3
1～2年生	24	29.2	91.7	20.8	0.0	4.2
3～4年生	18	22.2	83.3	5.6	0.0	5.6
5～6年生	3	33.3	100.0	33.3	0.0	0.0
シングルマザー	6	16.7	100.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

**問 13-2で「2.利用したいとは思わなかった」に○をした方にお伺いします。**

問 13-4. そう思う理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	他人に看てもらうのは不安	質に不安がある	利便性がよくない	利用料がかかる・高い	利用方法がわからない	保護者が仕事を休んで対応する	その他	無回答
全体	331	30.5	7.3	11.5	27.2	10.3	64.7	10.0	4.2
1～2年生	133	33.1	9.8	11.3	35.3	8.3	64.7	11.3	3.0
3～4年生	126	34.9	7.9	12.7	26.2	15.9	61.9	7.1	4.8
5～6年生	72	18.1	1.4	9.7	13.9	4.2	69.4	12.5	5.6
シングルマザー	30	36.7	16.7	13.3	43.3	16.7	46.7	6.7	13.3

サンプル数：人 単位：%



防府市以外で山口県内の病児保育施設等の利用意向については、「利用する」が8.0%、「利用しない」が90.2%となっています。

利用したい市町では、「山口市」が73.1%となっています。

年間の利用希望日数は「5～9日」の30.8%が最も多く、平均では4.9日となっています。

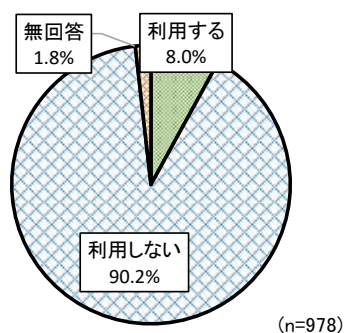
子どもが病気やけがの場合、仕事を休めるかについては、「仕事を休んで看ることができる」が62.1%、「仕事を休んで看るのは難しい」と答えた人は20.6%となっています。前回調査と比較すると、「仕事を休んで看ることができる」が11.5ポイント増加、「仕事を休む必要がない」が6.0ポイント減少しています。

※問14～14-2は今回調査のみ

**すべての方にお伺いします。**

問14. 防府市以外で山口県内の病児のための保育施設等の利用が可能であれば利用しますか。

(1つだけ○)



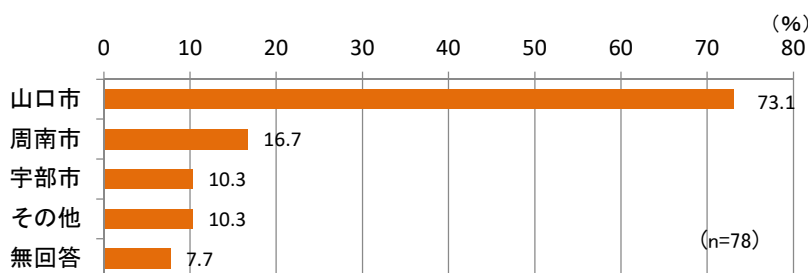
＜学年別・ひとり親家庭別＞

	サンプル数	利用する	利用しない	無回答
全体	978	8.0	90.2	1.8
1～2年生	392	10.5	87.8	1.8
3～4年生	357	6.4	92.2	1.4
5～6年生	226	5.8	91.6	2.7
シングルマザー	94	6.4	91.5	2.1
シングルファザー	7	14.3	85.7	0.0

サンプル数：人 単位：%

**問14で「1.利用する」に○をした方にお伺いします。**

問14-1. どの市町であれば利用したいですか。(あてはまるものすべてに○)

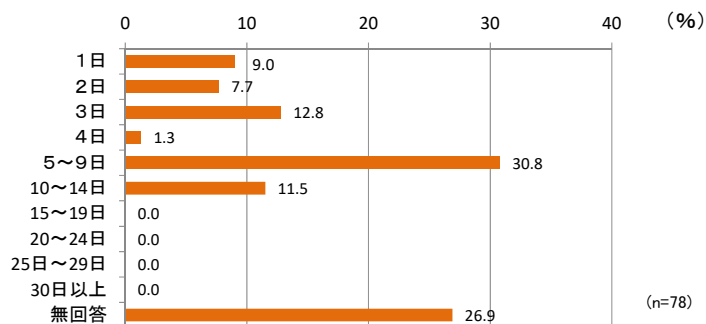


＜学年別・ひとり親家庭別＞

	サンプル数	山口市	周南市	宇部市	その他	無回答
全体	78	73.1	16.7	10.3	10.3	7.7
1～2年生	41	75.6	14.6	9.8	9.8	7.3
3～4年生	23	60.9	21.7	4.3	17.4	13.0
5～6年生	13	84.6	15.4	23.1	0.0	0.0
シングルマザー	6	66.7	50.0	16.7	16.7	0.0

サンプル数：人 単位：%

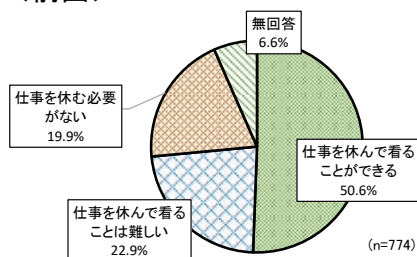
問 14-2. 利用する場合、何日くらい利用したいですか。



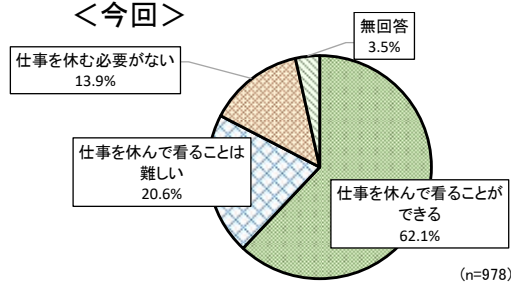
すべての方にお伺いします。

問 14-3. お子さんが病気やけがの場合に仕事を休んで看ることができますか。(1つに○)

<前回>



<今回>



<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	仕事を休んで看ることができる	仕事を休んで看ることが難しい	仕事を休む必要がない	無回答
全体	978	62.1	20.6	13.9	3.5
1~2年生	392	55.6	25.3	15.3	3.8
3~4年生	357	62.7	19.6	14.0	3.6
5~6年生	226	73.0	13.7	11.1	2.2
シングルマザー	94	66.0	31.9	2.1	0.0
シングルファザー	7	42.9	28.6	28.6	0.0

サンプル数：人 単位：%

## 6. 一時預かりについて

### 6-1. 過去1年間に家族以外に一時的に預けたことの有無

この1年間で、私用、保護者の通院、不定期な就労等の目的で不定期に利用している施設についてみると、「利用していない」が95.5%となっています。

利用している中では、「ファミリーサポートセンター」が1.8%となっています。

また、現在利用していない理由としては、「特に利用する必要がない」が8割を超えています。

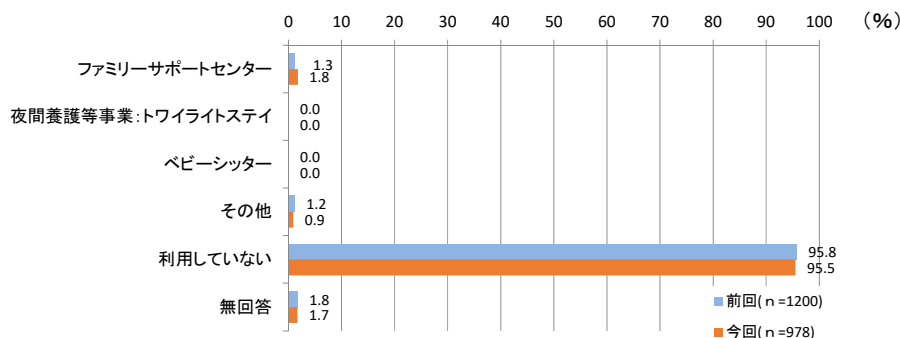
今後の利用意向をみると、「利用したい」は10.0%であり、内訳は、「私用（買物・子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が年間平均8.3日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」が年間平均5.1日、「不定期な就労」が年間平均16.7日となっています。

また、「利用したい」事業形態としては、「小規模施設で子どもを保育する事業」が57.1%と最も多く、次いで「地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業」が38.8%となっています。前回調査と比較すると、「大規模施設で子どもを保育する事業」が14.5ポイント減少しています。

#### すべての方にお伺いします。

問 15. お子さんについて、私用、保護者の通院、不定期な就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）もお答えください。

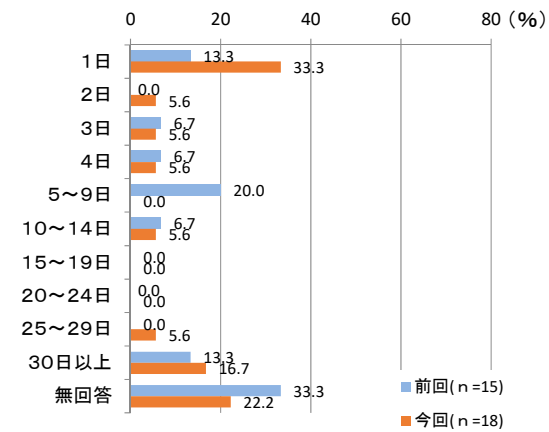


#### <学年別・ひとり親家庭別>

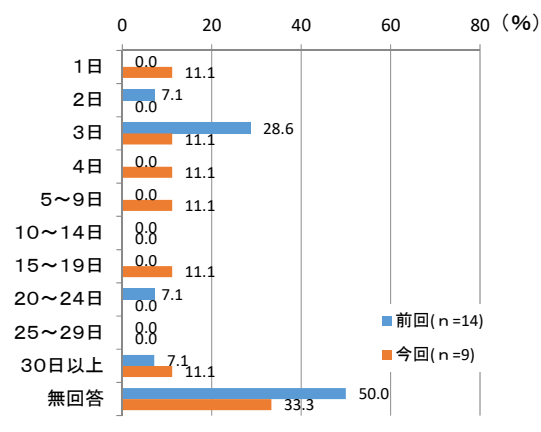
	サンプル数	ファミリーサポートセンター	夜間養護等事業:トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	無回答
全体	978	1.8	0.0	0.0	0.9	95.5	1.7
1～2年生	392	3.1	0.0	0.0	1.3	94.4	1.3
3～4年生	357	0.8	0.0	0.0	0.6	97.5	1.1
5～6年生	226	0.9	0.0	0.0	0.9	95.1	3.1
シングルマザー	94	0.0	0.0	0.0	0.0	97.9	2.1
シングルファザー	7	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3

サンプル数：人 単位：%

【ファミリーサポートセンター】

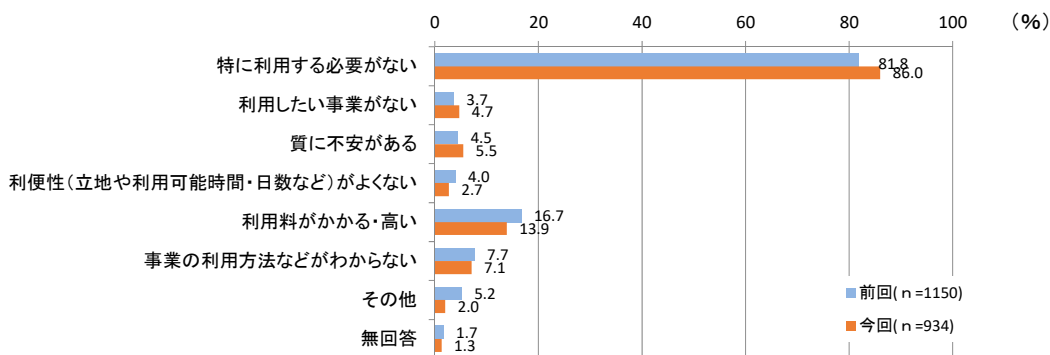


【その他】



問 15 で「5.利用していない」に○をした方にお伺いします。

問 15-1. 現在利用していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



< 学年別・ひとり親家庭別 >

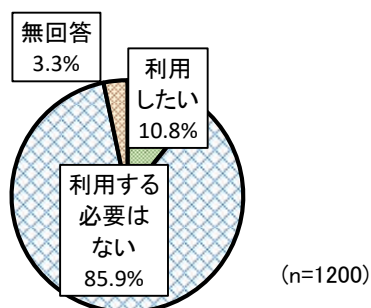
	サンプル数	特に利用する必要がない	利用したい事業がない	質に不安がある	利便性がよくない	利用料がかかる・高い	利用方法などがわからない	その他	無回答
全体	934	86.0	4.7	5.5	2.7	13.9	7.1	2.0	1.3
1～2年生	370	83.5	4.3	7.3	3.2	17.8	6.5	2.4	1.4
3～4年生	348	86.2	5.7	4.9	2.9	12.4	8.0	1.4	0.9
5～6年生	215	89.8	3.7	3.3	1.4	9.8	6.5	2.3	1.9
シングルマザー	92	81.5	5.4	9.8	3.3	27.2	6.5	2.2	1.1
シングルファザー	6	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

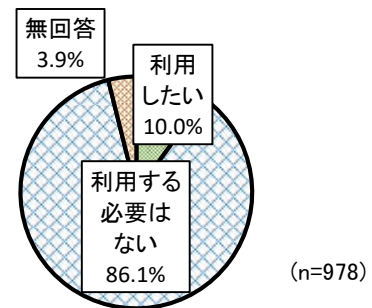
すべての方にお伺いします。

問 16. お子さんについて、私用、保護者の通院、不定期な就労等の目的で、問 15 の「1. ファミリーサポートセンター」、「2. 夜間養護等事業:トワイライトステイ」、「3. ベビーシッター」、「4. その他」の事業を利用したいですか。利用したい場合は、必要な日数をお答えください。

< 前回 >



< 今回 >

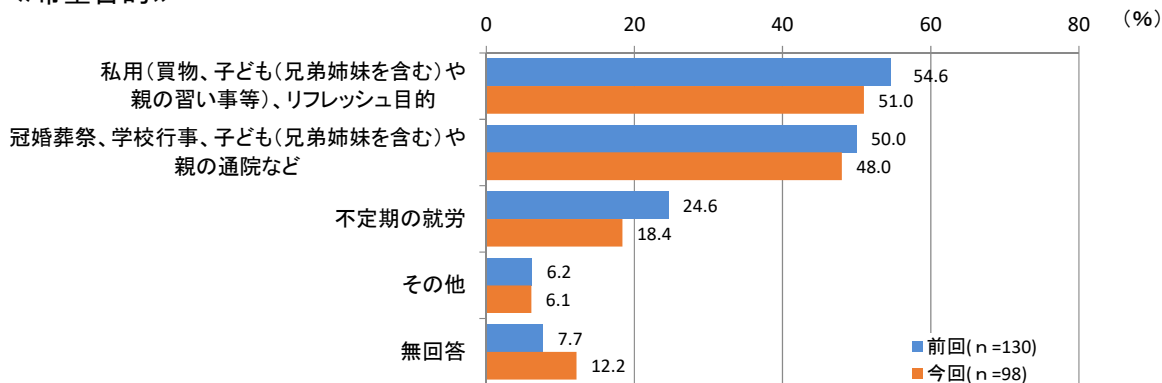


<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用したい	利用する必要はない	無回答
全体	978	10.0	86.1	3.9
1～2年生	392	13.0	83.2	3.8
3～4年生	357	10.1	86.6	3.4
5～6年生	226	4.4	91.2	4.4
シングルマザー	94	10.6	84.0	5.3
シングルファザー	7	14.3	85.7	0.0

サンプル数：人 単位：%

《希望目的》

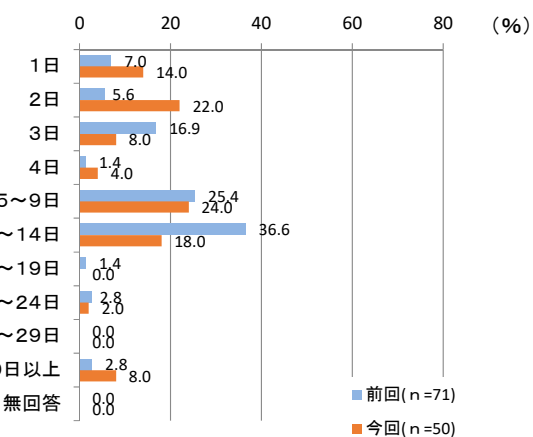


<学年別・ひとり親家庭別>

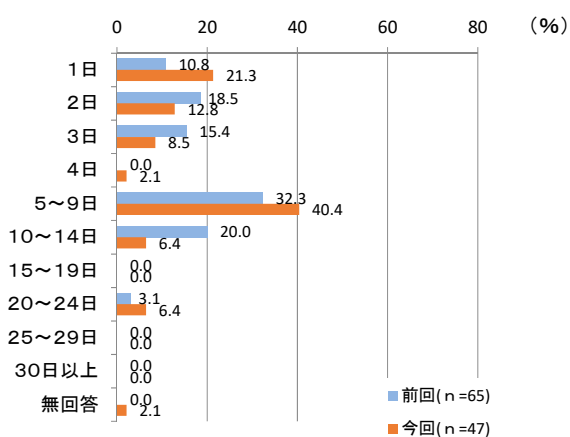
	サンプル数	私用、リフレッシュ目的	冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など	不定期の就労	その他	無回答
全体	98	51.0	48.0	18.4	6.1	12.2
1～2年生	51	51.0	47.1	23.5	5.9	9.8
2～3年生	36	55.6	52.8	11.1	8.3	11.1
5～6年生	10	30.0	40.0	20.0	0.0	30.0
シングルマザー	10	70.0	30.0	20.0	0.0	10.0

サンプル数：人 単位：%

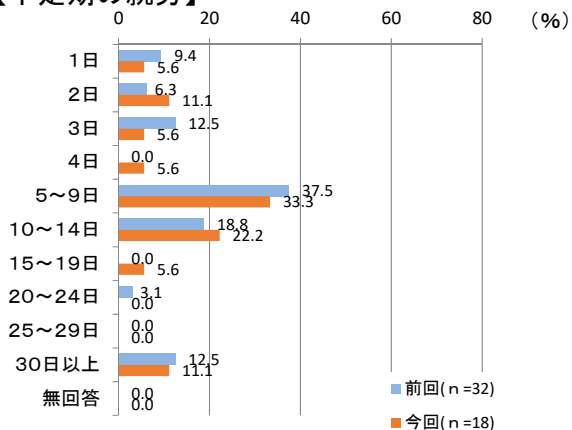
【私用、リフレッシュ目的】



【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など】

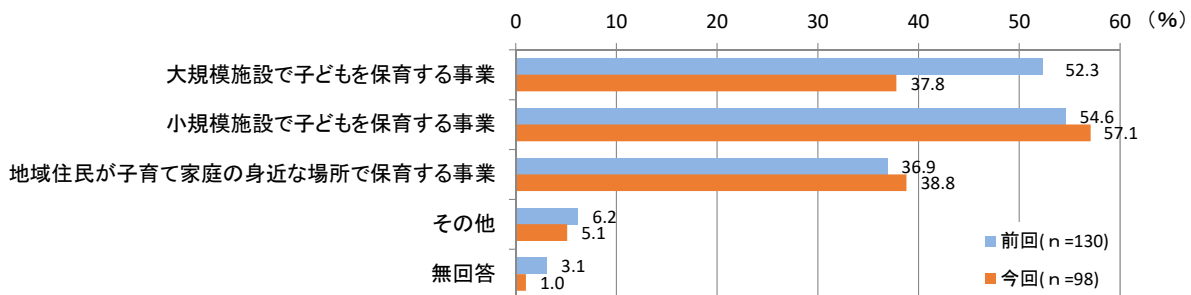


【不定期の就労】



**問 16 で「1.利用したい」に○をした方にお伺いします。**

問 16-1. 問 16 の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)



**< 学年別・ひとり親家庭別 >**

	サンプル数	大規模施設 で子どもを保 育する事業	小規模施設 で子どもを保 育する事業	地域住民が 子育て家庭 の身近な場 所で保育す る事業	その他	無回答
全体	98	37.8	57.1	38.8	5.1	1.0
1～2年生	51	49.0	58.8	33.3	7.8	0.0
3～4年生	36	27.8	52.8	44.4	2.8	0.0
5～6年生	10	20.0	60.0	50.0	0.0	10.0
シングルマザー	10	50.0	50.0	40.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

**6-2. 宿泊を伴う一時預かりについて**

この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかった経験についてみると、「あった」が11.7%となっています。

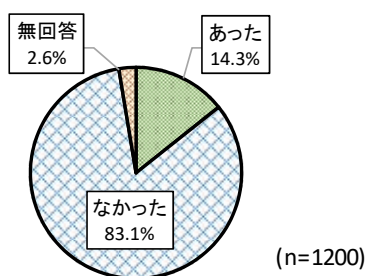
その対処方法としては、8割が「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と回答しており、その平均日数は5.3泊となっています。

また、親族・知人にみてもらった場合の困難度としては、「非常に」「どちらか」とを合わせた困難が38.0%に対し、「特に困難ではない」は62.0%で6割を超えています。

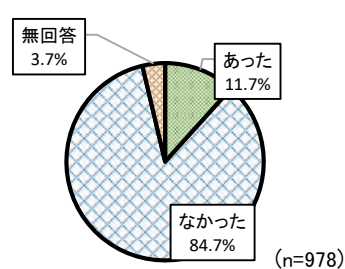
**すべての方にお伺いします。**

問 17. この1年間に、冠婚葬祭、保護者・家族の病気などにより、お子さんを泊りがけで家族以外がみなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法の日数もお答えください。

**< 前回 >**



**< 今回 >**

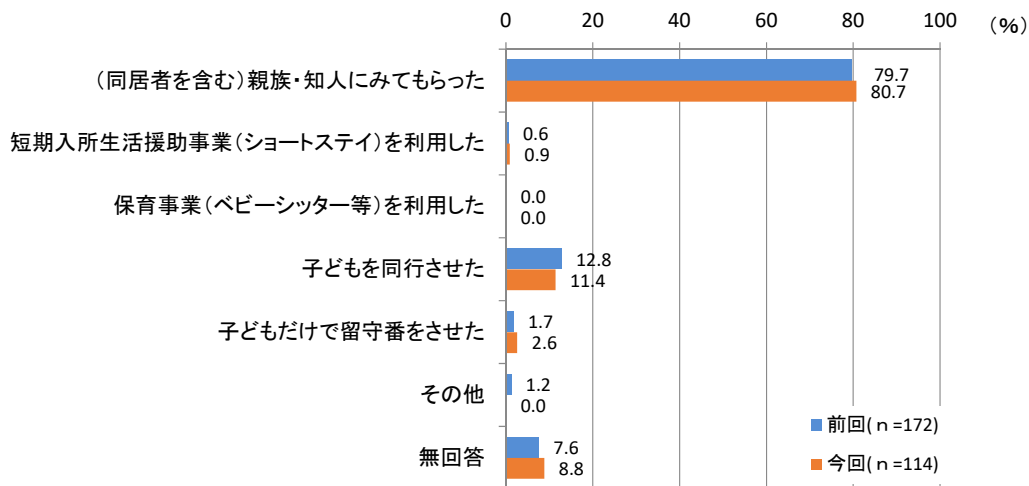


<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	あった	なかった	無回答
全体	978	11.7	84.7	3.7
1～2年生	392	15.3	80.1	4.6
3～4年生	357	9.5	86.8	3.6
5～6年生	226	8.4	89.8	1.8
シングルマザー	94	13.8	81.9	4.3
シングルファザー	7	0.0	100.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

《対処方法》

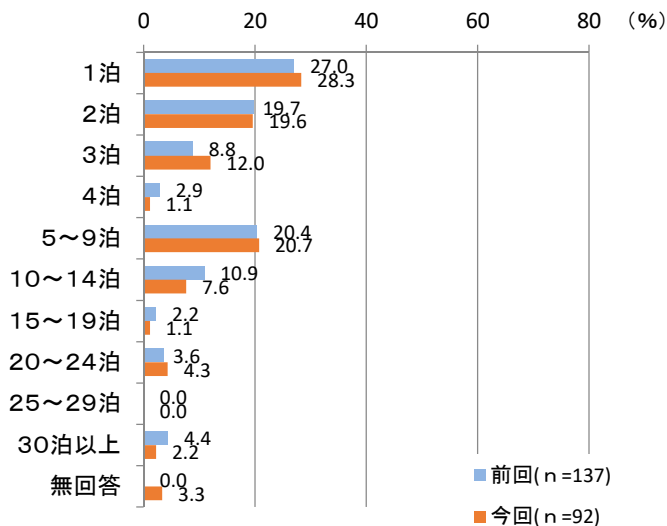


<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	親族・知人にみてもらった	短期入所生活援助事業を利用した	保育事業を利用した	子どもを同行させた	子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	114	80.7	0.9	0.0	11.4	2.6	0.0	8.8
1～2年生	60	85.0	0.0	0.0	11.7	0.0	0.0	8.3
3～4年生	34	73.5	2.9	0.0	11.8	5.9	0.0	11.8
5～6年生	19	78.9	0.0	0.0	10.5	5.3	0.0	5.3
シングルマザー	13	76.9	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	15.4

サンプル数：人 単位：%

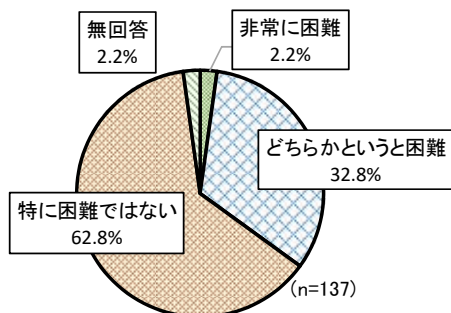
【(同居者を含む)親族・知人にみてもらった】



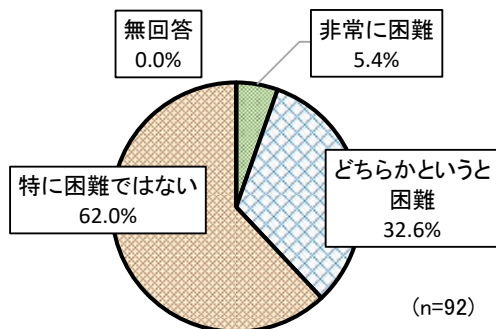
問 17 で「1.あった」の「親族・知人にみてもらった」に回答した方にお伺いします。

問 17-1. その場合、みってもらうことは困難でしたか。(1つに○)

<前回>



<今回>



<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	非常に困難	どちらかという困難	特に困難ではない	無回答
全体	92	5.4	32.6	62.0	0.0
1～2年生	51	3.9	37.3	58.8	0.0
3～4年生	25	12.0	24.0	64.0	0.0
5～6年生	15	0.0	26.7	73.3	0.0
シングルマザー	10	0.0	40.0	60.0	0.0

サンプル数：人 単位：%



## 7. 「ファミリーサポートセンター」の利用状況

### 7-1. 利用状況と利用している理由

ファミリーサポートセンターを利用したことがある人は、4.8%となっています。

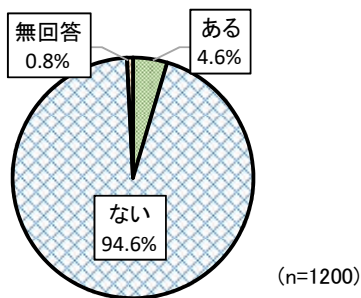
利用理由としては、「学校施設等の送り迎えに利用している」が、46.8%で最も多くなっています。次いで「祖父母等の親族や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」が19.1%となっています。前回調査と比較すると、「学校施設等の送り迎えに利用している」が21.3ポイント増加、「祖父母等の親族や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」が11.8ポイント減少しています。

1か月あたりの利用回数としては平均5.1回、1回あたりの利用時間は平均2.6時間となっています。

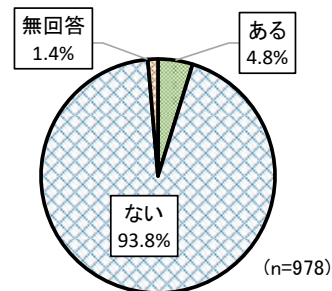
#### すべての方にお伺いします。

問 18. ファミリーサポートセンターを利用したことがありますか。(1つに○)

<前回>



<今回>



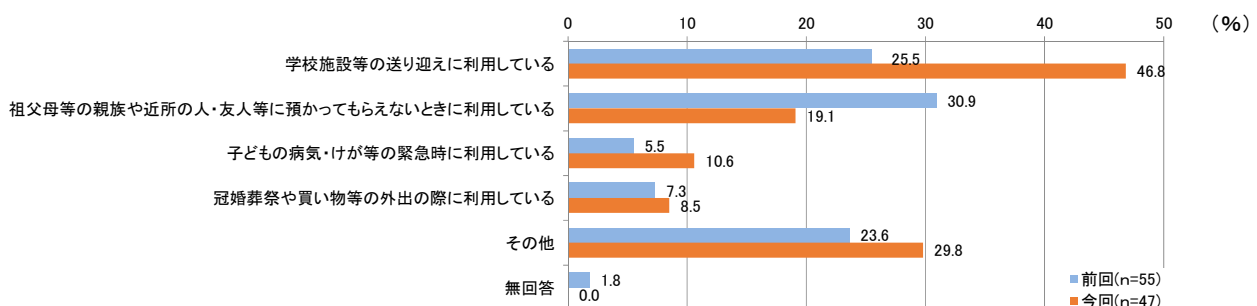
<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	ある	ない	無回答
全体	978	4.8	93.8	1.4
1～2年生	392	6.1	92.1	1.8
3～4年生	357	3.4	95.2	1.4
5～6年生	226	4.4	94.7	0.9
シングルマザー	94	6.4	93.6	0.0
シングルファザー	7	0.0	100.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

#### 問 18 で「1.ある」に○をした方にお伺いします。

問 18-1. どのような目的で利用していますか。(あてはまるものすべてに○)



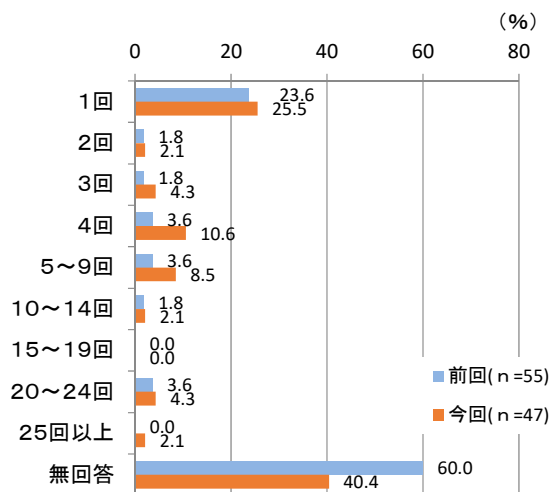
<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	子どもの病 気・けが等の 緊急時に利 用している	祖父母等の 親族や近所 の人・友人等 に預かって もらえない ときに利用 している	冠婚葬祭や 買い物等の 外出の際に 利用している	学校施設等 の送り迎え に利用してい る	その他	無回答
全体	47	10.6	19.1	8.5	46.8	29.8	0.0
1～2年生	24	16.7	20.8	8.3	41.7	33.3	0.0
3～4年生	12	8.3	16.7	0.0	50.0	33.3	0.0
5～6年生	10	0.0	20.0	20.0	50.0	20.0	0.0
シングルマザー	6	0.0	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0

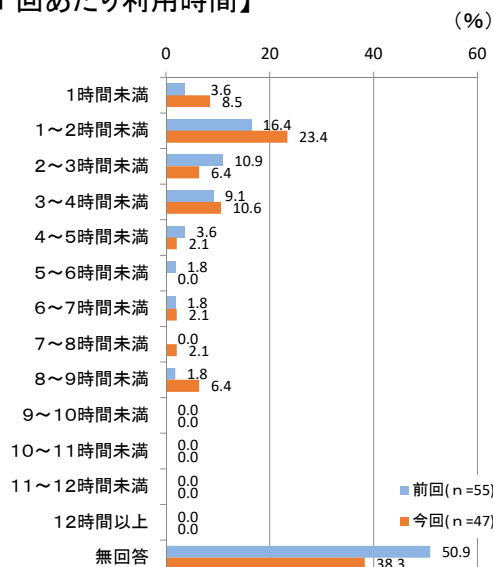
サンプル数：人 単位：%

問 18-2. どれくらいの頻度で利用していますか。

【1 か月あたり利用回数】



【1 回あたり利用時間】



7-2. 今後の利用希望等

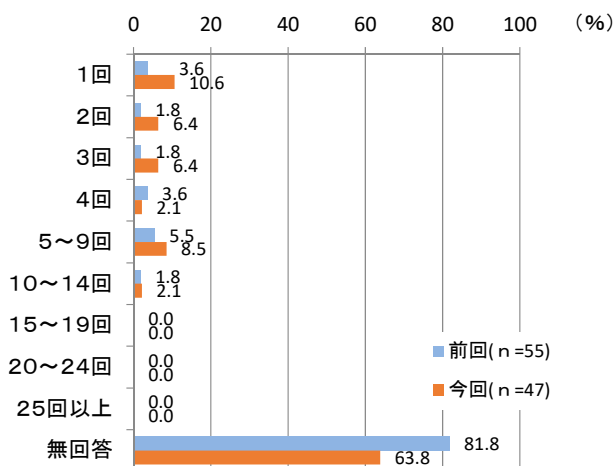
今後の希望利用としては、1 か月あたりの回数では平均 3.0 回、1 回あたり平均 2.7 時間となっています。

また、現在利用していないが、今後利用したい人は 5.2% となっています。

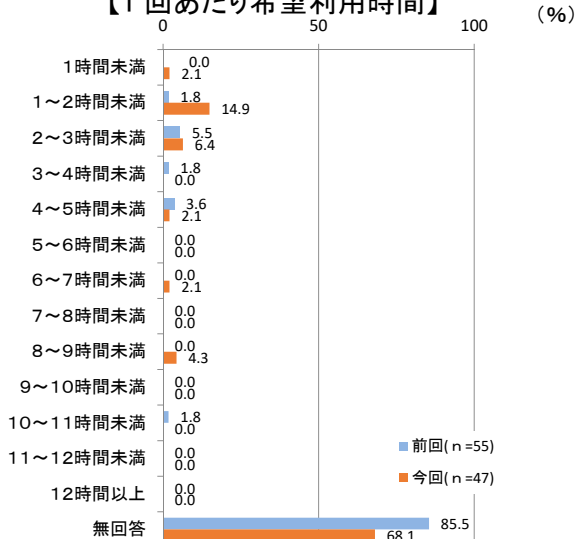
1 か月あたりの希望利用回数は平均 2.2 回、1 回あたりの希望利用時間は平均 3.9 時間となっています。

問 18-3. 利用回数や利用時間を増やせるとしたら、どのくらい増やしたいと思いますか。

【1 か月あたり希望利用回数】



【1 回あたり希望利用時間】

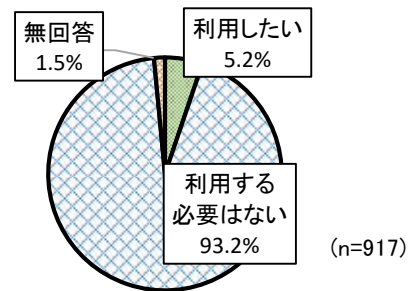
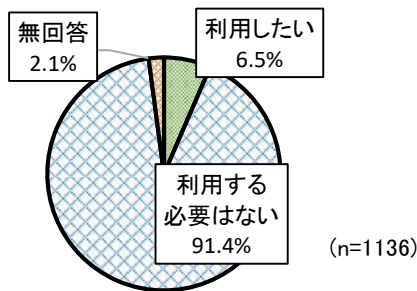


問 18 で「2.ない」に○をした方にお伺いします。

問 18-4. 今後利用したいと思えますか。利用したい場合は、利用したい回数、時間をお答えください。

< 前回 >

< 今回 >

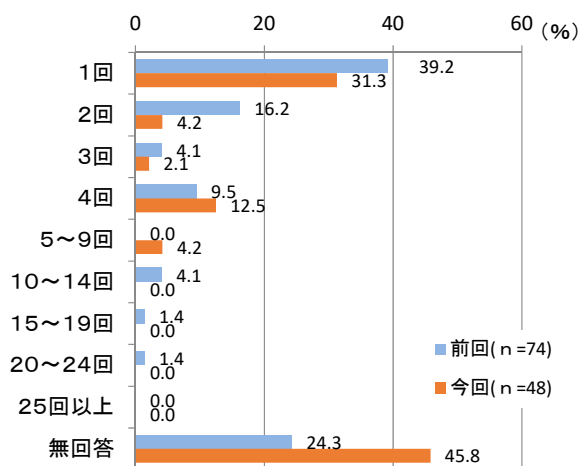


< 学年別・ひとり親家庭別 >

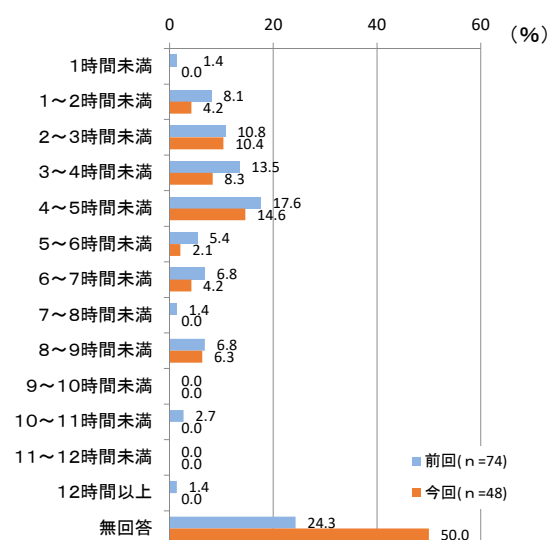
	サンプル数	利用したい	利用する 必要はない	無回答
全体	917	5.2	93.2	1.5
1～2年生	361	8.0	91.1	0.8
3～4年生	340	4.1	94.1	1.8
5～6年生	214	2.3	95.3	2.3
シングルマザー	88	4.5	94.3	1.1
シングルファザー	7	14.3	85.7	0.0

サンプル数：人 単位：%

【1 か月あたり希望利用回数】



【1 回あたり希望利用時間】



## 8. 子ども家庭支援センター「海北」の利用状況

### 8-1. 利用状況と利用していない理由

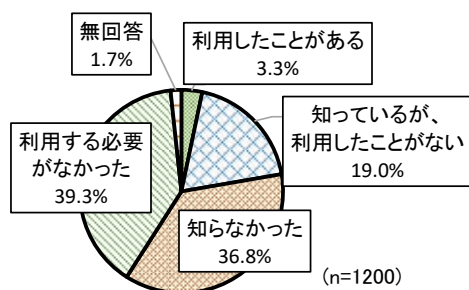
子ども家庭支援センター「海北」を利用したことがある人は、3.3%となっています。利用者の1か月あたりの利用回数は平均2.5回となっています。

利用したことがない理由としては、「特に理由はない」が53.7%と最も多く、「サービスの利用方法がわからない」が15.8%と続いています。前回調査と比較すると、「利用したいサービスがないから」が5.9ポイント増加、「サービスの利用方法がわからないから」が4.4ポイント減少しています。

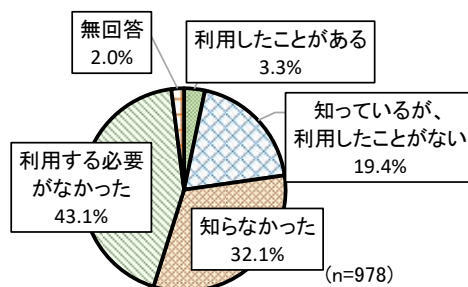
#### すべての方にお伺いします。

問 19. 子ども家庭支援センター「海北」を利用したことがありますか。(1つに○)

<前回>



<今回>

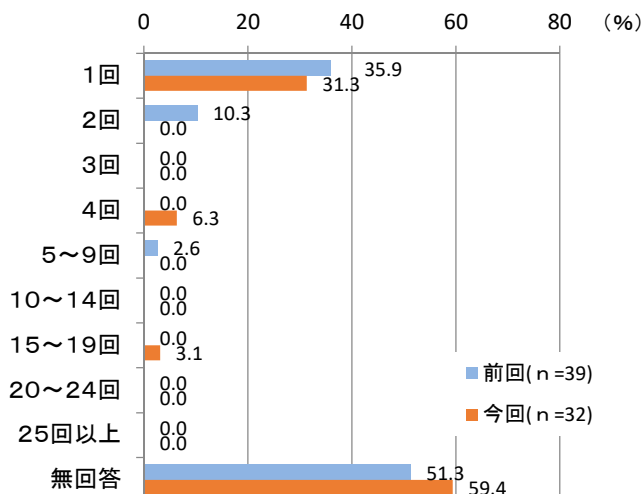


<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用したことがある	知っているが、利用したことがない	知らなかった	利用する必要がなかった	無回答
全体	978	3.3	19.4	32.1	43.1	2.0
1～2年生	392	4.6	20.9	32.7	39.3	2.6
3～4年生	357	2.8	18.5	35.9	40.9	2.0
5～6年生	226	1.3	18.6	25.7	53.5	0.9
シングルマザー	94	4.3	25.5	30.9	38.3	1.1
シングルファザー	7	0.0	0.0	42.9	57.1	0.0

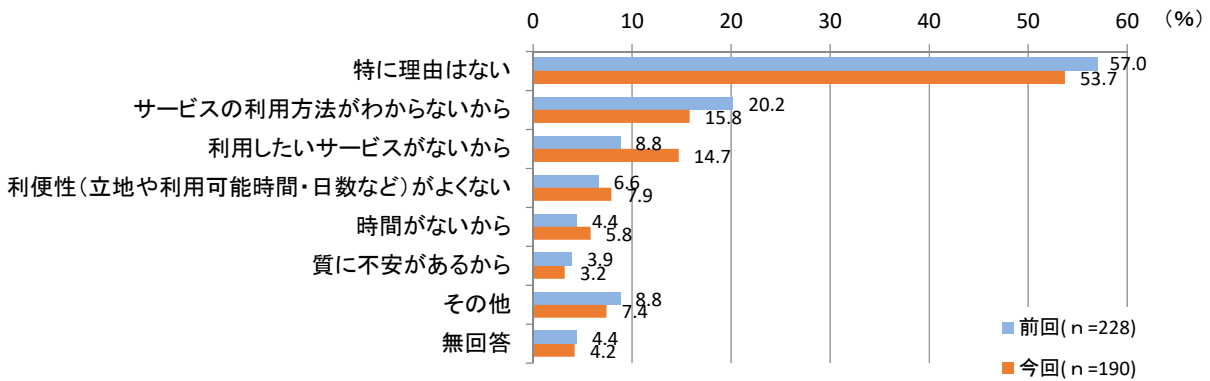
サンプル数：人 単位：%

【1か月あたり利用回数】



**問 19 で「2.知っているが、利用したことがない」に○をした方にお伺いします。**

問 19-1. サービスを利用したことがない理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



**< 学年別・ひとり親家庭別 >**

	サンプル数	利用したいサービスがないから	質に不安があるから	利便性がよくない	時間がないから	サービスの利用方法がわからないから	その他	特に理由はない	無回答
全体	190	14.7	3.2	7.9	5.8	15.8	7.4	53.7	4.2
1～2年生	82	14.6	6.1	11.0	7.3	20.7	11.0	47.6	2.4
3～4年生	66	13.6	1.5	6.1	6.1	9.1	3.0	65.2	4.5
5～6年生	42	16.7	0.0	4.8	2.4	16.7	7.1	47.6	7.1
シングルマザー	24	20.8	8.3	12.5	0.0	16.7	0.0	54.2	4.2

サンプル数：人 単位：%

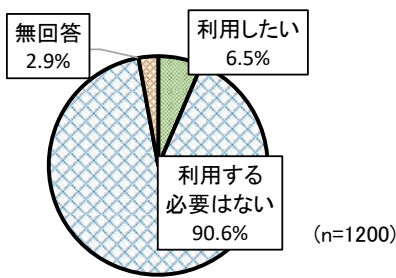
**8-2. 今後の利用希望等**

今後の利用希望については「利用したい」は4.2%となっています。  
1 か月あたりの希望利用回数は平均 1.3 回となっています。

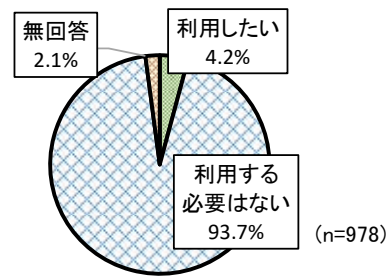
**すべての方にお伺いします。**

問 20. 今後、利用したいと思いますか。利用したい場合は、利用したい回数をお答えください。

**< 前回 >**



**< 今回 >**

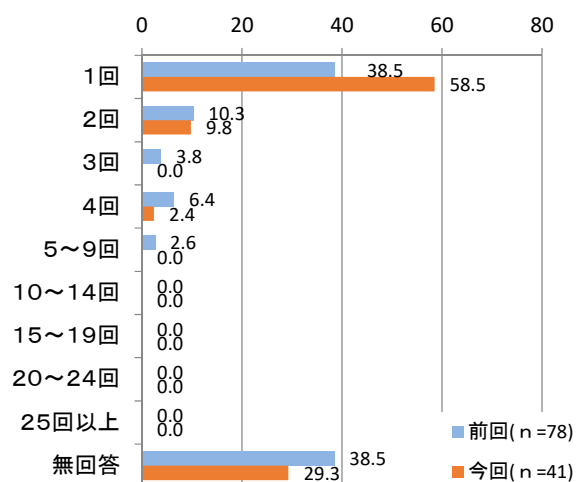


**< 学年別・ひとり親家庭別 >**

	サンプル数	利用したい	利用する必要はない	無回答
全体	978	4.2	93.7	2.1
1～2年生	392	5.1	92.1	2.8
3～4年生	357	4.8	93.0	2.2
5～6年生	226	1.8	97.8	0.4
シングルマザー	94	4.3	92.6	3.2
シングルファザー	7	14.3	85.7	0.0

サンプル数：人 単位：%

**【1 か月あたり希望利用回数】 (%)**



## 9. 「子育て応援室まんまるほうふ」の利用状況

### 8-1. 利用状況と利用していない理由

子育て応援室まんまるほうふを利用したことがある人は、6.5%となっています。利用者の1か月あたりの利用回数は平均 1.0 回となっています。

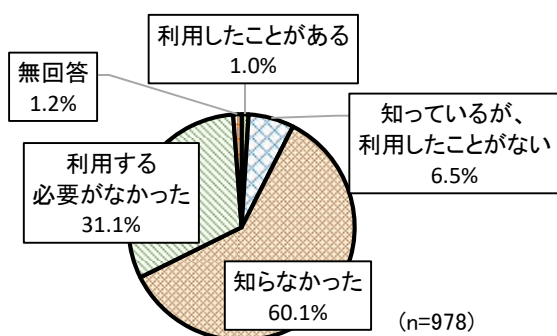
利用したことがない理由としては、「特に理由はない」が 53.1%と最も多く、「利用したいサービスがないから」が 15.6%と続いています。

※問 21～22 は今回調査のみ

**すべての方にお伺いします。**

問 21. 子育て応援室まんまるほうふ(子育て世代包括支援センター)を利用したことがありますか。

(1つに○)

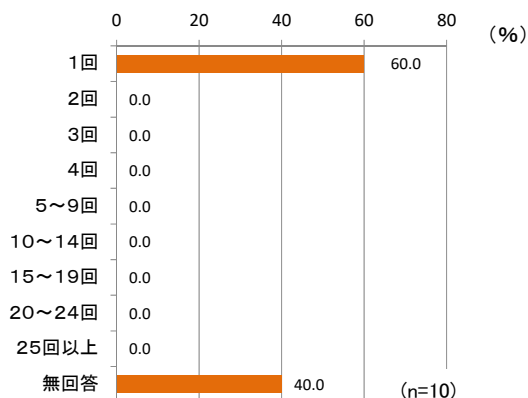


<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	利用したことがある	知っているが、利用したことがない	知らなかった	利用する必要がなかった	無回答
全体	978	1.0	6.5	60.1	31.1	1.2
1～2年生	392	1.3	7.9	60.2	28.8	1.8
3～4年生	357	0.8	6.2	62.2	29.7	1.1
5～6年生	226	0.9	4.4	57.1	37.2	0.4
シングルマザー	94	0.0	3.2	61.7	34.0	1.1
シングルファザー	7	0.0	0.0	57.1	42.9	0.0

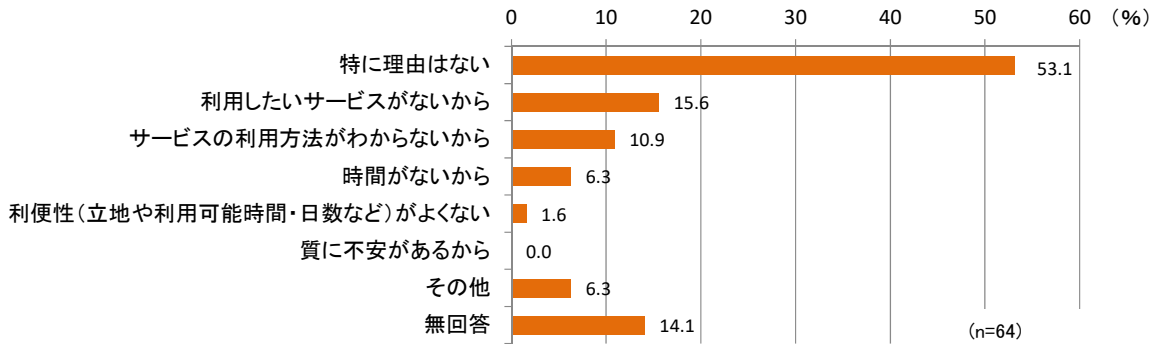
サンプル数：人 単位：%

【1か月あたり利用回数】



**問 21 で「2.知っているが、利用したことがない」に○をした方にお伺いします。**

問 21-1. サービスを利用したことがない理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



**<学年別・ひとり親家庭別>**

	サンプル数	利用したいサービスがないから	質に不安があるから	利便性がよくない	時間がないから	サービスの利用方法がわからないから	その他	特に理由はない	無回答
全体	64	15.6	0.0	1.6	6.3	10.9	6.3	53.1	14.1
1～2年生	31	19.4	0.0	3.2	12.9	19.4	6.5	48.4	3.2
3～4年生	22	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.7	18.2
5～6年生	10	20.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	20.0	40.0
シングルマザー	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3

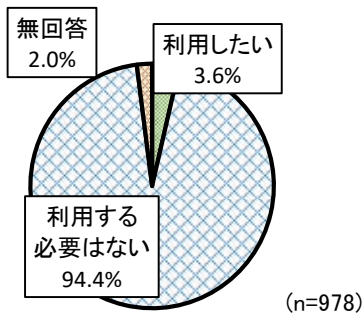
サンプル数：人 単位：%

**8-2. 今後の利用希望等**

今後の利用希望については「利用したい」は3.6%となっています。  
1か月あたりの希望利用回数は平均1.2回となっています。

**すべての方にお伺いします。**

問 22. 今後、利用したいと思いますか。利用したい場合は、利用したい回数をお答えください。

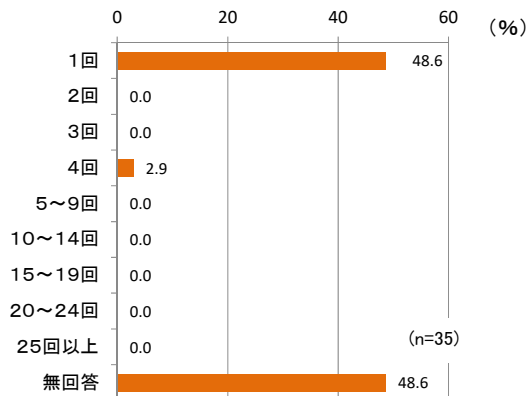


**<学年別・ひとり親家庭別>**

	サンプル数	利用したい	利用する必要はない	無回答
全体	978	3.6	94.4	2.0
1～2年生	392	6.1	91.6	2.3
3～4年生	357	2.2	95.8	2.0
5～6年生	226	1.3	97.3	1.3
シングルマザー	94	2.1	96.8	1.1
シングルファザー	7	0.0	85.7	14.3

サンプル数：人 単位：%

**【1か月あたり希望利用回数】**



## 10. 児童虐待について

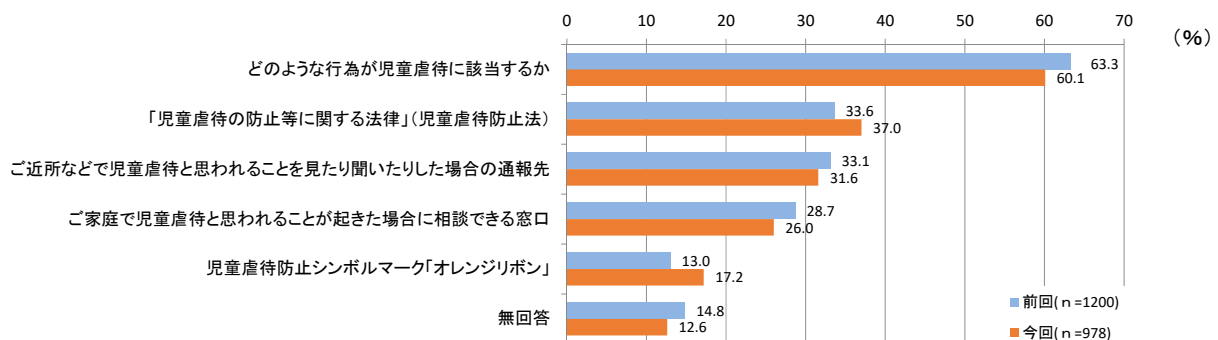
児童虐待について知っていることでは、「どのような行為が児童虐待に該当するか」が60.1%と最も多く、次いで、「児童虐待の防止等に関する法律(児童虐待防止法)」が37.0%、以下「ご近所などで児童虐待と思われることを見たり聞いたりした場合の通報先」の31.6%「ご家庭で児童虐待と思われることが起きた場合に相談できる窓口」の26.0%と続いています。

児童虐待を見聞きした場合にどちらに通報するかについては、「児童相談所」が40.3%で最も多く、次いで「市役所」の25.8%となっています。以下「地元警察署」の20.1%、「小学校」の10.1%となっています。

また、自分の子どもに対する行為としては、「必要以上に大声でしかったことがある」が69.4%となっています。以下「感情のままにたたいたことがある」の29.9%となっています。

### すべての方にお伺いします。

問 23. 児童虐待について知っていることをお答えください。(あてはまるものすべてに○)



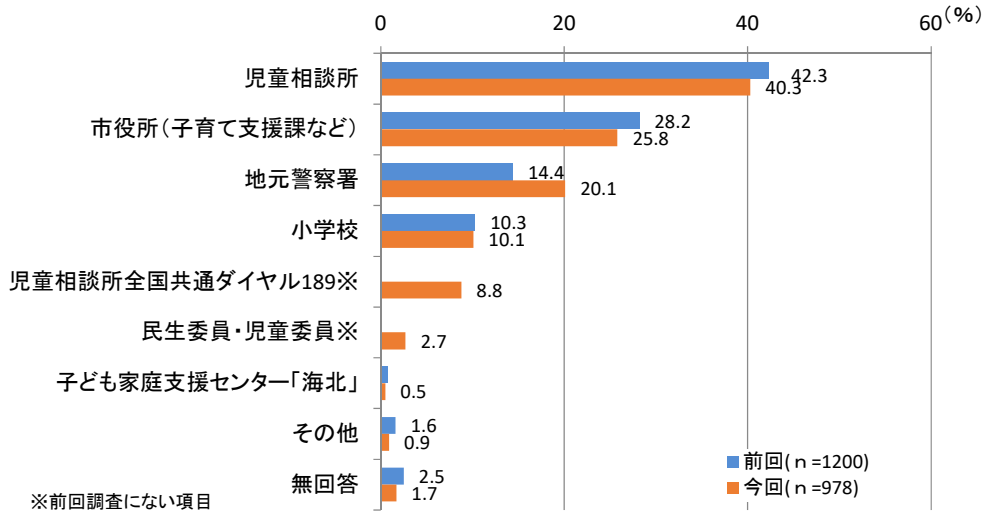
### <学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	「児童虐待の防止等に関する法律」	ご近所などで児童虐待と思われることを見たり聞いたりした場合の通報先	ご家庭で児童虐待と思われることが起きた場合に相談できる窓口	児童虐待防止シンボルマーク「オレンジリボン」	どのような行為が児童虐待に該当するか	無回答
全体	978	37.0	31.6	26.0	17.2	60.1	12.6
1～2年生	392	32.4	31.6	26.5	14.3	61.5	13.5
3～4年生	357	41.2	31.1	24.9	17.6	59.1	10.1
5～6年生	226	37.6	31.9	26.5	21.2	59.3	15.0
シングルマザー	94	34.0	26.6	19.1	13.8	61.7	13.8
シングルファザー	7	14.3	0.0	0.0	14.3	42.9	57.1

サンプル数：人 単位：%



問 24. 児童虐待を見聞きした場合には、どちらに通報しようと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

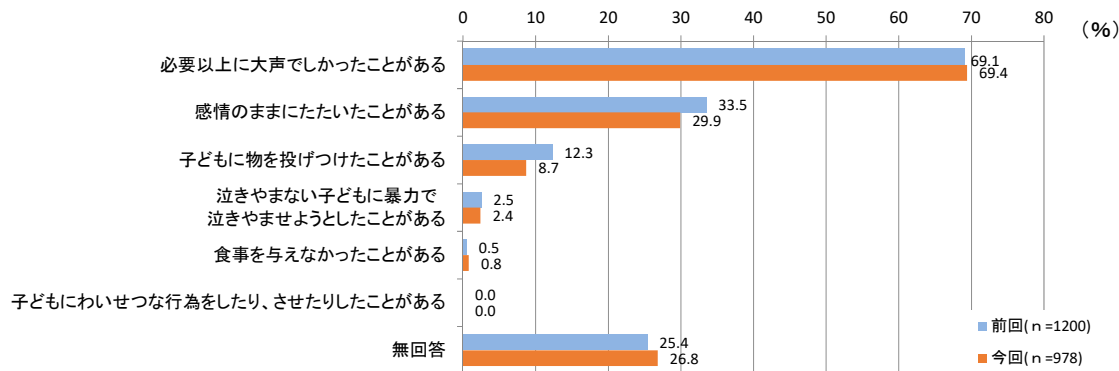


<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	市役所 (子育て支援課など)	子ども家庭 支援センター 「海北」	児童相談所	地元警察署	小学校	民生委員・児 童委員	児童相談所 全国共通ダ イヤル189	その他	無回答
全体	978	25.8	0.5	40.3	20.1	10.1	2.7	8.8	0.9	1.7
1～2年生	392	28.6	0.8	38.3	19.4	9.9	3.1	9.2	1.0	2.0
3～4年生	357	25.5	0.6	42.6	20.4	8.7	2.5	8.4	0.8	1.1
5～6年生	226	21.2	0.0	39.8	21.2	11.9	2.2	8.4	0.9	2.2
シングルマザー	94	10.6	0.0	35.1	31.9	13.8	3.2	9.6	2.1	1.1
シングルファザー	7	14.3	0.0	57.1	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0

サンプル数：人 単位：%

問 25. あなたは今までに、自分の子どもに対し、下記のようなことをしたことや感じたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



<学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	必要以上に 大声でしかつ たことがある	感情のまま にたたいたこ とがある	食事を与え なかったこと がある	泣きやまな い子どもに暴 力で泣きや ませようとし たことがある	子どもに物 を投げつけた ことがある	子どもにわ いせつな行為 をしたり、さ せたりしたこ とがある	無回答
全体	978	69.4	29.9	0.8	2.4	8.7	0.0	26.8
1～2年生	392	67.9	31.1	0.5	2.0	7.9	0.0	29.3
3～4年生	357	70.9	27.5	0.8	1.7	9.5	0.0	23.2
5～6年生	226	69.9	31.9	1.3	4.0	8.4	0.0	27.9
シングルマザー	94	69.1	35.1	2.1	2.1	11.7	0.0	27.7
シングルファザー	7	71.4	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3

サンプル数：人 単位：%

## 11. 子育て支援サービスの認知状況、利用状況

### 【認知度】

各種の子育て支援サービスの認知状況は、「②保健センターの乳幼児相談・電話相談」(83.8%)が認知率 8 割を超えています。続いて「①母親学級、両親学級、育児学級」(74.3%)が 7 割以上の認知率となっています。

一方、「⑦子育て応援室まんまるほうふ」(23.9%)は 20%台にとどまっています。前回調査と比較すると、「②保健センターの乳幼児相談・電話相談」が 14.3 ポイント増加、「④教育相談電話・教育相談」が 12.6 ポイント減少しています。

### 【利用経験】

利用経験では、「①母親学級、両親学級、育児学級」が 36.8%、「②保健センターの乳幼児相談・電話相談」が 36.2%が 3 割台となっており、認知率に比べて利用率は相対的に低くなっています。

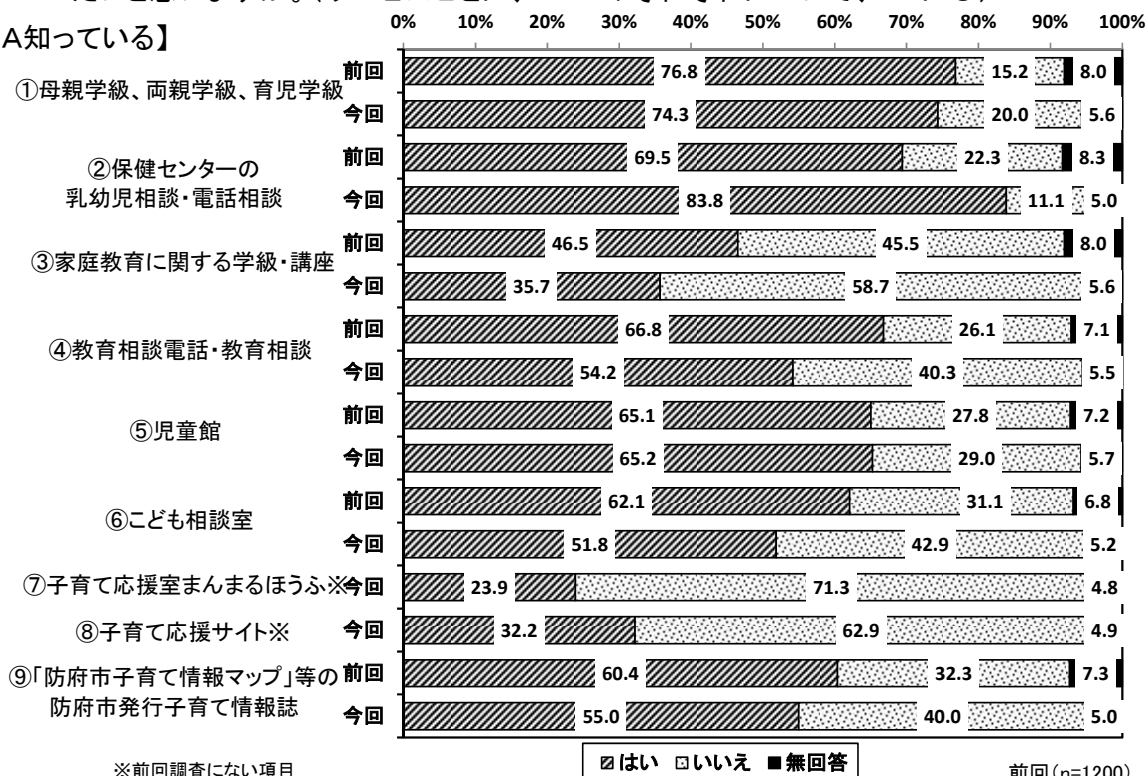
とくに、「⑦子育て応援室まんまるほうふ」、「⑥こども相談室」は 1 パーセント台にとどまっています。前回調査と比較すると、「②保健センターの乳幼児相談・電話相談」が 6.7 ポイント増加、「③家庭教育に関する学級・講座」が 3.2 ポイント減少しています。

### 【利用意向】

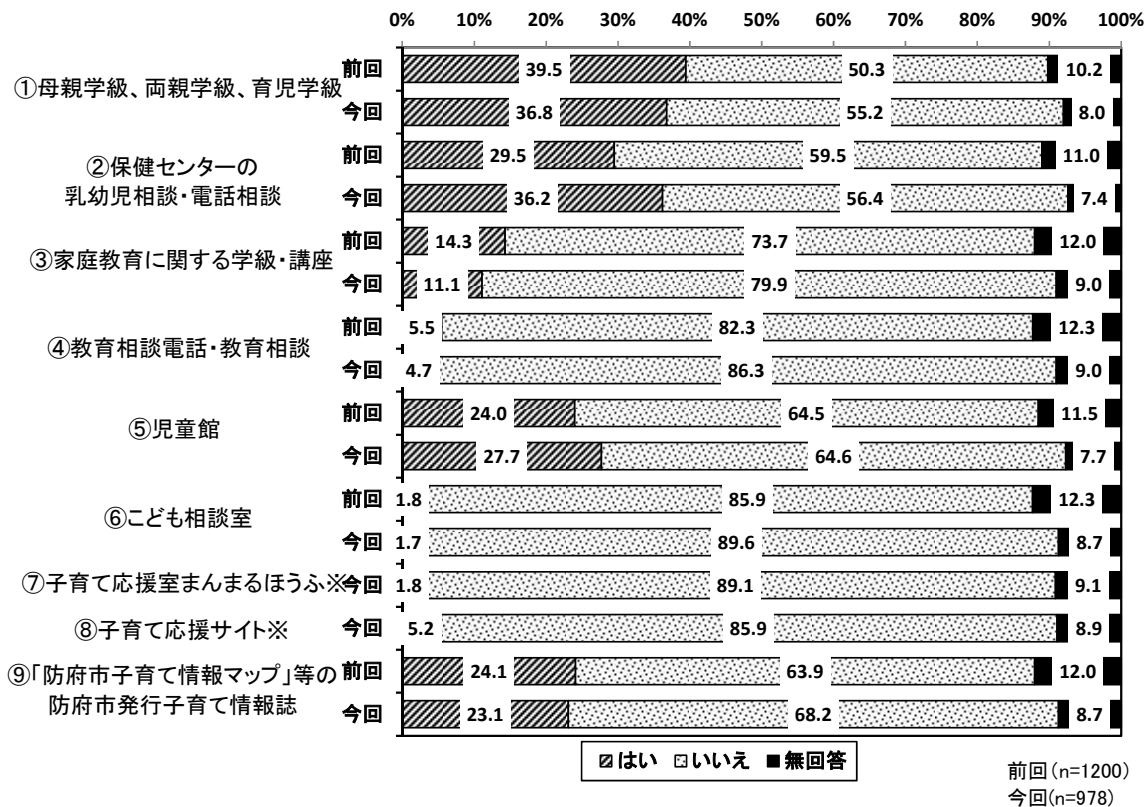
今後の利用意向としては、「⑨「防府市子育て支援マップ」等の防府市発行子育て情報誌」(23.3%)が 2 割を超えており、以下、「⑤児童館」の 19.4%、「⑧子育て応援サイト」の 12.0%と続いています。前回調査と比較すると、「②保健センターの乳幼児相談・電話相談」が 7.8 ポイント、「⑨「防府市子育て支援マップ」等の防府市発行子育て情報誌」が 6.7 ポイント減少しています。

問 26. 下記の①～⑨のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いませんか。(サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、1つに○)

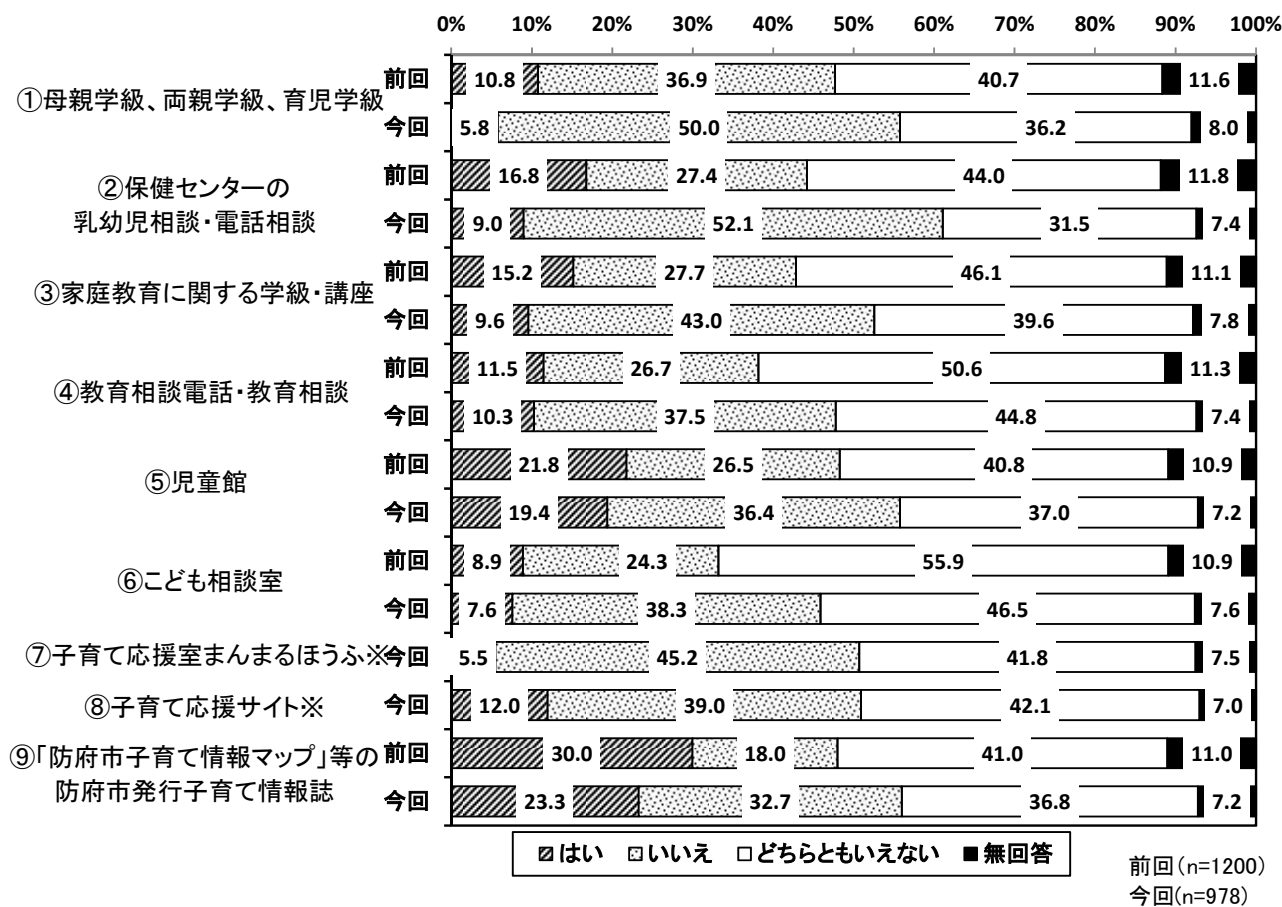
### 【A知っている】



【B利用したことがある】



【C今後利用したい】



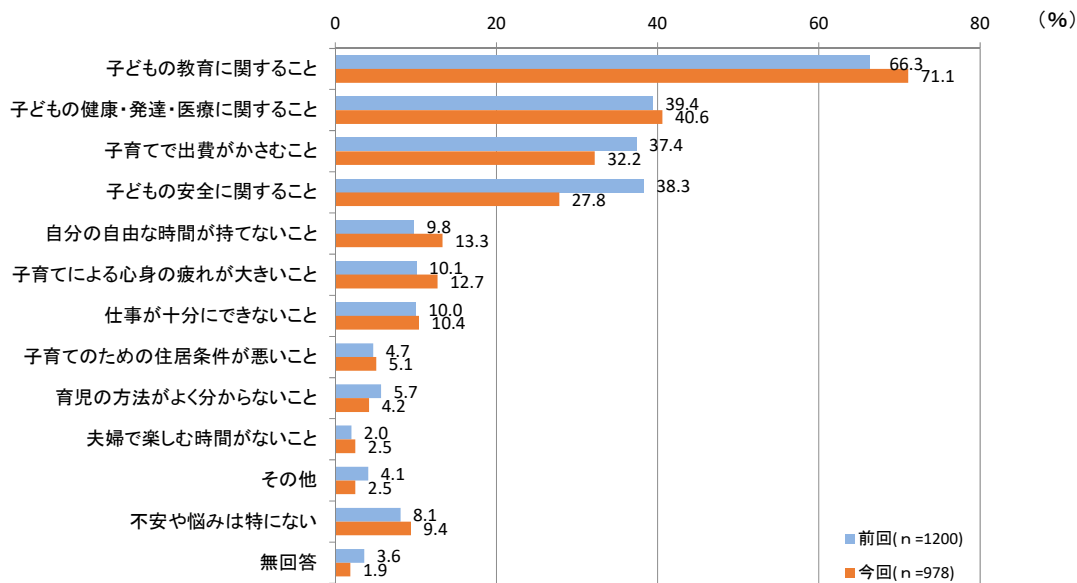
## 12. 子育て全般について

### 12-1. 子育てについての悩み

子育てをするうえでの悩みについては、「子どもの教育に関すること」が71.1%で最も多く、次いで「子どもの健康・発達・医療に関すること」の40.6%、「子育てで出費がかさむこと」の32.2%と続いています。前回調査と比較すると、「子どもの教育に関すること」が4.8ポイント増加、「子どもの安全に関すること」が10.5ポイント減少しています。

#### すべての方にお伺いします。

問 27. 子育てをするうえで、どのような悩みがありますか。(4つまで○)



#### <学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	子どもの教育に関すること	子どもの健康・発達・医療に関すること	子どもの安全に関すること	育児の方法がよく分からないこと	子育てによる心身の疲れが大きいこと	子育てで出費がかさむこと	自分の自由な時間が持てないこと
全体	978	71.1	40.6	27.8	4.2	12.7	32.2	13.3
1～2年生	392	73.7	42.6	27.6	6.9	15.6	26.3	17.6
3～4年生	357	70.6	40.9	30.3	2.5	12.3	32.2	10.9
5～6年生	226	68.1	36.7	24.8	2.2	8.4	42.9	9.7
シングルマザー	94	76.6	39.4	30.9	1.1	12.8	56.4	11.7
シングルファザー	7	57.1	85.7	28.6	14.3	0.0	28.6	28.6
	サンプル数	夫婦で楽しむ時間がないこと	仕事が十分にできないこと	子育てのための住居条件が悪いこと	その他	不安や悩みは特にない	無回答	
全体	978	2.5	10.4	5.1	2.5	9.4	1.9	
1～2年生	392	3.3	12.8	5.9	3.1	9.9	2.0	
3～4年生	357	1.7	10.4	5.0	1.7	8.4	0.8	
5～6年生	226	2.2	6.6	4.0	2.7	10.2	2.7	
シングルマザー	94	0.0	7.4	12.8	6.4	3.2	1.1	
シングルファザー	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	

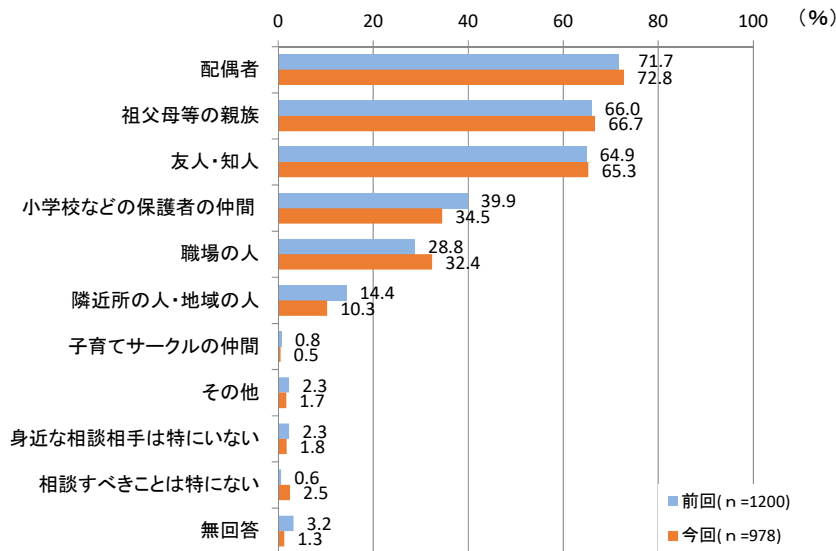
サンプル数：人 単位：%

## 12-2. 悩みや不安の身近な相談先

子育ての悩みや不安についての身近な相談先としては、「配偶者」(72.8%)、「祖父母等の親族」(66.7%)、「友人・知人」(65.3%)が6割を超えています。前回調査と比較すると、「小学校などの保護者の仲間」が5.4ポイント、「隣近所の人・地域の人」が4.1ポイント減少しています。

### すべての方にお伺いします。

問 28. 子育てについての悩みや不安を気軽に相談できる相手はいますか。(あてはまるものすべてに○)



### <学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	配偶者	祖父母等の親族	友人・知人	隣近所の人・地域の人	職場の人	小学校などの保護者の仲間	子育てサークルの仲間	その他	身近な相談相手は特にいない	相談すべきことは特にない	無回答
全体	978	72.8	66.7	65.3	10.3	32.4	34.5	0.5	1.7	1.8	2.5	1.3
1～2年生	392	72.7	67.1	65.8	9.7	30.4	33.9	0.5	1.5	2.3	2.0	1.8
3～4年生	357	76.5	72.8	66.1	12.3	35.3	35.9	0.6	0.8	1.4	2.0	0.3
5～6年生	226	67.7	57.1	64.2	8.4	31.9	33.6	0.4	3.5	1.8	4.0	1.3
シングルマザー	94	3.2	68.1	66.0	7.4	45.7	34.0	0.0	2.1	2.1	4.3	0.0
シングルファザー	7	0.0	71.4	42.9	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0

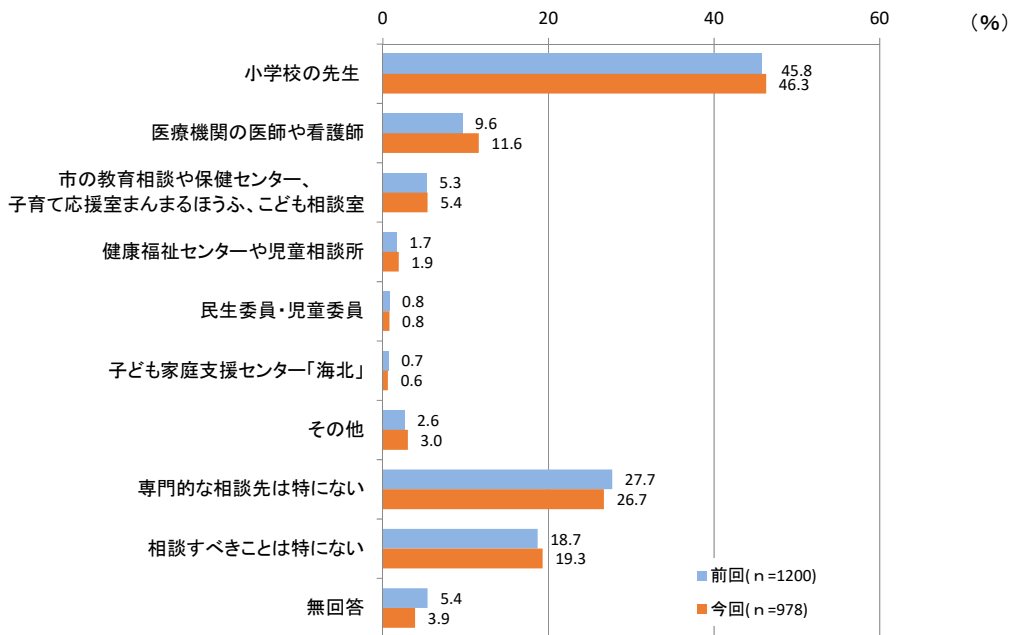
サンプル数：人 単位：%

### 12-3. 悩みや不安の専門的な相談先

子育ての悩みや不安についての専門的な相談先では、「小学校の先生」が46.3%と最も高くなっています。一方、「専門的な相談先は特にない」が26.7%と3割近くを占めています。「市の教育相談や保健センター、子育て応援室まんまるほうふ、こども相談室」、「健康福祉センターや児童相談所」等の公的機関の相談窓口等はいずれも数パーセントとなっています。

問 29. 子育てについての悩みや不安を相談できる専門的な相談先はありますか。

(あてはまるものすべてに○)



#### <学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	小学校の先生	市の教育相談や保健センター、子育て応援室まんまるほうふ、こども相談室	民生委員・児童委員	子ども家庭支援センター「海北」	健康福祉センターや児童相談所	医療機関の医師や看護師	その他	専門的な相談先は特にない	相談すべきことは特にない	無回答
全体	978	46.3	5.4	0.8	0.6	1.9	11.6	3.0	26.7	19.3	3.9
1～2年生	392	44.4	6.4	0.8	0.5	1.8	13.0	3.6	26.5	19.1	4.6
3～4年生	357	51.8	5.3	0.8	0.8	2.5	10.6	2.2	25.8	17.4	2.2
5～6年生	226	41.6	4.0	0.9	0.4	1.3	10.2	3.1	28.8	23.0	4.4
シングルマザー	94	45.7	3.2	2.1	1.1	1.1	9.6	3.2	23.4	19.1	8.5
シングルファザー	7	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	14.3	0.0

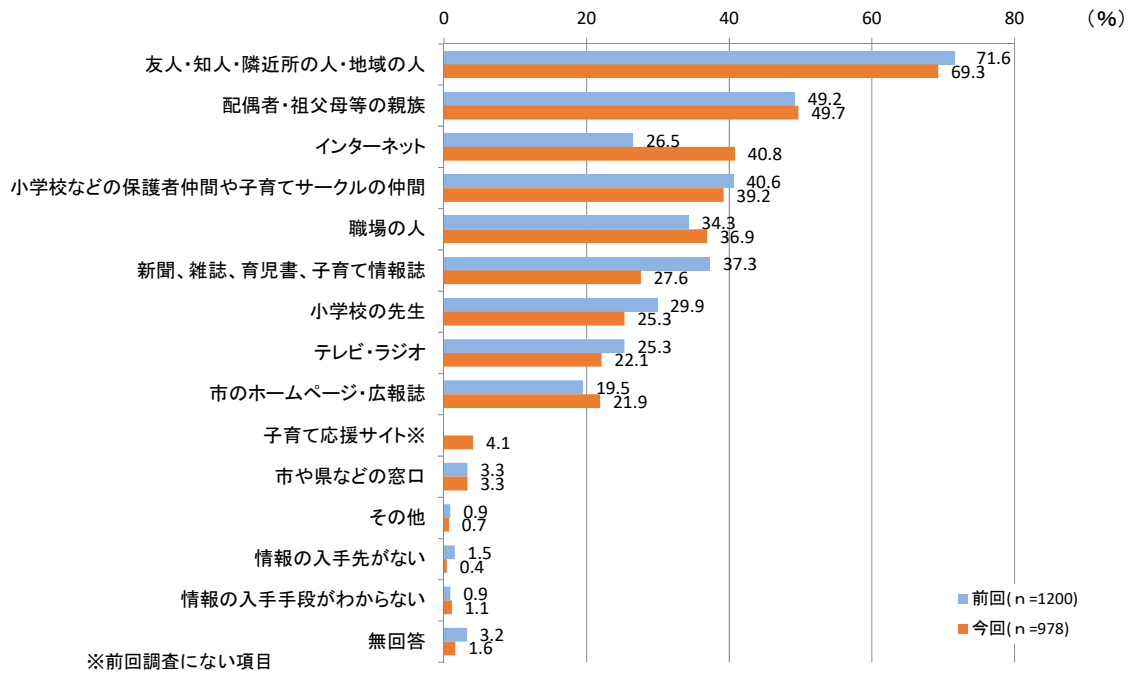
サンプル数：人 単位：%

## 12-4. 情報の入手先

子育てに関する情報の入手先としては、「友人・知人・隣近所の人・地域の人」の割合が69.3%と最も多く、次いで「配偶者・祖父母等の親族」の49.7%となっています。

そのほか、「インターネット」(40.8%)、「小学校などの保護者仲間や子育てサークルの仲間」(39.2%)、「職場の人」(36.9%)などが挙げられています。前回調査と比較すると、「インターネット」が14.3ポイント増加、「新聞、雑誌、育児書、子育て情報誌」が9.7ポイント減少しています。

問 30. 子育てに関する情報をどこ(誰)から入手していますか。(あてはまるものすべてに○)



### <学年別・ひとり親家庭別>

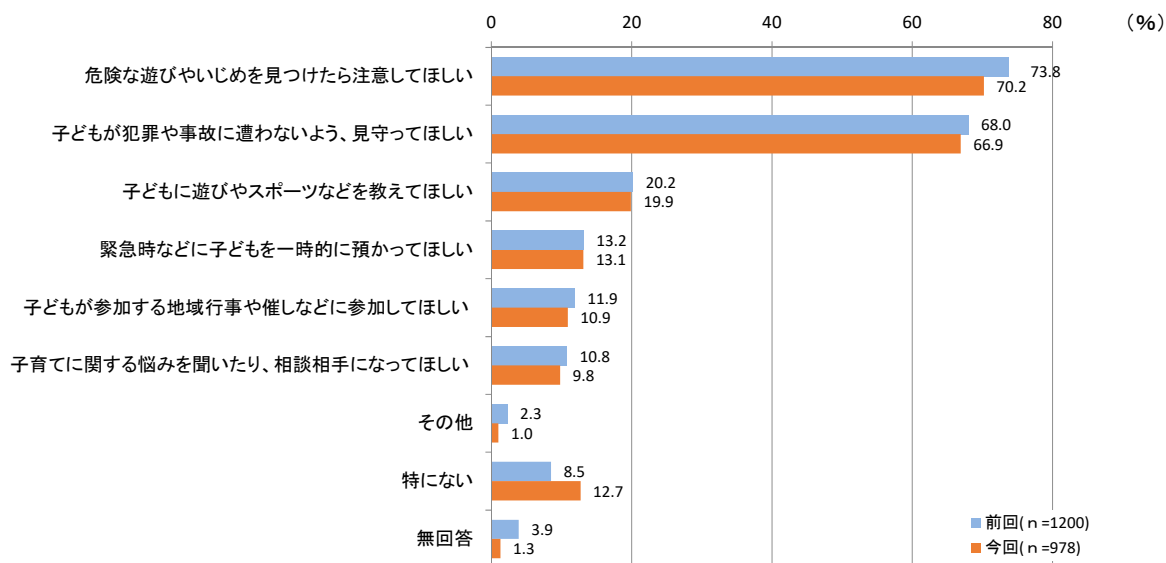
	サンプル数	配偶者・祖父母等の親族	友人・知人・隣近所の人・地域の人	職場の人	小学校などの保護者仲間や子育てサークルの仲間	小学校の先生	市のホームページ・広報誌	市や県などの窓口	テレビ・ラジオ
全体	978	49.7	69.3	36.9	39.2	25.3	21.9	3.3	22.1
1～2年生	392	49.7	69.4	34.9	36.7	21.9	20.9	3.8	19.6
3～4年生	357	50.1	69.7	37.3	42.6	28.6	22.1	3.6	24.6
5～6年生	226	49.1	69.5	40.3	38.5	26.1	23.5	1.8	22.6
シングルマザー	94	42.6	69.1	45.7	31.9	25.5	19.1	4.3	18.1
シングルファザー	7	28.6	57.1	57.1	0.0	42.9	0.0	0.0	14.3
	サンプル数	子育て応援サイト	新聞、雑誌、育児書、子育て情報誌	インターネット	その他	情報の入手先がない	情報の入手手段がわからない	無回答	
全体	978	4.1	27.6	40.8	0.7	0.4	1.1	1.6	
1～2年生	392	6.1	27.0	41.3	0.5	0.8	1.3	2.0	
3～4年生	357	2.8	28.9	41.5	0.6	0.0	1.4	0.6	
5～6年生	226	2.7	27.0	39.4	1.3	0.4	0.4	1.8	
シングルマザー	94	4.3	18.1	52.1	1.1	0.0	2.1	1.1	
シングルファザー	7	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	

※サンプル数14.3 単位：%

## 12-5. 地域に望む子育て支援について

地域に望む子育て支援については、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が70.2%で最も多く、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が66.9%となっており、この2項目が6割を超えています。前回調査と比較すると、「特にない」が4.2ポイント増加、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」が3.6ポイント減少しています。

問 31. 子育て支援として、身近な地域の人に望むことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



### < 学年別・ひとり親家庭別 >

	サンプル数	子育てに関する悩みを聞いたり、相談相手になってほしい	緊急時などに子どもを一時的に預かってほしい	危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい	子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい	子どもが参加する地域行事や催しなどに参加してほしい	子どもに遊びやスポーツなどを教えてほしい	その他	特にない	無回答
全体	978	9.8	13.1	70.2	66.9	10.9	19.9	1.0	12.7	1.3
1～2年生	392	11.7	15.1	73.7	69.1	11.7	22.7	1.0	9.7	2.0
3～4年生	357	10.1	13.4	71.7	72.0	11.2	21.8	0.8	10.6	0.6
5～6年生	226	6.2	9.3	62.4	55.8	9.3	12.4	1.3	20.8	0.9
シングルマザー	94	6.4	11.7	69.1	62.8	7.4	24.5	1.1	16.0	1.1
シングルファザー	7	14.3	14.3	28.6	42.9	14.3	14.3	0.0	42.9	0.0

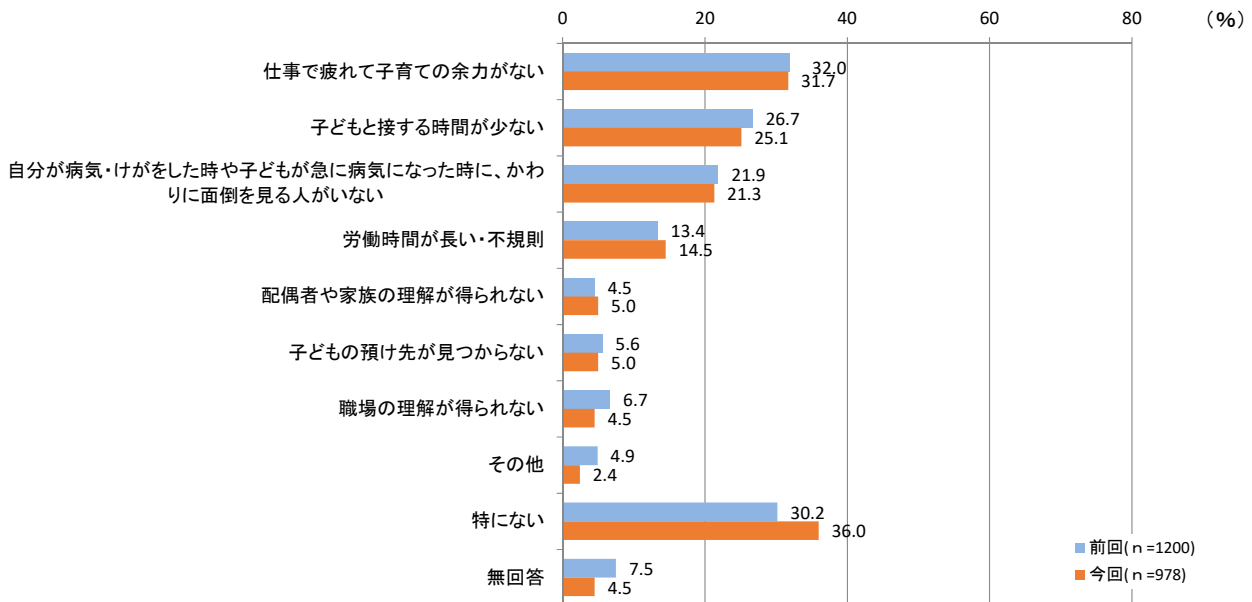
サンプル数：人 単位：%



## 12-6. 仕事と子育ての両立について

仕事と子育てを両立する上での問題は、「特にない」が 36.0%であるものの、「仕事で疲れて子育ての余力がない」の 31.7%が最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ない」の 25.1%、保護者の病気等でも「かわりに面倒をみる人がいない」の 21.3%となっています。前回調査と比較すると、「特にない」が5.8ポイント増加しています。

問 32. 仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



### <学年別・ひとり親家庭別>

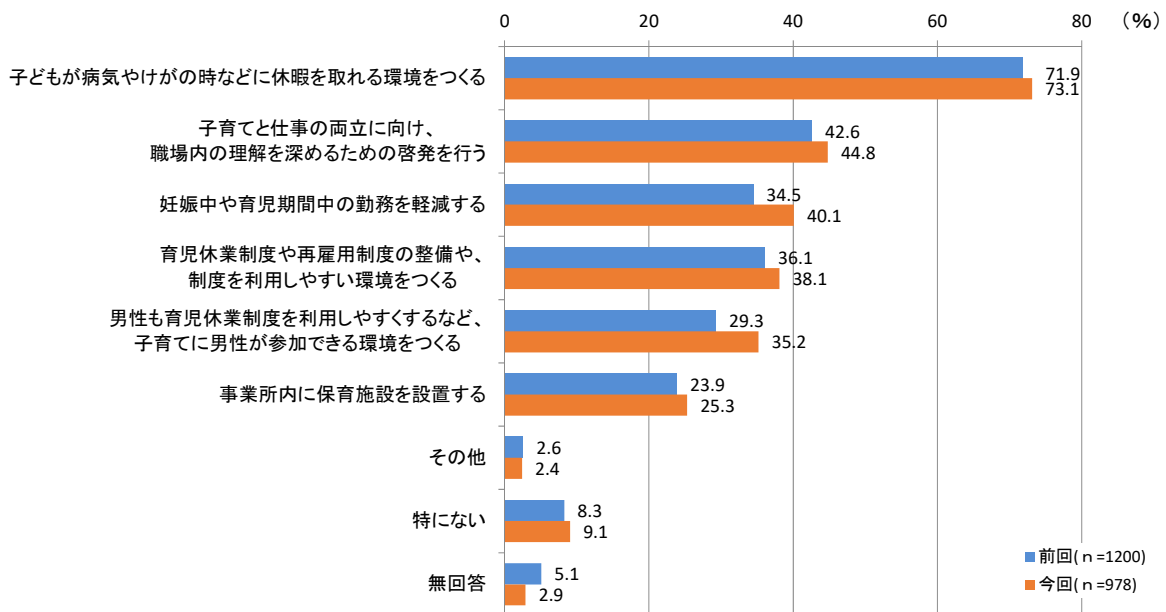
	サンプル数	仕事で疲れて子育ての余力がない	労働時間が長い・不規則	自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に、かわりに面倒をみる人がいない	配偶者や家族の理解が得られない	職場の理解が得られない	子どもの預け先が見つからない	子どもと接する時間が少ない	その他	特にない	無回答
全体	978	31.7	14.5	21.3	5.0	4.5	5.0	25.1	2.4	36.0	4.5
1～2年生	392	38.0	15.6	23.7	6.1	4.8	5.6	28.6	2.3	31.9	6.1
3～4年生	357	28.9	13.4	22.1	5.0	4.2	5.9	23.2	3.1	34.2	3.1
5～6年生	226	25.7	14.6	15.9	3.1	4.4	2.7	22.1	1.3	45.6	3.5
シングルマザー	94	44.7	26.6	22.3	5.3	6.4	4.3	45.7	2.1	23.4	0.0
シングルファザー	7	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0

サンプル数：人 単位：%

## 12-7. 子育てと仕事の両立での企業等の取り組み

仕事と子育てを両立するために必要な企業等の取り組みとしては、「子どもが病気やけがの時などに休暇を取れる環境をつくる」が73.1%と最も多くなっています。次いで「子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う」の44.8%、「妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する」の40.1%となっています。前回調査と比較すると、「男性も育児休業制度を利用しやすくするなど、子育てに男性が参加できる環境をつくる」が5.9ポイント、「妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する」が5.6ポイント増加しています。

問 33. 子育てと仕事の両立支援のために、企業等はどのようなことに取り組む必要があると思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)



### <学年別・ひとり親家庭別>

	サンプル数	妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する	育児休業制度や再雇用制度の整備や、制度を利用しやすい環境をつくる	子どもが病気やけがの時などに休暇を取れる環境をつくる	事業所内に保育施設を設置する	男性も育児休業制度を利用しやすくするなど、子育てに男性が参加できる環境をつくる	子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う	その他	特になし	無回答
全体	978	40.1	38.1	73.1	25.3	35.2	44.8	2.4	9.1	2.9
1～2年生	392	39.5	37.2	73.2	26.0	40.1	44.9	3.1	8.2	4.3
3～4年生	357	42.3	39.8	75.4	28.0	32.8	46.2	2.8	7.6	1.1
5～6年生	226	37.6	36.7	69.9	19.9	30.5	42.9	0.4	13.3	2.7
シングルマザー	94	27.7	29.8	73.4	22.3	17.0	43.6	4.3	9.6	2.1
シングルファザー	7	42.9	42.9	57.1	28.6	14.3	42.9	0.0	28.6	0.0

サンプル数：人 単位：%

### 13. 本市の子育て支援策についての満足度と重要度

#### 【満足度】

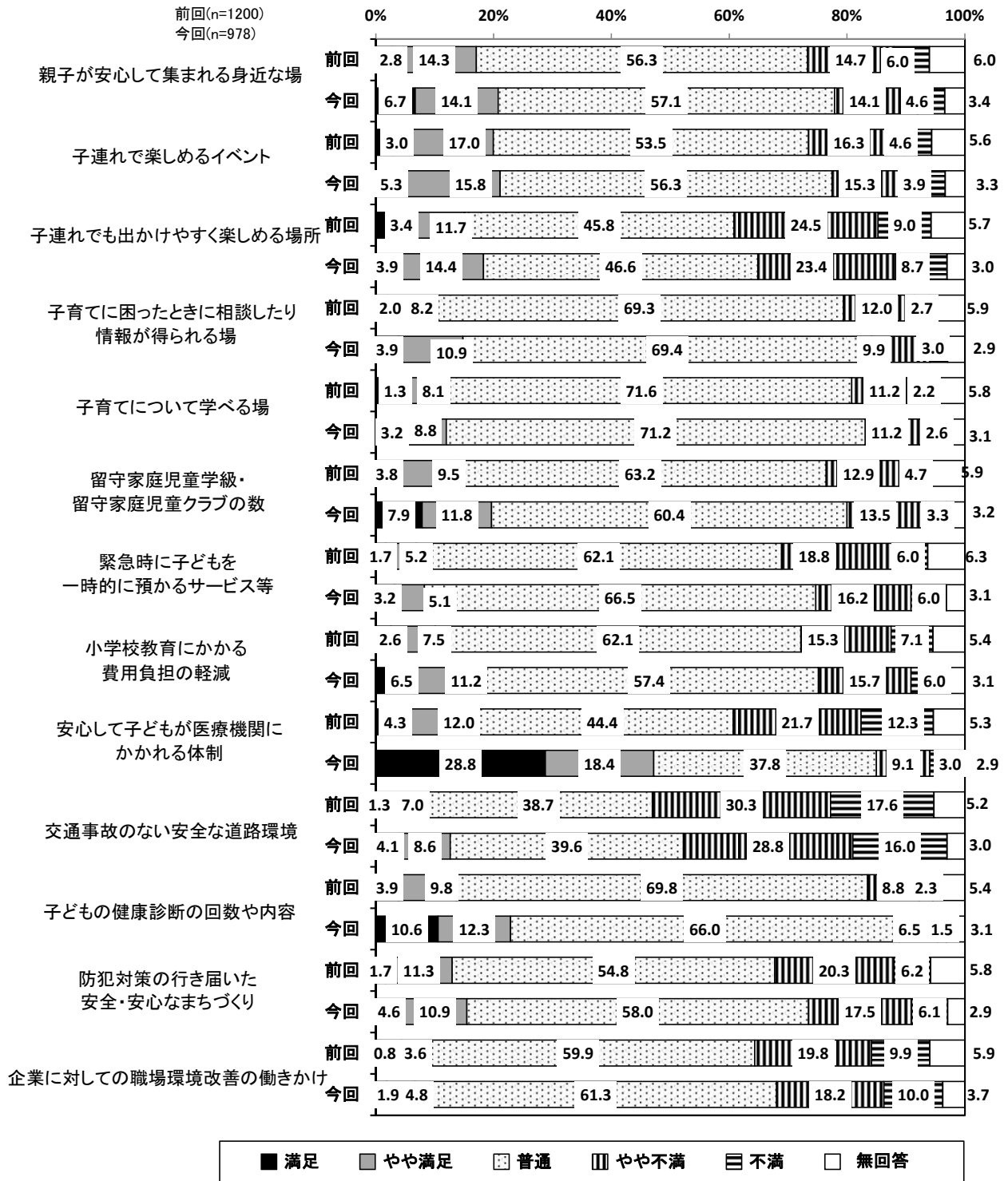
「満足」と「やや満足」を合計した「満足（計）」において、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制」が47.2%と最も高く、「子どもの健康診断の回数や内容」（22.9%）、「子連れで楽しめるイベント」（21.1%）、「親子が安心して集まれる身近な場」（20.8%）が2割を超えています。前回調査と比較すると、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制」が30.9ポイント、「子どもの健康診断の回数や内容」が9.2ポイント増加しています。

#### 【重要度】

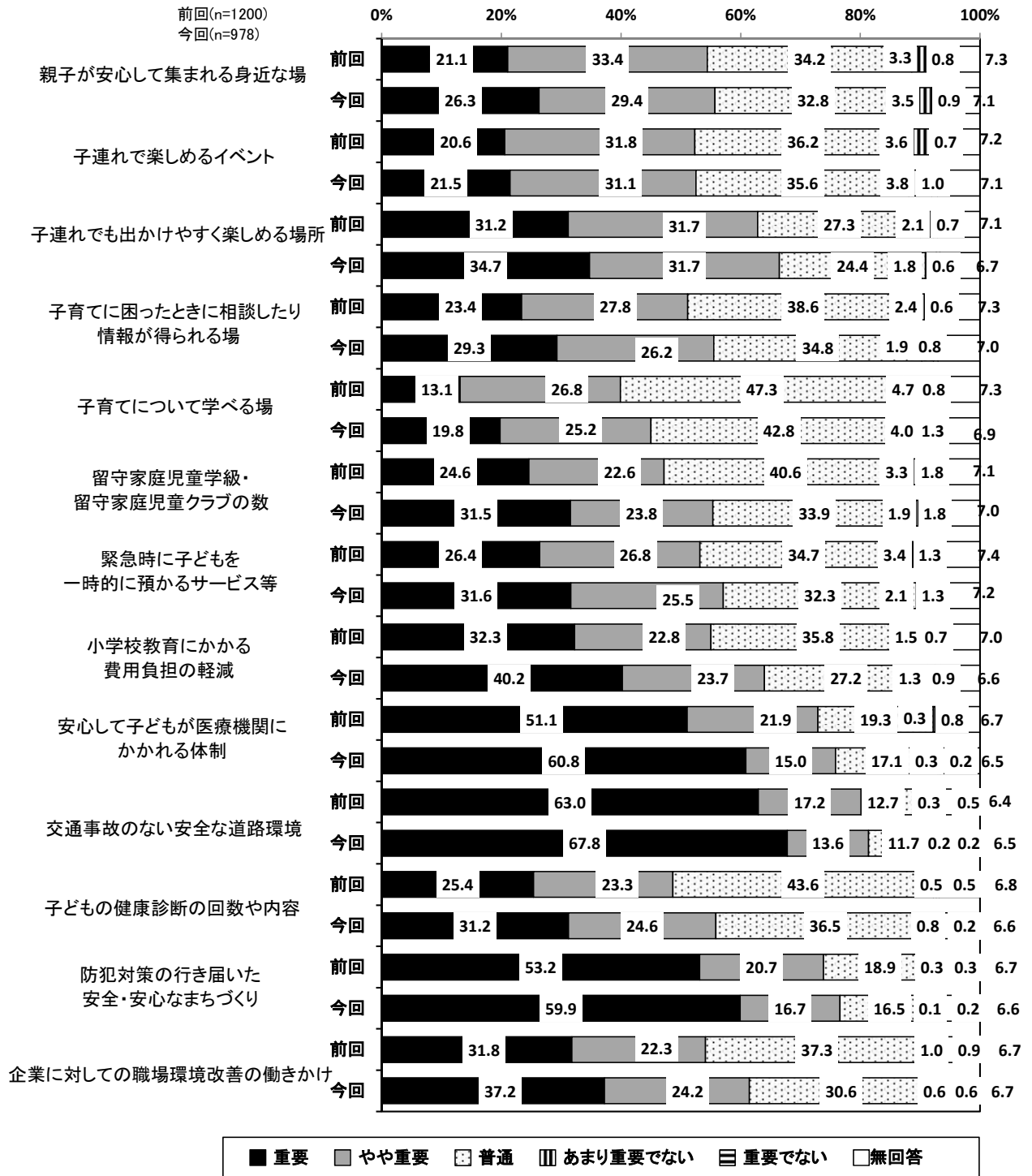
「重要」「やや重要」を合計した「重要（計）」において、「交通事故のない安全な道路環境」が81.4%と最も高く、「防犯対策の行き届いた安全・安心なまちづくり」（76.6%）、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制」（75.8%）が7割を超えています。前回調査と比較すると、「小学校教育にかかる費用負担の軽減」が8.8ポイント、「留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブの数」が8.1ポイント増加しています。

問 34. 防府市の子育て支援策についての「満足度」と「重要度」についてお答えください。

【満足度】



【重要度】



## 【満足度と重要度の平均スコア分布図による評価】

### ※スコア算出方法

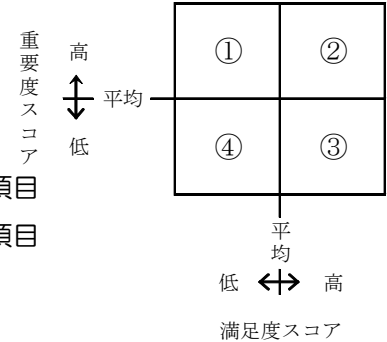
満足度スコアの場合 「満足」→5点、「やや満足」→4点、「普通」→3点、「やや不満」→2点、「不満」→1点とし、それぞれの回答者数を乗じた後、合計し、回答者総数で除して算出。

重要度スコアの場合 「重要」→5点、「やや重要」→4点、「普通」→3点、「あまり重要でない」→2点、「重要でない」→1点とし、それぞれの回答者数を乗じた後、合計し、回答者総数で除して算出。

### ※分類方法

満足度と重要度のスコアを二軸に、項目別のスコアの平均値を算出し、平均値を上回るか、下回るかにより4通りに分類。分類結果を以下のように位置づけ。

- ① 満足度：低 重要度：高 … 改善して重点的に取り組む項目
- ② 満足度：高 重要度：高 … 継続して重点的に取り組む項目
- ③ 満足度：高 重要度：低 … このまま維持していく項目
- ④ 満足度：低 重要度：低 … 見直しが必要な項目



### ①改善して重点的に取り組む項目（相対的に「重要度」が高いものの「満足度」が低い項目）

- ・交通事故のない安全な道路環境
- ・防犯対策の行き届いた安全・安心なまちづくり
- ・小学校教育にかかる費用負担の軽減
- ・子連れでも出かけやすく楽しめる場所
- ・企業に対しての職場環境改善の働きかけ

### ②継続して重点的に取り組む項目（相対的に「重要度」「満足度」ともに高い項目）

- ・安心して子どもが医療機関にかかれる体制

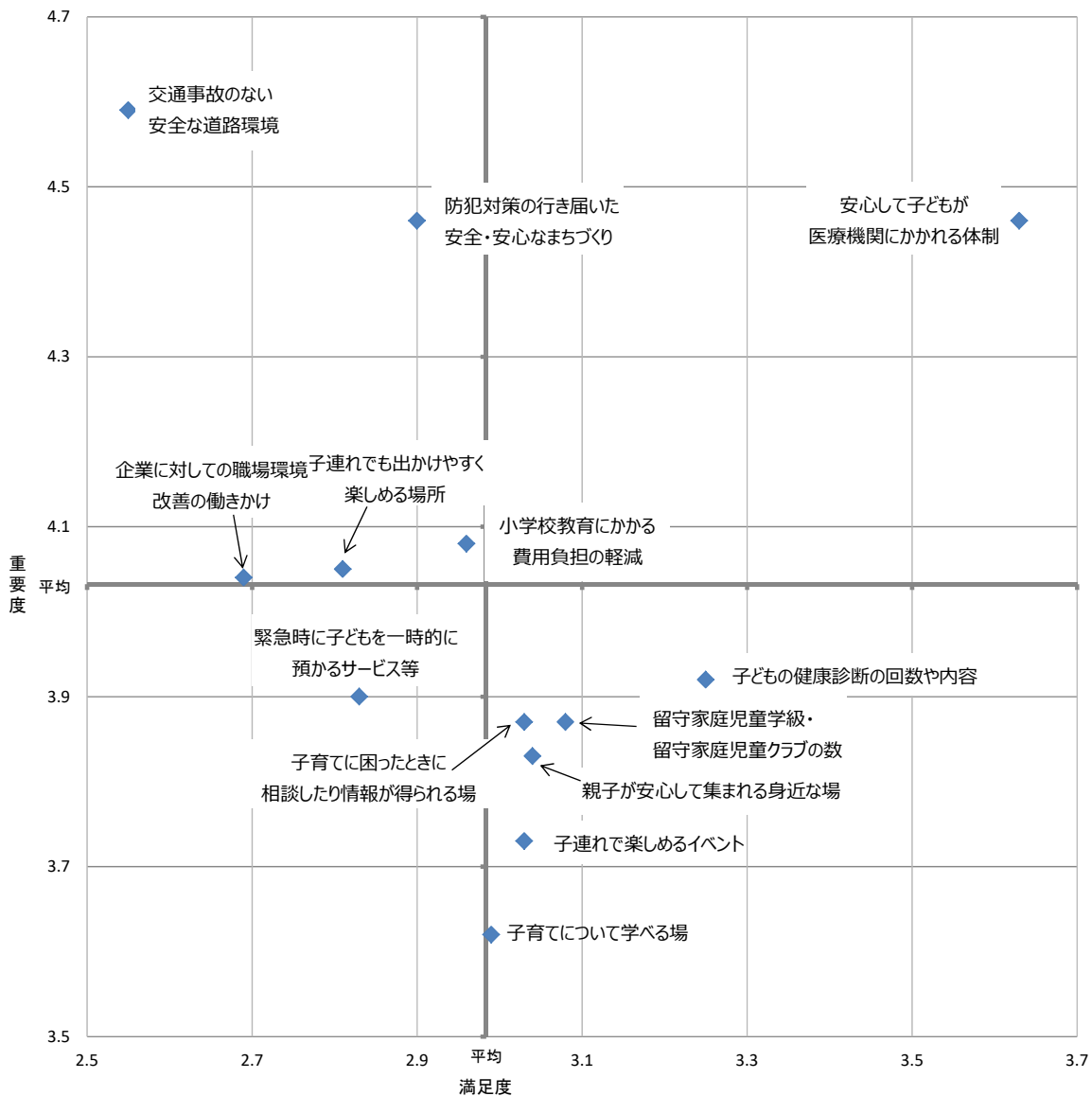
### ③このまま維持していく項目（相対的に「重要度」が低いものの「満足度」が高い項目）

- ・子どもの健康診断の回数や内容
- ・子育てに困ったときに相談したり情報が得られる場
- ・留守家庭児童学級・留守家庭児童クラブの数
- ・親子が安心して集まれる身近な場
- ・子連れで楽しめるイベント
- ・子育てについて学べる場

### ④見直しが必要な項目（相対的に「重要度」「満足度」ともに低い項目）

- ・緊急時に子どもを一時的に預かるサービス等

■小学生 満足度・重要度分布図■



防府市子ども・子育て支援に  
関するニーズ調査報告書

発行年月 平成 31 年 3 月

発 行 防府市 健康福祉部 子育て支援課

〒747-8501 山口県防府市寿町 7 番 1 号

電話 : 0835-25-2626